名古屋大学出版会
図書目録

The University of Nagoya Press

2023

▶目　　次

総記・一般 …… 1
哲学・思想 …… 4
文学・文化 …… 19
言　　語 …… 39
歴史・地理 …… 42
社会・民俗 …… 74
教育・心理 …… 80
経済・経営 …… 88
法律・政治 …… 119
医　　学 …… 133
自然科学 …… 145

リ・アーカイヴ叢書 …… 157

書名索引 …… 158
著訳編者名索引 …… 167
得意先書店・取次店一覧 …… 173

▶設立趣意

財団法人名古屋大学出版会設立趣意書

大学における出版事業は，優れた学術図書を刊行して，大学の学術研究の振興に資するとともに研究成果を広く社会に普及する役割を担っている。

欧米の諸大学が大学出版部のながい伝統をもち，またわが国でも第二次大戦後東京大学をはじめ多くの大学に出版会が設立されたのは，この認識のうえにたってである。

現在学術図書の刊行は，出版社の採算上の理由によって困難な状況にあり，数多くの貴重な研究が刊行不能に陥るという遺憾な事態が発生している。そのうえ，名古屋を中心とした中部地方には学術出版社がほとんどなく，このことは中部地方の各大学における教育・研究の発展のみならず，学術・文化の向上にとっても著しく不利な条件となっている。

このような状況に鑑み，昭和 57 年任意団体名古屋大学出版会を設立し，名古屋大学をはじめ中部地方の各大学における研究成果である学術図書の刊行，学術国際協力，大学の社会開放の諸事業を行ってきたが，経済的基盤が弱く，さらに社会的責任体制も不明確であることから，これを発展的に解消し，中部地方の，さらにはわが国の学術・文化の振興に寄与するため，財団法人名古屋大学出版会の設立を期するものである。

昭和 60 年 3 月 11 日

▽この目録には 2023 年 2 月末現在刊行中のものを収録してあります。

▽この目録に記載してある価格は本体価格です。2023 年 2 月末現在で表示してありますが，その後重版に際して変更する場合がありますので，あらかじめご了承下さい。なお，ご購入に際して別途消費税をご負担いただきます。

▽【RA 叢書】はリ・アーカイヴ叢書であることを示します。

▽本のご入手方法（下記の 2 つの方法があります）
①書店にご注文下さい。
お求めの書籍が店頭にない場合は，どこの書店でも注文でお取り寄せいただけます。その際，ISBN コードをご利用いただきますと，商品のお届けが早く確実になる場合があります。
②小会に直接ご注文下さい。
小会に直接ご注文いただいた場合，「代金引換えの宅急便」でお届けいたします。手数料は何冊でも 300 円です。

▽落丁・乱丁の場合はいつでもお取替えいたします。

▽この目録の内容および小会の新刊は，小会ホームページ https://www.unp.or.jp でもご案内しております。

総記・一般

飯島宗一著

学窓雑記 I

元名古屋大学長が在任中の多忙な公務の傍ら，1982 年から 86 年にかけて信濃毎日新聞の夕刊コラム「今日の視角」に連載したエッセイ 195 篇。21 世紀に向けて，平和，文化，科学，医学，教育等様々な分野で現代が提起する諸問題と故郷信州への憧憬を，明晰な文章で綴った一千字の世界。

四六判・412 頁・2,000 円

〔1987〕978-4-930689-67-2

飯島宗一著

学窓雑記 II

淡々としかし鋭く現代を見据える元名古屋大学長の好評エッセイ第二弾。〔目次〕大学の自由／お勉強と学問／モーツァルトと人間科学／外国とつきあう法／アメリカと日本の間／中国教育事情／国有鉄道八十年／ SDI とアメリカの科学者／超電導と超低温／岡倉天心の終焉／老人入門……

四六判・320 頁・2,000 円

〔1989〕978-4-8158-0116-8

飯島宗一他著　　名古屋大学公開講座 1

現代技術を考える

―人間と社会はどう変わりつつあるか―

〔目次〕平和とテクノクラシー（飯島宗一）／歴史における技術（神保元二）／エネルギー技術の歴史的発展とその限界（河宮信郎）／産業革命と想像力―怪物としてのテクノロジー（榎本太）／現代国家とテクノクラシー（田口富久治）／発展途上国への技術協力（飯田経夫）……

〔品切〕四六判・352 頁・1,600 円

〔1983〕978-4-930689-08-5

若林慎一郎他著　　名古屋大学公開講座 2

現代のコミュニケーション

―情報・適応・社会―

〔目次〕乳幼児のコミュニケーション（若林慎一郎）／親と子のコミュニケーション（久世敏雄）／教育における共感と離反（田畑治）／教育の場におけるコミュニケーション（加藤雄一）／成人社会のコミュニケーション（辻敬一郎）／日本人のコミュニケーション（大坪一夫）……

〔品切〕四六判・268 頁・1,800 円

〔1984〕978-4-930689-20-7

北川隆吉他著　　名古屋大学公開講座 3

現代に生きる

―人間は自らを管理できるか―

〔目次〕情報の氾濫そして文化の貧困（北川隆吉）／教育システムと高学歴社会（潮木守一）／企業と環境適応（岸田民樹）／国・自治体における情報管理と市民生活（貝沼洵）／日本的政治の風土とネオ・コーポラティズム（小野耕二）／現代青少年の諸問題について（内山道明）……

四六判・244 頁・1,800 円

〔1985〕978-4-930689-37-5

青木國雄著

医外な物語

信長，秀吉，家康，ナポレオン，チャーチル等々，歴史をつくった著名人の病いと死にまつわる逸話，裏話，秘話を疫学の権威が三題噺にしたてて軽妙な筆致で描く 99 話。深い学識と暖かい人柄が滲みでた心打つ読物である。

四六判・426 頁・2,427 円

〔1990〕978-4-8158-0131-1

名古屋大学史編集委員会編

名古屋大学五十年史［部局史一・二］

〔品切〕菊判・総頁 1900 頁・セット価 9,709 円

本書は，その誕生から現在まで，名古屋大学 50 年の発展の足跡を映し出す初めての正史として編纂された。本部局史においては，26 部局の研究・教育・制度・組織・人事等の沿革，管理運営上の諸事項が客観的・微視的に記述されていて，後続の「通史篇」への展望を与える。

〔1989〕978-4-8158-0126-7

名古屋大学史編集委員会編

写真集 名古屋大学の歴史

—1871～1991—

A4 判・272 頁・4,854 円

明治 4 年開設の仮病院と仮医学校を源流とする前身の時代から現在まで，120 年の発展の足跡を映し出す初めての歴史写真集。学問研究･学園生活･重大事件等そして自由闊達な校風の形成と時代の変遷が，学内の総力を結集して蒐集された六百数十点の写真資料に凝集されている。

〔1991〕978-4-8158-0172-4

名古屋大学史編集委員会編

名古屋大学五十年史［通史一・二］

菊判・総頁 1816 頁・セット価 11,650 円

「部局史編」「写真集」に続き，名古屋大学創立五十周年を記念し，学内の総力を結集して編纂する正史完結編。明治期から今日までの激動する社会状況の中で，一つの組織体としての大学がどのように成立・発展してきたのかを，国家政策との関わりを含め，膨大な資料に基づいて伝える。

〔1995〕978-4-8158-0270-7

井口潔／藤澤令夫／村上陽一郎／飯島宗一著

科学と文化

—人間探求の立場から—

四六判・184 頁・1,800 円

科学・技術から医学など人間の営みの在り方と文化との関わりを基本から問い直し探求するために開かれたシンポジウムの記録。医学，哲学・科学史の泰斗が語る。〔目次〕文化的生物としての人間と現代の危機／価値としての科学と文化／人間の営為としての科学／医学の立場から

〔1993〕978-4-8158-0206-6

近藤哲生／林上編

東海地方の情報と社会

A5 判・270 頁・4,000 円

社会学，地理学，歴史学，生物学，社会経済史学，心理学等，専門を異にする名古屋大学のスタッフが，「情報」と「地域社会」をキーワードにして，東海地方の自然的・社会的・文化的構造と特質を様々な角度から明らかにする。教養部の情報文化学部への改組に伴う共同研究の成果。

〔1994〕978-4-8158-0227-1

平生釟三郎著　安西敏三校訂

平生釟三郎自伝

四六判・502 頁・5,500 円

東京海上保険専務，日本製鉄会長，広田弘毅内閣の文部大臣，大日本産業報国会初代会長，甲南学園の創設者等々を歴任，明治・大正・昭和の三代に亘り実業界・政界・教育界に活躍して特異な軌跡を残し，近年の戦時統制経済への関心とともに注目される人物の波瀾に富んだ前半生の自伝。

〔1996〕978-4-8158-0277-6

加藤延夫著

世紀のはざまにて

—医学徒の回想と展望—

四六判・366 頁・2,500 円

20 世紀から 21 世紀への転換期に，医学・医療の分野では，病苦からの解放と心豊かな生の享受という医の原点への回帰が課題となり，我が国の大学では多様化，個性化に向けた組織機構改革と教育改革が進行した。これらの動きを鋭く見据えてきた元名古屋大学総長の随想集。

〔1996〕978-4-8158-0289-9

名古屋大学編

名古屋大学の歴史 1871〜2019［上］

「名大」に歴史あり――。どのように生まれ，変化してきたのか。教育・研究・大学生活・キャンパスの変遷を，組織の沿革とともに一望できる通史。上巻では，1871 年の「創基」から，帝国大学の時代，新制大学としての出発を経て，1980 年代までの歩みをたどる。写真も多数掲載。

A5 判・284 頁・2,700 円

〔2022〕978-4-8158-1063-4

名古屋大学編

名古屋大学の歴史 1871〜2019［下］

1990 年代以降，大きな変化を遂げた「名大」。その複雑な全体像を初めて描き出す。大学改革とは何だったのか。なぜノーベル賞受賞者が続出したのか。大学はどこへ向かうのか。下巻では，教育・研究体制の大改革から，国立大学法人化を経て，「東海国立大学機構」設立までを跡づける。

A5 判・320 頁・2,700 円

〔2022〕978-4-8158-1064-1

哲学・思想

松岡達也著

バシュラールの世界
—文学と哲学のあいだ—

四六判・402 頁・3,500 円

本書は，現代フランスの第一級の批評家であり「想像力の哲学者」ガストン・バシュラールの方法概念を，現象学と精神分析という 20 世紀前半の思想潮流をともに生きたサルトル，メルロ＝ポンティと比較しつつ論じる。ヨーロッパが発見したコギトは超克されたか？

〔1984〕978-4-930689-24-5

久保田勉／稲垣良典編

人間の探究

〔品切〕四六判・284 頁・2,000 円

「人間とは一体何であるか」。古来より人間は繰り返し自らに問い続けてきた。本書は，愛と死と人間観をめぐる古今東西の思索の跡を訪ねて，危機の時代における正しいヒューマニズムへの帰還を訴える。

〔1988〕978-4-930689-98-6

安藤隆穂著

フランス啓蒙思想の展開

【RA 叢書】A5 判・336 頁・5,800 円

本書は，ヴォルテール，モンテスキューに始まり，ディドロ，エルヴェシウス，ルソー，チュルゴを経て，コンドルセやロベスピエールに至る 18 世紀フランス啓蒙思想がフランス革命に流れこみ更には 19 世紀思想へと連なる過程を，統一的かつ比較思想史的に確定する。

〔2022（1989）〕978-4-8158-1065-8

ヴィクトル・ファリアス著　山本尤訳

ハイデガーとナチズム

〔品切〕A5 判・400 頁・4,300 円

著者は，12 年をかけて可能な限りの資料と記録を調べ上げ，従来の定説を覆してハイデガーが初期から一貫して戦闘的なナチであったことを実証する。出版と同時にヨーロッパの思想界がごうごうたる論争の坩堝と化した話題の書の完全訳。ハーバーマスのドイツ語版序文付。

〔1990〕978-4-8158-0142-7

エルンスト・カッシーラー著　薗田坦訳

個と宇宙
—ルネサンス精神史—

A5 判・314 頁・3,800 円

『象徴形式の哲学』や『人間』等で著名な 20 世紀哲学の巨匠が，「自然–認識」問題を基底に据えて個性的統一体としてのルネサンス哲学の全体像を描き出した名著。多様で複雑なルネサンス哲学の構造と展開が，時代の精神史的・文化史的文脈に位置づけ浮彫りにされている。

〔1991〕978-4-8158-0155-7

田中秀夫著

スコットランド啓蒙思想史研究
—文明社会と国制—

A5 判・362 頁・5,500 円

本書は，時代の課題としての文明社会論と国制論を焦点に，スミス，ヒュームだけでなくケイムズ，ハチスン，ファーガスン等周辺的人物をも視野に収めてスコットランド啓蒙運動を歴史内在的に考察する。欧米の最新の成果を消化して書かれたスコットランド啓蒙思想復権の書。

〔1991〕978-4-8158-0157-1

フリッツ・K. リンガー著　西村稔訳

読書人の没落

—世紀末から第三帝国までのドイツ知識人—

A5 判・372 頁・5,500 円

機械と大衆の登場によって文化的危機にみまわれた世紀末ドイツの学者＝読書人層は，一方で新しい人文社会科学を創り出すとともに，他方極度の混乱と対立を経てナチズムにからめとられていく。本書は学者達を襲ったこの危機の過程を学問とメンタリティに分け入って跡づける思想史の傑作。

〔1991〕978-4-8158-0159-5

ヘルムート・プレスナー著　土屋洋二訳

遅れてきた国民

—ドイツ・ナショナリズムの精神史—

〔品切〕四六判・324 頁・2,800 円

「ドイツにとって近代とは何だったのか」。M. シェーラーと並ぶ哲学的人間学の定礎者プレスナーが亡命の地オランダにおいて，遅れて近代に登場したドイツ精神のジレンマとナチズムへの頽落を思想史の深みから考察する。近代ドイツの運命を見据えた予言と内省の書。付「私の履歴書」

〔1991〕978-4-8158-0168-7

黒積俊夫著

カント批判哲学の研究

—統覚中心的解釈からの転換—

〔品切〕A5 判・360 頁・6,000 円

本書は，フィヒテよりカウルバッハにいたるまでの伝統的な統覚中心的カント解釈を批判し，先験的・超個人的な主観ではなく，経験的で個人的である主観こそが，カントの批判哲学において中心的な役割を果たしているとするロゴス中心的解釈の視点から，カント哲学の再構築を試みる。

〔1991〕978-4-8158-0170-0

小柳公代著

パスカル 直観から断定まで

—物理論文完成への道程—

〔品切〕A5 判・512 頁・9,500 円

『パンセ』のパスカルは，スコラ学やデカルトに抗して実験の重要性を唱えただけではなく，それを厳密に実行した実験科学者としても名高い。本書は通説を覆し，そのパスカルの物理論文が，実は天才的な幾何学的直観を支えとした「思考実験」によって構築されていることを立証する。

〔1992〕978-4-8158-0175-5

ピーター・バーク著　岩倉具忠／岩倉翔子訳

ヴィーコ入門

四六判・220 頁・2,700 円

デカルト的学問の根底を問い直し，歴史と言葉の世界を思考した，18 世紀ナポリの思想家ヴィーコ。難解をもって知られる彼の思想の全体像を，現代イギリスのブリリアントな歴史家が，明快に描き出した，ヴィーコ的世界への最良の案内。ヴィーコの言語思想に関する訳者の長文解説を付す。

〔1992〕978-4-8158-0187-8

佐野　誠著

ヴェーバーとナチズムの間

—近代ドイツの法・国家・宗教—

A5 判・344 頁・5,500 円

ヴェーバーはナチズムの思想的先行者か？　わが国で未開拓な教会法史家ルドルフ・ゾームやカトリック公法史家カール・シュミットの研究を基礎にしつつ，ヴェーバーが権力国家論者で国家主義者であるとするモムゼン・テーゼを，法・国家・宗教思想に即して検証する新鮮なヴェーバー研究。

〔1993〕978-4-8158-0211-0

W. ビーメル／H. ザーナー編　渡邊二郎訳

ハイデッガー＝ヤスパース往復書簡

—1920～1963—

〔品切〕四六判・464 頁・4,500 円

ともに哲学の刷新を掲げて出発するも，ナチズムと戦争の時代を，ナチへの加担と苦難の日々という対照的な形でくぐり抜け，そして20世紀を代表するに至った二人の思想家の，決して交わることのない思考の道すじと，だからこそ求められた心の交流への試みを，静かに刻みこんだ希有な記録。

〔1994〕978-4-8158-0232-5

橋川文三著　筒井清忠編・解説

昭和ナショナリズムの諸相

【RA 叢書】A5 判・298 頁・5,000 円

『日本浪曼派批判序説』『近代日本政治思想の諸相』等々，戦争体験をバネに，個性的文体と脱領域的知性をもって昭和超国家主義の核心にあるナショナリズムの内在的理解とその超克への道を切り拓いた著者の単行本・著作集未収録の入手困難な論考集成。ナショナリズム再考の必読文献。

〔2022（1994）〕978-4-8158-1066-5

D. ポイカート著　雀部幸隆／小野清美訳

ウェーバー 近代への診断

四六判・288 頁・2,900 円

もし「アウシュヴィッツ」以後もウェーバーが生きていたとしたら……。ナチス史研究・ワイマル史研究に優れた業績を挙げた歴史家が，ウェーバーによる「近代の病理学」の根幹を摑み出し，その診断の可能性を展開した卓抜な論考。「神なく予言者なき時代」の正統性は何処にあるのか？

〔1994〕978-4-8158-0242-4

安西敏三著

福沢諭吉と西欧思想

―自然法・功利主義・進化論―

〔品切〕A5 判・456 頁・8,000 円

本書は，ミル，スペンサー，ブラックストン，ギゾー，バックル等福沢の思想形成に最も大きな影響を与えた西欧思想と福沢思想との関連を自然法・功利主義・進化論を軸に，福沢が読み，書き込んだ手沢本の綿密系統的な考証を通じて解明する。福沢研究史の大きな欠落を埋める力作。

〔1995〕978-4-8158-0255-4

久保田勉／稲垣良典編

現代の思想と人間

四六判・246 頁・2,200 円

全体は「現代への道程」「人間と自然」「人間と死」の三部から成り，自然環境と人間や，死と医療をめぐる問題等，現代人が直面する深刻な諸問題を，「人間とは何か」という根源的問いを踏まえ，かつ各テーマに関する専門家も参加して具体的平明に考察する。好評の『人間の探究』の姉妹編。

〔1995〕978-4-8158-0258-5

F. K. リンガー著　筒井清忠他訳

知の歴史社会学

―フランスとドイツにおける教養 1890～1920―

A5 判・352 頁・5,500 円

『読書人の没落』においてドイツ大学知識人の教育・文化・イデオロギーを解明した著者が，世紀転換期のフランス大学知識人界の思想を，この時期の教育と階層構造の変動を視野に入れつつドイツとの比較のもとに解明する知と教養の歴史社会学。知の歴史社会学に新生面を拓く。

〔1996〕978-4-8158-0276-9

神野慧一郎著

モラル・サイエンスの形成

―ヒューム哲学の基本構造―

A5 判・338 頁・6,000 円

精密な人間科学を打ち立てようとしてヒュームが書き，欧米では現在も最も言及されることの多い『人間本性論』全巻を対象に，当時の政治・社会・思想状況をも射程に入れてその思想の全体像を描く。それはまた現代社会科学の脊梁たるモラル・サイエンスの形成を辿ることでもある。

〔1996〕978-4-8158-0287-5

森際康友編

知識という環境

【RA 叢書】A5 判・284 頁・4,500 円

知識観の分裂をもたらした近代的知識論を批判しつつ，行為の場面から生態系・知的分業秩序までを視野に入れ，知覚知・言語知から科学知・実践知へと広がる知識の領域，そして暗黙知を含めた知識の深層を照射。そのリアルな姿を求めて，環境としての知識構想を展開した白熱の論集。

〔2022（1996）〕978-4-8158-1067-2

石川文康著

カント 第三の思考

—法廷モデルと無限判断—

A5 判・332 頁・4,800 円

われわれの理性がまさしく理性的であることによって抱え込んでしまう根源的な矛盾や限界はどのようにして乗り越えられるのか？　カントによる理性批判の深層構造を，法廷モデルと無限判断のメカニズムをもって描き出し，そのダイナミズムと広大な射程とを浮彫りにする。

〔1996〕978-4-8158-0299-8

堀田誠三著

ベッカリーアとイタリア啓蒙

A5 判・298 頁・5,700 円

ベッカリーアは近代刑法学と死刑廃止論の先駆者として知られているが，本書では，『犯罪と刑罰』から『文体論』と『公共経済学』へという彼の社会思想の性格を明らかにするとともに，18 世紀イタリア思想史の中に位置づけることによって，イタリア啓蒙の見取り図と特質を浮彫りにする。

〔1996〕978-4-8158-0301-8

松永俊男著

ダーウィンの時代

—科学と宗教—

四六判・416 頁・3,800 円

17 世紀に成立した西洋近代科学は，神に由来する自然の秩序と合目的性を見いだすことを目的としていた。本書は，常識化された科学と宗教の闘争史観を排し，元来宗教に一体化していた科学がイギリス自然神学の中から分離・自立していく過程をダーウィンの進化論に即して克明に究明する。

〔1996〕978-4-8158-0303-2

A.O. ラヴジョイ著　鈴木信雄／市岡義章／佐々木光俊訳

人間本性考

四六判・340 頁・3,800 円

「悪人たちによっても良き社会は形成しうる」——「観念の歴史」を提起した碩学が，17，8 世紀の西洋で盛んに試みられた「人間本性論」を渉猟し，承認願望，自己称讃，競争心，高慢さといった観念を軸に，近代思想の底に流れる，人間の情念と社会の秩序形成の問題を精緻明晰に考察。

〔1998〕978-4-8158-0337-7

大林信治／山中浩司編

視覚と近代

—観察空間の形成と変容—

四六判・328 頁・3,000 円

近代は視覚の時代か——さまざまに語られる「視覚」と「モダニティ」の関係を，美術史，科学史，思想史，文学史などの領域から横断的に研究。ルネサンス以降の「観察空間」の形成と 19 世紀以降の変容という歴史的展開を射程に入れ，均質な近代イメージの限界と経験の多様な可能性を問う。

〔1999〕978-4-8158-0361-2

米山　優著

モナドロジーの美学

—ライプニッツ／西田幾多郎／アラン—

【RA 叢書】A5 判・352 頁・5,800 円

等閑視されたライプニッツ単子論の美学的側面を，原子論・粒子論・単子論という思考過程の展開や情念論・心身二元論の再評価・再検討を介して読み解き，西田の行為的直観，アランの散文の美などを手がかりに単子論的思考が美的なものとしてあらわれてくる地平を大胆かつ精緻に切り拓く。

〔2022（1999）〕978-4-8158-1068-9

田中秀夫著

啓蒙と改革

—ジョン・ミラー研究—

A5 判・494 頁・6,800 円

本書は，アダム・スミスの弟子にしてスコットランド啓蒙の到達点を示すジョン・ミラーの思想を解読することによって，文明史的視点にたつ法＝統治の学問と，共和主義思想との緊密な統合の姿を明らかにし，その先駆的な仕事の全体像を初めて浮かび上がらせた労作である。

〔1999〕978-4-8158-0371-1

水田　洋著

思想の国際転位

—比較思想史的研究—

A5 判・326 頁・5,500 円

ユートピア思想に始まり，抵抗権や宗教的寛容，あるいはヴォルテール，スミス，ミルなどの近代を形作る諸思想が，国境を越え時間を遍歴する中で交流し位相を変えていく姿を捉えることで，変化を促した社会的文脈と，転位を可能性として持っていた思想の本質を，二つながら追究した労作。

〔2000〕978-4-8158-0388-9

戸田山和久著

論理学をつくる

B5 判・442 頁・3,800 円

論理学って，こんなに面白かったのか！　出来あいの論理学を天下り式に解説するのでなく，論理学の目的をはっきりさせた上で，それを作り上げていくプロセスを読者と共有することによって，考え方の「なぜ」が納得できるようにした傑作テキスト。初歩の論理学が一人でマスターできる。

〔2000〕978-4-8158-0390-2

長尾伸一著

ニュートン主義とスコットランド啓蒙

—不完全な機械の喩—

A5 判・472 頁・6,000 円

社会科学の形成に与えたニュートン主義の影響を，実験哲学の導入，科学と道徳世界の統合による発展とその解体過程への着目から解明，決定論的世界像というニュートン主義の通俗的解釈を排し，その多様な相貌と近代知のあり方に残した航跡を描出する。**サントリー学芸賞受賞**

〔2001〕978-4-8158-0402-2

石川文康著

良心論

—その哲学的試み—

四六判・296 頁・2,800 円

良心の警告，良心の呵責，そして後悔——。良心とは何か？　良心はなぜわれわれを動かすのか？正義論の手前にあるこの問いを，「共に知る」という言葉の原義から出発して，プラトン以降の哲学的良心論を参照しつつ解き明かし，欲望と方位喪失の時代にさしだした注目の論考。

〔2001〕978-4-8158-0417-6

納富信留著

ソフィストと哲学者の間

—プラトン『ソフィスト』を読む—

A5 判・432 頁・5,800 円

ソフィストの役割は，これまで不当に軽視されてきた。本書は，プラトンが「ソフィスト」の活動を徹底的に分析・批判し，ソクラテスを範とする「哲学」の言論がいかに成立しうるかを根本から問い直さざるをえなかったことの意味を考察して，問題としての「ソフィスト」を浮き彫りにする。

〔2002〕978-4-8158-0414-5

川合清隆著

ルソーの啓蒙哲学

—自然・社会・神—

A5 判・356 頁・5,800 円

社会の自然的基礎を廃棄したとき，人間にいかなる歴史が可能なのか——人間の内的自然（本性）と外的自然世界をめぐるルソーの徹底した思考を，18 世紀ヨーロッパ思想のコンテクストに位置づけることによって浮き彫りにするとともに，その「哲学」の全体構想を明らかにした力作。

〔2002〕978-4-8158-0450-3

伊勢田哲治著

疑似科学と科学の哲学

A5 判・288 頁・2,800 円

占星術，超能力研究，中国医学，創造科学……これらはなぜ「疑似科学」と言われるのだろうか。はたして疑似科学と科学の間に線は引けるのだろうか。科学のようで科学でない疑似科学を考察することを通して，「科学とは何か」を解き明かしてゆくユニークで真っ当な科学哲学入門。

〔2003〕978-4-8158-0453-4

A. O. ラヴジョイ著　鈴木信雄／内田成子／佐々木光俊／秋吉輝雄訳

観念の歴史

存在の連鎖から進化の観念へ――ヨーロッパを彩った思想群の壮大な転換を，「自然」や「ロマン主義」などの観念の基層に降り立って明らかにし，思想史研究に大きな画期をもたらした学際研究の先駆的成果。今なお最も明晰な西洋思想史の古典にして，ラヴジョイ思想史の到達点を示す。

A5 判・332 頁・4,800 円

〔2003〕978-4-8158-0460-2

赤木昭三／赤木富美子著

サロンの思想史

―デカルトから啓蒙思想へ―

女主人が主宰する優雅で洗練された社交の場は，デカルト思想，新科学，啓蒙思想，フェミニズムなど，新しい思想の創出・交流・伝播を担う重要なメディアにして公共的空間でもあった。17・18 世紀の思想を動かしたフランス・サロン文化の役割をあますところなく描きだす。

四六判・360 頁・3,800 円

〔2003〕978-4-8158-0470-1

長尾伸一著

トマス・リード

―実在論・幾何学・ユートピア―

スコットランド啓蒙を代表する思想家であり「常識哲学」を建設したとされるトマス・リード。本書は，哲学者リードと，科学者・社会思想家リードの結びつきを問い，リードの知的体系の総体を明らかにするとともに，その不完全性が内包する現代的意義を抉出した新しい解釈／批判の試み。

A5 判・338 頁・4,800 円

〔2004〕978-4-8158-0478-7

伊勢田哲治著

認識論を社会化する

科学的知識に社会的次元はどのように関わっているのか。――近年急速な発展をみた社会認識論を紹介しつつ，科学社会学と認識論のよりよい関係を構築するために何をすべきか，とりわけ社会学的な理論や知見を認識論や科学哲学にどのように生かすことができるかを考察した気鋭による力作。

A5 判・364 頁・5,500 円

〔2004〕978-4-8158-0489-3

大橋良介著

聞くこととしての歴史

―歴史の感性とその構造―

自己と他者が歴史世界において出会う事実そのものに「聞き入る」こと，すなわち物語以前の歴史経験の構造を，東西の諸思想を介して考察。その深層に，共生の感覚としての悲しみと闥達さを探りあてるとともに，歴史時間と主体のあり方を明るみに出し，歴史哲学に新次元をきりひらく。

A5 判・264 頁・4,500 円

〔2005〕978-4-8158-0515-9

松永俊男著

ダーウィン前夜の進化論争

『種の起源』に先だつ 1844 年，一冊の書物がイギリス社会を揺さぶった。ジャーナリストによるこのベストセラーの何が問題だったのか。論争の丹念な分析を通して，進化論の争点と受容の過程を示すとともに，自然神学を背景に専門領域として確立しつつあった当時の科学のあり方に迫る。

A5 判・292 頁・4,200 円

〔2005〕978-4-8158-0529-6

田中秀夫／山脇直司編

共和主義の思想空間

―シヴィック・ヒューマニズムの可能性―

能動的な市民参加による政治社会はいかにして可能なのか。ポーコックをはじめ近年大きな盛り上がりを見せた共和主義研究を参照点に，英米とヨーロッパにおける近代共和主義の多様な展開を跡づけるとともに，公共哲学としての現代的可能性を探った，わが国初の本格的共同研究。

A5 判・576 頁・9,500 円

〔2006〕978-4-8158-0541-8

西村　稔著

福澤諭吉 国家理性と文明の道徳

A5 判・360 頁・6,000 円

市民的自由主義者から帝国主義者にわたる従来の「政治的」福澤像を清算，状況的方法と文明論的方法を二つながらに駆使して実践的な言葉を紡ぎ出し続けた巨大な知性の全体像を，「国家」「文明」「道徳」を軸に描き，「賢慮の人」としての福澤を定位した力作。福澤の重厚な批評性が甦る。

〔2006〕978-4-8158-0551-7

安藤隆穂著

フランス自由主義の成立

―公共圏の思想史―

A5 判・438 頁・5,700 円

啓蒙の諸理念とフランス革命の政治文化を母体として生まれたフランス自由主義の思想像を，公共圏の樹立を課題とした社会思想として捉え直し，チュルゴからコンドルセ，シエース，コンスタン，スタール，ギゾーへと至る自由主義の軌跡を初めて統一的な視点で描いた労作。**日本学士院賞受賞**

〔2007〕978-4-8158-0557-9

川合清隆著

ルソーとジュネーヴ共和国

―人民主権論の成立―

A5 判・286 頁・5,200 円

ルソーはほんとうに全体主義者なのか？――ジュネーヴに生まれ自由な共和国市民としての思想と感情を吸収したルソーが，祖国における市民階級の政治闘争を背景に，自らの政治思想を結晶させた『社会契約論』。その誕生を歴史的コンテキストの中で捉え，人民主権理論に新たな光をあてる。

〔2007〕978-4-8158-0563-0

J. G. A. ポーコック著　田中秀夫／奥田敬／森岡邦泰訳

マキァヴェリアン・モーメント

―フィレンツェの政治思想と大西洋圏の共和主義の伝統―

A5 判・718 頁・8,000 円

マキァヴェッリによる古典的共和主義思想＝「シヴィック・ヒューマニズム」の復興に注目することで，「共和国の不安定性」を焦点とする思想史上の一大事件を捉え，イタリアから英米へと及び思想世界の風景を一変させた文明史的波動を，広大な射程と圧倒的な迫力をもって描き出した名著。

〔2008〕978-4-8158-0575-3

多賀　茂著

イデアと制度

―ヨーロッパの知について―

A5 判・368 頁・4,800 円

共和国，戦争と平和，都市，田園，教養，批評，看護など，私たちの思考や実践を可能にするしくみは〈イデア〉なしには正しく働かない。ヨーロッパの文化と社会，なかんずくその言葉に含まれる知の核心を歴史の深みから明らかにし，自ら律する力を取り出さんとした知的探究の結晶。

〔2008〕978-4-8158-0589-0

伊勢田哲治著

動物からの倫理学入門

A5 判・370 頁・2,800 円

動物と人間とでは，なにが違うの？　動物倫理という「応用問題」を通して，倫理学全体へとフィードバック。動物実験，肉食，野生動物保護といった切り口から，人間の道徳までも考えてしまう，しなやかでスリリングでまっとうな，倫理学への最良の入門書。

〔2008〕978-4-8158-0599-9

池上俊一監修

原典 イタリア・ルネサンス人文主義

A5 判・932 頁・15,000 円

豊饒なる知の泉へ――。文芸から政治論・教育論・家族論・宇宙論にわたる，ルネサンスの多彩な思想は，ヨーロッパ文化そして近代世界の血肉となって今なお息づいている。古典の探究・教養を通して新たな市民のあり方を模索したイタリア人文主義の精髄を集めた空前の邦訳選集。

〔2010〕978-4-8158-0625-5

チャールズ・テイラー著　下川潔／桜井徹／田中智彦訳

自我の源泉
―近代的アイデンティティの形成―

〈善〉の存在論――。人間という主体についての近代的な理解，すなわち〈近代的アイデンティティ〉の複雑さと豊かさ，偉大さと危うさがいかに形成されてきたかを，隠れた道徳的立場とともに明らかにし，その真価を救出。共同体主義・多文化主義で知られるテイラーの主著，待望の邦訳。

A5 判・696 頁・9,500 円

〔2010〕978-4-8158-0648-4

隠岐さや香著

科学アカデミーと「有用な科学」
―フォントネルの夢からコンドルセのユートピアへ―

国家による最初の本格的な科学研究機関であるパリ王立科学アカデミーが，科学活動の文化的・社会的な基盤を形成する一方，啓蒙のフィロゾーフの参入によって統治のための科学へと踏み込んでいく過程を，本格的に解明。**サントリー学芸賞**，**パピルス賞**，**日本学士院学術奨励賞**，**山崎賞受賞**

A5 判・528 頁・7,400 円

〔2011〕978-4-8158-0661-3

富永茂樹編

啓蒙の運命

啓蒙の終焉か，深化か――。近代とともにあった啓蒙の「終焉」が予告されてすでに久しい。だが，啓蒙はその始まりから問いに付され，審問にかけられる中で展開してきた運動であった。啓蒙の多面性に光をあてると同時に，複数の系譜を浮かび上がらせ，その未来を洞察した白熱の共同論集。

A5 判・608 頁・7,600 円

〔2011〕978-4-8158-0664-4

デイヴィッド・ヒューム著　田中敏弘訳

ヒューム 道徳・政治・文学論集［完訳版］

生前のヒュームが最も苦心して改稿を重ね，政治・経済・社会思想から道徳哲学・批評を含む文明社会の広大な領域を横断的に論述したエッセイ集。多くの読者を獲得し，賢人ヒュームの名声を世に知らしめたもう一つの主著が，本邦初訳を多数含む「完訳版」としてよみがえる。

A5 判・500 頁・8,000 円

〔2011〕978-4-8158-0672-9

瀬口昌久著

老年と正義
―西洋古代思想にみる老年の哲学―

老年論の原点――。老年とはたんに福祉の対象なのか。人生の最終章をむかえ，あらためて正しく生きることを考え，実践すべき時ではないのか。老人は政治にも参与すべきか。西洋古代思想にさかのぼり，見失われた正義という観点から，老年を内面から支える精神的基盤を問い直す注目の書。

四六判・328 頁・3,600 円

〔2011〕978-4-8158-0676-7

田中秀夫著

アメリカ啓蒙の群像
―スコットランド啓蒙の影の下で 1723–1801―

フランクリンからジェファスンにいたる「アメリカ建国の父たち」に焦点を合わせ，大西洋を越えた思想的交流を跡づけることによって，「アメリカ啓蒙」の実像を明らかにする。「スコティッシュ・モーメント」はアメリカにいかなる影響を及ぼしたのか。

A5 判・782 頁・9,500 円

〔2012〕978-4-8158-0685-9

エリオット・ソーバー著　松王政浩訳

科学と証拠
―統計の哲学 入門―

科学理論はどのように根拠づけられるのか。その根幹を支える統計的推論の枠組みを丹念に検討し，ベイズ主義や有意検定，AIC などが抱える本質的課題を浮彫りにする。科学において証拠の果たすべき役割を，哲学者と科学者の双方に向けて明瞭に示した希有な著作。

A5 判・256 頁・4,600 円

〔2012〕978-4-8158-0712-2

吉田　裕著

バタイユ 聖なるものから現在へ

A5 判・520 頁・6,600 円

思想家バタイユの強烈な思考のうねり――「過剰さ」の行方――をその生涯にわたって辿りつつ，政治・宗教・芸術など複数の領域の交点で，またニーチェやヘーゲルとの対峙の極点に，斬新なバタイユ像を描き出す。多様な書物・思考から浮かび上がる全体性を捉えた思想の伝記。

〔2012〕978-4-8158-0713-9

東長　靖著

イスラームとスーフィズム

―神秘主義・聖者信仰・道徳―

A5 判・314 頁・5,600 円

新たな包括的理解の試み――。従来「イスラーム神秘主義」と訳され，知的エリートの深遠な思索がクローズアップされてきたスーフィズム。本書は，聖者信仰・「教団」など民衆的要素や歴史的・地域的展開もふまえ，その多様な姿をイスラームの中核に位置づけた画期的論考である。

〔2013〕978-4-8158-0721-4

田中祐理子著

科学と表象

―「病原菌」の歴史―

A5 判・332 頁・5,400 円

細菌学の成立とともに，その歴史も誕生したが，「では細菌は？」との問いに，いかに答えるのか。4 人の「父」それぞれの認識のみならず，その衝突と対立，いや孤立をすら思考し，そこに浮かび上がる歴史の力を批判的に捉えた斬新な著作。**表象文化論学会賞奨励賞受賞**

〔2013〕978-4-8158-0727-6

伊勢田哲治／戸田山和久／調麻佐志／村上祐子編

科学技術をよく考える

―クリティカルシンキング練習帳―

A5 判・306 頁・2,800 円

遺伝子組換え作物，乳がん検診，地球温暖化，地震予知……現代社会に生きる上で必要不可欠な科学技術に対し，私たちはどう向き合えばよいのか。理系人間にも文系人間にも必須の，自分の頭で考えぬく力を身につける，まったく新しいスタイルの「練習帳」。

〔2013〕978-4-8158-0728-3

坂本達哉著

社会思想の歴史

―マキアヴェリからロールズまで―

A5 判・388 頁・2,700 円

近代と向き合い，格闘し，支えた思想家たちの思考のエッセンスを平易に解説，自由と公共をめぐる思想的遺産を縦横に論じて，現代社会をよりよく考える基盤を指し示す。政治・経済・哲学の枠を超え，近代社会の通奏低音をなす思想の姿を浮かび上がらせた，刺激に満ちた最良の道案内。

〔2014〕978-4-8158-0770-2

長尾伸一著

複数世界の思想史

A5 判・368 頁・5,500 円

人間知性の歴史のなかで，宗教・形而上学から科学まで様々な形をとって展開してきた「世界の複数性」論。天文学的複数性論を軸にその水脈をたどり，宇宙に関する知的考察を方向づけてきたこの世界観＝「巨大仮説」の意義を明らかにする。自己中心性が駆動する「近代」を問い直す力作。

〔2015〕978-4-8158-0796-2

戸田山和久著

科学的実在論を擁護する

A5 判・356 頁・3,600 円

科学的知識は信頼できるのか？　科学技術の負の側面は様々に指摘されるが，科学の営み自身は否定しにくい。ではそれはどう正当化されるのか。科学の核心にわだかまる問題を，諸説を見事に整理しつつ知識のあり方を捉え直すことで解決。新たなスタンディングポイントを示す渾身の書。

〔2015〕978-4-8158-0801-3

中尾　央著

人間進化の科学哲学
―行動・心・文化―

A5 判・250 頁・4,800 円

ダーウィン『種の起原』刊行から 150 年以上が過ぎた。だが，人間の心や文化を進化の枠組みで考えることは，いまだ容易ではない。人間の行動進化をめぐる諸科学のプログラムを横断的に検討することを通して，「人間とは何か」という問いに新たにアプローチ。

〔2015〕978-4-8158-0803-7

レイチェル・クーパー著　伊勢田哲治／村井俊哉監訳

精神医学の科学哲学

A5 判・318 頁・4,600 円

切実な問いにこたえる――。科学哲学の思考を応用して精神医学の世界をつぶさに分析，精神医学批判の様々な疑念に答えつつ，医療現場の実践に即した提言を行う待望の書。精神疾患の実在から，心と脳の関係，臨床試験の妥当性まで，複雑化する問題にいかに向き合うのか。

〔2015〕978-4-8158-0807-5

永岡　崇著

新宗教と総力戦
―教祖以後を生きる―

A5 判・368 頁・5,400 円

教祖亡き後，その存続をかけて自己形成をはかる新宗教。当局の介入や国家主義の高まり，戦時総動員の動きの中で，指導者や信者らは，「遺産」をどう読み替え，信仰実践の地平を拓いたのか。天理教を事例に，人々が生きた新宗教の実像に迫る。**日本宗教学会賞，日本思想史学会奨励賞受賞**

〔2015〕978-4-8158-0815-0

ピーター・ギャリソン著　松浦俊輔訳

アインシュタインの時計 ポアンカレの地図
―鋳造される時間―

A5 判・330 頁・5,400 円

時代の焦点で発火した思考――。相対性理論の核心にある「時計合わせ」のアイデアが，世界標準時論争や規約主義の展開，電気時計や海底ケーブルなど，時代の政治・哲学・技術の焦点に位置していたことを明らかにし，「孤高の天才」とはほど遠い二人の立役者の活躍を浮彫りにする傑作。

〔2015〕978-4-8158-0819-8

ケンダル・ウォルトン著　田村均訳

フィクションとは何か
―ごっこ遊びと芸術―

A5 判・514 頁・6,400 円

ホラー映画を観れば恐怖を覚え，小説を読めば主人公に共感する――しかし，そもそも私たちはなぜ虚構にすぎないものに感情を動かされるのか。芸術作品から日常生活まで，虚構世界が私たちを魅了し，想像や行動を促す原理を包括的に解明するフィクション論の金字塔。

〔2016〕978-4-8158-0837-2

S. シェイピン／S. シャッファー著　吉本秀之監訳　柴田和宏／坂本邦暢訳

リヴァイアサンと空気ポンプ
―ホッブズ，ボイル，実験的生活―

A5 判・454 頁・5,800 円

実験で得られた知識は，信頼できるのか。空気ポンプで真空実験を繰り返したボイルと，実験という営みに疑いをもったホッブズ。二人の論争を手がかりに，内戦から王政復古期にかけての政治的・社会的文脈の中で，実験科学の形成を捉え直した名著，待望の邦訳。

〔2016〕978-4-8158-0839-6

D. ルイス著　出口康夫監訳　佐金武／小山虎／海田大輔／山口尚訳

世界の複数性について

A5 判・352 頁・5,800 円

われわれの住むこの世界とは異なる，可能世界は実在するのか？　この上なく大胆な枠組みを，明晰かつ説得力ある語り口で展開。可能性や必然性などを新たな形でとらえ直すことで，世界のあり方をかつてない仕方で問いかけ，知的転回をもたらした衝撃作，待望の邦訳。

〔2016〕978-4-8158-0846-4

久木田水生／神崎宣次／佐々木拓著

ロボットからの倫理学入門

A5 判・200 頁・2,200 円

自動運転車やケア・ロボット，自律型兵器などが引き起こしうる，もはや SF では済まされない倫理的問題を通し，人間の道徳を考える，知的興奮に満ちた入門書。「本書には，ロボットや AI という新しい隣人たちとつきあう上で参考となる倫理学の知恵がつまっている」――伊勢田哲治。

〔2017〕978-4-8158-0868-6

マイケル・ワイスバーグ著　松王政浩訳

科学とモデル

―シミュレーションの哲学 入門―

A5 判・324 頁・4,500 円

モデルとは何か？　なぜ世界を捉えたと言えるのか？　さまざまなモデルが果たす役割を分野横断的に分析し，その核心を哲学者と科学者の双方に向けて明解に提示。「モデル概念を軸に科学哲学を書き換える。よりスリリングでリアルな科学哲学の始まり始まり！」――戸田山和久。

〔2017〕978-4-8158-0872-3

L. A. ポール著　奥田太郎／薄井尚樹訳

今夜ヴァンパイアになる前に

―分析的実存哲学入門―

A5 判・236 頁・3,800 円

進学，就職，転職，結婚，出産など，人生の岐路で大きな決断を迫られたとき，人は合理的に選択することができるのか。何かを選ぶことで，今とはまったく違う自分に変わってしまうかもしれないというのに――。誰もが悩む「変容の経験」，その実存的な問いを分析哲学の視点から考える。

〔2017〕978-4-8158-0873-0

池上俊一監修

原典 ルネサンス自然学［上］

菊判・650 頁・9,200 円

万物をめぐる知の総体を集成――。身体から宇宙まで，料理から農事まで，魔術から機械まで，実験から教育まで，驚異から地理まで，計算から原子まで……，本邦初訳テキストと貴重図版により「科学的人文主義」の精華をつたえる待望のアンソロジー上巻。**日本翻訳出版文化賞受賞**

〔2017〕978-4-8158-0880-8

池上俊一監修

原典 ルネサンス自然学［下］

菊判・654 頁・9,200 円

異質な時空の交差する全 2 巻――。身体から宇宙まで，料理から農事まで，魔術から機械まで，実験から教育まで，驚異から地理まで，計算から原子まで……，本邦初訳テキストと貴重図版により「科学的人文主義」の精華をつたえる待望のアンソロジー下巻。**日本翻訳出版文化賞受賞**

〔2017〕978-4-8158-0881-5

神塚淑子著

道教経典の形成と仏教

A5 判・596 頁・9,800 円

大宗教への飛躍と確立――。仏教伝来のインパクトを受け体系化する道教。中国固有の思想との相克のなか，融合はいかになされたのか。霊宝経や天尊像から坐忘論まで，生み出された経典･儀礼･聖像等を通して，六朝隋唐時代におけるダイナミックな展開を描き出す労作。

〔2017〕978-4-8158-0885-3

スコット・ジェイムズ著　児玉聡訳

進化倫理学入門

A5 判・336 頁・4,500 円

長い進化の過程で，人間はなぜ，どのように道徳感覚を手に入れたのか。進化で道徳を説明できるのなら，そもそも道徳理論など不要ではないのか。心理学や神経科学の最新の知見を交えてなされる活発な議論を一望。道徳とは，人間の本性とは何かを問うすべての人に向けた最良の入門書。

〔2018〕978-4-8158-0896-9

有賀暢迪著

力学の誕生

―オイラーと「力」概念の革新―

A5 判・356 頁・6,300 円

ニュートン以後，自然哲学との決別を通して力学は生まれ直した。惑星の運動から球の衝突まで，汎用性をもつ新たな学知が立ち上がる「静かな革命」を丹念に追跡。オイラーの果たした画期的役割を，ライプニッツやベルヌーイ，ダランベールやラグランジュらとの関係の中で浮彫りにする。

〔2018〕978-4-8158-0920-1

W. ウォラック／C. アレン著　岡本慎平／久木田水生訳

ロボットに倫理を教える

―モラル・マシーン―

A5 判・388 頁・4,500 円

AI やロボットは，果たして道徳的になれるのか。間近に迫る倫理的な機械の必要性を，哲学的背景も含めて明確に提示。実現に向けた種々の工学的アプローチを概観し，困難ではあるが避けがたい取り組みのこれからを展望する。エンジニアと哲学者を架橋する待望の書。

〔2018〕978-4-8158-0927-0

田村　均著

自己犠牲とは何か

―哲学的考察―

A5 判・624 頁・6,300 円

日常の「自分を殺す」行いから極限状況まで，広く見られる自己犠牲――。なぜそれは可能で，どのようにして生み出されるのか。日本人戦犯裁判の事例を糸口に，西洋近代哲学では問えなかった問いを，人類学や心理学の知見をも参照しつつ根底から考察し，私たち自身の現実を哲学的に解明。

〔2018〕978-4-8158-0928-7

戸田山和久／唐沢かおり編

〈概念工学〉宣言！

―哲学×心理学による知のエンジニアリング―

A5 判・292 頁・3,600 円

概念は，人類の幸福に深くかかわる人工物であり，概念工学とは，有用な概念を創造・改定する新たなフレームワークである。本書はその基礎的な理論を提示するとともに，「心」「自由意志」「自己」などを例に実践的な議論を展開し，豊饒な学の誕生を告知する。

〔2019〕978-4-8158-0941-6

ルース・アビィ著　梅川佳子訳

チャールズ・テイラーの思想

A5 判・332 頁・4,500 円

多文化社会から宗教，AI まで，「哲学的人間学」の全景――。多様性と統合への渇望とのあいだで思考し，「承認の政治」やコミュニタリアニズムなど現代の思想を牽引してきた哲学者テイラー。自己論や道徳論から政治哲学まで，その巨大な思想を体系的に理解するために最善の入門書。

〔2019〕978-4-8158-0947-8

西村　稔著

丸山眞男の教養思想

―学問と政治のはざまで―

A5 判・566 頁・6,800 円

「知」が問い直される時代に――。教養と学問が関係することは，実は自明ではない。教養とは何か。また学問と思想はどのように関わるのか。知識人として，学者として，丸山が発し続けた問いと思考の展開を，遺された言葉の総体から精緻に読み解き，「丸山論」をこえて現代日本に提示。

〔2019〕978-4-8158-0953-9

竹本　洋著

スミスの倫理

―『道徳感情論』を読む―

A5 判・262 頁・5,400 円

スミス倫理学の真の射程とは。近代における倫理のメカニズムと意義を明瞭に説き，政治・経済・社会のよき運用を支える心理学的な人間学を打ち立てた，もう一つの主著から描き出す。『国富論』とは違った現代への示唆と，経済学に止まらない社会科学的知への豊かな洞察を浮かび上がらせる。

〔2020〕978-4-8158-0990-4

チャールズ・テイラー著　千葉眞監訳　木部尚志／山岡龍一／遠藤知子訳

世俗の時代［上］

A5 判・548 頁・8,000 円

近現代の特徴の一つとされる「世俗化」。しかし，人々は様々なかたちで信仰や霊性とともに生きている。では，西洋において神信仰はいかにして力を失い，個人の選択肢の一つとなったのか。壮大な歴史的展望のもとに宗教・思想・哲学の曲折に満ちた展開を描き出す。**日本翻訳出版文化賞受賞**

〔2020〕978-4-8158-0988-1

チャールズ・テイラー著　千葉眞監訳　石川涼子／梅川佳子／高田宏史／坪光生雄訳

世俗の時代［下］

A5 判・502 頁・8,000 円

ノヴァ・エフェクト後の哲学――。現代人の精神的苦境の根本にあるものとは何か。「生きる意味」や「自分らしさ」の探求，スピリチュアルなものの流行は，世俗化といかに関係するのか。壮大な歴史的展望のもとに宗教・思想・哲学の曲折に満ちた展開を描き出す。**日本翻訳出版文化賞受賞**

〔2020〕978-4-8158-0989-8

ダニエル・C. デネット著　戸田山和久訳

自由の余地

A5 判・342 頁・4,500 円

われわれは完全に自由なのか？　それとも自由とは幻想にすぎないのか？　進化論から認知科学，ギリシア哲学から実存主義まで，縦横無尽に取り込み，コントロール，自己，責任などの概念を再吟味。望むに値する自由意志を，明晰な論理で描き出す，デネット哲学の原点にしてエッセンス。

〔2020〕978-4-8158-0996-6

大塚　淳著

統計学を哲学する

A5 判・248 頁・3,200 円

統計学は実験や臨床試験，社会調査だけでなく，ビッグデータ分析や AI 開発でも不可欠である。ではなぜ統計は科学的な根拠になるのか？　帰納推論や因果推論の背後に存在する枠組みを浮き彫りにし，科学的認識論としてデータサイエンスを捉え直す。科学と哲学を架橋する待望の書。

〔2020〕978-4-8158-1003-0

永岡　崇著

宗教文化は誰のものか
―大本弾圧事件と戦後日本―

A5 判・352 頁・5,400 円

信仰の“内か外か”を越えて――。最大の宗教弾圧事件の記憶は戦後，いかに読み直され，何を生み出してきたのか。教団による平和運動を導くとともに，アカデミアにおける「民衆宗教」像の核ともなった「邪宗門」言説の現代史から，多様な主体が交差する新たな宗教文化の捉え方を提示。

〔2020〕978-4-8158-1005-4

東　慎一郎著

ルネサンスの数学思想

A5 判・408 頁・6,300 円

科学革命の前夜，数学はどのように捉えられていたのか。数学の対象や認識・論証の特質，学問全体における位置づけ，教育的意義などをめぐって，当時の思想家たちのテキストを精緻に読み解き，見失われて久しい知の相互連関を問い直す，白眉の学問論。**日本科学史学会学術賞受賞**

〔2020〕978-4-8158-1010-8

岡本拓司著

近代日本の科学論
―明治維新から敗戦まで―

A5 判・552 頁・6,300 円

科学の営みや社会との関係をめぐる言説は，維新から対米戦までの歴史の流れに呼応し，劇的に変転した。本書は，文明開化，教養主義の時代を経て，科学を標榜し革命を起こしたマルクス主義の衝撃と，それを契機に誕生した日本主義的科学論をふくむ多様な議論の展開を，初めて一望する。

〔2021〕978-4-8158-1019-1

吉澤　剛著

不定性からみた科学

—開かれた研究・組織・社会のために—

A5 判・326 頁・4,500 円

科学には「モヤモヤ」がつきまとう，されど——。不確実性・偶然性・規範性などさまざまな形をとり，研究から組織・評価・大学・社会・未来まであらゆる次元に現れる不定性。これら避けがたいものと向きあい，科学のリアルを捉え直すことで，知と未知への態度を鍛える 21 世紀の学問論。

〔2021〕978-4-8158-1025-2

ロレイン・ダストン／ピーター・ギャリソン著
瀬戸口明久／岡澤康浩／坂本邦暢／有賀暢迪訳

客観性

A5 判・448 頁・6,300 円

客観性とは何か。科学はいかにして「客観的なもの」と向き合うようになったのか——。近世の博物学や解剖学から，写真の衝撃を経て，現代のナノテクノロジーまで，科学者の実践や「認識的徳」の展開をたどり，客観性の歴史を壮大なスケールで描き出した名著，待望の邦訳。

〔2021〕978-4-8158-1033-7

J・G・A・ポーコック著　田中秀夫訳

野蛮と宗教 I

—エドワード・ギボンの啓蒙—

A5 判・340 頁・5,400 円

ヨーロッパの文明につきまとう「野蛮と宗教」という主題。それを壮大な世界史の中で描き上げた歴史家ギボンの生涯を軸に，多様な啓蒙思想との出会いから，『百科全書』との対決，ローマ帝国史の着想までを辿る。『マキァヴェリアン・モーメント』の著者によるもう一つの主著，遂に邦訳。

〔2021〕978-4-8158-1041-2

J・G・A・ポーコック著　田中秀夫訳

野蛮と宗教 II

—市民的統治の物語—

A5 判・424 頁・6,800 円

西洋史の大きな物語——古典古代の崩壊にともなう「野蛮と宗教」の時代から，洗練された習俗・商業・主権国家に基づく「ヨーロッパ」へ——はいかにして形成されたのか。聖史を脱して博学と哲学を統合する多様な「啓蒙の語り」を読み解き，ギボンの知的文脈と独自性に迫るライフワーク。

〔2022〕978-4-8158-1096-2

多賀　茂著

概念と生

—ドゥルーズからアガンベンまで—

四六判・266 頁・3,000 円

世界が違って見える——。概念は，思想家の身体を通して，ある時，ある場所で生まれ，受け手の身体を通して生を変えるだろう。ドゥルーズ，フーコー，ラカン，バルト，ガタリ，アガンベンらの，真に驚くべき概念とつきあい，各々の声や文体とともに，思想の核心を読みひらいた透徹の書。

〔2022〕978-4-8158-1058-0

呉羽真／伊勢田哲治編

宇宙開発をみんなで議論しよう

A5 判・256 頁・2,700 円

有人宇宙探査の新たな計画，商業化，軍事化，新興国の台頭……近年，宇宙開発は大きく転換しつつある。市民がそこに関わる必要性をわかりやすく説き，そのための基礎知識や科学技術コミュニケーションの手法，議論のスキルを提供する初めての本。

〔2022〕978-4-8158-1091-7

アダム・タカハシ著

哲学者たちの天球

—スコラ自然哲学の形成と展開—

A5 判・318 頁・5,800 円

宇宙の原理をめぐるハイブリッドな知の生成——。アラビア哲学を介して発展したアリストテレス的宇宙論は，キリスト教世界でどのように受け止められたのか。言語と文明圏をまたいだ自然哲学の展開を，つぶさに解明した気鋭の力作。**web ゲンロン「人文的大賞 2022」（著作部門）受賞**

〔2022〕978-4-8158-1100-6

田中秀夫／坂本達哉シリーズ監修
篠原久／只腰親和／野原慎司訳

イギリス思想家書簡集 アダム・スミス

A5 判・502 頁・6,300 円

親密圏と公共圏のあいだで，知的コミュニケーションの場として決定的位置をしめた手紙。知られざる論点，新たなアイディアが書物とは異なるかたちで表明され，人々を動かしていく。『国富論』など主著には現れない見解からヒュームとの交友まで，精彩に富むスミス書簡の初の全訳。

〔2022〕978-4-8158-1107-5

スラーヴァ・ゲローヴィチ著　大黒岳彦訳　金山浩司校閲・解説

ニュースピークからサイバースピークへ

―ソ連における科学・政治・言語―

A5 判・358 頁・6,300 円

統制的国家において，科学はいかにふるまうのか。空疎なイデオロギー話法を乗り越える普遍言語として期待されたサイバネティックス。この「自由の道具」が，生物学・生理学・言語学などソ連科学界を席捲した末に，社会の科学的管理をめざして体制化していく道程をヴィヴィッドに描く。

〔2023〕978-4-8158-1115-0

王寺賢太著

消え去る立法者

―フランス啓蒙における政治と歴史―

A5 判・358 頁・6,300 円

かつてこんなふうに読まれたことがあっただろうか――。モンテスキューとルソー，そしてディドロへ。彼らが格闘し，解き明かし，残した問題とは何か。新たな共同体の創設という課題に直面して法の根拠を問い直す重層的なテクストを読み抜き，「啓蒙」をクリシェから解き放った力作。

〔2023〕978-4-8158-1120-4

文学・文化

川崎寿彦著

庭のイングランド

—風景の記号学と英国近代史—

A5 判・386 頁・4,500 円

〈庭〉の歴史的変遷は，感性の歴史と深くつながっている。かつて〈庭〉が伝え得た詩的･文明的･政治的メッセージは，近代市民社会の成立とともに大きく変貌していった。本書は，17，18 世紀の英国文学に描かれた庭園の暗喩機能の変遷をたどり，近世ヨーロッパの感性を剔抉する。

〔1983〕978-4-8158-0330-8

名古屋大学国語国文学会編

国語国文学論集

〔品切〕A5 判・730 頁・15,000 円

本書は，昭和 31 年以来 27 年の長きにわたり名古屋大学で国語国文学を講じ，数々の業績を残した後藤重郎教授の停年退官記念論集。名古屋大学国語国文学会員 50 名によって，万葉集から現代国語に至るまでの国語国文学上の様々な問題が様々な角度から論じられている。

〔1984〕978-4-930689-14-6

加藤さだ著

英文学植物考

〔品切〕A5 判・470 頁・5,800 円

本書は，わずか 84 行の詩の中に 83 種類もの植物を歌い込んだ桂冠詩人 R. ブリッジズの「仇し花」に始まり，W. ブラウン，F. ベーコン，シェイクスピア，ミルトン，キーツなどイギリスの詩や小説にとりあげられた様々な植物を詩情豊かに考察する。植物図版 160 点を収録。

〔1985〕978-4-930689-31-3

Marie-Agnès Morita-Clément 著　　南山大学学術叢書

L'Image de l'Allemagne dans le roman français de 1945 à nos jours

菊判・350 頁・4,000 円

本書『1945 年以降のフランス小説におけるドイツ像』は，第二次大戦以降に書かれたフランスの純文学小説 200 編以上の中から，ドイツに関する記述を選び，フランス小説に描かれたドイツ像を比較・考察する。**アカデミー・フランセーズ文学賞受賞**

〔1985〕978-4-930689-29-0

David R. Mayer 著　　南山大学学術叢書

The American Neighborhood Novel

菊判変型・180 頁・3,000 円

アメリカ文学は，作家の人種的・宗教的出身の多様さを反映して多彩で力強い。本書は，このように豊饒なアメリカ文学を Neighborhood Novel という視角から考察した異色の文学論。歴史的，宗教的，社会的に様々な角度からの考察によって，アメリカとはアメリカ人とは何かに迫る。

〔1986〕978-4-930689-43-6

松村博司／進藤義治／田島毓堂共編

栄花物語語句索引

—付属語篇並に語構成別綴字逆配列語彙—

A5 判・540 頁・10,000 円

第一部付属語篇は，松村博司著『栄花物語全注釈』（角川版）の姉妹篇として助詞・助動詞・補助動詞を収める。第二部構成別綴字逆配列語彙は，自立語篇の見出語中に含まれる語構成要素からの検索のためと，漢字一字索引の用途をもつものとして作成。国文学研究者必携の書。

〔1986〕978-4-930689-51-1

荻野昌利著　　南山大学学術叢書

暗黒への旅立ち
―西洋近代自我とその図像 1750～1920―

〔品切〕A5 判・502 頁・5,200 円

近代ヨーロッパに成立した自我意識が辿った変容と解体のドラマを，ヨーロッパの文学と絵画を通じて追究する。万能の理性に抑圧された感性と無意識の世界は，文学と絵画にどのように表現されたのか？　図像学を駆使して書かれたユニークなロマン主義文学論。

〔1987〕978-4-930689-64-1

高木文雄著

漱石漢詩研究資料集
―用字用語索引・訓讀校合―

A5 判・260 頁・7,000 円

漱石は，青年時代から晩年まで全生涯に 208 首の漢詩を作っている。本書はこの 208 首の全漢詩より用語用字の頻度を調べ，漱石に関する既刊文献の訓讀を校合する。漱石理解の鍵ともいわれる漢詩解明のための資料集成であり，漱石研究に新しい光を投ずる。漱石研究者必携の労作。

〔1987〕978-4-930689-53-5

高橋　亨著

物語文芸の表現史

A5 判・380 頁・3,500 円

物語文芸の表現はどのように生成・変換してきたのか。『竹取物語』から『宇津保物語』を経て『源氏物語』に至る平安朝の物語文学の生成を，『万葉集』や『古今集』の歌ことば，口承・歌謡文芸や芸能等，より広い物語状況との響きあいの中からあぶり出す。気鋭による斬新な物語論。

〔1987〕978-4-930689-74-0

訳者代表 國本哲男／山口巖／中條直樹

ロシア原初年代記

A5 判・640 頁・10,000 円

ノアの洪水からキエフ公国の成立まで，最も輝けるロシア世界を神話や聖者伝，フォークロア等を集成して描いたロシア最大の古典の完全訳。わが国の古事記にも比すべき叙事文学の傑作にして一級の歴史文献である。多数の挿絵と詳細な訳注。**日本翻訳出版文化賞受賞**

〔1987〕978-4-8158-1080-1

川崎寿彦編

イギリス・ロマン主義に向けて
―思想・文学・言語―

〔品切〕A5 判・504 頁・5,000 円

〈イギリス・ロマン主義〉は西欧近代文芸思潮の一大源泉である。本書は，わが国のコールリッジ研究の泰斗として，このロマン主義思潮の解明に専念した加藤龍太郎氏縁故の研究者が，ロマン主義に向けて流れ入るヨーロッパ文芸思潮にとりくんだロマン主義研究の最前線報告。

〔1988〕978-4-8158-0100-7

田中秀央著

ラテン文學史［覆刻］

〔品切〕A5 判・368 頁・5,000 円

本書は，40 年以上前に書かれたものであるが，(1) 記述が明快でリーダブルであり，(2) 狭い意味の文学のみならず，歴史，法律，哲学と広い分野をバランスよく取り扱っている点で，ヨーロッパ文学を志す人々にとって今なお通史としての役割を十分に果たすだろう。

〔1989〕978-4-8158-0114-4

ウィリアム・ブレイク著　梅津濟美訳

ブレイク全著作

菊判・1512 頁・24,000 円

詩人・思想家・画家としてその評価のいや増す近代イギリスの生み出した巨人ウィリアム・ブレイク。本書はその全作品の世界に先駆ける訳者畢生の個人訳。カラー図版多数を収録してこの宇宙的感覚の表現者の全貌を明らかにする。**日本翻訳文化賞受賞**

〔1989〕978-4-8158-0113-7

川崎寿彦／木谷勤編

生と死の文化史
—危機の生・豊饒の生—

〔品切〕四六判・206 頁・1,800 円

分断されてトータルなイメージを失った生と死の問題に，英文学（川崎寿彦）・インド哲学（立川武蔵）・考古学（渡辺誠）・日本文学（山下宏明）・西洋哲学（山田弘明）・西洋史学（木谷勤）の六つの角度から光をあてて，ライフ・サイクルの豊かな像を回復する。

〔1989〕978-4-8158-0118-2

エドワード・ベリー著　岩崎宗治／山田耕士／滝川睦訳

シェイクスピアの人類学
—喜劇と通過儀礼—

〔品切〕A5 判・320 頁・3,800 円

Edward Beryy, *Shakespeare's Comic Rites*, 1984 の全訳。エリザベス朝の社会慣習と未開社会の通過儀礼を見通す歴史人類学的コンテキストからシェイクスピアのロマンティック・コメディーを解読。イギリス・ルネサンス期における思春期の姿が生き生きと蘇える。

〔1989〕978-4-8158-0119-9

藤井淑禎著

不如歸の時代
—水底の漱石と青年たち—

四六判・290 頁・2,800 円

戦争と結核と失恋による喪失感という外と内の暴風雨に挟撃されて恐怖と不安の中から美しい幻夢の世界を紡ぎ出していった明治 30 年代青年層の精神風景を，初期漱石，寅彦，三重吉，折蘆等の作品の丹念周到な解読を通じて，あざやかに浮かび上がらせる力作評論。

〔1990〕978-4-8158-0133-5

川崎寿彦著

英詩再入門

〔品切〕四六判・256 頁・2,500 円

イエイツ，パウンド，T. S. エリオットなど 20 世紀英米詩の稜線を形づくった詩人の作品より各一篇を選び出し，プロットの流れ・韻律形式の分析からイメジの解読を通じて，難解と言われる現代詩の面白さを再認識させる実践的講義。他に「英詩のイメジ空間」，「英詩の深層構造」。

〔1990〕978-4-8158-0148-9

川崎寿彦著

薔薇をして語らしめよ
—空間表象の文学—

A5 判・358 頁・5,500 円

〈薔薇〉と〈カントリー・ハウス〉を主題に，文学における空間イメジの暗喩機能＝トポスの変遷をたどり，ヨーロッパ文学史の転変を抉出した諸篇をはじめ，イギリス 17 世紀の形而上詩人から芭蕉，漱石，川端まで，東西の文学を明敏な批評意識をもって論じた希有な英文学者の遺稿集成。

〔1991〕978-4-8158-0161-8

フランツ・グリルパルツァ著　佐藤自郎訳

グリルパルツァ自伝
—付／一八四八年・革命の思い出—

〔品切〕四六判・308 頁・2,800 円

近代オーストリア最大の劇作家グリルパルツァ。自らを語ることの少なかった彼の遺稿中より発見された本自伝は，古典主義演劇，ウィーン民衆劇等さまざまな要素を融合し，独自の戯曲様式を創出した彼の人と作品を伝えるのみならず，19 世紀ウィーン精神の一面をも彷彿とさせるであろう。

〔1991〕978-4-8158-0169-4

フランチェスコ・ペトラルカ著　池田廉訳　古典翻訳叢書

ペトラルカ　カンツォニエーレ
—俗事詩片—

A5 判・818 頁・12,000 円

本書は，ヨーロッパの詩的伝統に屹立し，その感情の様式を決定した屈指の古典の，わが国で初めての全訳であり，訳者苦心の訳文と語釈・影響関係等にわたる詳細な訳注によって，その言葉の奥行きと世界的な広がりとを余すところなく伝える読書界待望の労作である。**日本翻訳文化賞受賞**

〔1992〕978-4-8158-1081-8

鈴木勝忠著　　日本生命財団出版助成図書

近世俳諧史の基層
—蕉風周辺と雑俳—

A5 判・618 頁・12,000 円

蕉風中心の俳諧史観を以て事足れりとせず，頂点を支えた底辺をも掘り起こし，重層的な俳諧史の全体像に迫った画期的労作。従来殆ど顧みられなかった雑俳をはじめ，江戸座から美濃派等の地方俳諧，さらには俳諧伝書類等をも再評価，俳諧史上に正当に位置づける。**文部大臣奨励賞受賞**

〔1992〕978-4-8158-0193-9

佐藤深雪著

綾足と秋成と
—十八世紀国学への批判—

四六判・302 頁・3,200 円

真淵門下の異才の国学者，建部綾足と上田秋成の小説作品——『本朝水滸伝』および『春雨物語』——を，宣長との対抗関係において読みとき，『伊勢』『源氏』から日本浪曼派・折口信夫にいたる射程のなかで，18 世紀における言語革新の契機をさぐった野心作。

〔1993〕978-4-8158-0200-4

山下宏明著

平家物語の成立

A5 判・366 頁・6,500 円

『平家物語』研究の第一人者が，最近の本文批判の研究成果を踏まえながら，新たに表現論的観点を導入し，テクストの古態と変遷を，それぞれの成立圏をも射程に入れて考察。多様なテクストの素性と表現の中から立ち現れる，動態としての物語の成り立ちを明らかにする。

〔1993〕978-4-8158-0205-9

森田勝昭著

鯨と捕鯨の文化史

A5 判・466 頁・3,600 円

鯨は人間にとって重要な生活財であると同時に，その巨体はいつの時代にも人の心を魅了し，意味の産出を促す「文化的」存在でもあった。本書は，捕鯨活動 400 年の歴史を通じて，東西の捕鯨文化を浮彫りにするとともに，自然と人間の関係を鋭く問い直した力作である。**毎日出版文化賞受賞**

〔1994〕978-4-8158-1102-0

佐々木英昭著

「新しい女」の到来
—平塚らいてうと漱石—

四六判・378 頁・2,900 円

死と神秘の世界を透視した“過剰”なる女の生に分け入り，そのフェミニズムの核心に触れるとともに，奇妙な心中未遂事件——煤煙事件——を通して，このらいてうと接近遭遇した漱石の，“解釈小説”『こゝろ』に到る女性像と小説作法の変転を解読する。**日本比較文学会賞受賞**

〔1994〕978-4-8158-0243-1

福田眞人著

結核の文化史
—近代日本における病のイメージ—

四六判・440 頁・4,500 円

明治維新以降 1 千万人以上の犠牲者を出すという苛酷な現実の一方で，『不如歸』に代表される小説等に描かれ，「上流」「天才」「美人」といった甘美なイメージを喚起した結核という独特な病の，近代日本における文化的位相を，史資料の博捜によって描き出した力作。**毎日出版文化賞受賞**

〔1995〕978-4-8158-0246-2

ピーター　B. ハーイ著

帝国の銀幕
—十五年戦争と日本映画—

A5 判・524 頁・4,800 円

戦時下，人々は映画に何を見たのか？　全体主義統制下の映画産業と創造性のあり方を凝視するとともに，「文化」映画，「ヒューマニズム」戦争映画，精神主義映画等，戦争プロパガンダ映画の発展を通して「大日本帝国」の戦争と社会を鮮やかに描く。**アメリカ映画・メディア学会賞受賞**

〔1995〕978-4-8158-0263-9

佐々木英昭編

異文化への視線

—新しい比較文学のために—

A5 判・296 頁・2,600 円

日本人は神秘的？　それとも猿？　人が〈他者〉に注ぐ視線はどのように形成されたのか。その歴史性に潜むオリエンタリズム—西洋（男性）中心主義と現代のポストコロニアル的状況を最新の知で脱構築し，人種・国境・ジェンダーに囚われない真の国際人のための文学・文化論を提示。

〔1996〕978-4-8158-0282-0

吉田　城著

神経症者のいる文学

—バルザックからプルーストまで—

四六判・358 頁・3,500 円

神経症をめぐって次々に生み出される作品。何が追求されているのか。神経症はどのように捉えられてきたのか。フランス近代文学の骨格を形作った神経症の文学を，当時の医学的言説を参照点に丹念に読み解き，時代において，また作家の想像力にとって神経症が持った意味を明らかにする。

〔1996〕978-4-8158-0294-3

稲賀繁美著

絵画の黄昏

—エドゥアール・マネ没後の闘争—

A5 判・474 頁・4,800 円

これまで近代絵画史の分水嶺と見なされてきたエドゥアール・マネをめぐるスキャンダルの再検討を通じて，絵画と批評，美学と政治学が交錯する地点で「近代藝術」の成り立ちそのものを問い直す。**サントリー学芸賞，渋沢・クローデル賞 LVJ 特別賞，倫雅美術奨励賞受賞**

〔1997〕978-4-8158-0300-1

湯浅信之訳

ジョン・ダン全詩集

A5 判・734 頁・9,500 円

彼は「思想を感覚的に把握する」ことができたというT. S. エリオットの再評価以来，ダンの名はイギリス文学の中に揺るぎない位置を占めている。本書は,「魂の修辞」を駆使したこの「形而上詩人」の全詩業を，機敏な日本語で現代に甦らせた訳者多年の労作である。**日本翻訳文化賞受賞**

〔1996〕978-4-8158-0302-5

牛島信明著

スペイン古典文学史

A5 判・430 頁・4,500 円

セルバンテスを擁する黄金世紀を中心に，今なお読者を挑発しつづけるスペイン文学の精華を，第一人者が過不足なく論じたリーダブルな文学史。征服記や神秘主義文学もカバーする他，比較史的観点をも取り込み，また三宗教が共存する特異な中世をもったスペイン社会からの史的把握を行う。

〔1997〕978-4-8158-0306-3

坪井秀人著

声の祝祭

—日本近代詩と戦争—

A5 判・432 頁・7,600 円

日本の近代詩を〈声〉と〈書くこと〉の相克の歴史として捉え直し，戦争詩の示す表現の必然性を，朗読やラジオ放送に関わる豊富な新資料とともに明らかにした画期的労作。CD「戦争詩朗読放送の記録」を付録として収める。**日本比較文学会創立 50 周年記念大賞受賞**

〔1997〕978-4-8158-0328-5

飯田祐子著

彼らの物語

—日本近代文学とジェンダー—

四六判・328 頁・3,200 円

文学はどのようにして「男の仕事」となったのか。近代文学が自立してゆく過程は，文学という領域がジェンダー化してゆくプロセスでもあった。本書は，ホモソーシャルな読者共同体の成立にいたるこの転換を鮮やかに描き出すとともに，そこにおける漱石テクストの振る舞いを精緻に分析。

〔1998〕978-4-8158-0342-1

阿部泰郎著

湯屋の皇后

―中世の性と聖なるもの―

四六判・404 頁・3,800 円

湯施行する皇后の姿が意味するものは何か。女人禁制と推参する女，あるいは慈童説話の本質とは。性による疎隔や媒介の亀裂に垣間見られる〈聖なるもの〉を求めて，生成変化する中世の物語・説話，縁起・伝承，図像・芸能の奥深い森に分け入り，その深層の構造を明らかにする。

〔1998〕978-4-8158-0346-9

稲賀繁美著

絵画の東方

―オリエンタリズムからジャポニスムへ―

A5 判・484 頁・4,800 円

西欧近代美術の外部に排除された広大な領域と，内部に取り込まれた諸要素との臨界を検証し，透過と拒絶のメカニズム，および諸要素の意味と運命を，ドラクロワからゴッホ，ゴーギャン，マティスへ，卓抜な読みと縦横な論理をもって描き出した労作。**和辻哲郎文化賞受賞**

〔1999〕978-4-8158-0365-0

S. オーゲル著　岩崎宗治／橋本惠訳

性を装う

―シェイクスピア・異性装・ジェンダー―

〔品切〕A5 判・246 頁・3,600 円

異性装の少年俳優，男のような女たち，衣装のフェティシズム――近代初期英国の演劇と社会におけるジェンダー構築と主体形成の揺らぎを，当時の劇作品のみならず，医学書，パンフレット，法廷記録，肖像画などの資料を駆使して，性のパフォーマンスの視点から縦横に論じた前衛的研究。

〔1999〕978-4-8158-0367-4

伊東史朗著　　日本生命財団出版助成図書

平安時代彫刻史の研究

A4 判・328 頁・12,000 円

本書は，仏教思想や美意識の変遷とともに唐風から和様へと展開していく平安時代の彫刻を，多様な立場と個性を持った仏師・流派や成立背景にも踏み込みながら，個々の仏像に即して丹念かつ具体的に考察，近年発見の新資料も数多く取り入れ，その多面的な広がりを明らかにする。

〔2000〕978-4-8158-0379-7

稲賀繁美編

異文化理解の倫理にむけて

A5 判・354 頁・2,900 円

本書は，文化摩擦をなくすためのノウハウを提供するのではなく，むしろ摩擦にこそ価値を見出し，異なる価値観のせめぎ合う臨界を見定め思考していく知性を養うために，その触媒となる経験を気鋭の研究者らが自らの専門研究と交差させつつ提示，読者を問題発見・探究へと誘う。

〔2000〕978-4-8158-0381-0

谷田博幸著

極北の迷宮

―北極探検とヴィクトリア朝文化―

四六判・368 頁・3,800 円

19 世紀，近代的な装備の下，英国は北極探検をリードした。本書は，従来極地を舞台とした栄光と挫折の物語として探検史の文脈でしか語られることのなかった或る失踪事件を，新たに社会的想像力の問題として捉え直すことによって，ヴィクトリア朝の文化と文明意識を鮮やかに描き出す。

〔2000〕978-4-8158-0395-7

イヴ・K. セジウィック著　上原早苗／亀澤美由紀訳

男同士の絆

―イギリス文学とホモソーシャルな欲望―

A5 判・394 頁・3,800 円

シェイクスピアからディケンズにいたるイギリス文学の代表的テクストを読み解くことによって，近代における欲望のホモソーシャル／ヘテロセクシュアルな体制と，その背後に潜む「女性嫌悪」「同性愛恐怖」を摑み出し，文学・ジェンダー研究に新生面を拓いた画期的著作。

〔2001〕978-4-8158-0400-8

藤井淑禎著

小説の考古学へ

―心理学・映画から見た小説技法史―

四六判・292 頁・3,200 円

明治 40 年前後における小説技法の革命的転換を，グローバルかつ領域横断的な目配りによって考古学的に跡づけた労作。特に心理学・映画からの理論上・技法上の影響を中心に，小説技法成立史上まれに見る百花斉放期を，同時代読者の読みに即して描き出す。

〔2001〕978-4-8158-0401-5

ツベタナ・クリステワ著

涙の詩学

―王朝文化の詩的言語―

A5 判・510 頁・5,500 円

平安朝の袖はなぜ涙に濡れているのか？　『古今集』から『新古今集』にいたる八代集を，〈袖の涙〉のメタファーを軸に，イメージの連鎖・言葉のネットワークの展開過程を辿ることによって読み解き，〈涙〉のメタ喩的な役割と王朝文化における詩的言語の卓越した位置を明らかにする。

〔2001〕978-4-8158-0392-6

石川九楊著　　日本生命財団出版助成図書

日本書史

A4 判・632 頁・15,000 円

東アジアの文化の根底をなす書は，「弧島」の舞台でいかなる劇を繰り広げたのか？　書を筆蝕の美学と捉える視点から，古代より明治初年までの代表的作品に定着された精神の軌跡を，その表現に即して解明しつつ日本書史の基本像を提示した，著者のライフワーク。**毎日出版文化賞受賞**

〔2001〕978-4-8158-0405-3

ルドヴィコ・アリオスト著　脇功訳

アリオスト 狂えるオルランド[上]

A5 判・504 頁・6,000 円

本書は，爛熟するルネサンスの想像力が生んだ驚嘆の一大叙事詩であり，悲劇的でありつつもコミカルで，抒情的でありながらも勇壮な――当時のヨーロッパ文学を完成の極致にまで高めた――めくるめく恋と冒険の物語である。**日本翻訳文化賞，ピーコ・デッラ・ミランドラ賞受賞**

〔2001〕978-4-8158-1082-5

ルドヴィコ・アリオスト著　脇功訳

アリオスト 狂えるオルランド[下]

A5 判・546 頁・6,000 円

本書は，爛熟するルネサンスの想像力が生んだ驚嘆の一大叙事詩であり，悲劇的でありつつもコミカルで，抒情的でありながらも勇壮な――当時のヨーロッパ文学を完成の極致にまで高めた――めくるめく恋と冒険の物語である。**日本翻訳文化賞，ピーコ・デッラ・ミランドラ賞受賞**

〔2001〕978-4-8158-1083-2

阿部泰郎著

聖者の推参

―中世の声とヲコなるもの―

四六判・438 頁・4,200 円

音高く呼ばい〈聖なるもの〉を現し出す声，あるいは〈ヲコなるワザ〉とともに哄笑，反語する笑い。――「遊者」から後白河院，花山院，文覚等にいたるまで，宗教と芸能，王権と物語のあわいに立ち「推参」する者の姿を通して，中世社会を動かす深層のダイナミズムを踏破した労作。

〔2001〕978-4-8158-0419-0

岩崎宗治著

シェイクスピアの文化史

―社会・演劇・イコノロジー―

A5 判・340 頁・4,800 円

初期近代イングランド文化のなかのシェイクスピア――セクシュアリティ，社会変動，民衆文化，個人主義，宗教改革などのテーマを取り上げ，同時代の文献や図像に隠された重層的な意味の解読を通して，さまざまな力が干渉し合うダイナミックな場としてシェイクスピア劇をとらえる。

〔2002〕978-4-8158-0439-8

松澤和宏著

生成論の探究

—テクスト・草稿・エクリチュール—

A5 判・524 頁・6,000 円

作品への途上で言葉に生じた数々の〈事件〉——漱石から賢治にいたる日本近代文学，フローベールをはじめとする西洋文学や言語学者ソシュールの草稿を読み解くことを通して，〈書くこと〉とは何かを問い，その深淵に明滅する豊饒な複数性を明るみに出した労作。**宮沢賢治賞奨励賞受賞**

〔2003〕978-4-8158-0463-3

牛島信明編訳

スペイン黄金世紀演劇集

A5 判・522 頁・6,000 円

ヨーロッパ演劇史の最高峰をなすスペイン黄金世紀の絢爛たる夢幻世界——ゲーテに「ポエジーがこの世からすべて失われてしまってもカルデロンから再生できよう」と言わせた『人生は夢』の作者をはじめ，〈自然の怪物〉ロペ・デ・ベーガ，セルバンテス，ティルソらの豊饒たる作品群。

〔2003〕978-4-8158-0464-0

富山太佳夫著

文化と精読

—新しい文学入門—

四六判・420 頁・3,800 円

いま文学を読むとは何か？　フェミニズムから歴史と文化の理論にいたる批評の焦点を明晰に解説し，小説の成立，センティメンタリズム，ユートピア小説，植民地と教養，農村と「敬老」の文学など，大胆かつ精緻なテクストの読みを実践。知的興奮に満ちみちた新しい文学入門の誕生！

〔2003〕978-4-8158-0467-1

有田英也著

政治的ロマン主義の運命

—ドリュ・ラ・ロシェルとフランス・ファシズム—

A5 判・486 頁・6,500 円

第一次大戦の経験からヨーロッパ統合を構想し，やがて自らファシストを宣言するにいたった作家ドリュ・ラ・ロシェル。ナショナリズム，身体文化，モダニズム，反ユダヤ主義など，時代のコンテクストの中でドリュ作品を捉えるとともに，ファシズム生成の論理を内在的に描きだした力作。

〔2003〕978-4-8158-0468-8

田中貴子著

『渓嵐拾葉集』の世界

〔品切〕A5 判・298 頁・5,500 円

天台宗の「百科全書」とも言われる『渓嵐拾葉集』は，仏教教理のみならず多くの説話や巷説，和歌を含み，中世の思想・文学・歴史の一大資料となっている。その作者・諸本・成立背景等を明らかにするとともに，説話の場に光をあて，同書を結節点とする中世文化のネットワークに迫る。

〔2003〕978-4-8158-0472-5

フランチェスコ・ペトラルカ著　池田廉訳

ペトラルカ 凱旋

A5 判・344 頁・4,800 円

ルネサンスを先導した詩的知性の結晶——古代ローマ世界から人間精神の規範を汲みとり，キリスト教信仰と融合させつつ，ヨーロッパの知的宇宙の全体をアレゴリカルな叙事詩に形象化，西洋の文学・芸術に絶大な影響を及ぼした，イタリア・ルネサンスの金字塔。鏤骨の訳文と詳細な訳注。

〔2004〕978-4-8158-0488-6

谷田博幸著

唯美主義とジャパニズム

A5 判・402 頁・5,500 円

モダニズムの軛を解き放ち，ロセッティ，ホイッスラー，レイトン，ムア，アルマ=タデマ，ラスキンらの仕事をヴィクトリア朝の社会と文化の中で捉えるとともに，日本美術に対する熱狂のさまを実証的に明らかにすることによって，あらためて英国美術の近代性を問い直した労作。

〔2004〕978-4-8158-0493-0

宮下規久朗著

カラヴァッジョ
—聖性とヴィジョン—

A5 判・450 頁・4,800 円

血と暴力に彩られた破滅的な生涯を送りながら，深い精神性と宗教性をたたえた作品によって時代を越えて人々の心を打つカラヴァッジョ。幻視のリアリズムを実現した「呪われた画家」の芸術の本質に迫る，わが国初の本格的研究。**サントリー学芸賞，地中海学会ヘレンド賞受賞**

〔2004〕978-4-8158-0499-2

アダム・スミスの会監修　水田洋／松原慶子訳

アダム・スミス 修辞学・文学講義

四六判・428 頁・4,200 円

若きスミスが旧来の修辞学を排しつつ，平明な言語・文体による率直な人間関係としてのコミュニケイションの理論を構築しようとした幻の講義。道徳哲学での同感，法学での正義，経済学での価値と並んで，近代的個人の交流を文体から捉える。グラーズゴウ大学所蔵手稿に基づく新訳決定版。

〔2004〕978-4-8158-0500-5

齋藤希史著

漢文脈の近代
—清末＝明治の文学圏—

A5 判・338 頁・5,500 円

19 世紀後半から 20 世紀にかけて，かつてなく相互に交通しあった日本と中国——そこに生じた「漢文脈」の新たな展開と可能性を，書くことと読むことの場に即して捉え，文学史・小説・翻訳・作文などをめぐる様々な試み・思考・葛藤を通して，近代の再考を促す。**サントリー学芸賞受賞**

〔2005〕978-4-8158-0510-4

坪井秀人著

感覚の近代
—声・身体・表象—

A5 判・548 頁・5,400 円

公と私のあわいに浮かびあがる〈感覚〉という問題系をとらえ，眼差す・触れる・嗅ぐことから歌い踊る身体まで，日本の近代化のなかで変容していく感覚表象を通じて，文学・映画・写真・歌謡・舞踊など様々な芸術を，文化的＝政治的文脈に再配置しつつ横断的に読み解く新たな批評の実践。

〔2006〕978-4-8158-0533-3

ジャコモ・レオパルディ著　脇功／柱本元彦訳

レオパルディ カンティ

〔品切〕A5 判・628 頁・8,000 円

今ははや心よ黙せ……。ニーチェからカルヴィーノまで，また漱石から三島まで，多くの魂を共振させた近代イタリア最大の詩人レオパルディ。西洋文学の深い流れを汲んだ「思索する詩人」が，ペシミズムの極限に見出した世界とは。その詩と散文の代表作を，彫琢された日本語で見事に再現。

〔2006〕978-4-8158-0538-8

前野みち子著

恋愛結婚の成立
—近世ヨーロッパにおける女性観の変容—

A5 判・428 頁・5,600 円

中世・ルネサンス時代には相容れないとされた恋愛と結婚を，直線的に結びつける眼差しが，近世都市社会の成立過程で誕生した。本書はこの眼差しが発展するあり様を，ラブレターを描き込んだオランダ風俗画，〈毀れ瓶〉の民衆歌，人生段階図など幅広い資料から領域横断的に跡づける。

〔2006〕978-4-8158-0546-3

平川祐弘著

天ハ自ラ助クルモノヲ助ク
—中村正直と『西国立志編』—

四六判・406 頁・3,800 円

明治最大のベストセラーとして日本産業化の国民的教科書となった『西国立志編』——近代日本の社会と文化に与えた巨大な影響を，翻訳者中村正直を軸に，丹念に跡づけるとともに，イタリア・中国などとの比較を通して，思想が文化の境を越えて運動する姿を立体的に描きだした労作。

〔2006〕978-4-8158-0547-0

山口庸子著

踊る身体の詩学

—モデルネの舞踊表象—

A5 判・390 頁・5,200 円

新しく，根源的なもののイメージとしてのダンス。ダンカンら舞踊家たちと，ニーチェはじめ文学者たちとの交点で，全体性や聖性をめぐる思潮を捉え，20 世紀に芸術や運動の一大結節点となった「踊る身体」の宇宙論的表象を読み解く。**日本独文学会賞，日本ドイツ学会奨励賞受賞**

〔2006〕978-4-8158-0550-0

岡田裕成／齋藤晃著

南米キリスト教美術とコロニアリズム

菊判・494 頁・6,600 円

植民地美術とは，征服の暴力とともに始まった，文化的他者の間の交渉の産物である。植民地的状況のダイナミズムに根ざした，その特異で複雑な美術のありようを，「混血・融合」の論理を超えて問い直す。現地調査に基づく新資料と多数の貴重な図版による，初の南米植民地美術論。

〔2007〕978-4-8158-0556-2

ジェラルド・グローマー著

瞽女と瞽女唄の研究

菊判・研究篇 778 頁・史料篇 958 頁・30,000 円（分売不可）

20 年にわたる徹底的な史資料の調査によって実現した，瞽女と瞽女唄をめぐる初の本格的総合研究。日本各地に活躍した瞽女の社会的あり方を歴史的に明らかにするとともに，瞽女が携わっていた芸能と音楽を多角的に分析。**小泉文夫音楽賞，東洋音楽学会田邉尚雄賞受賞**

〔2007〕978-4-8158-0558-6

栗須公正著　　南山大学学術叢書

スタンダール 近代ロマネスクの生成

A5 判・482 頁・6,600 円

「一章ごとに崇高が炸裂する」——フランス革命後の変動する社会のなかで，成長する新聞メディアから同時代の政治と社会の生態を貪欲に吸収し，恋愛心理と交錯させつつ生み出された，『赤と黒』や『パルムの僧院』など近代ロマネスクの世界。その形成原理を創造の現場から探る。

〔2007〕978-4-8158-0560-9

高橋　亨著

源氏物語の詩学

—かな物語の生成と心的遠近法—

A5 判・766 頁・8,000 円

和漢の複線の詩学を基底に，かな文字の誕生から和歌や初期物語を経て源氏物語に至るかな文芸の生成をたどるとともに，同化と異化が複合する語りの心的遠近法の視座から，言葉のあやが織りなす源氏物語の世界を，音楽や絵などの多様なテーマを包み込んで色彩豊かに読み解いた渾身の論考。

〔2007〕978-4-8158-0565-4

C. ゴルドーニ著　齊藤泰弘訳

ゴルドーニ喜劇集

A5 判・684 頁・8,000 円

18 世紀イタリア演劇界を代表する喜劇作家ゴルドーニが描く，滑稽で愛らしい人間ドラマ。貴族，市民，庶民——あらゆる階層の人々が，ヴェネツィア社会を舞台に縦横無尽の活躍を繰り広げる。代表作『コーヒー店』ほか，本邦初訳作を中心に，味わい豊かな傑作群を収めた本格的選集。

〔2007〕978-4-8158-0566-1

D. ボードウェル／K. トンプソン著　藤木秀朗監訳
飯岡詩朗／板倉史明／北野圭介／北村洋／笹川慶子訳

フィルム・アート

—映画芸術入門—

A4 判・552 頁・4,800 円

この一冊で，きっと映画の見かたが変わる！——初期から近年までの世界中の映画を視野におさめ，映画の技法・スタイルを中心に，製作・興行，形式・ジャンル，批評・歴史にわたる映画芸術のすべてを，多数の図版とともに体系的に解説したアメリカで最も定評ある映画入門，待望の邦訳。

〔2007〕978-4-8158-0567-8

藤木秀朗著

増殖するペルソナ

—映画スターダムの成立と日本近代—

A5 判・486 頁・5,600 円

映画スターという現象はいかにして生まれ，日本の近代とどのように関わったのか。魅力の産出，アイデンティティの流通，消費者の支持のあり方とその変容を，イメージと言説とのせめぎあいの中で捉え，時代の社会的・文化的文脈から重層的に描いた，新しいフィルム・スタディーズの成果。

〔2007〕978-4-8158-0573-9

林　洋子著

藤田嗣治 作品をひらく

—旅・手仕事・日本—

A5 判・598 頁・5,200 円

越境する創造者——。異文化を放浪して藤田が追い求めたものは何か。絵画のみならず，写真，映像，装丁，衣装など，その豊穣な創作活動を徹底検証。評伝を超え，多数の図版掲載を実現して，作品から画家に迫る。**サントリー学芸賞，渋沢・クローデル賞 LVJ 特別賞，日本比較文学会賞受賞**

〔2008〕978-4-8158-0588-3

ペドロ・カルデロン・デ・ラ・バルカ著　佐竹謙一訳

カルデロン演劇集

A5 判・516 頁・6,600 円

シェイクスピアにも比される，スペイン黄金世紀を代表する劇作家カルデロン——色彩渦巻く豊饒な世界は，バロック演劇の精華と言えよう。哲学劇『人生は夢』をはじめ，宗教劇・歴史劇・喜劇・名誉の悲劇等，人生の深淵をのぞかせる傑作を集めた初の本格的選集。

〔2008〕978-4-8158-0597-5

ミツヨ・ワダ・マルシアーノ著

ニッポン・モダン

—日本映画 1920・30 年代—

A5 判・280 頁・4,600 円

大衆文化のつくり上げた近代——。日本の近代という比類ない「国民的」経験に，映画はどのように関わったのか。東京の都市空間，小市民映画ジャンル，近代スポーツ，女性映画，松竹蒲田調スタイルを焦点に，日本映画の最も魅力的な時代を重層的にとらえ，戦前の文化への視角転換を迫る。

〔2009〕978-4-8158-0604-0

石川九楊著

近代書史

A4 判・776 頁・18,000 円

東アジアの文化の根底をなす「書」は，近代にいかなる軌跡をたどったのか。日本の近代・現代の書の歴史を，文学者や画家など知識人の書跡，生活者の日常書字や印刷文字までも含めて，表現された書の丹念な解読により初めて全体として捉えた，絢爛たるライフワーク。**大佛次郎賞受賞**

〔2009〕978-4-8158-0600-2

山中由里子著

アレクサンドロス変相

—古代から中世イスラームへ—

A5 判・588 頁・8,400 円

大王が征服した広大な地域に流布した伝承を，宗教・政治・歴史の分野にわたって，アラブ・ペルシアの多様なテクストにたどり，アレクサンドロスの多面的な寓意性を通してムスリムの精神史を浮かび上がらせる。**日本学士院学術奨励賞，日本比較文学会賞，島田謹二記念学藝賞受賞**

〔2009〕978-4-8158-0609-5

小黒昌文著

プルースト 芸術と土地

A5 判・308 頁・6,000 円

〈土地〉との絆／切断は芸術にとって何を意味するのか。絆を称揚するラスキンの思想を出発点に，国家主義的な時代を背景としつつも，独創的な小説美学をつくりあげたプルースト。その思考の足どりを，美術館やモニュメント，書物などの主題のうちにたどり，新たな言葉の生成に立ち会う。

〔2009〕978-4-8158-0618-7

佐々木英昭著

漱石先生の暗示（サジェスチョン）

四六判・336 頁・3,400 円

「諸君私が夏目先生です」――吸引する謎，勧誘する人々，そそのかしと思いがけぬ心，催眠術と感化の不思議……。「恋」から「開化」まで，理論と実作を貫く独自の〈心〉をめぐる探究に，漱石文学の隠された〈鍵〉を見いだし，同時代の知的文脈のなかでその世界性を明証する卓抜な論考。

〔2009〕978-4-8158-0619-4

高田康成著

クリティカル・モーメント

―批評の根源と臨界の認識―

四六判・466 頁・3,800 円

相対主義という時代の趨勢に精神をゆだねるままでよいのか――。西欧近代からその伝統へと遡り，俗語文学と古典，政体と主体，キリスト教と異教のトポス，人文主義と国家，歴史と他者，の諸局面で，「臨界」の認識を跡づけることにより，「批評」の根源的な力を回復する。

〔2010〕978-4-8158-0630-9

ミツヨ・ワダ・マルシアーノ著

デジタル時代の日本映画

―新しい映画のために―

A5 判・294 頁・4,600 円

デジタル技術は映画の製作・流通・受容を劇的に変え，日本映画をグローバル市場に押しだした。J ホラー，アニメーションからドキュメンタリーや民族映画まで，作品に即してメディア収束下の新たな映画文化を捉えるとともに，「トランスナショナル」の実像を見つめる画期的な現代映画論。

〔2010〕978-4-8158-0657-6

森　雅秀著

チベットの仏教美術とマンダラ

B5 判・396 頁・12,000 円

インドの伝統を汲む長い歴史と多様性をもち，「聖なるもの」を独特のかたちで表現するチベット美術。その知られざる豊饒な世界を，学際的視野から包括的に捉え，アジアの仏教美術と文化史のなかに位置づけた画期的労作。未発表作品を含むカラー写真を中心に多数の貴重図版を掲載する。

〔2011〕978-4-8158-0670-5

水野千依著

イメージの地層

―ルネサンスの図像文化における奇跡・分身・予言―

A5 判・920 頁・13,000 円

「迷信」に満ちたイメージの力を無視することなく，人々の痕跡や文化の記憶が織りなす複雑な地層に光をあて，ルネサンスの多元性を蘇らせた「イメージの歴史人類学」の試み。**サントリー学芸賞，花王芸術・科学財団「美術に関する研究奨励賞」，フォスコ・マライーニ賞受賞**

〔2011〕978-4-8158-0673-6

伊藤大輔著

肖像画の時代

―中世形成期における絵画の思想的深層―

A5 判・450 頁・6,600 円

肖像画とは，見たままの対象の描写なのか。院政期に変容する絵巻物との連続性から，似絵や「明恵上人樹上坐禅像」などの肖像画をとらえることで，その深層に形成された思想の言葉の次元を明るみに出す。中世へと向けて大きく転換していく社会にあって，絵画は何を語り出そうとしたのか。

〔2011〕978-4-8158-0682-8

アントワーヌ・コンパニョン著　松澤和宏監訳

アンチモダン

―反近代の精神史―

A5 判・462 頁・6,300 円

フランス革命を契機に現れ出た〈アンチモダン〉の系譜をたどり，近代人を魅了したその思想の核心に迫る。反革命，反啓蒙思想，悲観主義，原罪，崇高，罵詈雑言といった多面的な相貌の本質を明らかにするとともに，ド・メーストルからバルトにいたるもう一つの近代精神史に光をあてる。

〔2012〕978-4-8158-0684-2

坪井秀人著

性が語る

—20 世紀日本文学の性と身体—

A5 判・696 頁・6,000 円

性の政治性を問題化することをフェミニズム批評と共有しつつも，思想の道具化を排し，20 世紀日本文学が捉える性のすがたを，語る主体に焦点を当て，個々のテクストに即して描き出す。語り書く男性そして女性の，愉悦や葛藤を内包した声や身体を〈私〉へと奪還する試み。**鮎川信夫賞受賞**

〔2012〕978-4-8158-0694-1

堀まどか著

「二重国籍」詩人 野口米次郎

A5 判・592 頁・8,400 円

またの名をヨネ・ノグチ。沈黙の言葉を英語でつづり日本文化の紹介や諸芸術の融合を試みながら，「戦時メガフォン」として文学史から消された「世界的詩人」の生涯・思想・作品を，初めてトータルに明らかにした知的伝記。東西の文化翻訳への志はなぜ挫折したのか。**サントリー学芸賞受賞**

〔2012〕978-4-8158-0697-2

長谷川雅雄／辻本裕成／ペトロ・クネヒト／美濃部重克著　　南山大学学術叢書

「腹の虫」の研究

—日本の心身観をさぐる—

A5 判・526 頁・6,600 円

「虫が知らせる」「虫の居所が悪い」といった表現の根底には，日本特有の「虫」観がある。心と身体，想像と現実のはざまに棲み着いた「虫」の多面的な姿を，かつての医学思想，文芸作品，民俗風習などを横断的に読み解くことで明らかにし，日本の心身観を浮彫りにしたユニークな研究。

〔2012〕978-4-8158-0698-9

阿部泰郎著

中世日本の宗教テクスト体系

A5 判・642 頁・7,400 円

文字，図像，儀礼を含む広大な領域を「宗教テクスト」の視座から展望し，聖徳太子伝から仏教儀礼，聖教，神祇まで，中世世界の深層に潜む豊穣なる知の体系を解き明かした労作。日本中世史の焦点となる多様なテクストの複合・統合の果てに，〈聖なるもの〉はいかにして創出されたのか。

〔2013〕978-4-8158-0723-8

木俣元一著

ゴシックの視覚宇宙

A5 判・486 頁・6,600 円

西洋中世において爆発的に拡大したイメージの世界は，何を顕わにし，それを観る者にいかなる経験や認識をもたらしたのか。黙示録写本，ステンドグラス，聖遺物など，イメージが切り拓いた広大な視覚宇宙を探究し，「見えるようになること」を根底から問い直したゴシック美術論。

〔2013〕978-4-8158-0724-5

トーマス・ラマール著　藤木秀朗監訳　大﨑晴美訳

アニメ・マシーン

—グローバル・メディアとしての日本アニメーション—

A5 判・462 頁・6,300 円

アニメはどのようにテクノロジーと向き合い，その映像はいかなる思考を促すのか。また，トランスメディアの結節点として，いかなる運動を展開するのか。これらの問いを具体的な作品に即して探究し，従来の研究・批評を刷新する画期的なアニメーション論，待望の邦訳。

〔2013〕978-4-8158-0730-6

山田昭廣著

シェイクスピア時代の読者と観客

A5 判・338 頁・5,800 円

劇場へと通い，書物をめくる人々——。英国史上未曾有の「演劇熱」を，推定観客数や戯曲の刊行点数などから捉えるとともに，当時の戯曲本への書き込みを読み解き，読者のリアルな反応を探る。文化史および社会史の両面から，読者と観客の生きた姿に迫る労作。

〔2013〕978-4-8158-0748-1

稲賀繁美著

絵画の臨界

—近代東アジア美術史の桎梏と命運—

A5 判・786 頁・9,500 円

「海賊史観」による世界美術史に向けて——。近代以降の地政学的変動のなかで，絵画はいかなる役割を背負い，どのような運命に翻弄されてきたのか。浮世絵から植民地藝術，現代美術まで，「日本美術」「東洋美術」の輪郭を歴史的に捉え，国境を跨ぐイメージと文化の相互作用を考察。

〔2014〕978-4-8158-0749-8

中野知律著

プルーストと創造の時間

A5 判・492 頁・6,600 円

それが存在しない世界に——。科学的な実証知が勃興し，旧来の人文教養が失墜した世紀末の憂鬱の只中で，それでも「文学に賭ける」決断を下したプルースト。作家が格闘した，『失われた時を求めて』誕生以前の文の地形を明らかにすることを通して，その出現の意味を探る労作。

〔2013〕978-4-8158-0754-2

橋本周子著

美食家の誕生

—グリモと〈食〉のフランス革命—

A5 判・408 頁・5,600 円

大革命後のフランス美食文化の飛躍をもたらした〈食べ手〉による美食批評は，レストランガイドの起源となる一方，それにとどまらない深遠な美食観を宿していた。『美食家年鑑』の著者グリモを通して，〈よく食べる〉とはいかなることかを探究した力作。**渋沢・クローデル賞 LVJ 特別賞受賞**

〔2014〕978-4-8158-0755-9

桝屋友子著

イスラームの写本絵画

B5 判・372 頁・9,200 円

書物の文化とともにさまざまな地域・王朝で花開き，驚くべき美の表現を達成してきたイスラームの写本絵画。その多様なる作品世界はどのように読み解くことができるのか。科学書から歴史書・文学書まで，色彩豊かな図版を多数掲載し，イスラーム地域の絵画芸術を基礎から本格的に解説。

〔2014〕978-4-8158-0760-3

服部正／藤原貞朗著

山下清と昭和の美術

—「裸の大将」の神話を超えて—

A5 判・534 頁・5,600 円

芸術と福祉の交差点へ——。「特異児童」や「日本のゴッホ」など，次々と綽名＝イメージを与えられてきた美術家・山下清。その貼絵が大衆に愛され続ける一方，芸術の世界にも福祉の世界にも落ち着く場所のなかった彼の存在を通して，昭和の美術と福祉と文化の歴史を新たに問い直す。

〔2014〕978-4-8158-0762-7

千々岩靖子著

カミュ 歴史の裁きに抗して

A5 判・340 頁・5,500 円

植民地に生まれ地中海を跨いで活躍した『異邦人』の作家は，なぜ，いかにして歴史に抗ったのか。『最初の人間』に至る小説創造と，アルジェリア時代や戦中・戦後に展開された政治的思索を合わせ捉えることで，歴史と非-歴史の境界で思考し続けたカミュの軌跡を鮮やかに照らし出す。

〔2014〕978-4-8158-0768-9

一柳廣孝著

無意識という物語

—近代日本と「心」の行方—

A5 判・282 頁・4,600 円

フロイト精神分析や「無意識」の受容は，日本における「心」の認識をどのように変化させたのか。民俗的な霊魂観と近代的な心身観がせめぎあう転換期を捉え，催眠術の流行や文学における表象をも取り上げつつ，「無意識」が紡ぎ出した物語をあとづける「心」の文化史。

〔2014〕978-4-8158-0772-6

北村　洋著

敗戦とハリウッド

―占領下日本の文化再建―

A5 判・312 頁・4,800 円

アメリカ映画を抱きしめて――。占領政策の一環としてハリウッド映画を利用した GHQ と，その到来を熱烈に歓迎した日本人。両者の関係を多面的な交渉のプロセスと捉え，検閲・配給・宣伝をめぐる様々な試行錯誤から，ファン文化の形成まで，熱狂と葛藤に満ちた戦後占領史を描き出す。

〔2014〕978-4-8158-0775-7

山中由里子編

〈驚異〉の文化史

―中東とヨーロッパを中心に―

A5 判・528 頁・6,300 円

アレクサンドロスが征伐した伝説の巨人から女だけの島まで，たえず人々の心を魅了してきた〈驚異〉。旅行記や伝承が語り，彫刻や写本絵画が示すその姿は，人間の飽くなき好奇心について何を教えてくれるのか。中世の「黄金時代」以来の精神史を細やかかつ大胆に描き出す。

〔2015〕978-4-8158-0817-4

木村　洋著

文学熱の時代

―慷慨から煩悶へ―

A5 判・320 頁・5,400 円

政治の季節が終わり，蘇峰が新たな理想を求め，独歩が無名の人民の経験を「記憶せよ」と呼びかけるうちに，文学は切実な営みとして「発見」された。内面の告白や青年の煩悶を正面から受け止め，経世の世にあって人生を問いかけていった知識人の挑戦を描き出す。**サントリー学芸賞受賞**

〔2015〕978-4-8158-0821-1

稲賀繁美著

接触造形論

―触れあう魂，紡がれる形―

A5 判・484 頁・5,400 円

「触れる」ことで作品は紡がれ，「接触」によって思想や文化が「写り／移り」を遂げる。彫刻・陶藝などの立体作品から建築，さらには翻訳の領域まで，異質なるものが触れあうときに何が生まれるのか。「接触造形」の視点から近現代の藝術や文化を探究し，未踏の領野へと歩み出す。

〔2016〕978-4-8158-0831-0

飯田祐子著

彼女たちの文学

―語りにくさと読まれること―

A5 判・376 頁・5,400 円

女性作家は〈女性〉を代表しない――。〈女性〉へと呼びかけられ，亀裂の感覚を生きつつ何を語ってきたのか。田村俊子，野上弥生子，宮本百合子，尾崎翠，林芙美子，円地文子，田辺聖子，松浦理英子，水村美苗，多和田葉子など，複数の読み手に曝されたマイノリティ文学として読む。

〔2016〕978-4-8158-0835-8

水野さや著

韓国仏像史

―三国時代から朝鮮王朝まで―

A5 判・304 頁・4,800 円

豊かな造形を誇り，独自の美を示して華ひらいた朝鮮半島の仏像史を，わが国で初めて包括的かつ平易に紹介。古代から近世までの流れを一望にするとともに，日本・中国の作例との深い関連性も縦横に捉えて，東アジア圏での交流の重要性を浮彫りにする。日本の仏像の理解にも必携の一書。

〔2016〕978-4-8158-0847-1

今井祐子著

陶芸のジャポニスム

A5 判・760 頁・7,800 円

見出された新たな美――。ヨーロッパからアメリカまで，多様な作陶家・美術商・収集家らを魅了した「陶芸のジャポニスム」。海を越えた日本陶磁や陶器書を手がかりに，美意識や造形が大きく転換・深化していくプロセスを跡づけ，グローバルな芸術文化史を描く。**ジャポニスム学会賞受賞**

〔2016〕978-4-8158-0854-9

鎌田由美子著

絨毯が結ぶ世界

—京都祇園祭インド絨毯への道—

A5 判・608 頁・10,000 円

京都祇園祭の山鉾に飾られている「幻の絨毯」はどこで制作され，いかにして日本にもたらされたのか。絨毯の特徴から流通・受容までを解明し，魅力的な図版とともに，日本，インド，欧州を結ぶ絨毯の道を辿る，美のグローバル・ヒストリー。**日本学士院学術奨励賞，太平正芳記念賞受賞**

〔2016〕978-4-8158-0855-6

阿部泰郎著

中世日本の世界像

A5 判・604 頁・6,800 円

芸能から魔界まで——。絵巻や曼荼羅，物語や儀礼のなかで生動する男女・仏神・異類たち。それらの存在を支えた世界像とはいかなるものだったのか。説話や音楽から，性や童子，さらには聖地・霊地まで，時代とともに揺れ動く文化の諸相を一望し，中世的世界を多面的にとらえた渾身の書。

〔2018〕978-4-8158-0902-7

北浦寛之著

テレビ成長期の日本映画

—メディア間交渉のなかのドラマ—

A5 判・312 頁・4,800 円

「テレビ vs 映画」を超えて——。高度成長期，テレビの台頭で映画は斜陽を迎えたのか。テレビ向けフィルム映画の試みやお色気・任侠映画の流行，ワイドスクリーンという新機軸，時代劇やメロドラマの変遷など，映像の新時代の幕開けを描き，現在につながる大転換の実像を明らかにする。

〔2018〕978-4-8158-0905-8

吉武純夫著

ギリシア悲劇と「美しい死」

A5 判・384 頁・5,400 円

死の美学，それとも……。三島由紀夫も憧れた古代ギリシアの「美しい死」。ホメロスやプラトンから葬礼演説までの遺されたテクストを踏まえつつ，戦死を称える詩人の言葉が悲劇作品においてたどった運命を丹念に読み解き，魅惑と苦悩のあいだに浮かび上がるその実像を描く。

〔2018〕978-4-8158-0906-5

範　麗雅著

中国芸術というユートピア

—ロンドン国際展からアメリカの林語堂へ—

菊判・590 頁・11,000 円

中華文人の生活芸術か，想像された国民芸術か。第二次世界大戦前，中英の協力によって開かれ東西文化交流の転換点となった一大展覧会を軸に，日本の影響深いウェイリーらの研究から，在英中国知識人の活動，パール・バックの後押しした林語堂の傑作まで，中国芸術とは何かを問う力作。

〔2018〕978-4-8158-0909-6

松井裕美著

キュビスム芸術史

—20 世紀西洋美術と新しい〈現実〉—

A5 判・692 頁・6,800 円

絵画，彫刻，文学，建築などの作品においても，理論や批評の言説においても，多面的かつ国際的な拡がりをもつキュビスム。「幾何学」的表現の誕生・深化から，二度の世界大戦を経て，歴史的評価の確立へと至る展開を，美術と〈現実〉との関係を軸に描ききる。**和辻哲郎文化賞受賞**

〔2019〕978-4-8158-0937-9

藤木秀朗著

映画観客とは何者か

—メディアと社会主体の近現代史—

A5 判・680 頁・6,800 円

民衆・国民・民族・大衆・市民——。映画館でシネマを観る「数」であるにとどまらず，映画や社会と多様な関係をとり結ぶ人々のあり様を，大正期から現在まで，社会主体をめぐる言説に注目することで，変容する政治やメディア環境との交渉のうちに浮かび上がらせた，映画観客 100 年史。

〔2019〕978-4-8158-0938-6

芳賀　徹著

桃源の水脈

—東アジア詩画の比較文化史—

四六判・380 頁・3,600 円

なぜ懐かしさを感じるのか——。ユートピアでもなくアルカディアでもなく，東アジアの人びとの根源的な夢想と願望に根ざして作り上げられた，平和の小世界。古代中国に発し，詩的トポスとして幾多の詩文や絵画を生み出してきた「桃源郷」の系譜を，現代の日本に掬いとるライフワーク。

〔2019〕978-4-8158-0946-1

宮尾大輔著　笹川慶子／溝渕久美子訳

影の美学

—日本映画と照明—

A5 判・374 頁・5,400 円

光と影から見た日本映画史——。それは伝統ではなかった！　『陰翳礼讃』以前，日本映画は「明るさ」に価値を求めていた。では「影の美学」はどのように現れ，展開し，伝統となったのか。照明のテクノロジーに注目し，トランスナショナルな視点から新たな日本映画史を描く。

〔2019〕978-4-8158-0951-5

大石和欣著

家のイングランド

—変貌する社会と建築物の詩学—

A5 判・418 頁・5,400 円

建築物に積み重なる経験と記憶に寄り添うとき，そこには何が見えてくるのか。カントリー・ハウスや田舎家，郊外住宅から，都市の闇としてのスラムまで，テクストが描く多様な建築表象を歴史的・社会的文脈のなかで読み解き，「イングリッシュな家」の神話を問い直す画期的な建築文学論。

〔2019〕978-4-8158-0959-1

大河内昌著

美学イデオロギー

—商業社会における想像力—

A5 判・376 頁・6,300 円

「個々人が自らの情念にしたがって利益を追求する社会は調和しうるのか」——この政治経済学の問いは，あからさまに美学的であり，しかも近代英国の道徳哲学からロマン主義文学までを貫くものだった。多元的なテクストの精読により，イデオロギーの構造と展開を批判的に跡づける労作。

〔2019〕978-4-8158-0966-9

阿部泰郎著

中世日本の王権神話

A5 判・452 頁・5,800 円

龍や狐，海人や童子，神仏や魔王が躍動し，神器や国土の由来を説く物語たち——。中世の王権は，自らの「正統」を示す数多の縁起説話によって支えられていた。天皇の即位儀礼から，武家の始祖伝承や幸若舞などの芸能，さらには「中世日本紀」の歴史叙述まで，豊かな神話の水脈を探る。

〔2020〕978-4-8158-0982-9

佐野誠子著

怪を志す

—六朝志怪の誕生と展開—

A5 判・382 頁・6,300 円

「怪力乱神を語らぬ」儒教の国で，怪異はいかにして記録されるようになったのか。『今昔物語集』等にも影響を与えた古代中国の「志怪」について，史書の伝統や仏教伝来との関係を軸に，社会的文脈から生成過程，文体まで，初めてトータルに捉え，中国人の精神のかたちを逆照射する。

〔2020〕978-4-8158-0983-6

真道洋子著　桝屋友子監修

イスラーム・ガラス

A5 判・496 頁・7,200 円

歴史を彩る「世界の華」——。古来のガラス文化を統合して成立し，近代芸術にも大きな影響を与えたイスラーム・ガラス。その器形や成形・装飾技法から，美術工芸としての展開，さらには日本をはじめ世界各地への伝播まで，多数のカラー図版とともに豊かな物質文化の全体像を映し出す。

〔2020〕978-4-8158-1001-6

朱　宇正著

小津映画の日常

―戦争をまたぐ歴史のなかで―

A5判・356頁・5,400円

無の美学から日常の政治性へ――。小津は保守的で日本的なのか。だとしても，それはどういう意味でか。映画産業との関係を含め，大不況や戦争，復興など，近代性と葛藤する同時代の日本の歴史的文脈の中，それとせめぎ合う作品を精緻に読み解き，新たな小津像を提示した国際的力作。

〔2020〕978-4-8158-1002-3

デイヴィッド・コッティントン著　松井裕美訳

現代アート入門

四六判・224頁・2,700円

「なぜこれがアートなの？」と疑問を抱くすべての人に――。注目を集めると同時に，当惑や批判を巻き起こし続ける現代アート。私たちは何を経験しているのか。それはどこから生まれ，どのように展開してきたのか。「モダン」な社会との関係から現代美術の挑戦を読み解く最良の入門書。

〔2020〕978-4-8158-1009-2

松原知生著

転生するイコン

―ルネサンス末期シエナ絵画と政治・宗教抗争―

A5判・652頁・11,800円

古今の時間を自在に行き来し，「像」と「アート」の汽水域にたゆたうシエナ派絵画。イタリア戦争と宗教改革にともなう波乱のなか，古きイコン＝聖画像はいかに動員され，新たな使命を獲得したのか。繊細なシエナ美術に秘められたダイナミズムを析出する。**フォスコ・マライーニ賞受賞**

〔2021〕978-4-8158-1007-8

伊藤大輔著

鳥獣戯画を読む

A5判・352頁・4,500円

謎の絵巻とも言われる国宝「鳥獣戯画」。なぜ動物が擬人化されているのか。流動する画面はどのように連環しているのか。中世日本の芸能・王権・美意識にもとづく精緻な分析と，動物と人間のシームレスな関係についての考察により，全四巻を読み解く。マンガ・アニメ起源論も検証。

〔2021〕978-4-8158-1012-2

ミツヨ・ワダ・マルシアーノ著

NO NUKES

―〈ポスト3・11〉映画の力・アートの力―

A5判・244頁・4,500円

〈見えないもの〉とたたかう――。大震災／原発事故後，なすべきことを問いかけ，時代のメディア環境の中で自生した，追従せざる映画やアート。「小さき声」の響く作品と向き合い，作家たちの揺れ動く言葉を聴く。新たな困難によっても上書きされない，明日への記憶のために。

〔2021〕978-4-8158-1014-6

三浦　篤著

移り棲む美術

―ジャポニスム，コラン，日本近代洋画―

A5判・574頁・5,800円

グローバルな〈美〉の往還――。日本から西洋へ，西洋から日本へと海を越えた芸術の種子。どのように移動・変容・開花したのか。ジャポニスムの多面的展開から近代洋画の創出までを一望し，選択的な交雑による新たな芸術史を描きだす。**芸術選奨文部科学大臣賞，和辻哲郎文化賞受賞**

〔2021〕978-4-8158-1016-0

池上俊一監修

原典 イタリア・ルネサンス芸術論［上］

A5判・524頁・9,000円

西洋芸術が華やかに開花したそのとき，美術家や知識人はなにを考え，どのような言葉を交わしていたのか。本邦初訳の貴重なテクストを多数含む待望のアンソロジー。上巻には，絵画・彫刻・建築・工芸論から，模倣論やイデア論，庭園論や色彩論，さらには自伝やパトロン論までを収録。

〔2021〕978-4-8158-1026-9

池上俊一監修

原典 イタリア・ルネサンス芸術論［下］

A5 判・506 頁・9,000 円

ヨーロッパ芸術の黄金時代はイメージや言葉をめぐる「論」の時代でもあった。新たな芸術観を切り拓いた重要テクストが，原典からの翻訳によってよみがえる――。下巻には，代表的な文学・音楽・演劇論から，コレクション論や図像論，遠近法論や比例論，さらには反芸術論までを収録。

〔2021〕978-4-8158-1027-6

山本嘉孝著

詩文と経世

―幕府儒臣の十八世紀―

A5 判・440 頁・6,300 円

江戸時代の漢詩文制作はどのように政治と結びついたのか。従来注目されてこなかった幕府儒臣に焦点を当て，漢詩・漢文書簡・建議などの多彩な表現を読み解くとともに，武家の学問論や民間の技芸論をも視野に入れて，近世日本における「文」のあり方を問い直す。**日本古典文学学術賞受賞**

〔2021〕978-4-8158-1043-6

藤井淑禎著

水上 勉

―文学・思想・人生―

四六判・296 頁・3,200 円

事実と虚構のあわいに求められた道とは――。文明を問う「社会派推理小説」によって出発した水上勉。だが，自らの生と重ねて「寺を焼き」「竹を削り」一休・良寛の境涯を跡づけつつ，遂には芸術と救済の向こうへと歩み出す。晩年の日々まで，その文業を初めて本格的に捉えた畢生の力作。

〔2021〕978-4-8158-1047-4

小川正廣著

ホメロスの逆襲

―それは西洋の古典か―

A5 判・634 頁・9,000 円

最古・最大の「西洋古典」とされるホメロス。だが，創造と受容のいずれも西洋の枠組みには収まっていなかった。実際に西方に伝わったものとその行方を明確にする一方，オリエントの神話・宗教からビザンツの年代記やオスマンの歴史書まで探査し，巨大な実像を初めて捉えた画期的労作。

〔2021〕978-4-8158-1050-4

木俣元一著

ゴシック新論

―排除されたものの考古学―

A5 判・610 頁・8,000 円

美術史・建築史のマスター・ナラティヴに組み込まれている「ゴシック誕生」。しかし，中世ヨーロッパ建築・彫刻の多様さはその直線的な物語から排除されてきた。大聖堂を飾る人像円柱やマイクロアーキテクチャなどの豊かな造形に光を当て，時代様式を超えた新たなゴシック像を提示する。

〔2022〕978-4-8158-1060-3

木村　洋著

変革する文体

―もう一つの明治文学史―

A5 判・358 頁・6,300 円

新たな文体は新たな社会をつくる――。小説中心主義を脱し，政論・史論から翻訳・哲学まで，徳富蘇峰を起点にして近代の「文」の歩みを辿りなおし，新興の洋文脈と在来の和文脈・漢文脈の交錯から，それまでにない人間・社会像や討議空間が形づくられる道程をつぶさに描いた意欲作。

〔2022〕978-4-8158-1108-2

藤原貞朗著

共和国の美術

―フランス美術史編纂と保守／学芸員の時代―

A5 判・454 頁・6,300 円

王なき世俗国家で人々は芸術に何を求めたのか。戦争に向かう危機の時代に，中世宗教美術や王朝芸術から，かつての前衛までを包摂するナショナルな歴史像が，刷新された美術館を舞台に創られていく。その過程を，担い手たる学芸員＝「保守する人」とともに描き，芸術の歴史性を問い直す。

〔2023〕978-4-8158-1110-5

坪井秀人著

戦後表現

— Japanese Literature after 1945 —

アジア太平洋戦争から冷戦，昭和の終わり，湾岸・イラク戦争，ポスト 3・11 まで，戦争をめぐる言葉がすくい上げてきたもの，底に沈めてきたものを，詩・小説・批評を中心に精緻に読解。経験や記憶に刻まれた傷跡としての表現の重層性から，〈戦後〉概念を再審にかける。

A5 判・614 頁・6,300 円

〔2023〕978-4-8158-1116-7

言　語

名古屋大学日本語教育研究グループ編

A Course in Modern Japanese ［Revised ed.］Vol. 1

B5 判・322 頁・2,800 円

アカデミック・ジャパニーズ（学校で使う日本語）の基礎を培うことを目的とし，大学や専門学校での活動を主な会話場面とした初級日本語教科書。基礎的文法力と共に，コミュニケーション能力，社会言語学的能力の養成と，音声言語理解能力が獲得できるよう編集した好評テキストの改訂新版。

〔2002〕978-4-8158-0425-1

名古屋大学日本語教育研究グループ編

A Course in Modern Japanese ［Revised ed.］Vol. 2

B5 判・336 頁・2,800 円

アカデミック・ジャパニーズ（学校で使う日本語）の基礎を培うことを目的とし，大学や専門学校での活動を主な会話場面とした初級日本語教科書。基礎的文法力と共に，コミュニケーション能力，社会言語学的能力の養成と，音声言語理解能力が獲得できるよう編集した好評テキストの改訂新版。

〔2002〕978-4-8158-0426-8

名古屋大学日本語教育研究グループ編

A Course in Modern Japanese ［Revised ed.］Vol. 1《CD》

A5 判・CD 3 枚組・4,800 円

初級日本語教科書に準拠した音声教材で，Pronunciation, Dialogue, Drill, Aural Comprehension を収録し，とくに発音の導入および会話，数字の聞き取りなど豊富なリスニングの練習問題をもりこんだ。独習者にも役立つ，教科書には掲載していない Aural Comprehension のスクリプト付。

〔2002〕978-4-8158-0432-9

名古屋大学日本語教育研究グループ編

A Course in Modern Japanese ［Revised ed.］Vol. 2《CD》

A5 判・CD 3 枚組・4,800 円

初級日本語教科書に準拠した音声教材で，Pronunciation, Dialogue, Drill, Aural Comprehension を収録し，とくに発音の導入および会話，数字の聞き取りなど豊富なリスニングの練習問題をもりこんだ。独習者にも役立つ，教科書には掲載していない Aural Comprehension のスクリプト付。

〔2002〕978-4-8158-0433-6

名古屋大学日本語教育研究グループ編

現代日本語コース中級Ⅰ
—A Course in Modern Japanese Vol. 3—

B5 判・348 頁・2,800 円

名古屋大学言語文化部日本語学科の多年の研究と実践に基づき作られた留学生のための日本語中級テキストであるが，留学生に限らず日本語を学ぶ全ての人にとって最良の中級教材。話すことを中心に編集された。前掲 A Course in Modern Japanese Vol. 1, Vol. 2 の続刊。

〔1988〕978-4-8158-0101-4

名古屋大学日本語教育研究グループ編

現代日本語コース中級Ⅱ
—A Course in Modern Japanese Vol. 4—

B5 判・330 頁・2,800 円

名古屋大学言語文化部日本語学科の多年の研究と実践に基づき作られた外国人のための日本語中級テキスト。ことばの持つ機能を重視し，実際の場面での円滑なコミュニケーションを支える口頭表現能力を養成することを目的として作られている。

〔1990〕978-4-8158-0127-4

名古屋大学日本語教育研究グループ編

現代日本語コース中級Ⅰ［録音テープ］

—A Course in Modern Japanese Vol. 3—

〔目次〕第1課「たのむ」，第2課「さそう・うける」，第3課「さそう・ことわる」，第4課「許可をもらう・許可する」，第5課「ことづける」，第6課「たのまれたことを伝える」，第7課「考えを言う」，第8課「助言する」，第9課「申し出る」。

B6判・C-60×2，C-45×1・7,000円

〔1990〕978-4-8158-0151-9

名古屋大学日本語教育研究グループ編

現代日本語コース中級Ⅱ［録音テープ］

—A Course in Modern Japanese Vol. 4—

〔目次〕第10課「感謝する」，第11課「ほめる・けんそんする」，第12課「文句を言う」，第13課「あやまる」，第14課「なぐさめる」，第15課「別れを告げる」，第16課「満足する・後悔する」，第17課「賛成する・反対する」，第18課「注釈する」。

B6判・C-45×2，C-90×1・7,000円

〔1990〕978-4-8158-0139-7

名古屋大学言語文化部日本語学科編

現代日本語コース中級Ⅰ［聴解ワークシート］

本書は『現代日本語コース中級』所収の「聞く練習」のシラバスを配置し，あわせて学習と指導の方法を提示したワークシート。日本語学習者の中には，聴解能力がなかなか伸びないという悩みを持つものが多くいる。そのような学習者に対して，聞き取りのポイントや技術を提供する。

A4判・238頁＋テープ（C-46×1）・5,000円

〔1992〕978-4-8158-0178-6

名古屋大学言語文化部日本語学科編

現代日本語コース中級Ⅱ［聴解ワークシート］

本ワークシートはⅠ・Ⅱともに予習・授業シート編（1,000円），復習シート編（800円），解答・スクリプト編（1,000円），ワークシートテープ（2,500円）から構成されている。それぞれ分売しており，学習に必要なものを選択できるよう配慮されている。

A4判・218頁＋テープ（C-46×1）・5,000円

〔1992〕978-4-8158-0182-3

カッケンブッシュ寛子／尾崎明人／鹿島央／藤原雅憲／籾山洋介編

日本語研究と日本語教育

本書は，柴田武，国広哲弥，水谷修等22名による日本語学を中心とする言語の基礎研究とその応用としての日本語教育研究論集。前者は方言学，社会言語学，意味論等を，後者は日本語教育の課題，敬語研究の日本語教育への応用，学習者のストラテジー等を，様々な角度から考察する。

〔品切〕A5判・340頁・6,500円

〔1992〕978-4-8158-0188-5

駒井明／T. H. ローリック共著　　南山大学学術叢書

An Introduction to Japanese Kanbun

本書は，現代日本語と日本の古典文法の基礎を修得した外国人及び留学生のための漢文理解のために作られた教科書である。また，日本人の英語力向上にも役立つものである。

〔品切〕B5判・164頁・3,500円

〔1988〕978-4-930689-90-0

丹辺文彦／狩野晃子／中条直樹／木村崇／林田理恵著

ロシア語読本

—現代を読む—

本書は，教材を現代のトピックに限って，生きたロシア語修得を目的とした読本。(1) 平易な教材を最初に置き大学1年後期から取組める，(2) 行間注，脚注を豊富にして独習者も使える，(3) 二色刷で見易く使い易い，(4) 朗読時のリエゾンを明示，等の配慮が凝らされている。

〔品切〕B5判・112頁・1,800円

〔1989〕978-4-8158-0108-3

丹辺文彦／狩野昊子／中条直樹／木村崇／林田理恵著

ロシア語読本［録音テープ］

―現代を読む―

〔品切〕C-90・3,000 円

上の『ロシア語読本』をより効果的に学習するための録音テープ。〔目次〕１．НА МОСКОВСКОМ АВТОЗАВОДЕ ИМЕНИ ЛЕНИНСКОГО КОМСОМОЛА / ２．ПИСЬМО / ３．ТАНЯ / ４．КАК МУЖ ДОМА ХОЗЯЙНИЧАЛ / ５．УРАГАН И БОЧКИ / ６．ЛИЦО / ７．ЛЕБЕДИНОЕ ОЗЕРО...

〔1990〕

山口　巖著

ロシア中世文法史

〔品切〕A5 判・304 頁・5,000 円

古スラヴ語の時期から現代ロシア文法の黎明期にあたるロモノソフの文法までの，およそ 900 年にわたるロシア語文法史＝研究史を，逐一原典に当たり，綿密な分析・解釈を加えることによって，初めて明らかにした画期的業績。資料篇として，グレーニングのロシア語文法を訳載する。

〔1991〕978-4-8158-0156-4

釘貫　亨著

近世仮名遣い論の研究

―五十音図と古代日本語音声の発見―

A5 判・296 頁・5,700 円

近世の仮名遣い論の核心には古代日本語音声の発見があった。抽象的な音声中心主義批判とは一線を画す，実証的な学説史の視点から，契沖・宣長などの巨人や知られざる音韻家・国学者の拓いた学理の地形を周到かつスリリングに辿る。未紹介資料『喉音仮名三異弁』『同弁正』の影印収録。

〔2007〕978-4-8158-0570-8

鈴木広光著

日本語活字印刷史

A5 判・356 頁・5,800 円

多様な書字活動は，いかにして活字化されたのか。技術のみならず文字の性質や書記様式・言語生活等に注目し，嵯峨本など古活字版から，宣教師らによる明朝体活字の鋳造を経て，近代日本の活字組版まで，活字印刷の歴史をグローバルな視野で描きだす。**ゲスナー賞「本の本」部門金賞受賞**

〔2015〕978-4-8158-0795-5

上山あゆみ著

統語意味論

B5 判・302 頁・5,400 円

意味と構造は同時に決まる！　文の意味とは何か，それはどのように生まれるのか。日本語を例に，統辞構造と意味が一体として産出されるシステムを初めて体系的に記述。テニヲハから否定形や疑問形まで，日常言語と計算可能性をつなぎ，言語研究にブレイクスルーをもたらす画期的著作。

〔2015〕978-4-8158-0822-8

歴史・地理

長谷川博隆編　　名古屋大学西洋史論集 1

ヨーロッパ
—国家・中間権力・民衆—

〔品切〕A5 判・330 頁・4,500 円

〔目次〕初期ローマの植民市建設／古代イタリアの移牧と牧人／『パッリウムについて』とテルトゥリアヌス／クロタール 2 世の教会支配／カール 2 世の皇帝権／リウドルフィンガーとガンデルスハイム修道院／1715 年マンチェスタ「恐るべき群衆」／砂糖植民地の発展と奴隷制の廃止

〔1985〕978-4-930689-38-2

長谷川博隆編　　名古屋大学西洋史論集 2

権力・知・日常
—ヨーロッパ史の現場へ—

A5 判・302 頁・5,000 円

イマギネスとローマ女性／ローマ共和政末期の「街区」／隷属からもう一つの従属へ／ザンクト・ガレン修道院／寄宿生たち／ブルジョワ・イデオローグ／民衆文化としての初等教育／トマス・ライトと労働貴族／第一次大戦前ドイツのミシンと女性労働／ドイツ帝国政治体制の改革可能性

〔1991〕978-4-8158-0158-8

重松伸司編著

現代アジア移民
—その共生原理をもとめて—

〔品切〕A5 判・308 頁・2,900 円

「移動を契機とする多律的共同体の形成」という視角から移民問題にアプローチ。地域・民族集団毎の個別分析にとどまらず，アイデンティティ，エスニシティをテーマに，各別研究の比較考察によってアジア移民の同質性・異質性を明らかにする。移民研究の新しい動向を示唆。

〔1986〕978-4-930689-49-X

飯田汲事著　　日本生命財団出版助成図書

天正大地震誌

〔品切〕A5 判・576 頁・6,500 円

博捜された史資料から，400 年前東海・近畿・北陸地方を襲って大災害をもたらした天正地震の全容を解明し，地震活動および地震災害を考察した。わが国の地震災害研究史上に貴重な足跡を記し，地震および災害研究家，防災対策に携わる者へ貴重な歴史的教訓を示唆する。

〔1987〕978-4-930689-59-7

河野健二編

近代革命とアジア

〔品切〕四六判・288 頁・2,500 円

西洋の近代化がアジアに与えたインパクトとそれへのアジア諸民族の対応を，社会変動との関係で明らかにして，単なる歴史の客体にとどまらない生きたアジア像を提起する。フランス革命 200 年記念に先駆けた中部大学主催のシンポジウム「アジアの近代化と社会変動」の報告集。

〔1987〕978-4-930689-68-9

石原　潤著

定期市の研究
—機能と構造—

【RA 叢書】A5 判・414 頁・6,500 円

定期市は新旧両大陸の主要農耕文化圏に古くから存在する人類の重要な営みで，従来，経済史，文化人類学，人文地理学等の様々な分野から注目されてきた。本書は，この定期市の分布や発生—発展—衰退のプロセスをフィールドワークを踏まえ，科学的かつ世界的視野で解明する。

〔2022（1987）〕978-4-8158-1069-6

野田宣雄著

教養市民層からナチズムへ

—比較宗教社会史のこころみ—

A5 判・460 頁・5,500 円

近代ドイツとイギリスの宗教文化の比較というグローバルな視角から，ナチズム現象が，ながらく教養市民層の文化的優位の陰にとり残されたプロテスタント大衆の擬似宗教的政治運動であることを解明。我国戦後歴史学が捉え得なかったナチズム現象の本質に斬新な視角から迫る。

〔1988〕978-4-930689-95-5

L. クレッツェンバッハー著　河野眞訳

民衆バロックと郷土

—南東アルプス文化史紀行—

A5 判・390 頁・3,800 円

図像や象徴記号，歌謡や行事など近世的信仰習俗の形成・伝播のるつぼ，南東アルプス地方の民衆文化に刻印されたバロック的遺産を掘り起しそのヨーロッパ文化史における系譜を流麗な文章で辿る。文化史・郷土史研究を主流とするオーストリア民俗学グラーツ学派の代表的著作である。

〔1988〕978-4-930689-96-2

村上信一郎著

権威と服従

—カトリック政党とファシズム—

A5 判・330 頁・4,300 円

第一次世界大戦の危機のさなかに誕生しムッソリーニ・ファシズム体制の成立とともに消滅したイタリア史上最初のカトリック政党であるイタリア人民党の歴史社会学的分析を通じて，近代の政治的危機における政治と宗教のダイナミックな関係を考察する。

〔1989〕978-4-8158-0106-9

林　董一著

尾張藩漫筆

〔品切〕四六判・412 頁・2,500 円

尾張藩のおこりとその殿さま，独立をめざして涙ぐましい運動を展開する犬山・成瀬家，町人や武士のくらし，名古屋商人成立事情，木曽の山林犯罪や尾張藩の盗賊処罰法など，江戸から明治にかけての尾張・名古屋の生態を，尾張藩の生字引と言われる著者がいきいきと再現する。

〔1989〕978-4-8158-0117-5

中村幹雄著

ナチ党の思想と運動

A5 判・376 頁・5,500 円

本書は，ナチ党を無原則な機会主義に基づく旧中間政党とみなす支配的学説を却け，ナチ党の成立から政権獲得までのナチ・イデオロギーの本質と広汎な支持基盤を未公刊・公刊史料を駆使して明らかにする。運動体としてのナチ党そのものの実体に迫りナチ研究に新生面を拓く力作。

〔1990〕978-4-8158-0129-8

望田幸男編

国際比較・近代中等教育の構造と機能

〔品切〕A5 判・376 頁・4,000 円

従来の単なる理念史や制度史の枠をこえて，近年注目されつつある 19 世紀末から 20 世紀初頭にかけての中等教育の構造と機能を，英独仏米露とともに日本の場合についても検討し，比較史的観点から各国の中等教育が果たした社会的役割を明らかにする。教育史を歴史学に組みこむ試み。

〔1990〕978-4-8158-0130-4

トムスン／デイヴィス／ギンズブルグ他　近藤和彦／野村達朗編訳

歴史家たち

—Visions of History—

〔品切〕A5 判・384 頁・3,000 円

労働民衆史，大衆文化，図像論，少数民族，女性史等社会史の新しい展望を開拓してきた 14 人のラディカル・ヒストリアンが，現代史のただなかに生きる歴史家として，生い立ちや歴史学との出会い，体験や著作等を率直に語る知的刺激に満ちたインタヴュー集成。

〔1990〕978-4-8158-0137-3

畑中幸子／原山煌編

東北アジアの歴史と社会

〔品切〕A5 判・340 頁・5,000 円

本書は，近年の中国の開放政策によって可能となった現地調査を踏まえて，言語学，東洋史学，文化地理学，民族学の一線研究者が，満洲族と中国東北部の相互影響のメカニズムを言語・慣習・信仰の各側面について実証的に究明した戦後初のツングース・モンゴル研究。

〔1991〕978-4-8158-0152-6

A. J. P. テイラー著　井口省吾訳

近代ドイツの辿った道

―ルターからヒトラーまで―

〔品切〕A5 判・290 頁・3,500 円

「ドイツ人の歴史は極端の歴史である。中庸以外の全てがある」という痛烈な書き出しで始まる本書は，わが国でも著名な現代英国の歴史家が，ドイツの齎した悲劇の原因を尋ねて，ルターからヒトラーにいたるドイツ近代史の軌道を告発し，ドイツ統一が孕む問題性を鋭く予見した歴史の傑作。

〔1992〕978-4-8158-0180-9

ジャック・ルゴフ著　池上俊一訳

中世の夢

四六判・296 頁・2,800 円

夢，「フィクション・サイエンス」，森，荒野，野人，そしてインド洋――ヨーロッパ中世において，人間社会の現実と不可分な関係の中で成立した，これら夢や幻想の世界を，文学・人類学との出会いのもと，アナール学派の巨匠が雄大なスケールで論じ，歴史に失われた半身を回復する。

〔1992〕978-4-8158-0181-6

森　正夫編

江南デルタ市鎮研究

―歴史学と地理学からの接近―

〔品切〕A5 判・290 頁・5,800 円

本書は，中国現代化の先進地帯である江南デルタの市鎮に焦点を当て，立地条件，歴史的基盤，社会統合の特質，集落システムの形態，商品市場の存在形態等を，実地調査を踏まえて，多角的学際的に究明し，もってそのエネルギーの根源を明らかにする。

〔1992〕978-4-8158-0183-0

ユルゲン・コッカ著　加来祥男編訳

工業化・組織化・官僚制

―近代ドイツの企業と社会―

〔品切〕A5 判・242 頁・4,000 円

本書は，19 世紀後半以降の社会経済の組織化の問題，巨大企業組織の変化と専門経営者の出現，企業家・経営者の正統性問題，教育と階層間の流動性，工業化に果たした家族や官僚制の役割等，ドイツ近現代史の重要問題を国際比較を交えて広い視野から明晰に考察する。

〔1992〕978-4-8158-0189-2

長谷川博隆編

古典古代とパトロネジ

〔品切〕A5 判・320 頁・5,500 円

近年，社会学や人類学との交流によって，新たにパトロネジが注目を集めている。本書は，人間社会に普遍的に観察されるこのパトロネジの，ギリシア・ローマにおける位置と機能を問うとともに，社会学的モデルとの対質を通じて，古代世界の社会システム・イデオロギーの総体をも逆照射する。

〔1992〕978-4-8158-0190-8

D. ポイカート著　小野清美／田村栄子／原田一美訳

ワイマル共和国

―古典的近代の危機―

〔品切〕A5 判・298 頁・3,500 円

世代論，人口動態論，ミリュー論，女性史，余暇行動の分析，相対的安定期の重視など，数々の斬新な枠組みと論点を導入し，ワイマル共和国を独自の時代としてトータルに把握――近代の両義的過程を見据えた冷静で現実主義的な解釈は，本書をしてこの時期の最良の通史としている。

〔1993〕978-4-8158-0201-1

M. ミッテラウアー／R. ジーダー著　若尾祐司／若尾典子訳

ヨーロッパ家族社会史
—家父長制からパートナー関係へ—

A5 判・260 頁・2,400 円

家父長制からパートナー関係へというヨーロッパの家族発展の基本線を，家族が本来担っていた諸機能の削減・解除という側面から巨視的に捉えるとともに，家族サイクル論の視点から，歴史のなかの「若者」や「老人」の問題にメスをいれた，ドイツ語圏の家族史研究を代表する著作。

〔1993〕978-4-8158-0209-7

近藤孝弘著

ドイツ現代史と国際教科書改善
—ポスト国民国家の歴史意識—

A5 判・460 頁・8,000 円

第一次大戦以降とりわけ第二次大戦以降本格化する，欧州における歴史教科書改訂作業の丹念な検証を通じて，ドイツが如何にして自国中心的歴史観を克服してきたかを明らかにする。わが国のアジア近隣諸国との教科書改訂問題にも示唆するところ大な労作。**日本比較教育学会平塚賞受賞**

〔1993〕978-4-8158-0213-4

神野清一著

日本古代奴婢の研究

〔品切〕A5 判・404 頁・7,000 円

本書は，中国から律令とともに良賤制を導入した日本の古代国家において，賤身分としての奴婢が担った社会的機能・在り方とその階級的側面のもつ経済的意義とを初めて統一的かつ実証的に明らかにした労作であり，日本の古代社会の構造的把握とその性格の解明に資するところ大であろう。

〔1993〕978-4-8158-0215-8

林　董一著　　日本生命財団出版助成図書

近世名古屋商人の研究

A5 判・578 頁・10,000 円

名古屋商人とは何か，名古屋商人はいかに形成されてきたのか？　近江商人，大坂商人，江戸商人等とは異なる独自の世界と歴史を，尾張藩公法史に関して画期的業績をあげた著者が，文書史料の悉皆的博捜と精緻平明な分析により明らかにする近世名古屋商業史研究の決定版。**明治村賞受賞**

〔1994〕978-4-8158-0221-9

栗原　優著

第二次世界大戦の勃発
—ヒトラーとドイツ帝国主義—

A5 判・702 頁・9,000 円

本書は，従来別個に追求されてきたヒトラーの戦争目的を中心とする外交史的研究と，ドイツの戦争準備に焦点を合わせた軍事史的・経済史的研究とを，ドイツの諸文書館の根本資料を博捜することによって総合し，第二次大戦の原因解明に新たな光を当てる，我が国初の本格的研究である。

〔1994〕978-4-8158-0226-4

山田　賢著

移住民の秩序
—清代四川地域社会史研究—

A5 判・320 頁・6,000 円

漢民族の歴史は，一面では開発と移住の歴史でもあった。本書は，18 世紀前後，こうした開発の波に洗われていた前線の一つ，四川省を具体例として取り上げ，人の移動という観点から「地域」の生成と変容を微視的に検討し，かかる「地域」＝基層から伝統中国の秩序に迫った力作である。

〔1995〕978-4-8158-0247-9

望田幸男編

近代ドイツ=「資格社会」の制度と機能

A5 判・340 頁・5,500 円

近代社会は身分制の否定の上に，職業資格をもって社会の編成を図っており，その意味で「資格社会」だと言える。本書は，近代ドイツをその典型として捉え，専門職研究の最新成果を踏まえて諸種の職業資格の制度と機能を分析，もって新たなドイツ社会像を形象化した共同研究の成果である。

〔1995〕978-4-8158-0249-3

渡辺　誠著

日韓交流の民族考古学

【RA 叢書】B5 判・216 頁・6,700 円

縄文時代のドングリ食・漁業から弥生時代の卜骨・鳥形木製品，さらには近世の瓦・木綿にいたるまで，長年にわたる日韓の精力的なフィールドワークをもとに物質資料の比較を通して，日本と朝鮮半島との持続的な交流の実態を解明，以て新たな物質文化史の構築を試みた労作である。

〔2022（1995）〕978-4-8158-1070-2

東　晋次著

後漢時代の政治と社会

A5 判・368 頁・8,500 円

これまで研究が手薄であった後漢時代史の展開を，「貴戚政治」「士大夫豪族」「察挙体制」等の新しい概念を通して考察し，皇帝支配のあり方の変化と郷里社会における豪族の成長とを相関的に把握することによって，中国伝統社会の原型が後漢時代に形成されたことを明らかにする。

〔1995〕978-4-8158-0271-4

若尾祐司著

近代ドイツの結婚と家族

A5 判・438 頁・5,800 円

①市民的結婚の法制化，②結婚行動と家族形成の実態，③女性運動による結婚・家族制度の批判，の三つの視角から，19 世紀ドイツにおける「結婚の社会史」に迫るとともに,「ドイツ特有の道」論との関連を問うことを通じて，「近代」の歴史的構図を鋭く批判する。

〔1996〕978-4-8158-0272-1

田村栄子著

若き教養市民層とナチズム

―ドイツ青年・学生運動の思想の社会史―

A5 判・518 頁・5,800 円

「青年を制するものは世界を制する」――教養と「フォルク」のあり方を真摯に問い，ナチス「革命」の能動的な担い手と化してゆく若き知的エリートとその思想の生成過程を，ヴァンダーフォーゲルからナチス学生にいたるまで，初めて総合的・社会史的に解明した労作。

〔1996〕978-4-8158-0278-3

田中恭子著

土地と権力

―中国の農村革命―

A5 判・442 頁・6,000 円

中国共産党の公刊資料には含まれない台湾内務省の所有する秘密資料を駆使して 1945 年～49 年の内戦期中国解放区の土地改革の実態とそれが実際に革命に寄与したのかどうか，そしてこの土地改革のやり方の中にこそ，その後の中国共産党政治の原型があることを実証的に明らかにする。

〔1996〕978-4-8158-0280-6

G. フライターク著　井口省吾訳

ドイツ社会文化史

A5 判・402 頁・5,000 円

著者は 19 世紀ドイツの著名な作家兼ジャーナリスト。「ドイツ人は何者であり，どんな民族か？」をモチーフに，民族移動期以後のドイツ民族の歴史を王侯貴族から市民・庶民にいたるその心性をも含んで描いたアナール派以前のアナール派的歴史で，今なお最良のドイツ国民史とされる。

〔1996〕978-4-8158-0297-4

佐藤彰一著

修道院と農民

―会計文書から見た中世形成期ロワール地方―

A5 判・784 頁・16,000 円

ヨーロッパ中世世界の成立過程をいかに捉えるか。サン・マルタン修道院会計文書の体系的分析により，この文書がカバーするロワール地方を観察の場とし，史料が語る農村社会の構造と変動の様を介して，古代から中世への移行の様相を初めて具体的に解明した画期的労作。**日本学士院賞受賞**

〔1997〕978-4-8158-1084-9

S. M. グインター著　和田光弘／山澄亨／久田由佳子／小野沢透訳

星条旗 1777〜1924

四六判・334 頁・3,600 円

多様な民族・階級がせめぎ合う広大な人工国家アメリカのナショナル・アイデンティティはいかにして形成されたのか？――「想像の共同体」の創造に動員され，やがて愛国主義の中枢へと上り詰めてゆく国旗の機能と変遷を，市民宗教の概念を駆使しつつ描き出した星条旗の文化史。

〔1997〕978-4-8158-0325-4

梶川伸一著

飢餓の革命
―ロシア十月革命と農民―

A5 判・604 頁・12,000 円

本書は，ソ連崩壊によって公開されはじめた膨大な資料を踏まえて，十月革命直後の戦時共産主義期におけるボリシェヴィキ権力と農民，都市プロレタリアと農民の矛盾・対抗関係の実態を，革命後全国に波及した飢餓に焦点を合わせて民衆のレベルから実証した労作。

〔1997〕978-4-8158-0333-9

羽賀祥二著

史蹟論
―19 世紀日本の地域社会と歴史意識―

A5 判・434 頁・5,800 円

私たちの歴史意識はどのように形成されてきたのか。――本書は，19 世紀日本の各地で澎湃として起こった歴史的遺跡の発掘や考証，記念碑建立の活発な動きをつぶさに検討することによって，近代の史蹟空間を作り上げた歴史的想像力と文化構造の特質を明らかにした労作である。

〔1998〕978-4-8158-0347-6

岡本隆司著

近代中国と海関

A5 判・700 頁・9,500 円

中国と西洋の交渉の場であったばかりでなく，西洋人が管理運営にも携わった海関制度を軸として，16 世紀末から 20 世紀初にわたる中国の国家構造とその変遷を解明した力作。西洋近代モデルへの批判を実証的に展開した本書は，アジア研究の活性化を促すであろう。**大平正芳記念賞受賞**

〔1999〕978-4-8158-0357-5

高橋　章著

アメリカ帝国主義成立史の研究

A5 判・382 頁・5,800 円

建国以来のアメリカ膨張主義の伝統をふまえて「大陸帝国」から「海洋帝国」への転換を跡づけ，1898 年の「米西戦争」における帝国主義世界体制の成立とその一環としてのアメリカ帝国主義の出現を考察。当時の思想家による帝国論や巨大企業支配・革新主義政治との関連をも照射する。

〔1999〕978-4-8158-0360-5

池上俊一著

ロマネスク世界論

A5 判・586 頁・6,500 円

魂と肉体，個人と共同体，声と文字，自然と超自然が，イメージの深い象徴＝認識作用によって結びつけられ，ヨーロッパの本質を形成した時代。その心的世界の全体構造を，現実社会とのダイナミックな連関の下，思考・感覚・感情・霊性・想像の五つの局面とその相互作用から解明した大作。

〔1999〕978-4-8158-0362-9

オットー・ダン著　末川清／姫岡とし子／高橋秀寿訳

ドイツ国民とナショナリズム
―1770〜1990―

〔品切〕A5 判・328 頁・3,800 円

ネイションに関わる用語の大胆な定義づけによって，本書は民族至上主義的ナショナリズムの批判と国民運動の再評価を歴史的に展開した。帝国と領邦，民族・エスニシティ，階級などが幾重にも錯綜した「ドイツ国民」の形成をめぐる葛藤の歴史を，ヨーロッパ全体を視野に入れつつ描き出す。

〔1999〕978-4-8158-0373-5

高橋友子著

捨児たちのルネッサンス

—15 世紀イタリアの捨児養育院と都市・農村—

【RA 叢書】A5 判・338 頁・5,400 円

15 世紀フィレンツェに創設された，インノチェンティ捨児養育院の例外的に豊かな史料をもとに，捨児たちの運命から家族や乳母の姿，転換期における都市社会と慈善，農村に支えられた里子システムまでを，数量分析と記述史料の丹念な分析により解明する。**マルコ・ポーロ賞受賞**

〔2022（2000）〕978-4-8158-1071-9

和田光弘著

紫煙と帝国

—アメリカ南部タバコ植民地の社会と経済—

A5 判・446 頁・5,800 円

砂糖と並ぶ近世の主要な国際商品たるタバコ。北米大陸南部においてその生産を担った「タバコ植民地」の変容を多角的に分析し，イギリス第一帝国という巨大なシステムに組み込まれた北米南部植民地の歴史的構造を浮き彫りにする。**アメリカ学会清水博賞受賞**

〔2000〕978-4-8158-0383-4

松本俊郎著

「満洲国」から新中国へ

—鞍山鉄鋼業からみた中国東北の再編過程 1940～1954—

A5 判・380 頁・5,800 円

日本の敗戦，「満洲国」の倒壊，ソ連軍の進駐，国共内戦の混乱の後，その当初の開発意図を越えて，新中国の経済建設に組み込まれた満洲鉄鋼業の物的・人的資源の連続と断絶の諸相を，多様な史料と聞き取りによって実証的に解明，研究史上の空隙を埋める労作。**日経・経済図書文化賞受賞**

〔2000〕978-4-8158-0384-1

リンダ・コリー著　川北稔監訳

イギリス国民の誕生

〔品切〕A5 判・462 頁・5,800 円

広範なプロテスタント文化，長期に及ぶ対仏抗争，海外帝国の膨大な利益が「イギリス国民」の創生にもたらした意味を多彩な文書・図像史料から解明，国王，支配階層，諸民族，男性・女性が「イギリス人」へと参画し多層的に再構成されていくあり方を，ニュアンスに富む歴史記述により描出。

〔2000〕978-4-8158-0387-2

E. L. ジョーンズ著　安元稔／脇村孝平訳

ヨーロッパの奇跡

—環境・経済・地政の比較史—

A5 判・290 頁・3,800 円

持続的経済成長はなぜヨーロッパで始まったのか？　アジアとの対比による比較史的方法と超長期的視野による分析を導入し，地理，気候，災害等の環境要因と，帝国，諸国家併存体制等の固有の政治システムの規定的役割を解明，経済史の中心的議論に強いインパクトを与えた名著の翻訳。

〔2000〕978-4-8158-0389-6

エリック・リーヴィー著　望田幸男監訳　田野大輔／中岡俊介訳

第三帝国の音楽

A5 判・342 頁・3,800 円

20 世紀文化史上の暗黒時代における音楽と政治の曖昧な関係を，同時代の諸資料や新聞・雑誌等を博捜することによって明らかにした労作。現代にいたるまでのドイツ音楽の連続性を念頭におきつつも，従来の伝記的叙述から踏み出し，ナチ時代における音楽のあり方をトータルに把握する。

〔2000〕978-4-8158-0397-1

近藤孝弘著

自国史の行方

—オーストリアの歴史政策—

四六判・262 頁・3,200 円

ハイダー現象をもたらした歴史認識の深刻な歪みを，ナチズムへの加担をめぐる自己理解の問題として，「犠牲者神話」の闇に取り組む歴史教育の葛藤に満ちた現場から浮き彫りにするとともに，歴史意識と国家像，ネーションと極右主義の清算されざる関係を鋭く問い直す。

〔2001〕978-4-8158-0398-8

P. シェットラー編　木谷勤／小野清美／芝健介訳
ナチズムと歴史家たち

A5 判・300 頁・4,200 円

アカデミックな歴史学によるナチ支配への協力の実態をはじめて描き出すとともに，戦後一大潮流をなした社会史の起源に大きな疑問符をなげかける。一握りのナチ・イデオローグに偏りがちだった研究状況を乗り越え，歴史記述自体の政治性を問題化して，強いインパクトを与えた注目の研究。
〔2001〕978-4-8158-0408-4

長谷川博隆著
古代ローマの政治と社会

A5 判・708 頁・15,000 円

世界帝国ローマの形成――その支配領域の拡大と市民団の変質は法・制度の問題としてどのように克服されていくのか，いったいそれは国家ローマそしてローマ人にとって何を意味するのか？　共和政期ローマの政治・社会を動かすものを，理念と現実の葛藤の中から捉えた碩学の論集。
〔2001〕978-4-8158-0410-7

長谷川博隆著
古代ローマの自由と隷属

A5 判・686 頁・15,000 円

ローマ人とはいかなる人々か？　農業や牧畜など「なりわい」に基づく人間関係を，家・社会・国家という三層の連関の中で捉え，ローマ人における自由と隷属，支配と結合のありようを照射。制度史と社会史を統合する中から，ローマ的なものの特殊性と普遍性を探った碩学の論集。
〔2001〕978-4-8158-0411-4

井上　進著
中国出版文化史
―書物世界と知の風景―

A5 判・398 頁・4,800 円

春秋時代の書籍成立から印刷本の誕生をへて明末の書物普及までの，二千年にわたる書物の文化史。書物を作る・売る・読む・蔵する等，さまざまな相に光をあてるとともに，知のあり方はもちろん，帝国の政策やイデオロギーとの関係など，政治・社会との相互作用に注目し，全体像を描き出す。
〔2002〕978-4-8158-0420-6

マルク・ラエフ著　石井規衛訳
ロシア史を読む

A5 判・268 頁・4,200 円

ソ連の崩壊によるロシア史への新たな関心の高まりのなかで，ロシアを含め各国でもっとも支持された名著。該博な知識にもとづく的確な問題把握とトータルな叙述によりロシア史の理解を一新，汎ヨーロッパ的視点に立ち，紀律国家の展開による近代化の姿を輪郭あざやかに描き出す。
〔2001〕978-4-8158-0422-0

吉澤誠一郎著
天津の近代
―清末都市における政治文化と社会統合―

A5 判・440 頁・6,500 円

中国史というナショナルな枠組みで考えられてきた歴史を，天津という一都市の視点から捉え直した力作。地域防衛の実践から行政機構の革新，愛国主義の発揚まで，政治文化と社会統合のあり方に注目し，地域的要因と国際的契機が織りなす「近代」の実像を描き出す。**山口一郎記念賞受賞**
〔2002〕978-4-8158-0423-7

脇村孝平著
飢饉・疫病・植民地統治
―開発の中の英領インド―

〔品切〕A5 判・270 頁・5,000 円

英領期における飢饉と疫病被害の深刻な様相は，なにゆえに生じたのか？　灌漑用水路や鉄道の発達，都市化などの開発がもたらした疾病環境の悪化を，社会経済的変動に即して描出しつつ，植民地政府の対応をも詳細に叙述，英領期インド社会への新たな視野を開く。**国際開発研究大来賞受賞**
〔2002〕978-4-8158-0428-2

ケネス・E.フット著　和田光弘／森脇由美子／久田由佳子／小澤卓也／内田綾子／森丈夫訳

記念碑の語るアメリカ

―暴力と追悼の風景―

A5 判・354 頁・4,800 円

癒しがたい悲劇と暴力はいかにしてアメリカの風景に刻み込まれ，国民の記憶を創り上げてきたのか――さまざまな悲劇の場所が語る物語を，鮮烈な写真とともに描き出し，アメリカ社会の深層によこたわる暴力と景観，記憶と忘却のメカニズムを明らかにする。J. B. ジャクソン賞受賞。

〔2002〕978-4-8158-0440-4

山本　進著

清代の市場構造と経済政策

A5 判・368 頁・6,800 円

経済発展が地域経済圏の自立化へと帰結したのはなぜか？　地方誌に残された記述をもとに，米穀・棉布をはじめ，各地で叢生した地域産品の盛衰と地域間分業の展開過程を詳細に分析，政府の市場政策への新たな視角の提起により，清代市場の構造的特質を浮き彫りにした労作。

〔2002〕978-4-8158-0438-1

溝口常俊著

日本近世・近代の畑作地域史研究

A5 判・452 頁・6,500 円

水田中心史観のもとで看過されてきた畑作生業の実態を初めて解明，歴史的・空間的把握と，宗門改帳，日記，地誌などの分析により，畑作村民の経済的・社会的日常生活を復元するとともに，生業の複合的広がりと高い人口支持力を実証し，地域史研究に再考を迫る。**人文地理学会学会賞受賞**

〔2002〕978-4-8158-0451-0

秋田　茂著

イギリス帝国とアジア国際秩序

―ヘゲモニー国家から帝国的な構造的権力へ―

A5 判・366 頁・5,500 円

19 世紀末から 1930 年代までの英帝国史を，ヘゲモニー国家から「帝国的な構造的権力」への変容として捉え，インド軍の海外派兵問題と，東アジアの工業化に対する英国の認識に着目し，安全保障構造から経済構造にわたる新たな国際関係史の構築を試みる。**大平正芳記念賞受賞**

〔2003〕978-4-8158-0456-5

望田幸男編

近代ドイツ＝資格社会の展開

A5 判・370 頁・5,800 円

エリートの専門職業に比して解明が遅れていた非エリート層の職業に焦点をあて，職業資格にもとづいて展開した近代的社会編成の構造と，そこに見られた人々の葛藤を照射，見落とされてきた近代ドイツ社会の「影」の部分をも描き出し，資格社会の新たな全体像を示す。

〔2003〕978-4-8158-0457-2

安藤隆穂編

フランス革命と公共性

A5 判・368 頁・5,000 円

革命を規定した公共性の転換の諸相を，公論と公共精神をめぐる対立と相克の過程を軸に描き出す。思想・経済・教育・宗教・法・政治の問題領域からの多様な分析により，自由をめぐる公共圏創出のダイナミズムを捉え，公共性論・フランス革命史に新たな領域を拓いた画期的成果。

〔2003〕978-4-8158-0458-9

ジョン・ブリュア著　大久保桂子訳

財政＝軍事国家の衝撃

―戦争・カネ・イギリス国家 1688–1783―

A5 判・326 頁・4,800 円

強力な戦争遂行国家はいかにして生まれたのか？巨大な陸海軍，勤勉な行政官，重税と莫大な債務を特徴とする新たな国家，「財政＝軍事国家」の成立とその政治的・社会的インパクトを明快に描き出し，従来のイギリス史像に根本的な書き換えを迫った話題作。待望の邦訳。

〔2003〕978-4-8158-0465-7

山本有造編

帝国の研究
—原理・類型・関係—

A5 判・406 頁・5,500 円

帝国の多様な歴史を貫く原理とは何か？　史上にあらわれた諸帝国の存立構造とその核心を，グローバルヒストリー研究の潮流や国民国家形成との関連を踏まえて摑み出す。帝国の肖像を，経済・思想・政治・文化の面からトータルに浮かび上がらせた，第一線の論者による画期的帝国論。

〔2003〕978-4-8158-0473-2

川島　真著

中国近代外交の形成

A5 判・706 頁・7,000 円

中国にとって近代外交とは何であり，それはいかにして形づくられたのか。国際社会における「文明国」の地位をめざし外交官僚らが紡ぎだした制度や政策を，当時の外交档案の博捜により同時代的文脈の中で明らかにし，「中国」が表出されていくさまを捉える。**サントリー学芸賞受賞**

〔2004〕978-4-8158-0476-3

小野清美著

保守革命とナチズム
—E. J. ユングの思想とワイマル末期の政治—

A5 判・436 頁・5,800 円

大衆民主主義との対峙，ヨーロッパ統合構想，近代文明批判。青年保守派の代表的論客の思想と行動を通して，今日なおアクチュアルな意味をもつ保守革命の政治思想を描きだすとともに，ナチズムとの本質的差異を明らかにし，ワイマルの悲劇をもたらした政治過程に新たに切り込んだ力作。

〔2004〕978-4-8158-0484-8

本野英一著

伝統中国商業秩序の崩壊
—不平等条約体制と「英語を話す中国人」—

A5 判・428 頁・6,000 円

アロー戦争後，近代西洋の経済秩序原理が中国のそれとぶつかり，軋轢の中から伝統的商業秩序が崩壊していく過程を，「不平等条約」特権を利用する中国人の役割に注目しつつ，中英経済紛争を分析することで実証的に解明，中国社会の歴史的性格を浮き彫りにした画期的労作。

〔2004〕978-4-8158-0486-2

平野　聡著

清帝国とチベット問題
—多民族統合の成立と瓦解—

A5 判・346 頁・6,000 円

「中華」的価値とは一線を画す内陸アジアから，東アジアにまたがる多民族統合を実現した清帝国の論理，諸政策と統治構造を，チベット仏教文化と儒教文化の緊張関係を軸に捉え，西欧近代的価値の流入やナショナリズムの勃興とともに内部崩壊していく過程を描く。**サントリー学芸賞受賞**

〔2004〕978-4-8158-0487-9

ピーター・バーク著　石井三記訳

ルイ 14 世
—作られる太陽王—

A5 判・346 頁・4,200 円

偉大なる王の公的イメージはいかにして形成され，王権のあり方とどのように関わっているのか。王権の表象戦略と集合的なイメージ創出のダイナミズムを，当時の絵画や版画，メダルや彫刻，演劇，バレエ，オペラ等に探り，権力と表象やメディアの関係を明らかにした卓抜な著作。図版多数。

〔2004〕978-4-8158-0490-9

ピーター・クラーク著　西沢保／市橋秀夫／椿建也／長谷川淳一他訳

イギリス現代史 1900−2000

A5 判・496 頁・4,800 円

政治・経済から社会・文化にいたるまで，大きな流れと細部の展開を巧みに組み合わせ，「栄光の時をもち，希望を育んできた」イギリスの人々の幅広い経験を見事に描き出した最良の通史。衰退の歴史としてのみ語られがちであった 20 世紀イギリスの新たな全体像が鮮やかに浮かび上がる。

〔2004〕978-4-8158-0491-6

岡本隆司著

属国と自主のあいだ

―近代清韓関係と東アジアの命運―

A5 判・522 頁・7,500 円

せめぎあう東西の世界秩序の中から焦点として浮かび上がった朝鮮の「属国自主」――従来注目されることの少なかった清韓関係を日米英露との交渉の中で捉え，19 世紀半ばから日清戦争にいたる東アジアの構造変動を，徹底的な史料分析によって描き出した労作。**サントリー学芸賞受賞**

〔2004〕978-4-8158-0494-7

若尾祐司／羽賀祥二編

記録と記憶の比較文化史

―史誌・記念碑・郷土―

〔品切〕A5 判・408 頁・5,700 円

「歴史」の場はいかにして形成され，社会に何をもたらしたのか。地域社会の歴史と民俗を記録した郷土誌と，歴史的記憶のシンボルである記念碑の分析を中心に，近代における歴史文化の形成と，ナショナリズムにつながる歴史意識の具体的な様相を，比較史的に明らかにした共同論集。

〔2005〕978-4-8158-0501-2

テオドール・モムゼン著　長谷川博隆訳

モムゼン ローマの歴史Ⅰ

―ローマの成立―

A5 判・490 頁・6,000 円

現代のローマ史研究の基礎を築いた碩学が若き才能を注ぎ込んだ歴史の一大傑作にして，ノーベル文学賞を受賞した情熱の書。政治･経済から宗教･芸術まで人間の営みの全体を描きだす。本巻ではイタリアの統一までを叙述（全 4 巻）。**日本翻訳文化賞，ドイツ連邦共和国レッシング翻訳賞受賞**

〔2005〕978-4-8158-0505-0

テオドール・モムゼン著　長谷川博隆訳

モムゼン ローマの歴史Ⅱ

―地中海世界の覇者へ―

A5 判・438 頁・6,000 円

稀代の碩学が若き才能を注ぎ込んだ歴史の一大傑作。本巻では，カルタゴの名将ハンニバルとの壮絶な戦いや東方での戦争をへてローマが地中海世界の覇権を握る一方，来るべき革命への予兆がきざす。 **日本翻訳文化賞，ドイツ連邦共和国レッシング翻訳賞受賞**

〔2005〕978-4-8158-0506-7

テオドール・モムゼン著　長谷川博隆訳

モムゼン ローマの歴史Ⅲ

―革新と復古―

A5 判・454 頁・6,000 円

稀代の碩学が若き才能を注ぎ込んだ歴史の一大傑作。本巻では，地中海世界の覇権を握るにいたったローマが，元老院による統治体制の機能不全から革新と復古のあいだを揺れ動く混迷の時代を描く。**日本翻訳文化賞，ドイツ連邦共和国レッシング翻訳賞受賞**

〔2006〕978-4-8158-0507-4

テオドール・モムゼン著　長谷川博隆訳

モムゼン ローマの歴史Ⅳ

―カエサルの時代―

A5 判・664 頁・7,000 円

稀代の碩学が若き才能を注ぎ込んだ歴史の一大傑作，遂に完結。共和政を崩壊に導くとともに，地中海世界からヨーロッパとアジアにわたる新しい世界帝国を基礎づけたカエサルとその時代を描ききった全 4 巻のクライマックス。**日本翻訳文化賞，ドイツ連邦共和国レッシング翻訳賞受賞**

〔2007〕978-4-8158-0508-1

伊藤之雄著

昭和天皇と立憲君主制の崩壊

―睦仁・嘉仁から裕仁へ―

A5 判・702 頁・9,500 円

近年公表・公刊が進んだ一次史料を精読し，イギリスの君主との実態比較も踏まえつつ，明治以来の立憲君主制の展開と昭和天皇・宮中の動向，そして立憲君主制崩壊の政治過程を，当時の法・政治慣行や天皇・皇族の公的イメージにまで立ち入り，あたうかぎり客観的にとらえた渾身の力作。

〔2005〕978-4-8158-0514-2

川島正樹編

アメリカニズムと「人種」

A5 判・386 頁・3,500 円

アメリカの「自由と民主主義」はなぜ「人種」問題を解決できないのか。またそれはグローバル化の中でどのような意味を持つのか。――アメリカニズムと「人種」の関係を，植民地時代以来の多元的な歴史と，現代アメリカ社会における困難という二つの軸で捉え，全体像を浮き彫りにする。

〔2005〕978-4-8158-0516-6

佐藤彰一／池上俊一／高山博編

西洋中世史研究入門［増補改訂版］

四六判・414 頁・3,600 円

古代と近現代を一望におさめ，歴史を見通すために好適な観測地点たる中世――本書は，邦語を中心とする基本的文献を紹介しながら，研究を方向づけてきた問題意識の展開の中に位置づけることによって，研究の現在と読者を架橋するベーシックな研究入門である。最新の研究成果を大幅増補。

〔2005〕978-4-8158-0517-3

マリア・ロサ・メノカル著　足立孝訳

寛容の文化

―ムスリム，ユダヤ人，キリスト教徒の中世スペイン―

A5 判・336 頁・3,800 円

「世界の宝飾」と呼ばれた輝ける土地の記憶――。7 世紀にわたる三宗教共存の中で形成された寛容の文化を，美しいタペストリーを織り上げるかのごとく再構成し，地中海・ヨーロッパ世界の歴史と文化の新たな相貌を浮かび上がらせる。今日を生きる我々の心をゆさぶらずにはおかない傑作。

〔2005〕978-4-8158-0518-0

宮　紀子著

モンゴル時代の出版文化

A5 判・754 頁・9,500 円

これまで「暗黒時代」とされてきた大元ウルス治下の文化政策と出版活動を，東アジアへの広範な影響も視野にいれ，多領域にわたる一次資料にもとづきながら，書物・言語・挿絵・地図等にそくして再検討，かつてない活況を呈した時代の実像を描きだす。**日本学士院学術奨励賞受賞**

〔2006〕978-4-8158-0526-5

礪波護／岸本美緒／杉山正明編

中国歴史研究入門

A5 判・476 頁・3,800 円

近年の史料状況の激変にともなう研究の新展開をふまえ，中国の歴史を中国史の枠組みだけでなく広く世界史の中で捉えるために，邦語を中心とする基本文献の紹介を軸に，歴史の意味や史料のあり方から，研究を助ける様々な知識まで，中国史研究のエッセンスを伝えるベーシックな研究入門。

〔2006〕978-4-8158-0527-2

池内　敏著

大君外交と「武威」

―近世日本の国際秩序と朝鮮観―

A5 判・468 頁・6,800 円

日本の近世外交は東アジア世界のなかでどのように成立・変容したのか？　唯一正式の外交関係を構築した対朝鮮関係を軸に，近世外交と「日本型華夷意識」の諸相を地域・時代・身分差をふまえて精緻化するとともに，近世「竹島一件」を初めて日朝関係の形成過程に実証的に位置づけた労作。

〔2006〕978-4-8158-0531-9

大黒俊二著

嘘と貪欲

―西欧中世の商業・商人観―

A5 判・300 頁・5,400 円

商人・商業への蔑視が肯定へと転換していくトポスの変容を，スコラ学文献・教化史料・商人文書に表れた徴利，為替，公正価格論などをめぐる逆説的な展開からたどり，中世経済思想の隠された水脈を捉え直す。徴利禁止から近代的銀行の源流・モンテ設立へといたる，壮大な商業の精神史。

〔2006〕978-4-8158-0532-6

家島彦一著

海域から見た歴史

—インド洋と地中海を結ぶ交流史—

A5 判・980 頁・9,500 円

東西にまたがる「大海域世界」論を提唱し，アジア・アフリカ・ヨーロッパの多様な地域が，イスラーム・ネットワークを通して相互に連関する全体史のなかで捉えられることを，船・港市・島や，様々なルート・海上商人の活動などに着目することで，文献と現地調査から実証した未踏の労作。

〔2006〕978-4-8158-0534-0

望田幸男／野村達朗／藤本和貴夫／川北稔／若尾祐司／阿河雄二郎編

西洋近現代史研究入門［第 3 版］

〔品切〕四六判・546 頁・3,200 円

最新の研究成果を織り込んだ好評の第 3 版。「周辺」地域を含めた諸国の政治・社会史から家族・女性史，民衆の生活・文化史に至る西洋近現代史研究の基本視角，その主要問題群，代表的文献を案内したベーシックな研究入門。新たな論点や文献を加えた，学生・関連領域研究者必携の一冊。

〔2006〕978-4-8158-0542-5

アンドレ・シュミット著　糟谷憲一／並木真人／月脚達彦／林雄介訳

帝国のはざまで

—朝鮮近代とナショナリズム—

A5 判・336 頁・4,800 円

日清戦争から大韓帝国への移行，植民地化へと到る時代の朝鮮ナショナリズムの勃興を，民族主義と植民地主義の交差する地点から捉え，歴史や国境，「文明化」などをめぐる激しい葛藤を浮かび上がらせる。ナショナル・アイデンティティの形成とその今日に及ぶ影響を捉えた画期的研究。

〔2007〕978-4-8158-0549-4

池上俊一著

ヨーロッパ中世の宗教運動

A5 判・756 頁・7,600 円

隠修士，カタリ派，少年十字軍，ベギン会，鞭打ち苦行団，千年王国運動——ヨーロッパ中世社会が希求した〈霊性〉のあり方を民衆的宗教運動に探り，初期から末期までその持続と変化の様を通して中世世界をトータルに捉え直すとともに，ヨーロッパ精神の最も深い水脈にふれた画期的著作。

〔2007〕978-4-8158-0554-8

田野大輔著

魅惑する帝国

—政治の美学化とナチズム—

A5 判・388 頁・5,600 円

総統，労働者，民族共同体をモチーフに「芸術作品」として創造された第三帝国——ナチズムの「政治の美学化」による支配の全体構造と，大衆消費社会におけるキッチュと結びつき統合力を発揮していくメカニズムを，歴史社会学的手法によって解明し，美的なものの現実性を浮き彫りにする。

〔2007〕978-4-8158-0562-3

水野由美子著

〈インディアン〉と〈市民〉のはざまで

—合衆国南西部における先住社会の再編過程—

A5 判・340 頁・5,700 円

「インディアン」かつ「市民」という曖昧な法的地位におかれた 20 世紀前半の先住社会をとりあげ，土地制度・法的身分・学校教育に関する施策とその背景を検討することで，「インディアン」とすること／されることの意味を解剖するとともに，「市民」概念の歴史性・政治性を逆照射する。

〔2007〕978-4-8158-0564-7

バーナード・ベイリン著　和田光弘／森丈夫訳

アトランティック・ヒストリー

四六判・228 頁・2,800 円

国民国家や帝国の枠組みをこえて，大西洋を囲む四つの大陸——南北アメリカ，ヨーロッパ，アフリカ——の相互連関を捉え，トランスナショナルなヒトとモノのダイナミズムを浮かび上らせる大西洋史（アトランティック・ヒストリー）。歴史学最新のパラダイムの全貌を，アメリカ史学の泰斗が余すところなく論じる。

〔2007〕978-4-8158-0577-7

西澤泰彦著

日本植民地建築論

日本帝国の拡大に伴って広がった，日本近代建築の忘却された作品群を体系的に展望，各地域における建築史的位置づけの基礎データを提供しつつ，建築が植民地支配に果たした役割を描く。日本近代建築史の巨大な欠落を埋め，本格的な歴史的評価を示す。**日本建築学会賞受賞**

A5 判・520 頁・6,600 円

〔2008〕978-4-8158-0580-7

内田綾子著

アメリカ先住民の現代史

―歴史的記憶と文化継承―

20 世紀の揺れ動く連邦政策のなか，つねに合衆国の国民共同体の周辺に立ってきた先住民の軌跡を，彼ら自身による記録を掘り起こすことで複眼的に把握し，自らのアイデンティティを再構築する主体としての政治・文化戦略を浮き彫りにした，新たな先住民史。

A5 判・444 頁・6,000 円

〔2008〕978-4-8158-0581-4

川島正樹著　　南山大学学術叢書

アメリカ市民権運動の歴史

―連鎖する地域闘争と合衆国社会―

アフリカ系アメリカ人への差別撤廃を求めた市民権運動は，合衆国南部から全米へと波及した。本書はこの闘争の全容を，著者自身による現地での聞きとり調査や一次史料の検討を通じて，前史・後史を含めて克明に描出。運動の果たした歴史的意義をアメリカ社会全体の中で位置づける労作。

A5 判・660 頁・9,500 円

〔2008〕978-4-8158-0591-3

承　志著

ダイチン・グルンとその時代

―帝国の形成と八旗社会―

中国史で清朝とよばれるダイチン・グルンは，マンジュ（満洲）人のつくった国家であった。本書は，ナショナリズムに彩られた漢文中心の歴史叙述を脱し，ポスト・モンゴルのユーラシア史の文脈で，膨大な満洲語史料や地図を読み解き，この時代と社会の新たな実像を多角的に描きだす。

A5 判・660 頁・9,500 円

〔2009〕978-4-8158-0608-8

S. スブラフマニヤム著　三田昌彦／太田信宏訳

接続された歴史

―インドとヨーロッパ―

新たなグローバル・ヒストリーの実践――。オリエンタリズム論や構造論的アプローチを批判し，ムガルと西欧の交渉の現場で，人々の思惑と行動が複雑にからみあい事件が展開してゆく「接続」の有り様を丹念に解きほぐす。現在最も注目される歴史家の仕事を凝縮した一冊。

A5 判・390 頁・5,600 円

〔2009〕978-4-8158-0614-9

安冨歩／深尾葉子編

「満洲」の成立

―森林の消尽と近代空間の形成―

赤い夕日と凍てつく大地，森を切り裂く鉄道と疾駆する馬車，特産の大豆と独自の紙幣，大商人と移民，廟会とペストなど，生態系から経済・政治・宗教まで，相互のダイナミックな連関を解き明かし，中国本土とは異なる社会システムとその形成過程を初めてトータルに捉えた社会生態史の試み。

A5 判・586 頁・7,400 円

〔2009〕978-4-8158-0623-1

梶原義実著

国分寺瓦の研究

―考古学からみた律令期生産組織の地方的展開―

全国の国分寺瓦および在地寺院の瓦を実見した著者が，地方独自の瓦に注目し，文様と製作技法の両面から，各地の瓦生産システムの実相を復原。分布論的研究を超えて，造瓦組織が相互に連関・影響し変容する様を地域的・時間的な比較によって把握し，従来の国分寺瓦像を刷新する力作。

B5 判・354 頁・9,500 円

〔2010〕978-4-8158-0628-6

冨谷　至著

文書行政の漢帝国

―木簡・竹簡の時代―

A5 判・494 頁・8,400 円

木簡・竹簡こそが最強の古代帝国を実現した――。紙とは異なる簡牘という文書の特性から，書記官のあり方，書体・書法や書芸術の誕生，そして何よりも帝国を支える徹底した文書行政の実態を，文書の伝達・人の動き・物の管理にわたり，明晰な論理と緻密な考証によって蘇らせた労作。

〔2010〕978-4-8158-0634-7

上島　享著

日本中世社会の形成と王権

A5 判・998 頁・9,500 円

新たな時代たる中世を形づくった巨大な力とは？唐帝国の衰滅を機に，10 世紀から始まる中世社会・王権の形成過程を，政治・宗教文化・社会経済にわたって動態的に描き出し，中世という時代の本質を捉える。手堅い史料の読みから数々の創見が迸り，歴史像を転換する。**角川源義賞受賞**

〔2010〕978-4-8158-0635-4

シモーナ・コラリーツィ著　村上信一郎監訳　橋本勝雄訳

イタリア 20 世紀史

―熱狂と恐怖と希望の 100 年―

A5 判・610 頁・8,000 円

最も信頼できる現代史――。国王の臣民でしかなかったイタリアの民衆が，議会制民主主義と近代産業国家へと踏み出し，二度の世界大戦や内戦，冷戦などを乗り越えて，国民となり市民となっていく曲折に満ちた道程を，密度濃く描く。複雑で魅力あふれる現代イタリアを理解する最良の一冊。

〔2010〕978-4-8158-0650-7

荒川正晴著

ユーラシアの交通・交易と唐帝国

A5 判・638 頁・9,500 円

遊牧国家とオアシス国家の共生関係の上にあった秩序を取り込みながら唐帝国がユーラシア東部に構築した交通・交易体制を解明。ソグド商人らの活動に着目しつつ駅伝や通行証制度，モノやカネの流通を考察する。「シルクロード」像の背後にある交易隆盛の実相を明らかにする渾身作。

〔2010〕978-4-8158-0651-4

朝鮮史研究会編

朝鮮史研究入門

A5 判・538 頁・4,400 円

ダイナミックな発展を遂げる隣国の歴史を，第一線の研究者陣が丁寧に解説，韓国での研究動向も踏まえて，大きな転換点を迎えた朝鮮史研究の新たな見取り図を提示する。アジア史的な視野で朝鮮史を位置づけ直した，隣接分野でも必携の研究案内にして，初学者にも最良の入門書。

〔2011〕978-4-8158-0665-1

J. R. マクニール著　海津正倫／溝口常俊監訳

20 世紀環境史

A5 判・416 頁・5,600 円

人類史上，未曾有の規模で環境改変が進行した 20 世紀とは何だったのか。地球の各圏域――岩石圏，土壌圏，大気圏，水圏，生物圏――で生じた変化の全容を，同時代の政治・経済・科学技術との影響関係とともに明らかにする。「歴史学と生態学の統合」を目指すグローバル環境史の名著。

〔2011〕978-4-8158-0677-4

箱田恵子著

外交官の誕生

―近代中国の対外態勢の変容と在外公館―

A5 判・384 頁・6,200 円

科挙官僚の帝国で，いかにして近代外交の担い手は生まれたのか――。清末の公使館や領事館の開設はゴールではない。在外公館を孵化器に職業外交官が形成されていく過程を，個々の外交交渉のみならず，人事の実態を含めて把握することで，近代中国外交の展開と特質を浮き彫りにする。

〔2012〕978-4-8158-0687-3

中砂明徳著

中国近世の福建人
―士大夫と出版人―

A5 判・592 頁・6,600 円

東アジアの文化のハブとなった「南」の精神に測鉛を下す――。朱子学の原郷にして出版文化の中心を抱え，科挙で大成功を収めながら中央の政治とは縁遠く，海外の世界へと開かれた「異域」の個性。官僚社会でのふるまいと歴史教科書の出版を焦点に，その歴史的境位と文化の質を見定める。

〔2012〕978-4-8158-0689-7

貴堂嘉之著

アメリカ合衆国と中国人移民
―歴史のなかの「移民国家」アメリカ―

A5 判・364 頁・5,700 円

奴隷国家から移民国家へ。しかし，そこには「中国人問題」が存在した。南北戦争後の国家と社会の再編のなか，アメリカの帝国的拡大と人種や性や労働の問題が交錯する〈アメリカ人〉の境界画定の動きを，アジアからの眼差しで多角的・重層的に読み解く。**アメリカ学会清水博賞受賞**

〔2012〕978-4-8158-0690-3

麻田雅文著

中東鉄道経営史
―ロシアと「満洲」1896–1935―

A5 判・536 頁・6,600 円

「満洲」を通るロシアの「植民地化会社」として，露・中・日・仏・米が角逐する国際政治の焦点となった中東鉄道。鉄道経営と植民地経営が一体となった，その全体像を解明。西洋史・東洋史・日本史を横断する跨境的な東北アジア近現代史を描く。**樫山純三賞，鉄道史学会住田奨励賞受賞**

〔2012〕978-4-8158-0711-5

沢井　実著

近代日本の研究開発体制

菊判・622 頁・8,400 円

ナショナル・イノベーション・システムを歴史的視野で考えるために。第一次大戦から高度成長期までの約半世紀，科学技術の軍事動員を経つつ（軍）官産学の連携をはかり研究開発を行ってきた歴史を，圧倒的な実証によって描く。**日経・経済図書文化賞，企業家研究フォーラム賞受賞**

〔2012〕978-4-8158-0714-6

池内　敏著

竹島問題とは何か

A5 判・402 頁・4,600 円

歴史分析の光に照らし，学問的に確実に言いうることとは何か。日韓双方の史料に精通する著者が，過熱する両国の自己中心的な議論を乗り越えて，近世から現代に至る竹島問題の全体像を余すところなく描き出す。不毛な論争を終わらせ，冷静に問題に向き合うための必読の成果。

〔2012〕978-4-8158-0718-4

村上　衛著

海の近代中国
―福建人の活動とイギリス・清朝―

A5 判・690 頁・8,400 円

貿易，海賊・海難，移民など，清末中国の「海の歴史」に注目し，福建人の活動とイギリスの役割を焦点に，漢文・英文史料を博捜することで，アヘン戦争の再定義を含め，中国を新たな時代へと突き動かした力を多角的に明らかにする。海と陸，近世と近代を接続し，歴史像を刷新した労作。

〔2013〕978-4-8158-0719-1

黛　秋津著

三つの世界の狭間で
―西欧・ロシア・オスマンとワラキア・モルドヴァ問題―

A5 判・272 頁・5,600 円

世界史の「見えざる焦点」，そこでは何が起こっていたのか――。西欧・正教・イスラームの三つの世界が接する境域地帯に視点を定め，近代へと移行していく複雑な「世界の一体化」プロセスを，政治外交面から，多言語の一次史料に基づいてつぶさに描き出した，世界的にも稀有な労作。

〔2013〕978-4-8158-0720-7

マティアス・ゲルツァー著　長谷川博隆訳

ローマ政治家伝Ⅰ　カエサル

A5判・432頁・4,600円

大政治家とは何か――。徹底した史料の精査とローマ社会全体を見据えた叙述により，新しいカエサル像を描き出した古典的名著。その誕生から暗殺までを一望し，世界帝国の創造を跡づける。「ローマ政治家伝」シリーズ第一巻。**日本翻訳出版文化賞受賞**

〔2013〕978-4-8158-0735-1

マティアス・ゲルツァー著　長谷川博隆訳

ローマ政治家伝Ⅱ　ポンペイウス

A5判・294頁・4,600円

「偉大（マグヌス）」と呼ばれた男の実像とは。ローマ帝国の拡大に身を投じた「政治家」ポンペイウスの生涯――その誕生から，東方遠征，三頭政治，カエサルとの対決まで――を，残された史料から描き出す。本邦初訳。「ローマ政治家伝」シリーズ第二巻。**日本翻訳出版文化賞受賞**

〔2013〕978-4-8158-0736-8

マティアス・ゲルツァー著　長谷川博隆訳

ローマ政治家伝Ⅲ　キケロ

A5判・528頁・5,500円

哲学と弁論を武器に戦った政治家キケロ。共和主義の原点とも目されるその思想は，いかなる政治を目指し，なぜ敗北したのか――。最盛期の共和制ローマを舞台に繰り広げられる攻防から，政治の知とは何かを問う。シリーズ最終巻，本邦初訳。**日本翻訳出版文化賞受賞**

〔2014〕978-4-8158-0737-5

J. G. A. ポーコック著　犬塚元監訳

島々の発見

―「新しいブリテン史」と政治思想―

A5判・480頁・6,000円

主権と歴史のあいだ――。歴史のポストモダニズムに抗しつつ，大西洋・太平洋を含む「群島」の視点から，多元・多層的な「新しいブリテン史」を構想し，グローバルヒストリーにも重い問いを投げかける，政治思想史の碩学によるもう一つの代表作。

〔2013〕978-4-8158-0752-8

森平雅彦著

モンゴル覇権下の高麗

―帝国秩序と王国の対応―

A5判・540頁・7,200円

発展著しいモンゴル帝国史研究の成果をふまえ，高麗王朝の元との宗属関係の実態をかつてない水準で描き出す。「元寇」の性格を規定した元-高麗関係の基本構造の解明により，またモンゴル帝国の周辺支配の最も緻密な実証例の提示によって，日本史，世界史にも新たな領域を開く画期的労作。

〔2013〕978-4-8158-0753-5

高田英樹訳

マルコ・ポーロ　ルスティケッロ・ダ・ピーサ　世界の記

―「東方見聞録」対校訳―

菊判・822頁・18,000円

「東方見聞録」の名で知られるマルコ・ポーロの書『世界の記』は，様々な版によって内容が異なる。本書は，最も基本的なフランク-イタリア語版，セラダ手稿本，ラムージォ版の三版を全訳・対校し異同を示した世界初の試みであり，全ての探究の基盤となろう。**日本翻訳文化賞受賞**

〔2014〕978-4-8158-0756-6

池上俊一著

公共善の彼方に

―後期中世シエナの社会―

A5判・600頁・7,200円

公共善の政治的理想のみならず，近隣・家族・職業・遊興・霊性による結びつきから，裁判記録にみられる噂と評判の世界，関係の結節点としての都市空間や諸々のイメージまで，そこに生きる人々の社会的絆に注目し，共同性を更新していく力のありようを探る。**フォスコ・マライーニ賞受賞**

〔2014〕978-4-8158-0765-8

太田　淳著

近世東南アジア世界の変容
―グローバル経済とジャワ島地域社会―

A5 判・518 頁・5,700 円

東南アジア有数の貿易国家バンテンを政治・経済・社会・思想・環境などから徹底的に解読，オランダや中国の刺激に積極的に対応して変容していった現地商人･社会のダイナミズムを胡椒栽培･糖業から海賊活動をも視野に捉え，その世界史的転換を示す。**日本学士院学術奨励賞受賞**

〔2014〕978-4-8158-0766-5

小杉泰／林佳世子編

イスラーム　書物の歴史

A5 判・472 頁・5,500 円

近代以前，東アジアの木版本と並んで世界の書物文化の二大山脈を形づくったのはイスラーム世界の写本であった。聖典クルアーンから歴史書や科学書まで，また華麗な書や絵画から装丁まで，広大な地域の知と文芸を支えた書物の歴史を，デジタル時代の現在から振りかえる待望の書。

〔2014〕978-4-8158-0773-3

岡本隆司／箱田恵子／青山治世著

出使日記の時代
―清末の中国と外交―

A5 判・516 頁・7,400 円

使節たちの報告書が映しだす世界と中国――。欧米に派遣された常駐公使が，現地での見聞・交渉と，変動する本国のはざまで記した「出使日記」。中国近代外交形成期の在外公館というプリズムを通して，日本を含む各国の状況や国際関係，そして中国の政治・社会の姿が鮮やかに浮かび上がる。

〔2014〕978-4-8158-0778-8

古尾谷知浩著

漆紙文書と漆工房

菊判・406 頁・7,400 円

漆の保護作用によって，千年の時を超えて遺存した漆紙文書。日本史研究に不可欠な出土文字資料として発掘・調査が進むなかで，何が見えてきたのか。現時点で確認されている漆紙文書を網羅的に集成し，漆工房との関係から律令国家の文書行政まで総合的に探究する。

〔2014〕978-4-8158-0783-2

青山治世著

近代中国の在外領事とアジア

A5 判・476 頁・6,800 円

中国は不平等条約体制の被害者だったのか。華人保護を名目とする南洋領事設置の模索から，領事裁判権の行使に至る中国の対外政策の近代的変容を徹底的に実証，条約体制の平等／不平等のみを問う既存の理解を大きく乗り越えて，近代アジアの国際関係の実像を新たな水準で描き出す。

〔2014〕978-4-8158-0784-9

周藤芳幸著

ナイル世界のヘレニズム
―エジプトとギリシアの遭遇―

A5 判・438 頁・6,800 円

西洋最古のグローバル化の時代であったヘレニズム期，エジプトとギリシアという二つの高文化の交錯は何をもたらしたのか。中心都市アレクサンドリアに見るプトレマイオス朝の表象戦略から在地社会の文化変容まで，エジプトでの長期発掘調査をもとに，新たな地中海世界像を提示する労作。

〔2014〕978-4-8158-0785-6

岡本隆司編

宗主権の世界史
―東西アジアの近代と翻訳概念―

A5 判・412 頁・5,800 円

現代の国際秩序を問い直す――。「宗主権」とは何か。西洋人が多用したこの不可思議な概念の背後に歴史的大転換を読み解くことで，東西の多元的な文化圏を統合したオスマン帝国と清朝の「普遍性」の解体をはじめて包括的に捉え，現在までつづく世界秩序の形成過程を解明した画期的著作。

〔2014〕978-4-8158-0787-0

森安孝夫著

東西ウイグルと中央ユーラシア

菊判・862 頁・16,000 円

世界史において中央ユーラシア世界が果たした巨大な役割を明らかにすることで，新たなシルクロード史観を構築。東西ウイグルの興亡から，商業ネットワークと交易品，マニ教・仏教の展開まで，現地の多様な出土文書・碑文や美術・考古資料に基づき，激動の時代を描く集大成の書。

〔2015〕978-4-8158-0792-4

杉山清彦著

大清帝国の形成と八旗制

A5 判・574 頁・7,400 円

マンジュ（満洲）人が支配する大帝国はいかにして生まれたのか。国家＝軍事システムたる「八旗制」を軸に大清帝国の構造を満漢文史料から実証的に解明，その帝国形成を中央ユーラシア世界と近世世界の交点に位置づけることで，新たな世界史像を描き出す。**三島海雲学術賞受賞**

〔2015〕978-4-8158-0798-6

中野耕太郎著

20 世紀アメリカ国民秩序の形成

A5 判・408 頁・5,800 円

歴史の中で動くアメリカ・ナショナリズムを凝視――。「社会的なもの」がせり上がっていく新時代のシカゴに焦点を合わせ，革新主義運動や科学主義の展開から「カラーライン」の構築まで，集団を単位とする「国民秩序」の淵源に迫り，アメリカニズムの変貌を描き出した力作。

〔2015〕978-4-8158-0799-3

夫馬　進著

朝鮮燕行使と朝鮮通信使

A5 判・744 頁・8,800 円

中国への使節 494 回，日本への使節 12 回。巨大外交ルートが映し出す東アジア世界の構造とは。琉球の位置づけや，日朝中知識人の学術交流，洪大容の中国行などを手がかりに，朝貢–冊封体制論をこえて東アジア国際関係の実像を浮きぼりに。**徳川賞，バジュ・ブック・アワード著作賞受賞**

〔2015〕978-4-8158-0800-6

奈良岡聰智著

対華二十一ヵ条要求とは何だったのか

―第一次世界大戦と日中対立の原点―

A5 判・488 頁・5,500 円

反日への決定的転換をもたらした世紀の失政の原因を実証により解明，満州問題，加藤高明の外交構想，世論，第一次世界大戦などを手がかりに，外交交渉の全貌を描き出す。今日の日中関係，東アジア国際関係をも展望し，その影響を捉える。**サントリー学芸賞，アジア・太平洋賞大賞受賞**

〔2015〕978-4-8158-0805-1

W. シヴェルブシュ著　小野清美／原田一美訳

三つの新体制

―ファシズム，ナチズム，ニューディール―

A5 判・240 頁・4,500 円

戦争と経済危機をくぐり，自然・地域・人間性の回復が希求されるなか，「相互受胎」していく三つの国家――。カリスマ的指導者，プロパガンダ，シンボル建築などを手がかりに，「ファシズム」対「民主主義」，「全体主義」対「自由主義」の構図をこえ，今日に至るレジームの深層に迫る。

〔2015〕978-4-8158-0806-8

K. ポメランツ著　川北稔監訳

大分岐

―中国，ヨーロッパ，そして近代世界経済の形成―

A5 判・456 頁・5,500 円

驚くほど似ていた一つの世界――。東アジアでも西ヨーロッパでも，発達した市場経済は生態環境の制約に直面していた。なぜ西欧だけが大きく分岐していったのか。今日にいたる世界経済の根源的な謎を明らかにし，新しい歴史像を提示したグローバルヒストリーの代表作，遂に邦訳。

〔2015〕978-4-8158-0808-2

南　修平著

アメリカを創る男たち

—ニューヨーク建設労働者の生活世界と「愛国主義」—

A5 判・376 頁・6,300 円

彼らはなぜ「U・S・A！」と叫ぶのか。ヴェトナム戦争時の暴動から WTC の再建現場まで，その「愛国主義的」な行動が注目されてきたニューヨークの建設労働者。インタヴュー資料をもとに人種やジェンダーの境界が揺らぐ世紀を生きた人びとの実像に迫る。**アメリカ学会清水博賞受賞**

〔2015〕978-4-8158-0811-2

水島司／加藤博／久保亨／島田竜登編

アジア経済史研究入門

A5 判・390 頁・3,800 円

アジア経済の今日の興隆を導いたものとは何か？長期・広域にわたる経済社会の展開を知るための重要文献を平易に解説，多様性と共通性をともに浮かび上がらせ，アジア経済再興の歴史的淵源を考える。第一線の執筆陣が初めてその全体像を描き出した最良の入門書。

〔2015〕978-4-8158-0816-7

太田　出著

中国近世の罪と罰

—犯罪・警察・監獄の社会史—

A5 判・508 頁・7,200 円

人口爆発，商品経済化，人とモノの移動の激化に伴い急増した犯罪は，清代中国をどう変えていったのか。犯罪，警察，監獄の実態を初めて包括的に描きだし，中国近世社会史の大きな欠落を埋めるとともに，その独自の治安システムの展開を捉えて世界史のなかに位置づけた瞠目の成果。

〔2015〕978-4-8158-0818-1

小川眞里子著

病原菌と国家

—ヴィクトリア時代の衛生・科学・政治—

A5 判・486 頁・6,300 円

19 世紀に相次いで産声を上げた，公衆保健と実験医学。英国では，前者は数々の施策を経て国家医学から帝国医学へと至り，後者は進化論を組み込みながら独自の展開を遂げた。本書はそれらの全体像と相互の関係を初めて示し，社会と医学の関係を問い直す。**日本科学史学会学術賞受賞**

〔2016〕978-4-8158-0826-6

和田光弘著

記録と記憶のアメリカ

—モノが語る近世—

A5 判・526 頁・6,800 円

事実史と記憶史の統合——。貨幣や懐中時計から，エフェメラ・古文書，そして記念碑まで，植民地期・革命期の歴史や英雄像を紡ぐモノ史料と，歴史研究に新しい知見をもたらすデジタル史料。大西洋史の視点も踏まえ，両者を駆使した画期的なアプローチにより近世アメリカ像を再構築する。

〔2016〕978-4-8158-0827-3

小野沢　透著

幻の同盟［上］

—冷戦初期アメリカの中東政策—

菊判・650 頁・6,000 円

1950 年代初頭，西側世界の同盟相手として中東は再発見された。盟友イギリスの思惑や，勃興するアラブ・ナショナリズムと交差しつつ，米国はいかにして中東政治への関与を深めていったのか。膨大な一次史料から，知られざる地域構想の運命を描き出す。**アメリカ学会清水博賞受賞**

〔2016〕978-4-8158-0829-7

小野沢　透著

幻の同盟［下］

—冷戦初期アメリカの中東政策—

菊判・614 頁・6,000 円

分裂と対立のやまない中東の政治情勢や，産油国と石油産業の抵抗を前に，米国の「同盟プロジェクト」はその限界を露呈していく。挫折と迷走を経て，米国の政策決定者らはいかに舵を切ったのか。今日にまでつながる歴史の転換を精緻に描き，現代史を書き換える。**アメリカ学会清水博賞受賞**

〔2016〕978-4-8158-0830-3

石川亮太著

近代アジア市場と朝鮮

―開港・華商・帝国―

A5 判・568 頁・7,200 円

中国・日本に続く朝鮮開港がアジア経済に与えたインパクトとは。いち早く開港場ネットワークを作り上げた華商の重要性を新たな資料から解明し，朝鮮経済をグローバル・ヒストリーに位置づけるとともに，在来経済との関係，植民地化の過程にも新たな光をなげかける。**日経・経済図書文化賞受賞**

〔2016〕978-4-8158-0832-7

カビル・ラジ著　水谷智／水井万里子／大澤広晃訳

近代科学のリロケーション

―南アジアとヨーロッパにおける知の循環と構築―

A5 判・316 頁・5,400 円

西洋中心でもなく，地域主義でもなく――。科学的な知はどこで，いかにして生まれたのか。植物学や地理学から，法，教育の分野まで，近代的な学知の形成において植民地のアクターが果たした役割に注目し，帝国のネットワークにおける移動・循環の中で科学が共同構築される現場を描く。

〔2016〕978-4-8158-0841-9

中谷　惣著

訴える人びと

―イタリア中世都市の司法と政治―

A5 判・530 頁・10,000 円

ネッロに地代の支払いを求めたチェッコーロ，重税の免除を願い出たヤコポたち……。法廷に立つ住民らが，その訴えを通して正義と公共善の結びあいを絶えず更新していく動態を，未踏査の裁判記録から明らかにした力作。**フォスコ・マライーニ賞，天野和夫賞，日本学士院学術奨励賞受賞**

〔2016〕978-4-8158-0851-8

並松信久著

農の科学史

―イギリス「所領知」の革新と制度化―

A5 判・480 頁・6,300 円

ローカルな知は科学となるのか――。農業は古来，多くの地域で主要産業であった。工業化が進む中，諸科学と葛藤しつつ「農学」を成立させていく多元的な知と制度の展開を，啓蒙時代から 20 世紀まで，イギリス社会の文脈で描く。科学史と農業史を架橋し，間文化的な示唆を与える労作。

〔2016〕978-4-8158-0853-2

久保田裕次著

対中借款の政治経済史

―「開発」から二十一ヵ条要求へ―

A5 判・372 頁・6,300 円

戦後 ODA の淵源ともいうべき対中借款は，いかにして始まったのか。草創期にあたる日清戦後から第一次大戦期の展開を多角的にたどり，帝国主義的理解の限界をこえて，国際環境と中国側の主体性も踏まえた新たな実像を描き出す。開発と侵略の間を浮彫にする新鋭の成果。

〔2016〕978-4-8158-0856-3

古結諒子著

日清戦争における日本外交

―東アジアをめぐる国際関係の変容―

A5 判・284 頁・5,400 円

日清戦争は東アジア国際関係の画期だった。しかしなぜそう言えるのか。宣戦布告までの過程で清韓宗属関係の解体を導き，下関条約の内容確定と履行のプロセスで不平等条約体制の動揺と各国の相互関係の変質を促した日本外交の中核的役割を浮き彫りにし，戦争の位置づけを問い直す意欲作。

〔2016〕978-4-8158-0857-0

廣部　泉著

人種戦争という寓話

―黄禍論とアジア主義―

A5 判・294 頁・5,400 円

欧州発のアジア連合脅威論は，西海岸に押し寄せる移民への視線と結びつき，アメリカを「黄禍」の不安に陥れた。ジャーナリズムを介して増幅していく人種主義的言説は，鏡像たるアジア主義と作用し合い，日米関係にいかなる影響を及ぼしたのか。丹念な資料調査により描き出した力作。

〔2016〕978-4-8158-0858-7

神田さやこ著

塩とインド

—市場・商人・イギリス東インド会社—

A5 判・382 頁・5,800 円

植民地統治の影に隠された内部からの巨大な変化とは？　近世の主要財源にして後の抵抗運動の象徴ともなった塩に注目し，消費や環境，金融も視野に，勃興するベンガル地域市場と現地商人が生み出すダイナミズムを示して，近代への転換を摑みだす。**日経・経済図書文化賞受賞**

〔2016〕978-4-8158-0859-4

岡本隆司著

中国の誕生

—東アジアの近代外交と国家形成—

A5 判・562 頁・6,300 円

東アジア在来秩序を揺るがした明治日本の登場から，琉球，ヴェトナム，朝鮮，チベット，モンゴルへと続く属国・藩部の再編を通して，現代中国の原型が浮かび上がる過程を詳述，万国公法などの翻訳概念の変容から「中国」誕生の全体像に迫る。**アジア・太平洋賞特別賞，樫山純三賞受賞**

〔2016〕978-4-8158-0860-0

家島彦一著

イブン・バットゥータと境域への旅

—『大旅行記』をめぐる新研究—

A5 判・480 頁・5,800 円

中国，インド，北方ユーラシア，アフリカなど，イスラーム世界の海・陸の境域情報を伝える『大旅行記』は，記録史料の宝庫と呼ぶにふさわしい。なぜ巡礼を超えて未知なる驚異の領域へと踏み込んでいったのか。その足跡と写本を追って世界を旅し，完訳を成し遂げた碩学による新たな到達点。

〔2017〕978-4-8158-0861-7

秋田　茂著

帝国から開発援助へ

—戦後アジア国際秩序と工業化—

A5 判・248 頁・5,400 円

アジアの経済的再興を可能にしたものとは。コロンボ・プランなどイギリスの政策構想を手がかりに，先進国からの所得移転が果たした役割を，戦前以来の連続性のもとで解明，アジアの主体的対応も含めた戦後開発援助の新たな全体像を描き出し，グローバルヒストリーの新機軸を示す。

〔2017〕978-4-8158-0865-5

池内　敏著

絶海の碩学

—近世日朝外交史研究—

A5 判・512 頁・6,800 円

近世日朝関係のルートは朝鮮通信使にとどまらない。その外交を最前線でささえた京都五山僧の役割と実像を，訳官使の往来，釜山倭館との関係，漂流民送還や詩文絵画・産品のやりとりなど，広い視野でとらえて日朝外政システムの全体像を解明，東アジア国際秩序の理解を大きく書き換える。

〔2017〕978-4-8158-0866-2

デービッド・エジャトン著　坂出健監訳　松浦俊輔他訳

戦争国家イギリス

—反衰退・非福祉の現代史—

A5 判・468 頁・5,400 円

20 世紀イギリスは，衰退に苦しむ福祉国家などではなかった。エキスパートが権力を握り産業界と手を結びつつ科学技術の開発に熱を上げた「闘志あふれる」国家を描き，現代史の神話をラディカルに破壊。ジェントルマン中心の歴史観が見過ごしてきた実像を明るみに出す野心作。

〔2017〕978-4-8158-0874-7

イヴァン・ジャブロンカ著　田所光男訳

私にはいなかった祖父母の歴史

—ある調査—

四六判・416 頁・3,600 円

これは殺人捜査ではなく，生成の行為だ——。20 世紀の悲劇の連鎖のなか，二人はどのように生きたのか。それを調べ，記すことの意味とは何か。革新的な歴史叙述により，アカデミー・フランセーズ・ギゾー賞，歴史書元老院賞，オーギュスタン・チエリー賞をトリプル受賞。

〔2017〕978-4-8158-0879-2

森　万佑子著

朝鮮外交の近代

―宗属関係から大韓帝国へ―

A5 判・360 頁・5,400 円

朝鮮はなぜ，東アジア政治の焦点となるのか。中華と近代の結節点に位置し，摩擦の中から生み出されていった外交の論理をその起源から解明。外政機構の形成から大韓帝国の成立までを捉え，激動の東アジア国際関係史の中で決定的な位置を占めた姿を浮かび上がらせる。**大平正芳記念賞受賞**

〔2017〕978-4-8158-0883-9

長縄宣博著

イスラームのロシア

―帝国・宗教・公共圏 1905–1917―

A5 判・440 頁・6,800 円

多数のイスラーム教徒が存在したロシア帝国。彼らはいかに生きたのか。日露戦争から第一次大戦や革命へといたる時代に，政治・行政・教育・戦争・慈善等に関与し，言論と行動によって自らの「公共圏」を生み出したムスリム社会の苦闘を描く。**日本学士院学術奨励賞，三島海雲学術賞受賞**

〔2017〕978-4-8158-0888-4

新居洋子著

イエズス会士と普遍の帝国

―在華宣教師による文明の翻訳―

A5 判・414 頁・6,800 円

カトリック拡大のため東方に渡った宣教師らが，巨大な清朝に見出したものは何か。中国古来の世界像や学術は，キリスト教の教義や勃興する科学と結びつくのか。新たな帝国像を描き出した 18 世紀のアミオを軸に，「文明の翻訳」の実相を捉える。**サントリー学芸賞，渋沢・クローデル賞本賞受賞**

〔2017〕978-4-8158-0889-1

大塚　修著

普遍史の変貌

―ペルシア語文化圏における形成と展開―

A5 判・456 頁・6,300 円

歴史叙述の根底を問い直す――。前近代の世界には，天地創造に始まる人類の系譜を描く「普遍史」という歴史類型が存在した。著名な『王書』や『集史』から，地方王朝やモンゴル時代の多様な手稿本までを徹底的に調査し，世界認識のダイナミックな変容を跡づける力作。

〔2017〕978-4-8158-0891-4

宮　紀子著

モンゴル時代の「知」の東西［上］

菊判・574 頁・9,000 円

日本からヨーロッパまで――。世界史上，空前のレベルで展開したユーラシアを貫く「知」の交流。百科事典や辞書・地図から宗教・政治・経済の諸制度まで，モンゴル帝国による革新と統合の実像を，多言語の文献・美術品・出土文物を駆使して描き出す。**パジュ・ブック・アワード著作賞受賞**

〔2018〕978-4-8158-0900-3

宮　紀子著

モンゴル時代の「知」の東西［下］

菊判・600 頁・9,000 円

人・モノ・情報が行き交う――。世界史上，空前のレベルで展開したユーラシアを貫く「知」の交流。歴史・天文・医学・農学などの諸学振興からラシードゥッディーンの翻訳事業まで，モンゴル帝国による巨大な事績を多言語史料により描き出す。**パジュ・ブック・アワード著作賞受賞**

〔2018〕978-4-8158-0901-0

斎藤夏来著

五山僧がつなぐ列島史

―足利政権期の宗教と政治―

A5 判・414 頁・6,300 円

地域の信仰を背景に各地を結び付け，体制的武士層を欠く足利政権の全国支配のカギともなった，「夷中」の五山僧の決定的役割を浮かび上がらせて，中央偏重の五山制理解を一新，五山文学も手がかりに，列島社会が内包していた異国的世界をも展望し，新たな中世史像を描き出す。

〔2018〕978-4-8158-0903-4

イヴァン・ジャブロンカ著　真野倫平訳

歴史は現代文学である
―社会科学のためのマニフェスト―

A5 判・320 頁・4,500 円

文学的ゆえに科学的？　真実と物語のあいだで揺れ動き，その意義を問われてきた歴史。ポストモダニズムの懐疑を乗り越えたあとで，いかにして「歴史の論理」を立て直すことができるのか。自らの実践に基づき，社会科学と文学の手法を和解させ，歴史記述を刷新するための挑戦の書。

〔2018〕978-4-8158-0908-9

芝　紘子著

歴史人名学序説
―中世から現在までのイベリア半島を中心に―

A5 判・308 頁・5,400 円

名前に刻まれたヨーロッパ社会の軌跡。家族・親族の結びつきやアイデンティティのあり方，封建制と家族・ジェンダーの関係，フロンティア社会と文化移転，キリスト教の浸透・教化など，人名という新たなプリズムをとおして過去・現在の社会・心性を色鮮やかに浮かび上がらせる。

〔2018〕978-4-8158-0912-6

若尾祐司／小倉桂子編

戦後ヒロシマの記録と記憶［上］
―小倉馨の R. ユンク宛書簡―

四六判・338 頁・2,700 円

被爆後を生きた人々の物語――。原爆市長・浜井の肉声から，見出される原爆症と医師たちの葛藤，平和活動に身を投じた青年たちの歩みと心のひだ，さらには公娼制や遊郭経営，闇市ややくざの抗争にいたるまで，戦後広島の再生の足どりを人々の息遣いとともに伝える第一級のドキュメント。

〔2018〕978-4-8158-0914-0

若尾祐司／小倉桂子編

戦後ヒロシマの記録と記憶［下］
―小倉馨の R. ユンク宛書簡―

四六判・348 頁・2,700 円

核時代の原点としての歴史の場へ――。新たな観光事業の立ち上げや市民球場・球団設立といった広島の「復興」を描く一方，被爆者の生活苦，外国人をめぐる政策や孤児の問題，原水禁運動における政治的対立などにもフォーカスし，原爆の遺した深い爪痕をありありと伝えるレポート後編。

〔2018〕978-4-8158-0915-7

湯澤規子著

胃袋の近代
―食と人びとの日常史―

四六判・354 頁・3,600 円

人びとは何をどのように食べて，空腹を満たしてきたのか。一膳飯屋，残飯屋，共同炊事など，都市の雑踏や工場の喧騒の中で始まった外食の営みを，〈食〉の視点から活写。農村にも及ぶ広範な社会と経済の変化をとらえ，日本近代史を書き換える。

人文地理学会学会賞，生協総研賞研究賞受賞

〔2018〕978-4-8158-0916-4

C. A. ベイリ著　平田雅博／吉田正広／細川道久訳

近代世界の誕生［上］
―グローバルな連関と比較 1780−1914―

A5 判・356 頁・4,500 円

一国史や地域史を超えて，グローバルな相互連関から「近代世界」の成り立ちを解明。革命の時代から第一次世界大戦に至る「長い 19 世紀」を中心に，西洋近代化とは異なる視点で世界史を問い直し，政治・経済から人々の衣食住まで，新しい全体史を描くグローバル・ヒストリーの代表作。

〔2018〕978-4-8158-0929-4

C. A. ベイリ著　平田雅博／吉田正広／細川道久訳

近代世界の誕生［下］
―グローバルな連関と比較 1780−1914―

A5 判・408 頁・4,500 円

一国史や地域史を超えて，グローバルな相互連関から「近代世界」の成り立ちを解明。イスラーム世界，インド，中国，日本をも視野に入れて，思想や科学技術の発展から，社会や宗教の再編，さらには近代芸術の誕生まで，新しい「多中心的」な世界史に挑むグローバル・ヒストリーの名著。

〔2018〕978-4-8158-0930-0

安野眞幸著

日本中世市場論

—制度の歴史分析—

A5 判・460 頁・6,800 円

支払い・貸借・契約・裁判・差押えなど，市場が果たした多様な役割を明らかにするとともに，債権取立てを軸に中世日本の展開を描き出したライフワーク。神人・悪僧に発し金融を担う「公界」と公権力とは，慣習法と制定法，文書とその破棄，暴力と秩序等をめぐり，いかに切り結ぶのか。

〔2018〕978-4-8158-0921-8

アントワーヌ・リルティ著　松村博史／井上櫻子／齋藤山人訳

セレブの誕生

—「著名人」の出現と近代社会—

A5 判・474 頁・5,400 円

スキャンダラスな公共性——。称賛と批判につつまれた「セレブ」とは，現代のメディアが作り上げた虚像なのか，それとも新たな威光の形なのか。王族・政治家から作家・俳優・音楽家まで，近代の始まりとともに生まれた「セレブリティ」の展開をたどり，公共圏が孕むパラドックスを問う。

〔2018〕978-4-8158-0933-1

高田英樹編訳

原典 中世ヨーロッパ東方記

菊判・852 頁・12,000 円

モンゴル帝国の侵攻はヨーロッパを震撼させ，その世界像に転換を迫った。当時，東方に派遣された修道士や商人たちは何を見，どのように記録したのか。ルブルクやマルコ・ポーロ，ハイトンらの旅行記から，書簡，教会壁画，世界地図まで全 15 篇を原典から翻訳し，アジア認識の展開を辿る。

〔2019〕978-4-8158-0936-2

小川道大著

帝国後のインド

—近世的発展のなかの植民地化—

A5 判・448 頁・6,800 円

インドはなぜ英領となったのか。ムガル帝国の衰退と後継国家の群雄割拠のもと生じた在地の大変動を捉え，中間層権力をめぐる状況の変遷から植民地化の起源を解明，英国統治政策の浸透過程をたどりつつ，近代インドを近世史の発展との連続性の中に位置づける。**日経・経済図書文化賞受賞**

〔2019〕978-4-8158-0939-3

林　采成著

飲食朝鮮

—帝国の中の「食」経済史—

A5 判・388 頁・5,400 円

牛肉，明太子，ビールなど，帝国による「食」の再編は日韓の食文化を大きく変えた。収奪論をこえて，帝国のフードシステムの歴史的意義をはじめてトータルに解明，生産・流通から植民地住民の身体に与えた影響まで，統治にはたした「食」の決定的な役割を浮かび上がらせる。

〔2019〕978-4-8158-0940-9

沢井　実著　　南山大学学術叢書

海軍技術者の戦後史

—復興・高度成長・防衛—

A5 判・256 頁・4,500 円

戦後日本の復興と発展に，海軍技術者たちが果たした役割とは何か。造船，自動車，新幹線開発，土木などで高度成長を下支えした技術継受の全体像を復元，防衛生産も視野にその質的・量的インパクトを客観的に叙述するとともに，技術者たちの敗戦経験の歴史的特質をも浮き彫りにする。

〔2019〕978-4-8158-0943-0

平山　勉著

満鉄経営史

—株式会社としての覚醒—

A5 判・504 頁・9,500 円

満州経営の全方位的担い手とみなされた巨大植民地企業が，国策会社化の挫折と満州国成立後の解体的再編をへて，鉄道中心の営利企業として覚醒する姿を，株式市場への対応からとらえ，終戦まで異例の高収益企業であり続けたメカニズムを解明，日本帝国主義の先兵とされた満鉄像を一新。

〔2019〕978-4-8158-0945-4

上　英明著

外交と移民

―冷戦下の米・キューバ関係―

A5 判・366 頁・5,400 円

人の移動がもたらす力――。ワシントン，ハバナ，そしてマイアミ。衝撃はキューバ危機だけではなかった。移民とその社会が生みだす三つ巴のダイナミズムを捉え，グローバルな冷戦の現場と，アメリカ，キューバの国内政治の連関を，アクセス困難な史料から鮮やかに描きだした俊英の力作。

〔2019〕978-4-8158-0948-5

安元　稔著

イギリス歴史人口学研究

―社会統計にあらわれた生と死―

A5 判・468 頁・6,300 円

人口・家族の動態の復元で世界を牽引し，政治・経済・文化の解明に決定的な影響を与え続けたイギリス歴史人口学の史料・方法とその実践的応用をトータルに叙述，公衆衛生や疾病などの最新の分析も加え，英国社会の新たな全体像に迫ったライフワーク。**日本人口学会賞普及奨励賞受賞**

〔2019〕978-4-8158-0954-6

L. ダヴィドフ／C. ホール著　山口みどり／梅垣千尋／長谷川貴彦訳

家族の命運

―イングランド中産階級の男と女 1780 ～ 1850―

A5 判・520 頁・7,200 円

現在，没落を言われる「中間層」は，どのようにして形成されたのか。――経済・政治・社会が急激に変動する産業革命の中心国を舞台に，家族とジェンダーに注目し，そのイデオロギー・制度・実践を，さまざまな男女の具体的な生き様を通して，あざやかに描き出した名著，待望の邦訳。

〔2019〕978-4-8158-0955-3

太田　出著

関羽と霊異伝説

―清朝期のユーラシア世界と帝国版図―

A5 判・324 頁・5,400 円

三国志の英雄はなぜ中国を代表する神となったのか。民間信仰の広がりと近世国家による統治の不可分の関係を示すとともに，帝国版図の拡大にはたしたその役割を，ユーラシア諸民族とのせめぎあいや現地の神々との習合も視野に描き出す。古代から今日にいたる関羽信仰の全貌を捉えた力作。

〔2019〕978-4-8158-0961-4

足立　孝著

辺境の生成

―征服＝入植運動・封建制・商業―

A5 判・612 頁・9,800 円

とめどなく生み出される無数の「辺境」――そこではなにが生起するのか。中世イベリア半島を舞台に，従来のレコンキスタの図式を排して，征服＝入植運動，封建制，商業の展開プロセスを実証的に解明。遍在する「辺境」から，ラテン・ヨーロッパをも見通す新たなモデルを導き出す。

〔2019〕978-4-8158-0962-1

関　智英著

対日協力者の政治構想

―日中戦争とその前後―

A5 判・616 頁・7,200 円

日中戦争には，占領地における協力の側面もあった。だが協力者は戦後，漢奸として糾弾され，その歴史も未完の政治構想とともに葬り去られた。この影の側面に光を当てることで戦争の全体像に迫り，占領から始まった戦後日本にも鋭い眼差しを向ける。**大平正芳記念賞，三島海雲学術賞受賞**

〔2019〕978-4-8158-0963-8

蘭信三／川喜田敦子／松浦雄介編

引揚・追放・残留

―戦後国際民族移動の比較研究―

A5 判・352 頁・5,400 円

日本人引揚やドイツ人追放をはじめとする戦後人口移動の起源を，ギリシア＝トルコの住民交換を画期とする近代国際政治の展開から解明するとともに，東西の事例を冷戦やソ連の民族政策もふまえて世界史上に位置づけ，地域や帝国の枠組みをこえた知られざる連関を浮かび上がらせる。

〔2019〕978-4-8158-0970-6

水野祥子著

エコロジーの世紀と植民地科学者

—イギリス帝国・開発・環境—

A5 判・268 頁・5,400 円

新たな知はどこで生まれ，何をもたらしたのか。——20 世紀における科学・開発・環境の関係を問い，生態環境をめぐる知の生成と帝国ネットワークによる循環から，植民地開発の思想と実践，国際開発援助への展開をたどり，植民地科学者を軸に「エコロジーの世紀」の成り立ちを描く力作。

〔2020〕978-4-8158-0971-3

森　靖夫著

「国家総動員」の時代

—比較の視座から—

A5 判・432 頁・5,400 円

第一次大戦後，大正デモクラシー下の日本において模索された民間主体の国家総動員構想を解明，同時代の英米で展開された政策も初めて精査して，その驚くべき重なりを跡づける。ファシズムや軍部独裁をその必然的帰結とみなす通説を大きく書き換え，近代史理解の新たな地平を拓く。

〔2020〕978-4-8158-0975-1

齋藤　晃編

宣教と適応

—グローバル・ミッションの近世—

A5 判・552 頁・6,800 円

異文化と出会った〈普遍〉の使者たち——。大航海時代から啓蒙時代にかけて，アジアやアメリカに派遣されたイエズス会士らは，現地社会に適応することで布教を試みる。だが，それは今日なお解決しえない難問の蓋を開くことだった。異文化適応を軸にキリスト教の世界宣教の全体像に迫る。

〔2020〕978-4-8158-0977-5

池上俊一著

ヨーロッパ中世の想像界

A5 判・958 頁・9,000 円

西洋中世の人々が生きた豊穣なる世界——。動植物や人間から，四大や宇宙，天使や魔女，仲間と他者，さらには楽園と煉獄まで，文学・図像・伝説・夢を彩る広大な想像界を縦横無尽に論じ，その全体構造を解明する。心性史・社会史を賦活する「イマジネールの歴史学」の集大成。

〔2020〕978-4-8158-0979-9

岩井茂樹著

朝貢・海禁・互市

—近世東アジアの貿易と秩序—

A5 判・432 頁・5,400 円

「天下を統べる皇帝と朝貢する蕃夷諸国」という美しい理念の外形を辛うじて保っていた明代の通商外交体制も，辺縁からの衝撃で転換を迫られ，清代には互市が広がる。西洋とは異なる「もう一つの自由貿易」への構造変動を，日本の役割も含めて跡づけた労作。**日経・経済図書文化賞受賞**

〔2020〕978-4-8158-0984-3

櫻井康人著

十字軍国家の研究

—エルサレム王国の構造—

A5 判・744 頁・8,800 円

〈キリスト教対イスラーム〉を超えて，多様な人びとからなる社会の全体像へ——。第 1 回十字軍によって生まれた聖地防衛国家は，内外の異教徒とともになぜ存続しえたのか。祈る人・戦う人・働く人が都市と農村で形づくる王国の姿を，ヨーロッパとの関係も含め，精緻な史料分析から解明。

〔2020〕978-4-8158-0991-1

イヴァン・ジャブロンカ著　真野倫平訳

歴史家と少女殺人事件

—レティシアの物語—

四六判・400 頁・3,600 円

18 歳の女性が誘拐・殺害された「三面記事」事件。だが，大規模な捜査と政治の介入によって，それはスキャンダラスな国家的事件となった。作者＝歴史家は自ら調査を進め，被害者の生の物語を語り始める。そこから明らかになる「真実」とは——。メディシス賞，ル・モンド文学賞受賞作。

〔2020〕978-4-8158-0993-5

ラン・ツヴァイゲンバーグ著　若尾祐司／西井麻里奈／髙橋優子／竹本真希子訳

ヒロシマ
―グローバルな記憶文化の形成―

A5判・424頁・4,800円

原爆とホロコーストの交点へ――。かつて「75年間は草木も生えない」と言われた都市は復興を遂げ，平和記念公園は「穏やかな」聖地と化した。いかにして？　追悼・記念や観光をめぐる記憶の政治，証言とトラウマ，絡み合う犠牲者言説などに注目し，世界の中のヒロシマの位置を問い直す。
〔2020〕978-4-8158-0994-2

上原兼善著

黒船来航と琉球王国

A5判・370頁・6,300円

ペリーはまず沖縄にやって来た。――19世紀，次々と現れる欧米列強の開国要求にさらされ，「鎖国」の防波堤とされた琉球の人々。いかに対応したのか。幕府や薩摩藩の姿勢は？　外圧と内圧の狭間におかれた〈境域〉の経験から，幕末の琉球と欧米との交渉過程を初めてトータルに描く。
〔2020〕978-4-8158-0995-9

蒲　豊彦著

闘う村落
―近代中国華南の民衆と国家―

A5判・504頁・7,200円

互いに武力闘争を繰り返す城塞化した村落――。それは王朝交替や辛亥革命などを経ても変わらぬ，明末以来の基層社会の姿であり，共産主義へと向かう農民運動の凄惨な暴力に極まる。宣教師文書を駆使しつつ，初めてその生成・展開・終焉を跡づけ，新たな中国史像を提示。**樫山純三賞受賞**
〔2020〕978-4-8158-0998-0

杉原　薫著

世界史のなかの東アジアの奇跡

A5判・776頁・6,300円

工業化の世界的普及は，日本をはじめとする「東アジアの奇跡」なしにはありえなかった。それは「ヨーロッパの奇跡」とは異なる，分配の奇跡だった。――地球環境や途上国の行方も見据えた，複数の発展径路の交錯と融合による，グローバル史の到達点。**アジア・太平洋賞大賞受賞**
〔2020〕978-4-8158-1000-9

左近幸村著

海のロシア史
―ユーラシア帝国の海運と世界経済―

A5判・354頁・5,800円

第一次グローバリゼーション下，東アジアの海とヨーロッパの海を結んだ長距離航路と，義勇艦隊が果たした役割とは。政治と経済が混然一体となった海洋戦略により，極東を含む帝国の辺境を統合，国際的経済闘争への参入を試みる姿を捉え，ロシア史をグローバルヒストリーに位置づける。
〔2020〕978-4-8158-1008-5

近藤孝弘編

歴史教育の比較史

A5判・328頁・4,500円

「歴史認識」を語る前に――。なぜ歴史をめぐって国どうしが争うのか。世界各地で歴史はどのように教えられてきたのか。歴史家と教育学者の共同作業により，自国史と世界史との関係を軸に，四つの地域の現在までの「歴史教育」の歴史を跡づけ，歴史とは，教育とは何か，を問い直す。
〔2020〕978-4-8158-1011-5

林　采成著

東アジアのなかの満鉄
―鉄道帝国のフロンティア―

A5判・638頁・7,800円

帝国拡大の原動力となり，世界でも最高水準を誇った満鉄の鉄道技術はいかにして伝播していったのか。見過ごされてきた本業＝鉄道業の姿をはじめて解明，その経済的・技術的インパクトを数量的に位置づけるとともに，東アジア鉄道システムの形成から，戦後再編の新たな全体像を描き出す。
〔2021〕978-4-8158-1013-9

北村陽子著

戦争障害者の社会史

—20 世紀ドイツの経験と福祉国家—

A5 判・366 頁・5,400 円

二度の大戦により，大量の戦争障害者を生み出したドイツで，国家に奉仕した「英雄」はどのようなその後を生きたのか。公的支援や医療の発達，義肢や盲導犬などの補助具の発展と，他方での差別や貧困，ナチへの傾倒などの実態を描き，現代福祉の淵源を示す。**サントリー学芸賞受賞**

〔2021〕978-4-8158-1017-7

吉田一彦編

神仏融合の東アジア史

A5 判・726 頁・7,200 円

日本独自の宗教現象だと考えられてきた「神仏習合」。しかし，神信仰と仏教の融合はアジア各地域で広く見られる。インド・中国から北東・東南アジアまで多岐にわたる「神仏融合」の実態を解き明かし，一国史的な認識を超えて新たに日本の宗教文化を捉え直す画期的一冊。

〔2021〕978-4-8158-1021-4

田中智晃著

ピアノの日本史

—楽器産業と消費者の形成—

A5 判・400 頁・5,400 円

富裕層の専有物であったピアノが人々に親しまれるようになった由来を，明治～現代の歴史からたどり，その普及の意外な原動力を示す。斜陽産業化の危機を超えるメカニズムを初めて捉え，音楽教室とともに世界へ拡がった日本の鍵盤楽器産業の全体像を描く。**企業家研究フォーラム賞受賞**

〔2021〕978-4-8158-1029-0

佐藤彰一著

フランク史Ⅰ　クローヴィス以前

A5 判・400 頁・7,200 円

欧州はギリシア・ローマからまっすぐに生まれたのではない。世界システムの大変動後，遠隔地交易，ローマ帝国との対抗，民族移動などを経て誕生した，500 年にわたるフランク国家。「自由なる民」の淵源から王朝断絶までをたどる初めての通史。本巻では初代王にいたる波乱の歴史を描く。

〔2021〕978-4-8158-1030-6

佐藤彰一著

フランク史Ⅱ　メロヴィング朝の模索

A5 判・536 頁・7,200 円

「軍閥王」が建設した「自由なる民」の王国は，度重なる分裂と統合を経て何を欧州にもたらしたのか。第一人者による初の本格的通史の第 2 巻。本巻では世界史の新局面のなか，初代王の征服と受洗から司教座・貴族・宮廷権力の形成まで，海を跨いだ交流を視野に，ダイナミックに叙述する。

〔2022〕978-4-8158-1094-8

小林和夫著

奴隷貿易をこえて

—西アフリカ・インド綿布・世界経済—

A5 判・326 頁・5,800 円

豊かな消費市場として発展を始めたアフリカが，18･19 世紀の世界経済の興隆に果たした役割とは。奴隷貿易史観をこえ，現地の動向からインド綿布への旺盛な需要がもたらしたインパクトを実証，グローバル化の起源を解き明かし，西アフリカの人々の主体的活動に新たな光をなげかける。

〔2021〕978-4-8158-1037-5

原田昌博著

政治的暴力の共和国

—ワイマル時代における街頭・酒場とナチズム—

A5 判・432 頁・6,300 円

苛烈な暴力を許容する社会はいかにして生まれたのか——。議会制民主主義を謳うワイマル共和国。だが，街頭は世論を左右する新たな公共圏として，ナチスや共産党のプロパガンダの場となり，酒場を拠点とした「暴力のサブカルチャー」が形成されていく。実像を初めて描きだした力作。

〔2021〕978-4-8158-1039-9

後藤里菜著

〈叫び〉の中世

―キリスト教世界における救い・罪・霊性―

A5 判・364 頁・5,400 円

中世ヨーロッパは叫び声に満ちていた――。修道士や「敬虔な女性たち」の内心の叫びから，異界探訪譚が語る罪人の悲鳴，さらには少年十字軍や鞭打ち苦行運動に伴う熱狂まで，キリスト教世界に響き渡る多様な〈声〉に耳を傾け，霊性史・感情史の新生面を切り拓く気鋭の力作。

〔2021〕978-4-8158-1040-5

岡本隆司編

交隣と東アジア

―近世から近代へ―

A5 判・380 頁・5,400 円

交隣とは，たんに日朝の善隣友好を示すものではない。朝貢一元体制の矛盾の露呈を防ぎ，各国の通交を成り立たせた朝鮮外交の意外な役割から東アジアの秩序体系を明らかにし，西洋の到来によるその解体過程も精細にとらえて，世界史的近代の日・朝・中・琉球の姿を映し出す。

〔2021〕978-4-8158-1044-3

吉澤誠一郎著

愛国とボイコット

―近代中国の地域的文脈と対日関係―

A5 判・314 頁・4,500 円

中国ナショナリズムの実像――。時に暴力を伴う激しい対日ボイコットはなぜ繰り返されたのか。単なる外交懸案の解決でも自国産業の振興でもない，それぞれの運動が生じた異なる地域事情と利害・思想を詳らかにするとともに，それらが愛国主義へとつながっていくメカニズムを捉えた力作。

〔2021〕978-4-8158-1048-1

アンソニー・リード著　太田淳／長田紀之監訳

世界史のなかの東南アジア［上］

―歴史を変える交差路―

A5 判・398 頁・3,600 円

世界史を動かし続けた東南アジアを，先史から現代までの全体史として描く，第一人者による決定版。上巻では，近世＝初期近代へと至る展開を各国史や大陸／島嶼の区別をこえた視点でとらえ，環境，宗教，ジェンダー，商業などから，豊かな多様性に迫る。**大平正芳記念賞特別賞受賞**

〔2021〕978-4-8158-1051-1

アンソニー・リード著　太田淳／長田紀之監訳

世界史のなかの東南アジア［下］

―歴史を変える交差路―

A5 判・386 頁・3,600 円

世界史を動かし続けた東南アジアを，先史から現代までの全体史として描いた決定版。下巻では，植民地支配をこえて国民国家が生成する過程を，消費文化やジェンダー，知的交流などの視点もまじえて示し，多様性を乗りこなす知恵と現代の発展を含蓄豊かに描く。**大平正芳記念賞特別賞受賞**

〔2021〕978-4-8158-1052-8

堀井　優著

近世東地中海の形成

―マムルーク朝・オスマン帝国とヴェネツィア人―

A5 判・240 頁・5,400 円

古くからの東西交易の要衝「レヴァント」。中世から近世への転換のなか，イスラーム国家とヨーロッパ商人の共生を支える秩序の行方は？　オスマン条約体制や海港都市アレクサンドリアのあり様から，異文化接触の実像を明らかにするとともに，東アジアに及ぶ「治外法権」の淵源をも示す。

〔2022〕978-4-8158-1053-5

杉本史子著

絵図の史学

―「国土」・海洋認識と近世社会―

A5 判・440 頁・5,400 円

近世期，高度に成熟した表現を獲得した国絵図，鳥瞰図などの絵図の役割を，色彩・材料などのモノや，制作者や人々の想像力から新たに捉え，近代地図への発展史観が見落とした全体像を提示，海図など海洋の視点も導入して，近代移行期の社会空間をめぐる理解を書き換える。

〔2022〕978-4-8158-1062-7

岡本隆司著

明代とは何か

—「危機」の世界史と東アジア—

A5 判・324 頁・4,500 円

現代中国の原型をかたちづくるとともに，東アジア史の転機ともなった明代。世界的危機の狭間で展開した財政経済や社会集団のありようを，室町期や大航海時代との連動もふまえて彩り豊かに描くとともに，民間から朝廷まで全体を貫く構造を鋭くとらえ，新たな時代像を提示する。

〔2022〕978-4-8158-1086-3

ニコル・ルメートル著　佐藤彰一／持田智子訳

村の公証人

—近世フランスの家政書を読む—

A5 判・378 頁・5,800 円

勤勉な農夫，貪欲な高利貸し，病を癒す魔術師——。公証人テラード一族の家長たちは，宗教戦争を経て訪れたあらたな時代を記録する。彼らが生きた物質的・精神的世界とその変容を，農村から都市にひろがる人々の繋がりとともに活写しながら，公証人が持つ「書くこと」の力に迫る。

〔2022〕978-4-8158-1089-4

東栄一郎著　飯島真里子／今野裕子／佐原彩子／佃陽子訳

帝国のフロンティアをもとめて

—日本人の環太平洋移動と入植者植民地主義—

A5 判・430 頁・5,400 円

環太平洋の各地へと展開した日本人移植民の知られざる相互関係を，入植者植民地主義の概念を用いて一貫して把握。移民排斥を受けた日系アメリカ人によって帝国内外へ移転された人流，知識，技術，イデオロギーの衝撃を捉え，見過ごされたグローバルな帝国の連鎖を浮かび上がらせる。

〔2022〕978-4-8158-1092-4

月澤美代子著

ツベルクリン騒動

—明治日本の医と情報—

A5 判・504 頁・6,300 円

欧米で「フィーバーからスキャンダルへ」と化した，コッホによる「結核新治療薬」。日本社会はそれをどのように受け止めたのか。多様な医療雑誌による「情報」の伝達・切り分け・普及を軸に，近代日本の医学・医療の風土が形成される転換期の実相を描き，今日への示唆に富む労作。

〔2022〕978-4-8158-1101-3

大塚修／赤坂恒明／髙木小苗／水上遼／渡部良子訳註

カーシャーニー オルジェイトゥ史

—イランのモンゴル政権イル・ハン国の宮廷年代記—

A5 判・516 頁・9,000 円

モンゴル帝国を構成する政権の一つ，イル・ハン国に仕えた歴史家カーシャーニー。その手になるオルジェイトゥ治世の年代記は，『集史』以降の時代を扱うとともに，ユーラシア各地の貴重な情報をも記録した第一級の史料である。詳細な解題・訳註を付した，ペルシア語史書初の日本語全訳。

〔2022〕978-4-8158-1105-1

中澤克昭著

狩猟と権力

—日本中世における野生の価値—

A5 判・484 頁・6,800 円

日本の歴史において，狩猟はつねに権力と結びついていた。なぜ「野生のキャプチャー」がそれほど大きな政治性を帯びたのか。天皇・公家や武士たちが実践した鷹狩・巻狩などを通観し，殺生禁断や，暴力と儀礼をつなぐ広範な狩猟文化を探究する中から，列島の人間と動物の関係を問い直す。

〔2022〕978-4-8158-1106-8

鈴木　董著

オスマン帝国の世界秩序と外交

A5 判・324 頁・5,400 円

イスラム的世界帝国の理念・現実・変容——。ナショナルな主権国家とは異なる秩序観に基づき，多様な人々を包摂した大帝国。そのダイナミックな「国際」関係や対外交渉行動を描くとともに，近代の西欧国際体系との関係を，外交使節や公館，革命や大戦への対応などから論じた碩学の労作。

〔2023〕978-4-8158-1117-4

小俣ラポー日登美著

殉教の日本

―近世ヨーロッパにおける宣教のレトリック―

A5 判・596 頁・8,800 円

キリスト教文化にとって，日本は〈暴虐と聖性の国〉だった。グローバルな宣教の中で，驚くべきイメージはどのように成立・普及したのか。長崎二十六殉教者の列福やその聖遺物の行方，さらには多様な殉教伝・磔図像・残酷劇などを跡づけ，東西をつなぐ新たな「双方向の歴史」を実践する。

〔2023〕978-4-8158-1119-8

社会・民俗

守能信次著

スポーツとルールの社会学

―《面白さ》をささえる倫理と論理―

〔品切〕A5 判・358 頁・3,200 円

公正・平等といった価値体系のみに依拠する従来のルール論，スポーツ論の観念性と不毛性を社会科学的視点から鋭く批判し，スポーツ・ルールの存在理由と意味を，その機能と構造に即し根底から問い直す。斬新な視角からスポーツとルールへの再考を迫る意欲作。

〔1984〕978-4-930689-23-8

アルベール・バイエ著　久保田勉訳

道徳の社会学

〔品切〕四六判・218 頁・2,500 円

デュルケームやレヴィ・ブリュールの流れを汲む著者は，言語，宗教，法律，習俗，文学等を素材に道徳現象の科学的究明を企図。ドイツ系の規範的倫理学とは異なるフランス社会学派の道徳研究の視点と方法を明晰・コンパクトに指示する。わが国で初のフランス道徳社会学の紹介。

〔1987〕978-4-930689-73-3

梶田孝道編

［第 2 版］国際社会学

―国家を超える現象をどうとらえるか―

A5 判・360 頁・2,800 円

民族宗教紛争，移民難民問題，資源環境問題等にみられる近年の国際社会の地殻的変動は新しい社会学を要請している。本書は，個別領域研究の蓄積を踏まえて，これらトランスナショナルな生きた現実が提起する主要問題群とアプローチのための視座を提供する「中範囲の理論」化の試み。

〔1996〕978-4-8158-0173-1

関根政美著

エスニシティの政治社会学

―民族紛争の制度化のために―

A5 判・338 頁・2,800 円

冷戦終結とともに世界的規模で激化している人種・民族紛争の原因は何か？　人種・民族・エスニシティに関する近年の動向と従来の膨大な諸学説を明快に鳥瞰整理してその本質に迫るとともに，21 世紀にむけて最重要の課題である民族紛争の制度化のために，今何が必要かを考察する。

〔1994〕978-4-8158-0229-5

園田英弘／濱名篤／廣田照幸著

士族の歴史社会学的研究

―武士の近代―

A5 判・360 頁・5,500 円

明治維新による旧武士団の解体から新しい階層秩序の形成まで，上昇組と没落組という二極に単純化しえない士族層の複雑な軌跡を歴史社会学的視点から解明。封建身分と近代的階層構造との連続性と非連続性や，近代化に果たした旧武士団の役割を明らかにする歴史社会学の成果である。

〔1995〕978-4-8158-0250-9

V. パレート著　姫岡勤訳　板倉達文校訂　古典翻訳叢書

一般社会学提要

〔品切〕A5 判・412 頁・8,000 円

人間行動の合理と非合理を凝視して「ファシズムのマルクス」とも称されたパレート。本書は 20 世紀思想界に異彩を放つパレート畢生の大著『一般社会学概論』のパレート自身による縮約版の翻訳の再刊。パレート社会学体系の全貌を鳥瞰し得るとともに，今尚社会諸科学に刺激を与え続ける。

〔1996〕978-4-8158-0269-1

出口晶子著　　日本生命財団出版助成図書

川辺の環境民俗学
―鮭遡上河川・越後荒川の人と自然―

A5判・326頁・5,500円

春にはサクラマス，秋にはサケがさかのぼる新潟県荒川をフィールドに，昭和30年代前後から現代にいたる水辺に生きた川人と川の関わり方の生態，川辺の環境変動，またその変動の具体相等々，川辺の民俗と民俗の変遷を掘り起こし，環境保全を人文科学の立場から問いなおす。

〔1996〕978-4-8158-0279-0

吉野耕作著

文化ナショナリズムの社会学
―現代日本のアイデンティティの行方―

四六判・306頁・3,200円

1970年代から80年代にかけて輩出した多数の日本人論を文化ナショナリズムの一形態として様々な国の自民族独自論と比較しつつ，「ナショナリズムの消費」という視点を導入して現代日本における文化ナショナリズムの行方を考察。ナショナリズム，エスニシティ研究の新しい方向を示す。

〔1997〕978-4-8158-0315-5

R. ベネディクト著　筒井清忠／寺岡伸悟／筒井清輝訳

人種主義 その批判的考察

四六判・244頁・2,800円

本書は，『菊と刀』で著名なR. ベネディクトがナチスの人種主義への批判をこめて，「人種とは何か」「人種差別とは何であり何故起きるのか」「人種主義の歴史」そして「如何に克服するのか」等を明快に解説したもので，混沌とした現代の人種問題を考えるうえで今なお指針となりうる基本書。

〔1997〕978-4-8158-0326-1

A. D. スミス著　巣山靖司／高城和義他訳

ネイションとエスニシティ
―歴史社会学的考察―

A5判・384頁・4,200円

近代的なネイションの底にあるものは何か？　ネイションやナショナリズムはまもなく乗り越えられるという楽観的な進化論を再検討するとともに，現在ふたたび生命力を示しているエスニックな要素の起源を探り，前近代的な文化とアイデンティティの運命を明らかにした名著。

〔1999〕978-4-8158-0355-1

重松伸司著

国際移動の歴史社会学
―近代タミル移民研究―

A5判・430頁・6,500円

エトノス移民論の視座に立ち，マレー半島に移住したインド移民の移動・定着過程を，大英帝国の移民政策をも含めて明らかにするとともに，移民のコミュニティや複合的ネットワークの実態，そして統合と分化を深めていく移民社会の構造を，現地調査と文献資料の両面から照らし出した労作。

〔1999〕978-4-8158-0356-8

田中恭子著　　南山大学学術叢書

国家と移民
―東南アジア華人世界の変容―

A5判・406頁・5,000円

華人移民と国家とのせめぎあいのポリティックスを，シンガポールとマレーシアを中心に，政治的アイデンティティの変容と国民統合の過程に焦点をあてて描き出すとともに，華人をめぐる東南アジア諸国と中国との関係を眼光鋭く分析した労作。**アジア・太平洋賞特別賞受賞**

〔2002〕978-4-8158-0436-7

小林傳司著

誰が科学技術について考えるのか
―コンセンサス会議という実験―

四六判・422頁・3,600円

専門家や行政は信用できない？　素人は何もわかっていない？　社会の中の科学技術のあり方をめぐって専門家と市民が対話する「コンセンサス会議」。日本で初めて行われたこの新たな試みを紹介し，その背景や科学をめぐる公共空間の行方について考える。**日経BP・BizTech図書賞受賞**

〔2004〕978-4-8158-0475-6

梶田孝道／丹野清人／樋口直人著

顔の見えない定住化

―日系ブラジル人と国家・市場・移民ネットワーク―

A5 判・352 頁・4,200 円

移住システムの誕生から「日系ブラジル人問題」発生のメカニズムまで，デカセギをめぐる諸問題を世界的な移民研究の水準で把握，豊かなフィールド調査の成果により労働・生活過程の全体像を初めて本格的に解明するとともに，体系的な移民政策形成の重要性を示した労作。

〔2005〕978-4-8158-0502-9

梶田孝道編

新・国際社会学

〔品切〕A5 判・354 頁・2,800 円

移民や宗教，人種や民族，メディアなどから生起する新たな越境現象から，国際問題の構造変化を明晰なアプローチで把握。多様な現象の丁寧な分析・腑分けにより，均質化と差異化，包摂と排除の力学が複雑に交錯するグローバリゼーションの実像に迫り，国際社会学の新たな可能性を拓く。

〔2005〕978-4-8158-0520-3

小杉泰／林佳世子／東長靖編

イスラーム世界研究マニュアル

A5 判・600 頁・3,800 円

今日，イスラーム世界の存在がクローズアップされ，それに関する情報も飛躍的に増大している。本書は，歴史と現在をともに視野におさめ，最も信頼できる知識を凝縮，誰でもアクセスできる「知の見取り図」を提供すると同時に，研究の最先端へと進んでいける「学びのマニュアル」である。

〔2008〕978-4-8158-0594-4

小林寧子著　　南山大学学術叢書

インドネシア 展開するイスラーム

A5 判・482 頁・6,600 円

世界最大のムスリム人口を抱えるインドネシア。外来の宗教が地域に根づき，時代と社会の要請に応えて発展しつづける姿を，植民地時代から民主化後の現在まで，イスラーム法の浸透と解釈による現地化を軸に，ムスリム指導者の知的営為や政治との関係にも光をあてて動態的に描き出す。

〔2008〕978-4-8158-0596-8

S. カースルズ／M. J. ミラー著　関根政美／関根薫監訳

国際移民の時代［第 4 版］

A5 判・486 頁・3,800 円

台頭するアジアの移民動向や，新たに浮上した移民と安全保障の問題，シティズンシップや文化，政治・経済をめぐる移民の新潮流を，定評ある叙述に増補して平易に解説。グローバルな視野で，ますます深まりゆく移民社会化の行方を見通した，もっともスタンダードな世界的概説書の最新版。

〔2011〕978-4-8158-0655-2

仁平典宏著

「ボランティア」の誕生と終焉

―〈贈与のパラドックス〉の知識社会学―

A5 判・562 頁・6,600 円

人々を社会参加へと枠づける言葉は，どのような政治的・社会的文脈で生まれ，いかなる帰結をもたらしてきたのか。その言葉がまとう形はどのように作動するのか。日本のボランティア言説の展開を辿り，参加型市民社会を鋭く問いなおす。**損保ジャパン記念財団賞，日本社会学会奨励賞受賞**

〔2011〕978-4-8158-0663-7

樋口直人著

日本型排外主義

―在特会・外国人参政権・東アジア地政学―

A5 判・306 頁・4,200 円

ヘイトスピーチはいかにして生まれ，なぜ在日コリアンを標的とするのか？「不満」や「不安」による説明を超えて，謎の多い実態に社会学からのアプローチで迫る。著者による在特会への直接調査と海外での膨大な極右・移民研究の蓄積をふまえ，知られざる全貌を鋭く捉えた画期的成果。

〔2014〕978-4-8158-0763-4

吉野耕作著

英語化するアジア

―トランスナショナルな高等教育モデルとその波及―

A5 判・240 頁・4,800 円

英語支配論をこえて，ポストコロニアルな現場から――。中心国によるグローバル支配の道具といった一面的な見方をしりぞけ，マルチエスニックなマレーシアで創出された高等教育モデルとその波及を通して，アジアの英語化の生きた姿を，変動する社会と地域の中でつぶさに捉えた力作。

〔2014〕978-4-8158-0779-5

上村泰裕著

福祉のアジア

―国際比較から政策構想へ―

A5 判・272 頁・4,500 円

グローバル時代の社会的基盤とは。相互依存の深まる東アジアでは地域全体の福祉拡充が緊要となっている。福祉国家と企業福祉・家族福祉・ボランタリー福祉の関係をどう結び直すのか。東アジア諸国間で国際協力は可能か。比較研究から新時代への提言を示す。**アジア・太平洋賞特別賞受賞**

〔2015〕978-4-8158-0813-6

小井土彰宏編

移民受入の国際社会学

―選別メカニズムの比較分析―

A5 判・380 頁・5,400 円

誰を受け入れ，誰を排除するのか――移民受入をめぐる風景を一変させた政策と実態の変化を，古典的移民国，EU 諸国，後発受入国の比較により鮮明に捉え，排除と包摂のメカニズムをトータルに示す。世界を震撼させる「移民問題」を冷静に考える確かな視点を得るために。

〔2017〕978-4-8158-0867-9

野村　康著

社会科学の考え方

―認識論，リサーチ・デザイン，手法―

A5 判・358 頁・3,600 円

学際化が進む社会諸学のロジックをいかにして身につけるか。日本で初めて認識論から説き起こし，多様な調査研究手法を整理して，メソドロジーの全体像を提示する。社会科学を実践するための要諦をつかみ，創造的研究を生み出すための最良のガイドブック。**日本公共政策学会著作賞受賞**

〔2017〕978-4-8158-0876-1

安藤　究著

祖父母であること

―戦後日本の人口・家族変動のなかで―

A5 判・272 頁・4,500 円

政策の前提にもなっている，幼い孫の手をひくお年寄りという姿は，もはや当たり前ではない。平均寿命の伸びや晩婚化，性別役割分業の変化などを通して，「祖父母であること」はどう変わってきたのか。ライフコースやジェンダーに着目し，そのリアルな「現在」をとらえた力作。

〔2017〕978-4-8158-0882-2

末廣昭／大泉啓一郎編

東アジアの社会大変動

―人口センサスが語る世界―

A5 判・352 頁・5,400 円

少子化と高齢化の同時進行，メガリージョンの形成，労働者の越境など――アジアは今，大変動の真っただ中にある。各国データの徹底分析により急速な変貌を浮き彫りにするとともに，調査の実施方法やこぼれ落ちる問題にも光を当て，東アジアの現在を丸ごと捉える。

〔2017〕978-4-8158-0884-6

大谷　尚著

質的研究の考え方

―研究方法論から SCAT による分析まで―

菊判・416 頁・3,500 円

「量」では測れないものを科学的に考えるために――。質的研究に関する疑問に，ツボを押さえた説明や独自のモデルで答え，量的研究者も納得。認識論を起点に，研究を進める上で大切な考え方や質的データ分析手法 SCAT の使い方を解説する。人文・社会科学や医療等に携わる人にも最適。

〔2019〕978-4-8158-0944-7

佐藤　仁著

反転する環境国家

―「持続可能性」の罠をこえて―

四六判・366 頁・3,600 円

国家に依存した自然保護の急速な展開は何をもたらしたのか――。東南アジアをフィールドに，灌漑や森林，漁業資源をめぐって起こる思いがけない「人の支配」への転化や，開発と保護の連鎖する関係をあぶりだし，その解決策を現場の人々のしたたかな戦略や日本の経験に見出す注目作。

〔2019〕978-4-8158-0949-2

佐々木剛二著

移民と徳

―日系ブラジル知識人の歴史民族誌―

A5 判・398 頁・6,300 円

ブラジルへの貢献と移民の成功をともに導いた徳＝内面的資質と，それを体現する人々としての日系人は，いかにして生みだされたのか。移民知識人がはたした決定的役割から，日系コロニア構築の 100 年を超える歴史をとらえ，デカセギや世代交代とともに失われゆくその姿をも映し出す。

〔2020〕978-4-8158-0978-2

H. コリンズ／R. エヴァンズ著　奥田太郎監訳　和田慈／清水右郷訳

専門知を再考する

A5 判・220 頁・4,500 円

科学技術の浸透した世界で物事を決めるとき，専門家を無視することも，絶対的に信頼することもできない。では専門知とは何か。会話や「農民の知」から，査読や科学プロジェクト運営まで，その多様なあり方をトータルに把握。対話型専門知の可能性に光をあて現代社会に展望を拓く名著。

〔2020〕978-4-8158-0986-7

恵羅さとみ著

建設労働と移民

―日米における産業再編成と技能―

A5 判・370 頁・6,300 円

オリンピックや相次ぐ再開発を控え，高齢化と人手不足が著しい建設現場に導入されてきたベトナム人などの外国人技能実習生たち。安価な移民労働力の利用とみなす画一的理解をこえて，日米の比較から産業再編成と技能継承をめぐる課題に迫り，建設労働移民のグローバルな文脈を示す。

〔2021〕978-4-8158-1020-7

中村　督著　　南山大学学術叢書

言論と経営

―戦後フランス社会における「知識人の雑誌」―

A5 判・442 頁・5,400 円

メディア企業の生き方とは――。民主主義に奉仕すると同時に，資本主義の中で動くジャーナリズム。戦後フランスに生まれ，知識人を結集する一方，市場で稀有な成功を収めたニューズマガジンの歴史を，変容する社会とともに捉える。**渋沢・クローデル賞本賞，日本出版学会賞奨励賞受賞**

978-4-8158-1022-1

ブノワ・ゴダン著　松浦俊輔訳　隠岐さや香解説

イノベーション概念の現代史

四六判・216 頁・3,600 円

現代社会のキーワードとして君臨する「イノベーション」。いかにして考え出され，政策や経営に組み込まれていったのか。また，研究はどのように商業化に巻き込まれたのか。国際機関や省庁・企業の実務家たちに焦点を合わせ，科学・技術の「有用性」を問い直す，私たちの時代の概念史。

〔2021〕978-4-8158-1046-7

森田勝昭著

クジラ捕りが津波に遭ったとき

―生業の人類学―

四六判・376 頁・3,200 円

鯨びと，鯨の町，鯨の海――。うち続く逆境のなか，命をかけてクジラと闘うのはなぜか。歴戦の解剖リーダーや老いたる船の若き船長，部下と地域の未来を背負う社長らの語りに耳を傾け，捕鯨という「仕事」が織りなす厳しくも豊かな世界を見つめる渾身の力作。「生きてあること」とは。

〔2022〕978-4-8158-1104-4

杉江あい著

カースト再考

―バングラデシュのヒンドゥーとムスリム―

A5 判・424 頁・7,200 円

宗教が異なれば社会のかたちも異なる，という図式は，本当に有効なのか。生活の場を介して，カーストを含む多様な集団が相互に交錯する過程を，宗教の別をこえてトータルに把握。物乞いや聖者など宗教横断的な主体も視野に，分裂した南アジア像が覆い隠してきたものをすくいだす。

〔2023〕978-4-8158-1112-9

古橋忠晃著

「ひきこもり」と「ごみ屋敷」

―国境と世代をこえて―

四六判・284 頁・3,200 円

日本だけではない。若者だけではない――。共通性と違いに目を向けることで，初めて見えてくる処方箋。著者自身の国内外での臨床経験と，精神医学の知見を踏まえつつ，当事者と向きあい，社会に問いかける，「ひきこもり」「ごみ屋敷」問題を根本から考え直す洞察の書。

〔2023〕978-4-8158-1113-6

竹沢泰子著

アメリカの人種主義

―カテゴリー／アイデンティティの形成と転換―

A5 判・516 頁・4,500 円

差別を生み出し続けたステレオタイプ，制度，学知などによる黒人，アメリカ先住民，アジア系移民の人種化の実態を鋭くとらえるとともに，排除に抗うアイデンティティ形成のジレンマもはじめて一貫して提示，アートを手がかりに，固定化された対立をほどく，第一人者による渾身の成果。

〔2023〕978-4-8158-1118-1

教育・心理

田浦武雄編
教育の原理
〔品切〕A5 判・348 頁・2,000 円

教育とは，文化・社会の動態と人間個体の成長・発達との接する領域において，未来の創出を助ける営為であるという観点から，教育の歴史的・文化的基礎，学校教育の現実と課題，学校の経営・制度・行政の問題の検討を踏まえて，教育の原理を探究。
〔1983〕978-4-930689-03-0

甲斐進一著
ブラメルド教育哲学の研究
〔品切〕A5 判・342 頁・4,800 円

実存的ヒューマニズムの視点を重んずる教育を構想し，学校教育を文化改造の担い手として考えたセオドーア・ブラメルド。本書は，「教育による文化改造とは何か」「どこまで教育は文化改造に貢献できるか，また貢献すべきか」に焦点をあて，ブラメルド教育哲学の構造と意義を究明する。
〔1984〕978-4-930689-17-7

潮木守一著
京都帝國大學の挑戦
―帝国大学史のひとこま―
〔品切〕四六判・218 頁・2,000 円

明治 30 年，当時「拝官主義」にとりつかれ，大学あるいは大学教授という役割を自らの手で定義しえないでいた東大への挑戦者として，京都帝国大学は登場した。本書は，あるべき大学像を求めて創設された京都帝国大学の教育改革と挫折の 8 年間のドラマをドキュメンタルに描く。
〔1984〕978-4-930689-18-4

村上英治監修　池田豊應／赤塚大樹／細野純子／後藤秀爾編
生きること・かかわること
―人間への臨床心理学的接近―
〔品切〕A5 判・366 頁・3,500 円

本書は，16 の多様な領域における臨床心理学実践の実例報告に基づいて，事例の病理学的解明や治療論的検討を行うとともに，対象の特定の「生」とそれにかかわる心理臨床家自身のありよう，内面的な歩みを記述し，臨床心理学における基本的人間接近のあり方を示す。
〔1984〕978-4-930689-19-1

G. ラッシュ著　内田良男監訳
心理テストの確率モデル
〔品切〕A5 判・270 頁・3,500 円

集団の中の単なる相対的順位にすぎない偏差値から脱却して，個人の能力や性格を絶対的な「ものさし」によって測るための計量心理学的モデルの構想と応用。デンマークの数学者の手になる本書は，行動科学に数学モデルを応用して，テストを本当の意味で客観的なものにする。
〔1985〕978-4-930689-35-1

堀内　守編
教育哲学の諸問題
〔品切〕A5 判・370 頁・4,300 円

さまざまな教育問題が新聞紙上をにぎわしている今日，教育哲学の応えるべき課題は多い。本書は，これらの課題に応えるべく，アクチュアルな問題を取りあげ，教育哲学の根本を究明し，教育の理論と実践に新しい途を示す。田浦武雄・名古屋大学教授・退官記念論文集。
〔1986〕978-4-930689-44-3

横瀬善正著

形の心理学

本書は，視覚心理学の分野においていちはやく「形」の問題に取組み心理的ポテンシャル場の理論を提出した著者が，カモフラージュの立案や交通標識の改作，文字パターンなど実際的な問題を検討する。従来充分な扱いがなされていない「形」にアプローチした独創的な成果。

〔品切〕四六判・164 頁・2,200 円

〔1986〕978-4-930689-48-1

内山道明著

心理学の窓から

本書は，「具体的人間生活を対象とした心理学」を標榜する著者が，新聞・雑誌に寄せた随想・評論をまとめたものである。専門分野を超えて，現象の基底にある問題の特性を鋭く見透している。全体を三部に分けⅠ部が社会時評，Ⅱ部が家庭心理学等，Ⅲ部が研究雑感となる。

〔品切〕四六判・194 頁・1,800 円

〔1988〕978-4-930689-86-3

久世敏雄編

教育の心理

(1) 教育過程における教育的関係を研究する心理学であること。(2) 全体としての人間を生涯発達という視点から捉える実践的性格を担った心理学であることの二点を中心に，単著では出来ない多くの教育心理学教室関係者による幅広い視点から教育心理学的知見が豊富に盛りこまれた教科書。

〔品切〕A5 判・304 頁・2,000 円

〔1988〕978-4-930689-87-0

田浦武雄／潮木守一／日比裕編

現代教育の原理

教育職員免許法の大改正に伴う旧著『教育の原理』の全面的改訂版。近年の教育現場の新しい動向を踏まえて，一層広く深く教育を考察する。〔目次〕第Ⅰ部「教育の本質と目標」，第Ⅱ部「教育と社会」，第Ⅲ部「教育の内容・方法および技術」。他に教育関係法規，戦後教育史年表を付す。

〔品切〕A5 判・296 頁・2,200 円

〔1990〕978-4-8158-0143-4

服部祥子／原田正文著　　日本生命財団出版助成図書

乳幼児の心身発達と環境
―大阪レポートと精神医学的視点―

本書は，一定地域の同年出生の乳幼児二千名の発達過程を環境とのかかわりで 6 年にわたり追跡調査した世界でも類をみない貴重な子ども白書。社会の急激な変化にゆれる現代日本の子どもの実像を踏まえて，子どもの健全な心身発達のために，今大人は何をなすべきかを提言する。

B5 判・350 頁・5,000 円

〔1991〕978-4-8158-0153-3

江藤恭二監修　篠田弘／鈴木正幸編

教育近代化の諸相

中世から近代へ，ヨーロッパ・アメリカ・日本の近代化の過程で教育の理念・制度・実践はどのように展開されていったのか。現代社会が当面する教育の課題をその近代化の諸相にさぐり，Ⅰ西洋教育史，Ⅱ日本教育史，Ⅲ教育思想を柱に様々な角度から論じる。

〔品切〕A5 判・440 頁・8,000 円

〔1992〕978-4-8158-0176-2

田畑治／蔭山英順／小嶋秀夫編

現代人の心の健康
―ライフサイクルの視点から―

従来ともすれば「心の健康」の阻害要因や状態のみが取り上げられることが多かったのにたいし，本書は，現代人の生涯にわたる成長，発達を縦軸に，また生活の場や空間――家庭・学校・職場・地域社会および国際間――を横軸に，「心の健康」を促進・開発していく側面をも積極的に展開する。

〔品切〕A5 判・288 頁・2,300 円

〔1992〕978-4-8158-0186-1

芎阪良二／中溝幸夫／古賀一男編

眼球運動の実験心理学

A5 判・346 頁・6,500 円

ビジュアル・サイエンス史上の巨人，ヘルムホルツとヘリングが眼球運動について論争してから120 年。その間，技術革新に支えられて発展してきた眼球運動研究の歴史と最新の成果を収め，眼球はなぜ動くのか，視線の動きは何を意味するのかを視覚との関わりで解明するわが国初の成書。

〔1993〕978-4-8158-0204-2

田浦武雄編

アメリカ教育の文化的構造

A5 判・190 頁・2,200 円

第Ⅰ部で教育・社会・文化の関連を捉え，教育の文化的構造，新しい資料に基づいた戦時下日系人強制収容をめぐるアメリカ文化の光と影を検討し，第Ⅱ部でアメリカ教育の動向を捉え，教育における平等と卓越性，改造主義，文化的リテラシーをめぐる問題構造等を検討した。

〔1994〕978-4-8158-0239-4

早川　操著

デューイの探究教育哲学

―相互成長をめざす人間形成論再考―

【RA 叢書】A5 判・306 頁・5,500 円

アメリカの哲学者であり教育学者であるデューイの人間形成理論を「探究」という理念を中心に考察した。教育はたえざる「相互成長」をめざすという前提のもと，近年話題となっている「習慣・コミュニケーション行為・反省的教授」等の諸テーマにそって考察・理論展開する。

〔2022（1994）〕978-4-8158-1072-6

馬越　徹著

韓国近代大学の成立と展開

―大学モデルの伝播研究―

【RA 叢書】A5 判・326 頁・6,300 円

本書は，19 世紀末科挙制度の崩壊に伴う儒教的大学観の崩壊から日本植民地統治下における「日本・西洋混合型」，戦後の「アメリカ型」をへて国力の増大による「独自モデル」が展開されるまでの韓国高等教育の歴史を，大学モデルの受容と変容の観点から比較史的・実証的に明らかにする。

〔2022（1995）〕978-4-8158-1073-3

田中英夫著

御雇外国人ローレツと医学教育

―愛知県公立医学校における新ウィーン学派医学の受容―

A5 判・300 頁・5,500 円

明治時代，名古屋大学の前身校の御雇教師であったアルブレヒト・フォン・ローレツ。その出自から来日，帰国までの足跡を丹念に追い，ドイツ医学の教育体系をどのように導入したのかを解明する。併せて日本の衛生行政への貢献や，近代的医学思想を初めてわが国に紹介した過程を提示。

〔1995〕978-4-8158-0260-8

フィリップ・ワロン他著　加藤義信／日下正一訳

子どもの絵の心理学

A5 判・278 頁・2,900 円

子どもが描く絵には，どんな心の世界が隠されているのか？　フランス語圏の伝統ある「子どもの絵」研究を踏まえ，発達心理学によるアプローチを中心に，臨床的観点や比較文化的視点の導入，さらにはコンピュータを利用した描画や発達水準の評価など，研究の現況をバランスよく鳥瞰する。

〔1995〕978-4-8158-0261-5

広瀬幸雄著

環境と消費の社会心理学

―共益と私益のジレンマ―

A5 判・250 頁・2,900 円

本書は，マクロな環境問題とミクロな消費行動に関する人々の意識と行動を，環境保全という共益と消費・廃棄という私益との社会的ジレンマの枠組みから捉え，そのジレンマ解決の方途を具体的事例と実験を踏まえて解明する。資源環境問題に対するわが国で初めての社会心理学的研究。

〔1995〕978-4-8158-0268-4

松野　修著

近代日本の公民教育

―教科書の中の自由・法・競争―

A5 判・376 頁・5,700 円

近代市民社会の原理や機構はどのように教えられてきたのか。明治以降の「自然権論を基調とする」公民教育の営みとその逸脱・変容のあり様を丹念に描き出し，以て「天皇制家族国家観に立脚する」公民教育のもう一つの流れとの相補的構造を明らかにした労作。教育の現在への示唆に富む。

〔1997〕978-4-8158-0332-2

服部祥子／山田冨美雄編　　日本生命財団出版助成図書

阪神・淡路大震災と子どもの心身

―災害・トラウマ・ストレス―

B5 判・326 頁・4,500 円

震災が子どもの心の奥底に残したものはなにか？――約三千人の子どもたちが示したストレス反応を，精神医学・心理学・看護学の専門家が独自の調査測定・評価によって多角的に分析し，震災後のケア及びストレスマネジメント教育をどのようにしていくのか，その指針と方法を提示する。

〔1999〕978-4-8158-0364-3

広田照幸著

教育言説の歴史社会学

四六判・408 頁・3,800 円

「教育」の氾濫は何を物語っているのか？　少年犯罪，校則，親子関係，個性，能力などの事例をもとに，〈教育的なるもの〉が生み出される過程を鮮やかに描き出すとともに，教育言説の固有の正当化形式が見えなくさせていた歴史的・社会的文脈を浮彫りにし，現代教育論の再考を促す労作。

〔2001〕978-4-8158-0396-4

梶田正巳編

学校教育の心理学

A5 判・288 頁・2,800 円

変貌著しい学校教育の現場に焦点をあわせ，学力や心の問題への対応，総合学習，コンピュータ教育の拡大まで，多様化する教育課題への実践的対応を詳述した待望のテキスト。教育心理の初学者，教師に最適な具体的かつバランスのよい解説で，子どもの生きる力を育てる支援を考える。

〔2002〕978-4-8158-0437-4

成田善弘著

贈り物の心理学

四六判・236 頁・2,800 円

人はなぜ贈り物をするのか？　日常生活の場面から神話や昔話の贈り物まで，さらには精神療法の過程で交わされるプレゼントから「命の贈り物」と呼ばれる臓器移植まで，人間社会のさまざまな局面で登場する贈り物の意味について幅広く考察を加え，その背後に働く心の世界を解き明かす。

〔2003〕978-4-8158-0471-8

今津孝次郎／馬越徹／早川操編

新しい教育の原理

―変動する時代の人間・社会・文化―

A5 判・280 頁・2,800 円

社会の変化，教育の役割，国際的視野の三つの論点を軸に，教育原理の新しいスタンダードを提示。最新の知見に基づく教育理論や制度変化などの解説により，基礎的な知識・思考力を養うとともに，教育の領域を人間・社会・文化との相互連関のもとにおき直し，そのあるべき姿を問い直す。

〔2005〕978-4-8158-0504-3

原田正文著　　日本生命財団出版助成図書

子育ての変貌と次世代育成支援

―兵庫レポートにみる子育て現場と子ども虐待予防―

B5 判・386 頁・5,600 円

世界的にも稀な大規模で信頼性の高い子育て実態調査の結果を，過去の調査と比較しつつ丹念に分析。ここ二十数年間での子育ての急速な変貌とその課題を明らかにする。精神科思春期臨床の視点やストレス理論，心の発達理論なども踏まえ，母親に必要な支援および子ども虐待の予防策を探る。

〔2006〕978-4-8158-0543-2

児玉善仁著

イタリアの中世大学

—その成立と変容—

A5 判・470 頁・7,600 円

大学はいかにして生まれたのか。ヨーロッパ最古のボローニャ大学と医学で栄えたパドヴァ大学を中心に，学生を主体としたイタリア中世大学の特質を明らかにするとともに，学位や学部，都市との関係から地方性と普遍性の問題に迫り，近代への過程を見通す。制度史と社会史を統合した力作。

〔2007〕978-4-8158-0576-0

江藤恭二監修　篠田弘／鈴木正幸／加藤詔士／吉川卓治編

新版 子どもの教育の歴史

—その生活と社会背景をみつめて—

A5 判・326 頁・2,800 円

偉大な教育思想家や教育制度の変遷ではなく，子どもの実態に焦点をあて，近代への移行期から現代に至る教育の歴史を，近年の社会史の成果も踏まえて解説する。外国編と日本編に分けて記述し，グローバリゼーションのもと著しく変化する現在の教育の姿も盛り込んだ好評テキストの新版。

〔2008〕978-4-8158-0586-9

橋本伸也著

帝国・身分・学校

—帝制期ロシアにおける教育の社会文化史—

A5 判・528 頁・9,000 円

教育史から浮かび上がるロシア帝国——。西欧的学知の受容過程を俯瞰し，「教育の身分制原理」とその揺らぎをエリート教育に即して読み解くとともに，辺境地域で展開された教育政策をたどることで，ロシア帝国固有の教育システムを解明，教育の社会文化史の可能性を問いかけた渾身作。

〔2010〕978-4-8158-0627-9

吉川卓治著

公立大学の誕生

—近代日本の大学と地域—

A5 判・408 頁・7,600 円

大学と地域の関係はいかにあるべきか。初の公立大学である大阪医科大学の学長，佐多愛彦の大学論に着目し，公立大学理念の形成過程と内実を解明。大学令の成立経緯を考察するとともに，各地での公立大学設立への動きを周到にたどり，今日活況を呈する公立大学を根源から見つめ直す。

〔2010〕978-4-8158-0641-5

広田照幸／古賀正義／伊藤茂樹編

現代日本の少年院教育

—質的調査を通して—

A5 判・396 頁・5,600 円

少年院ではどのような教育が行われ，少年の更生にどのように役立っているのか？　現場で工夫や改善を重ねることで独自の発展をとげてきた日本の少年院での教育実践を，本格的なフィールド調査を通して，教育学・社会学の視点から多面的に分析，従来のイメージを一新する画期的な研究。

〔2012〕978-4-8158-0705-4

速水敏彦編

教育と学びの心理学

—基礎力のある教師になるために—

A5 判・330 頁・2,800 円

ときどきの政策や潮流に左右されない，教育心理のもっともベーシックな知識とは何か。「教える—学ぶ」関係の心理を丁寧に解説し，基礎の確実なマスターを通じて応用力を養うことを目指す。教員・子どもをめぐる環境変化を超えて，その発達支援を支える知恵の詰まった信頼のテキスト。

〔2013〕978-4-8158-0729-0

近藤孝弘編

統合ヨーロッパの市民性教育

A5 判・312 頁・5,400 円

統合の進展とともに動揺する欧州。移民は増大し，ポスト国民国家の社会像も今なお明確ではない。排外主義や「帝国」化を回避しつつ，国境を超える民主主義をどのように発展させていくのか。シティズンシップ教育に託された困難な課題への挑戦と，歴史を背負った多様な姿を明らかにする。

〔2013〕978-4-8158-0740-5

阿曽沼明裕著

アメリカ研究大学の大学院

―多様性の基盤を探る―

A5 判・496 頁・5,600 円

研究者・専門職双方の輩出で世界をリードするアメリカの高等教育は，どのように支えられているのか。大学院を動かす仕組みとお金の実態を，インタビュー調査や文献から見通しよく整理。「神話」を排し，その多様性に富んだあり方を初めてトータルに解き明かす待望の書。

〔2014〕978-4-8158-0761-0

すぎむらなおみ著

養護教諭の社会学

―学校文化・ジェンダー・同化―

A5 判・366 頁・5,500 円

問題を抱えたこどもたちの避難所として，がんばる「保健の先生」。それにしてもなぜこんなに苦しいのか。性暴力にあった生徒の問題に向き合わざるをえなくなった著者が，養護教諭の「無力さ」の由来を徹底的に探究した果てに，たどりついた答えとは。あり方の再定義へといたる希望の書。

〔2014〕978-4-8158-0771-9

早川操／伊藤彰浩編

教育と学びの原理

―変動する社会と向き合うために―

A5 判・256 頁・2,700 円

グローバル社会を生きるための課題対応力を育み，子どもたちの学びを生み出す教育の新たな姿とは。教育にできることを見きわめ，「教える－学ぶ」関係の可能性を，学びを中心にとらえ直してやさしく解説。社会や制度を知り，子どもとよりよく向き合うための，叡智あふれるテキスト。

〔2015〕978-4-8158-0812-9

三好信浩著

日本の産業教育

―歴史からの展望―

A5 判・396 頁・5,500 円

「実践的で役に立つ」教育を，歴史の中から問い直す――。西洋に範を取ることから始まった近代産業教育の歩みを，女子教育や地方の観点も含め一望。とりわけ教育家の思想や実践に着目し，学校の果たしてきた役割に光を当てる。現代の産業社会が抱える教育課題の解決のために必読の書。

〔2016〕978-4-8158-0840-2

天野郁夫著

新制大学の誕生［上］

―大衆高等教育への道―

A5 判・372 頁・3,600 円

終戦後の混乱の中，200 校以上が慌ただしく発足した新制大学。それは実に大転換だった。文部省や GHQ，諸学校関係者が議論・交渉し，戦前以来の改革構想やアメリカ式の高等教育モデルの間で揺れながら出発に漕ぎつけた困難な過程をたどり，日本のマス高等教育の原点を明らかにする。

〔2016〕978-4-8158-0844-0

天野郁夫著

新制大学の誕生［下］

―大衆高等教育への道―

A5 判・414 頁・3,600 円

旧帝大から師範学校，専門学校まで，「遺産」の多寡も教育機関としての質も異なる学校に一斉に実施された終戦後の「大学」化。不完全さを残しつつも実現された改革は，何を成し，何を成しそこねたのか。現代のマス高等教育の礎をなした転換点に立ち戻り，問題の所在を歴史から問い直す。

〔2016〕978-4-8158-0845-7

今津孝次郎著

新版 変動社会の教師教育

A5 判・368 頁・5,400 円

繰り返される制度改革を越えて――。変化の激しい世界での教師の役割は「やわらかい学校」の実現として捉えられる。同僚と協働し学校全体の改善へと向かう実践や，その省察を通した能力向上を軸とする，ゆるぎない視座から日本の現実を見つめ，多元的な「教師教育」を基礎づけた決定版。

〔2017〕978-4-8158-0877-8

近藤孝弘著

政治教育の模索

―オーストリアの経験から―

A5 判・232 頁・4,100 円

民主主義の拡大を支え劣化を押しとどめるために，世界各国で注目される「政治教育」。16 歳選挙権を導入したオーストリアの，ナショナリズムに動員された過去から，現在のコンピテンシー重視の教育や「民主主義工房」の挑戦まで，政治教育の変容と深化を跡づける。

〔2018〕978-4-8158-0913-3

E. M. フィリップス／D. S. ピュー著　角谷快彦訳

博士号のとり方［第 6 版］

―学生と指導教員のための実践ハンドブック―

A5 判・362 頁・2,700 円

誰も教えてくれなかったガイドの決定版。技術マニュアルを超えて，博士号取得をその考え方から解説，論文の執筆計画から教師・学生のコミュニケーションにいたるまで，だれもが経験するプロセスへの対応をわかりやすく論じ，学生・教員から絶大な支持を集める世界的ベストセラー。

〔2018〕978-4-8158-0923-2

天野郁夫著

新制大学の時代

―日本的高等教育像の模索―

A5 判・558 頁・4,500 円

戦前からの試みと GHQ 占領下の大転換をへて到達した高等教育の新時代。だが，それは新たな模索の始まりだった。様々なアクターによる議論と交渉を通して，何が選ばれ，どのような問題が遺されたのか。現在の大学改革につながる課題の由来と制度の構造を歴史的に浮き彫りにする。

〔2019〕978-4-8158-0956-0

広田照幸著

大学論を組み替える

―新たな議論のために―

四六判・320 頁・2,700 円

なしくずしの政策追随に陥る大学。なぜこんなことになっているのか。大学に関する価値や理念や規範をめぐる議論を避けることなく，教育の質，評価，学問の自由など具体的なトピックを通して，よい改革論とダメな改革論を区別し，大学が公共的な役割を果たし続けられる道を拓く。

〔2019〕978-4-8158-0967-6

広田照幸編

歴史としての日教組［上］

―結成と模索―

A5 判・336 頁・3,800 円

過剰な期待と批判の狭間で，実像とかけ離れたイメージが作られてきた日教組。膨大な非公開史料や関係者へのインタビューに基づき，学術的にその歴史を徹底検証――。上巻では，戦後の労働運動での立ち位置から，独自の教育理念や「教師の倫理綱領」の作成まで，初期の模索を跡づける。

〔2020〕978-4-8158-0972-0

広田照幸編

歴史としての日教組［下］

―混迷と和解―

A5 判・326 頁・3,800 円

現代日本の歴史において重要な役割を果たしてきた日教組。膨大な非公開史料や関係者へのインタビューに基づき，リアルな日教組像を明らかにする学術的研究――。下巻では，1980 年代の労働戦線の再編から，教育運動の転換，文部省との「歴史的和解」まで，新たな路線選択の時代に迫る。

〔2020〕978-4-8158-0973-7

伊藤彰浩著

戦時期日本の私立大学

―成長と苦難―

A5 判・338 頁・6,300 円

それは成長の時代でもあった。――高まる進学熱のなか，国公立を超えてマジョリティを占めるようになった私立大学。一方的な統制だけではなかった政府との関係もふくめ，そのたくましい経営行動を軸に当時の実態に迫り，長期的な視野のもとで，多様な私学の全体像を初めて捉えた労作。

〔2021〕978-4-8158-1024-5

松下晴彦／伊藤彰浩／服部美奈編

教育原理を組みなおす

―変革の時代をこえて―

A5 判・336 頁・2,700 円

環境変動，グローバル化，感染症など，ますます加速する変化と，それに伴う分断のなかで，教育はいかなる役割を果たせるのか？　変革にただ即応するだけではない粘り強い思考力を養い，より良い教育をめざす問いを手放さない教師になるための，最良の教育学入門。

〔2021〕978-4-8158-1045-0

経済・経営

水野正一／飯田経夫／藤瀬浩司編　国際経済摩擦研究叢書 1

文化と経済発展

〔品切〕四六判・250 頁・1,500 円

本書は，経済発展とその国の国民性や宗教などとの関わりを解明し，経済摩擦を新しい視角から掘り下げる。〔目次〕文化と経済／貿易摩擦と文化的要因／儒教文化圏の秩序と経済／韓国近代化の課題と阻害要因／南西アジアからみた「文化と経済発展」／文化と経済発展

〔1983〕978-4-930689-04-7

金　日坤著　国際経済摩擦研究叢書 2

儒教文化圏の秩序と経済

〔品切〕四六判・240 頁・2,200 円

台湾，シンガポールなどとともに儒教文化圏に属し著しい経済発展を遂げた日本と韓国。本書はこの両国の特徴を歴史的に対比・分析して，文化と経済の関係に斬新な視角から迫る。「韓国の経済と文化を把握するための最良の本」と山本七平氏激賞の日韓比較文化論である。

〔1984〕978-4-930689-15-3

小川英次／木下宗七／岸田民樹編　国際経済摩擦研究叢書 3

日本企業の国際化

―資本・経営・技術移転―

〔品切〕四六判・204 頁・2,000 円

現代は国際化の時代であると言われるように，人，物，金のすべてが国境を越えて活動している。本書は，経済摩擦，産業の空洞化など，わが国企業活動の国際化がはらむ問題点を，資本・経営・技術移転に絞って鋭く究明する。1984 年の第 3 回国際経済摩擦シンポジウムの報告。

〔1987〕978-4-930689-61-0

任　文侠著　国際経済摩擦研究叢書 4

中国の経済改革と企業管理

〔品切〕四六判・284 頁・2,500 円

1978 年以降の中国の現代化に伴う経済改革の進行は，企業管理においても大きな変化を引きおこしている。本書は，吉林大学日本研究所教授の著者が，この経済改革の過程を企業形態，経営形態，成果配分制度等を中心に最新の資料を使って詳述，日本の企業経営との比較にも触れる。

〔1990〕978-4-8158-0128-1

小川英次／藤瀬浩司／真継隆／ Th. ダムス編

国際貿易と経済摩擦

―日本とドイツの比較研究―

A5 判・184 頁・3,200 円

第Ⅰ部で，国際貿易を歴史的に考察し，日独両国の貿易構造の展開過程とその特徴を解明。第Ⅱ部では，国際貿易を理論的に考察し，日独両国の交易条件や生産構造，為替政策や金融政策の効果を比較。第Ⅲ部では，両国の緊急課題である経済摩擦とそれへの対応策を論究。

〔1984〕978-4-930689-16-0

水野正一／真継隆／ Th. ダムス編

ME化の現状と雇用問題

―日本と西ドイツの比較研究―

〔品切〕A5 判・270 頁・3,200 円

本書は，ME機器を中心とする先端技術の導入・普及の現状と，それに伴う生産現場での労務管理や雇用問題，労働市場における失業，職業教育，労働時間短縮などの諸問題をわが国といくつかの点で共通性をもつ西ドイツと比較しながら分析する。

〔1986〕978-4-930689-45-0

水野正一／ Th. ダムス編

経済・経営の構造変化と対応策
―日本と西ドイツの比較研究―

A5 判・216 頁・3,200 円

日本と西ドイツにおける近時の産業構造の激変とそれへの対応策を，失業問題，金融財政，農業問題，エネルギー，経営等に焦点を当てて示唆する日独共同研究の成果。第 1 部「経済構造の変化と対応策」／第 2 部「経営構造の変化と対応策」。

〔1987〕978-4-930689-60-3

真継隆／ Th. ダムス編

国際経済における日独の役割
―日本と西ドイツの比較研究―

A5 判・214 頁・3,200 円

世界経済においてアメリカの経済力が相対的に低下している現在，日本，西ドイツがはたすべき役割を，第 1 部「経済の国際化と課題」／第 2 部「経営の国際化と課題」，に分けて多角的に究明する。名古屋大学・フライブルク大学共同研究会の成果である。

〔1988〕978-4-930689-88-7

真継隆／ Th. ダムス編

保護主義か自由貿易か
―日本と西ドイツの比較研究―

〔品切〕A5 判・266 頁・3,200 円

保護主義か自由貿易か？　これは世界経済が直面する最大の課題であり，経済理論の立場から，政策立案の立場から，多くの人々が解決の糸口を模索している。本書は，経済と経営，理論と政策の観点から，日本と西ドイツの両国経済がいま何をなすべきかを多面的に考察する。

〔1989〕978-4-8158-0107-6

木下宗七編　　名古屋大学経済構造研究センター叢書 1

環太平洋経済の発展と構造調整

A5 判・318 頁・4,000 円

近年の国際経済環境の大きな変化のなかで，日本，アメリカ，東アジア地域を中心とする環太平洋経済は世界経済の新しい成長軸として注目を集めている。本書は，「各国経済の相互依存」に焦点を合わせ，環太平洋経済の成長と変動のメカニズムをモデル分析を使って明らかにする。

〔1990〕978-4-8158-0134-2

小川英次／牧戸孝郎編　名古屋大学経済構造研究センター叢書 2

アジアの日系企業と技術移転

A5 判・166 頁・2,200 円

本書は，企業活動のグローバル化に伴いアジア NIES および ASEAN 諸国へ進出した日系企業の直接投資の実態を，資本，管理，組織，技術といった多面的な角度から明らかにし，日本的経営と称される種々の経営管理手法・制度並びに生産技術移転の動向と可能性について検討する。

〔1990〕978-4-8158-0141-0

牧戸孝郎編著　　名古屋大学経済構造研究センター叢書 3

岐路に立つ韓国企業経営
―新たな国際競争力の強化を求めて―

〔品切〕A5 判・322 頁・3,800 円

韓国経済の高度成長を支えてきた輸出指向型工業化戦略は，韓国経済をとりまく内外の環境変化に直面して，今重大な転機に立たされている。本書は，この現状を踏まえて，国際競争力の一層の強化を求めて模索する韓国企業経営の現状・実体・今後の課題を明らかにする日韓共同研究の成果。

〔1994〕978-4-8158-0216-5

Muhammad Rowshon Kamal 著

Problems of Small-Scale and Cottage Industries in Bangladesh

菊判・200 頁・4,500 円

西側の援助による発展途上国の近代的工業化政策は必ずしも成功していない。本書は，綿密な現状分析からバングラデシュの経済開発の失敗の理由を明らかにし，同国の経済開発の適切なモデルとして日本やインドの small-scale and cottage industries の開発を提唱する。

〔1985〕978-4-930689-28-3

長峯晴夫著

第三世界の地域開発

—その思想と方法—

〔品切〕A5 判・300 頁・3,600 円

本書は，国連地域開発センターで著者が携わってきた第三世界諸国の地域開発推進のための調査研究と研修に関する体験に基づき，第三世界諸国の地域開発をめぐる基本的な問題点，その解決のためになされてきたさまざまの努力の成果と未解決の課題を明らかにし，今後を展望する。

〔1985〕978-4-930689-36-8

西田　稔著

日本の技術進歩と産業組織

—習熟効果による寡占市場の分析—

A5 判・270 頁・3,500 円

本書は，戦後日本の技術進歩の中心要因＝習熟効果という仮説に基づき，習熟効果が企業間競争を介して産業組織に与えた影響を，理論的・実証的に考察する。生態的なベイン産業組織論の枠組みを拡充し，ダイナミックな日本の産業発展現象を解き明かす動態的寡占理論構築の試み。

〔1987〕978-4-930689-55-9

藤瀬浩司／吉岡昭彦編

国際金本位制と中央銀行政策

〔品切〕A5 判・470 頁・5,000 円

本書は，国際金本位制の古典的時期の各国の中央銀行政策に焦点をあてて，各国が直面した再生産＝信用上の諸問題を把握するとともに，この段階の世界市場と国際金融市場の構造を明らかにして，第一次世界大戦の破局に至る崩壊要因を析出する。資本主義世界体制を解明する共同研究。

〔1987〕978-4-930689-56-6

I. ウォーラーステイン著　藤瀬浩司／麻沼賢彦／金井雄一訳

資本主義世界経済Ⅰ

—中核と周辺の不平等—

〔品切〕A5 判・250 頁・2,800 円

『近代世界システム』により「世界システム論」という新視角から資本主義史を再考，現代の社会諸科学に圧倒的影響を与え続けている著者の第一論文集。発展段階説的思考からのパラダイム転換をもたらし，現代世界が直面する危機を歴史の深みから照射する。

〔1987〕978-4-930689-62-7

I. ウォーラーステイン著　日南田靜眞監訳

資本主義世界経済Ⅱ

—階級・エスニシティの不平等，国際政治—

A5 判・220 頁・2,800 円

人種紛争，階級間の争い，中心と周辺の対立等，現代が直面する新たな世界危機を資本主義世界システムの歴史と構造の深みから透視して，社会科学に新地平を拓く。「世界システム論」により現代の社会科学に圧倒的影響を与え続ける著者の第一論文集邦訳完結。

〔1987〕978-4-930689-71-9

松尾秀雄著

所有と経営の経済理論

〔品切〕A5 判・256 頁・2,800 円

現代の巨大株式会社を特徴づけるいわゆる所有と経営の分離現象を，経済原論のなかにどう位置づけるのか。従来の諸学説の再検討の上に立って，流通主体と経営主体というモメントを取り入れて，新たな資本家概念の構築を試みる。

〔1987〕978-4-930689-78-8

堺　憲一著

近代イタリア農業の史的展開

〔品切〕A5 判・360 頁・5,500 円

イタリア社会の近代化を深部で規定した 19 世紀から第二次世界大戦後に至る農業のあり方を，資本主義史や政治権力との関係で，諸外国との比較もとり入れて実証的に考察。一級の史料と諸外国の研究を消化して書かれた我が国で初めての本格的イタリア経済史研究。

〔1988〕978-4-930689-83-2

水野正一著

財政再建と税制改革

A5 判・300 頁・3,500 円

昭和 50 年度以降続いているわが国の異常な赤字財政はこのまま放置すれば国民経済の安定的成長にとって最大の障害となりつつある。国債残高 150 兆円が象徴するこの財政危機をどう克服するのか。日本財政の徹底解剖により，増税なき財政再建の不可能を明快率直に訴える。

〔1988〕978-4-930689-85-6

水野正一編

赤字財政の経済学

〔品切〕A5 判・280 頁・2,800 円

昭和 50 年度以降日本が抱える膨大な赤字財政は，放置すれば国民経済の安定的成長にとって最大の障害である。本書は，今日の先進諸国が陥っている赤字財政問題を，状況と要因，経済的・財政的影響，政策論的吟味を柱に，経済理論的視野から考察し，赤字財政脱却の道を提示する。

〔1988〕978-4-930689-99-3

八木紀一郎著

オーストリア経済思想史研究
―中　欧帝国（ハプスブルク）と経済学者―

【RA 叢書】A5 判・300 頁・5,400 円

メンガー，バヴェルク，ヴィーザー，シュンペーター等オーストリア学派の成立を担った経済学者の思想と学説を中欧帝国の社会経済史と精神史のコンテキストから解読する。長らくケインズ革命に光を奪われながら近年復活著しいオーストリアンのブリリアントな研究である。

〔2022（1988）〕978-4-8158-1074-0

齊藤隆夫編著

企業会計論

A5 判・240 頁・2,500 円

本書は，企業会計における測定原則を中心とした会計的測定構造とその論理的基盤を体系的に究明する。すなわち会計公準と会計諸原則との関連，測定諸原則相互間の関連の検討を踏まえて，企業会計における主要な測定諸原則の特徴とその意義の解明が意図されている。

〔1988〕978-4-930689-94-8

馬場正雄著

日本経済 観測と分析

A5 判・390 頁・3,200 円

景気循環論や産業組織論の分野でわが国の実証的経済学の確立に貢献すると同時にマクロ計量経済モデルによって経済政策策定に活躍した著者の遺稿集成。明快な論理と平明な文章は著者がわが国の優れたエコノミストであることを証す。

〔1988〕978-4-8158-0102-1

奥村隆平著

変動為替相場制の理論［改訂版］

〔品切〕A5 判・180 頁・2,800 円

変動相場制のもとでは，為替相場はどのような要因によって決定されるのか，マクロ経済政策の効果はいかなるものか，また各国の経済変動はどのようなメカニズムによって他国に伝播するのか，国際金融論の最も重要な諸問題を平易に解説しつつ，読者をこの理論の最先端へいざなう。

〔1989〕978-4-8158-0109-0

金井雄一著

イングランド銀行金融政策の形成

【RA 叢書】A5 判・266 頁・5,400 円

ナポレオン戦争後の信用制度改革期から古典的な金本位制が終結する第一次大戦までのイングランド銀行金融政策の形成・展開過程を，イギリス資本主義の確立・発展との関係で実証的に解明する。わが国で初めての本格的なイングランド銀行史研究である。

〔2022（1989）〕978-4-8158-1075-7

根井雅弘著

マーシャルからケインズへ

―経済学における権威と反逆―

〔品切〕四六判・220 頁・2,500 円

マーシャルを中心に，ジェヴォンズ，ワルラス，シュムペーター，ケインズ等を配し，19 世紀末から 20 世紀前半にかけての時代思潮を背景に近代経済学誕生のドラマを清新な筆致で描く。理論と評伝が渾然一体となって，経済学史がこれほどおもしろく書かれたことがあったろうか。

〔1989〕978-4-8158-0115-1

H. A. ヴィンクラー編　保住敏彦／近藤潤三／丸山敬一／後藤俊明／河野裕康訳

組織された資本主義

〔品切〕A5 判・230 頁・2,700 円

西ドイツの社会史家コッカやヴェーラーらが 19 世紀末以降の現代資本主義を特徴づける新しいパラダイムとして「国家独占資本主義」に替えて提起した「組織資本主義」概念の有効性と問題点を包括的に究明することによって，混迷する現代資本主義論に新鮮な視角を提供する。

〔1989〕978-4-8158-0120-5

川喜田二郎編

国際技術協力の哲学を求めて

〔品切〕四六判・188 頁・1,800 円

近年国際技術協力への関心が様々の分野とレベルで高まってきている。本書は，国際技術協力に多年たずさわってきた著者たちが，技術協力を単に技術の問題としてだけでなく，協力国・受入国の社会・文化をつつみこむ多面的で底の深い問題として考察する。

〔1989〕978-4-8158-0124-3

伊藤正直著

日本の対外金融と金融政策

―1914～1936―

A5 判・372 頁・6,000 円

本書は，両大戦間期わが国の貿易金融，資本移動，対外金融機関，通貨政策やそれらを媒介とした通貨，物価，金利等，対外金融と金融政策の構造・機能を精緻に分析して，国際金本位制の崩壊から世界恐慌をへてブロック経済にいたる日本経済の特質を浮彫りにする。**エコノミスト賞受賞**

〔1989〕978-4-8158-0125-0

真継隆／牧戸孝郎／奥野信宏編

国際化と地域経済

―これからの東海経済―

A5 判・250 頁・3,200 円

現在，東海の経済はどのような状況にあり，経済の環境変化にどのように対応し，将来どのような経営を目指しているのか。本書は，わが国の生産活動の中心地域である東海地方に焦点をあてながら，地域経済と日本経済の国際化の関わりを様々な側面から分析する。

〔1990〕978-4-8158-0132-8

菱山　泉著

ケネーからスラッファへ

―忘れえぬ経済学者たち―

四六判・244 頁・2,800 円

本書は，ケネー，リカード，マルクス，マーシャル，ワルラス，スラッファなど著者が 40 年間の経済学研究の途上でめぐり会った忘れえぬ独創的経済学者たちとの対話を通じて，正統派近代経済学体系とは異なる独自の経済学体系の構想を提示する。古典派経済学復権の試み。

〔1990〕978-4-8158-0136-6

小西唯雄編

産業組織論の新展開

〔品切〕A5 判・254 頁・2,800 円

戦後アメリカの反トラスト政策を基礎づけたハーバード学派の産業組織論は，近年の民営化や規制緩和にみられる自由放任路線の台頭によって大きくゆらいでいる。本書は，産業組織論の伝統的体系と新しい諸学派に焦点をあてて理論と現実の展開を体系的に整理・検討する。

〔1990〕978-4-8158-0135-9

西村閑也／深町郁彌／小林襄治／坂本正著

現代貨幣信用論

〔品切〕A5 判・300 頁・2,500 円

本書は，マルクス経済学の立場から書かれた貨幣論および信用論のテキストであるが，非マルクス系の理論展開をも十分視野に入れて，貨幣の本質から金融の自由化や国際化まで，複雑な現代の金融現象を理解するために必要な知識をバランス良く提供する。

〔1991〕978-4-8158-0154-0

稲毛満春著

マクロ経済政策の研究

―石油ショック・変動相場制・対外不均衡―

〔品切〕A5 判・346 頁・3,500 円

1970 年代から 80 年代にかけてわが国をはじめ欧米先進諸国が直面したマクロ経済政策上の諸問題――石油ショック・変動相場制・対外不均衡――を，体系的に一貫した緻密な論理で分析する。中級・上級のマクロ理論を学びたい人々のみならず経済政策に関心ある実務家や専門研究者必携の書。

〔1991〕978-4-8158-0160-1

下野恵子著

資産格差の経済分析

―ライフ・サイクル貯蓄と遺産・贈与―

A5 判・194 頁・3,500 円

近年のわが国の土地騰貴を主因とする資産格差の増大は資本主義と民主主義の根幹にかかわる深刻な問題である。本書はこの問題を，資産分布決定の二要因――稼得能力に応じた貯蓄とそれとは別の遺産・贈与――を導入して理論的・実証的に分析し，平等化のための政策を具体的に提言する。

〔1991〕978-4-8158-0166-3

G. アムブロジウス／H. ハバード著　肥前栄一／金子邦子／馬場哲訳

20 世紀ヨーロッパ社会経済史

A5 判・416 頁・3,500 円

本書は，最新のデータを駆使して，20 世紀ヨーロッパの人口史・社会史・経済史等の多様な諸側面の変容過程を，戦争と恐慌の世紀前半から安定を経て統合に向かう世紀後半への歩みとして俯瞰する。全ヨーロッパ的視点から各国発展の共通性と相違性を一望した野心的な試み。

〔1991〕978-4-8158-0167-0

山本有造著

日本植民地経済史研究

A5 判・320 頁・6,000 円

イデオロギー先行型や個別実証型研究の弊を排して，日本植民地総体の全体構造と特質を通貨・関税制度，国際収支，植民地投資等の分析をつうじて析出，その中で各植民地の有する特徴を比較史的に明らかにする。数量経済史的手法に貫かれた斬新な植民地経済史研究。

〔1992〕978-4-8158-0174-8

R. カンティロン著　アダム・スミスの会監修　津田内匠訳

商業試論

四六判・290 頁・3,500 円

後にケネー，スミス等に多大な影響を与えた「政治経済学の揺籃」（ジェヴォンズ）の周到かつ完全訳。訳者自身がルアンで発掘した手稿にもとづく本訳書は，苦心の訳注と画期的な解説とあいまって，この古典の真の姿とフランス経済思想の原型を明らかにする。

〔1992〕978-4-8158-0179-3

根井雅弘著

現代経済学の生誕

〔品切〕四六判・246 頁・2,800 円

現代経済学の誕生はマーシャル経済学の権威の崩壊から始まると言っていいが，本書は現代経済学形成の過程をケンブリッジ学派のマーシャル，ケインズ，ポスト・ケインジアンそしてシュムペーター等を中心に据えて理論的・思想史的に論じるとともに経済学古典の新しい読み方を提示する。

〔1992〕978-4-8158-0191-5

鈴木信雄著

アダム・スミスの知識＝社会哲学
―感情の理論を視軸にして―

〔品切〕A5 判・324 頁・5,500 円

本書は，アダム・スミスの前期著作『哲学論文集』，『道徳感情論』等を，当時主流であった大陸合理論や自然法論の理性中心の哲学に抗する感情の哲学として読み直すことによって，主著『国富論』のスミス経済学体系に新しい光をあてる斬新な研究である。

〔1992〕978-4-8158-0195-3

アダム・スミス著　アダム・スミスの会監修　水田洋ほか訳

アダム・スミス 哲学論文集

〔品切〕四六判・378 頁・4,000 円

近年のスミス研究は『国富論』をもその一部とするスミス社会哲学＝道徳哲学体系の研究へと移行しつつあり，『道徳感情論』とならぶスミス前期の重要著作である本書は，遺稿集とはいえ 18 世紀思想史に独自な位置を占め，今後のスミス研究に不可欠なテクストであると言えるだろう。

〔1993〕978-4-8158-0197-7

G. トニオロ著　浅井良夫／ C. モルテーニ訳

イタリア・ファシズム経済

A5 判・306 頁・5,500 円

現代イタリアの代表的経済史家が，広い視野と柔軟な方法に基づき，ムッソリーニの権力掌握からリラの安定へ，さらに 1929 年恐慌からアウタルキー体制，そして戦争へといたるファシズム期 20 年間の経済と経済政策の実態を国際経済の中に位置づけて具体的に概説した最良の通史。

〔1993〕978-4-8158-0199-1

皆川芳輝著

多国籍企業の租税戦略
―日本企業のアジア進出を中心にして―

A5 判・206 頁・3,500 円

多国籍企業及び受入れ国の税制が対外投資や資本移転の促進にいかなる影響を与えるか，あるいはグローバル競争に必要な資金創出のための課税負担最少化戦略等を，韓国，台湾，香港，シンガポール，タイ，マレーシア等東南アジア 7 カ国を中心にして理論的・実証的に考察。

〔1993〕978-4-8158-0207-3

J. ステュアート著　小林昇監訳　竹本洋他訳　古典翻訳叢書

経済の原理
―第 1・第 2 編―

菊判・686 頁・12,000 円

アダム・スミス『国富論』に先立ち，理論・政策・歴史の諸領域を統合した最初の経済学体系の全訳決定版，ついに完成。本巻は，マルサスを凌ぐ経済学史上最初の本格的な人口論である第 1 編と，新古典派やケインズ経済理論の先駆をなす均衡論・不均衡論を提示した第 2 編の，新訳である。

〔1998〕978-4-8158-0340-7

J. ステュアート著　小林昇監訳　竹本洋他訳　古典翻訳叢書

経済の原理
―第 3・第 4・第 5 編―

【RA 叢書】菊判・926 頁・15,000 円

アダム・スミス『国富論』に先立ち，理論・政策・歴史の諸領域を統合した最初の経済学総体系の本邦未訳部分（貨幣論・信用論・租税論）の全訳。経済学が混迷を深める現在，経済学とは何か，経済学は何をなしえるのかという根源的問題に対する理論的・思想的解答を秘めた孤峯の古典。

〔2022（1993）〕978-4-8158-1076-4

安元　稔著

Industrialisation, Urbanisation and Demographic Change in England

菊判・260 頁・10,000 円

近年発展著しい歴史人口学の成果を社会経済史研究に取り入れて，産業革命期イギリスの工業地帯を対象に，工業化・都市化の進展と周辺農村の農業発展・人口移動・雇用・生活環境等の変化を実証的に明らかにする。本場イギリスにおいても高い評価を得ている労作の英文出版。

〔1994〕978-4-8158-0218-9

家本博一著　　南山大学学術叢書

ポーランド「脱社会主義」への道
―体制内改革から体制転換へ―

〔品切〕A5 判・286 頁・4,000 円

第二次世界大戦後の社会主義政権の誕生から，体制内改革をへて社会主義政治・経済体制の自己崩壊にいたるポーランド現代史の全体像を，テクノクラート，教会，知識人，連帯等様々なファクターを入れて明らかにするとともに，市場経済化にむけての具体的プランを提示する。

〔1994〕978-4-8158-0219-6

黒田明伸著

中華帝国の構造と世界経済

A5 判・360 頁・6,000 円

市場経済の自由な発展が見られた中国が，なぜ世界経済の中枢たりえなかったのか？　中華帝国のダイナミズムを支えた構造を，世界経済への巨視的な展望の下，現地通貨と地域間決済通貨という概念をテコに分析，非均衡型の市場経済モデルを提示した気鋭による力作。**サントリー学芸賞受賞**

〔1994〕978-4-8158-0223-3

藤瀬浩司編

世界大不況と国際連盟

A5 判・430 頁・8,000 円

従来資本主義の体制的危機として捕らえられてきた 30 年代の大不況期は，戦後の繁栄を前提として顧みる時，同時に戦後資本主義の制度や政策体系が模索・構築された時期でもあった。本書は大不況期資本主義の構造転換を国際連盟の残した未開拓の貴重な資料を使って長期的・構造的に究明。

〔1994〕978-4-8158-0225-7

P. デビッドソン著　永井進訳

ケインズ経済学の再生
―21 世紀の経済学を求めて―

四六判・208 頁・2,500 円

現代経済学を形成する新古典派，マネタリスト，ポスト・ケインジアンの相違は何か？　21 世紀に向けて有効な経済学はどれか？　失業やインフレをめぐる論争の検討を通じて，ケインズ経済学の核心をなす貨幣，契約，不確実性，政府等の概念を明快に展開するケインズ経済学復権の書。

〔1994〕978-4-8158-0233-2

今井光映著

ドイツ家政学・生活経営学

〔品切〕A5 判・330 頁・5,000 円

自然有機体論的なアメリカ家政学に対して，社会有機体論をとるドイツ家政学は，日本では英語に比べて語学的にもなじみが薄かった。本書は経営学と密接なかかわりをもつドイツ家政学の原理を著者 30 年の資料収集を基に総合的にまとめた渾身の研究書である。

〔1994〕978-4-8158-0235-6

奥野信宏／焼田党／八木匡編著

社会資本と経済発展
―開発のための最適戦略―

A5 判・214 頁・3,500 円

一国の社会資本の整備拡充は，開発戦略としてその国の経済発展に対して極めて重要な意味をもつ。本書は，先進国・途上国 8 カ国を対象に，各国の経済発展の段階に応じて，社会資本が果たした役割と直面する問題を，わが国の経験と対比しながら明らかにする社会資本の国際比較。

〔1994〕978-4-8158-0241-7

成生達彦著　　南山大学学術叢書

流通の経済理論
―情報・系列・戦略―

〔品切〕A5 判・358 頁・5,500 円

本書は，専売店制，再販制や委託制をはじめとするチャネル内の垂直的取引構造，チャネル間での戦略的競争行動，さらには我国流通システムの諸問題を，近年のミクロ経済理論の発展を踏まえて明快に分析する。**日本商業学会優秀賞，経営科学文献賞受賞**

〔1994〕978-4-8158-0244-8

小林　昇著

最初の経済学体系

四六判・192 頁・2,500 円

スミスやケネーと並ぶ経済学の水源湖とされながら実は『国富論』や『経済表』に先立って最初の経済学体系となったステュアートの『経済の原理』。本書は，斯界の碩学が『経済の原理』全編の踏査を踏まえて，広範で懐の深いこの最初の経済学体系の世界に平易明快な文章で読者を誘う。

〔1994〕978-4-8158-0245-5

橘川武郎著

日本電力業の発展と松永安左ヱ門

【RA 叢書】A5 判・480 頁・6,500 円

現在のわが国の電力企業形態（民営九電力体制）は，欧米諸国とは異なる独特の企業形態をもって，日本経済の発展に重要な役割を果してきた。本書は，わが国電力業の一貫した自立性を実証するとともに，電力業の体現者松永安左ヱ門の足跡と役割を日本経済史・経営史に正当に位置づける。

〔2022（1995）〕978-4-8158-1077-1

井上　巽著

金融と帝国

―イギリス帝国経済史―

A5 判・192 頁・3,200 円

19 世紀中葉「世界の工場」としての地位に君臨した英国は，独・米の台頭とともに 1920・30 年代にかけて「世界の銀行家」へと変質していく。本書は，この英帝国経済の構造と特質を，英・印関係を中心とする世界市場的関係を視野に入れて「金融と帝国」という新視点から分析する。

〔1995〕978-4-8158-0257-8

Ph. ディーン著　中矢俊博／家本博一／橋本昭一訳

経済認識の歩み

―国家と経済システム―

四六判・314 頁・3,200 円

著者はイギリス王立経済学会会長も歴任した数量経済史の世界的権威。本書は，「経済を巡る市場と国家の関係」という優れて今日的問題意識に基づきながら，経済学の誕生から現代まで 300 年の歴史を，道徳・科学・政治等のより広い歴史的文脈に位置づけて明快に描いた経済思想史入門。

〔1995〕978-4-8158-0264-6

藤井隆至著

柳田國男 経世済民の学

―経済・倫理・教育―

A5 判・458 頁・6,500 円

柳田國男の長い学問遍歴と思想体系の底にある根源的問題意識とは何だったのか？　本書は，柳田学の「農政学から民俗学へ」の転身挫折説を退けて，「国民総体の幸福」実現のために若き日に学んだ社会政策学の学風を生涯と著作に貫いた経世済民の学として，柳田学の全体系を解読する。

〔1995〕978-4-8158-0265-3

竹本　洋著

経済学体系の創成

―ジェイムズ・ステュアート研究―

A5 判・362 頁・6,300 円

従来スミス以前の経済学として低い評価にあったステュアート『経済の原理』全編のわが国最初の本格的研究。『国富論』による経済学誕生という通説を覆し，マルクスやケインズに囚われることなく，自由な解読を通じてこの最初の経済学体系の宿す豊かな可能性を示す。**日本学士院賞受賞**

〔1995〕978-4-8158-0273-8

星野秀利著　齊藤寛海訳

中世後期フィレンツェ毛織物工業史

【RA 叢書】A5 判・416 頁・10,000 円

本書は，イタリア各地の文書館・資料館所蔵の一級の原史料を駆使して，イタリア・ルネサンスの経済的基盤であったフィレンツェ毛織物工業を，西欧地中海経済史に長期動態的に位置づける。従来の当該工業史に関する歴史像を書き変え，欧米学界においても高い評価を受けた実証研究。

〔2022（1995）〕978-4-8158-1078-8

松嶋敦茂著

現代経済学史 1870〜1970

―競合的パラダイムの展開―

A5 判・304 頁・3,800 円

限界革命以降現代まで経済学百年の歴史的展開を，修正されたクーン・モデルに基づき，競合的諸パラダイムの成長進化の過程として，理論内在的に，より多元主義的に，従って経済学の歴史を一義的発展論としてではなくむしろ多義的進化論的なものとして理解しようとするユニークな試み。

〔1996〕978-4-8158-0290-5

野原敏雄著

現代協同組合論

―21 世紀への展望と課題―

〔品切〕A5 判・256 頁・3,500 円

資本主義生成期に社会的弱者救済の組織として出発した協同組合は，その発展に伴い様々な困難を抱えるに至っている。本書は，福祉，環境，貧困等の社会問題に取り組む「社会的経済」をキーワードに，世界と日本の協同組合の現状と 21 世紀に向けての課題と展望を明らかにする。

〔1996〕978-4-8158-0291-2

須藤　功著

アメリカ巨大企業体制の成立と銀行

―連邦準備制度の成立と展開―

A5 判・360 頁・6,000 円

19 世紀後半から 1930 年代を対象に，商業銀行の活動と連邦準備制度の成立・展開を巨大企業体制の成立との関係において実証的に分析し，アメリカ固有の銀行と産業，国家，国民の関係を明らかにする。アメリカ資本主義史の新たな側面を抽出。**アメリカ学会清水博賞受賞**

〔1997〕978-4-8158-0305-6

岡田元浩著

巨視的経済理論の軌跡

―リカードウ，マルサスから「ケインズ革命」まで―

A5 判・282 頁・5,500 円

本書は，リカードウ，マルサス等 19 世紀前半の古典派から新古典派の台頭を経て，ヴィクセル，ホブスン，ケインズ『一般理論』に至る約 1 世紀間の貨幣的経済理論の軌跡を，同時代の他の経済学者の主要な学説との関係をも考慮することによって明らかにする。本格的な貨幣経済理論史。

〔1997〕978-4-8158-0309-4

加藤弘之著

中国の経済発展と市場化

―改革・開放時代の検証―

A5 判・338 頁・5,500 円

改革・開放以後の中国の市場経済化はどこまで到達したのか。その独自性と特質とは何か。本書は，現代中国経済を計画経済から市場経済への移行と伝統経済から市場経済への移行という「二重の移行過程」論視角から捉え直し，中国市場化の全体像に実証的に迫った力作。**大平正芳記念賞受賞**

〔1997〕978-4-8158-0310-0

馬場宏二著

新資本主義論

―視角転換の経済学―

A5 判・370 頁・3,500 円

戦後社会科学に大きな影響をあたえた宇野経済学から出立した著者が，マルクスや宇野の体系に捕らわれることなく，資本主義の基本概念から現代資本主義論までを，大衆的過剰富裕化という強烈な問題意識に焦点を合わせて読み解く。従来の資本主義批判とは全く異なる根源的な資本主義批判。

〔1997〕978-4-8158-0318-6

嘉数啓／吉田恒昭編

アジア型開発の課題と展望

―アジア開発銀行 30 年の経験と教訓―

〔品切〕A5 判・382 頁・5,500 円

アジアにおける近年のダイナミックな経済成長に貢献してきたアジア開発銀行 30 年の総括と展望をこめて，経済，農業，運輸・通信，電力，環境，教育等，各分野の専門家が開発プロジェクトを具体的かつ詳細に解説し，アジア型開発の独自性と特質について考察。**アジア・太平洋賞特別賞受賞**

〔1997〕978-4-8158-0319-3

P. J. ケイン／A. G. ホプキンズ著　竹内幸雄／秋田茂訳

ジェントルマン資本主義の帝国Ⅰ

—創生と膨張 1688～1914—

A5 判・494 頁・5,500 円

「大英帝国」を動かすものは何か？　地主から金融・サーヴィスの担い手へと転化しつつイギリス近・現代史を貫くジェントルマンの支配と海外膨張の論理を明らかにし，活発な論争を呼び起こした「ジェントルマン資本主義論」の決定版第 1 巻，待望の邦訳。

〔1997〕978-4-8158-0320-9

P. J. ケイン／A. G. ホプキンズ著　木畑洋一／旦祐介訳

ジェントルマン資本主義の帝国Ⅱ

—危機と解体 1914～1990—

A5 判・338 頁・4,500 円

イギリスは果たして衰退したのか？　戦間期における，国際金融・サーヴィスセンターとしてのロンドン・シティの勢力巻き返しとジェントルマン資本主義の力を描き出し，活発な論争を呼び起こした「ジェントルマン資本主義論」の決定版第 2 巻，待望の邦訳。

〔1997〕978-4-8158-0321-6

G. M. ホジソン著　八木紀一郎／橋本昭一／家本博一／中矢俊博訳

現代制度派経済学宣言

A5 判・368 頁・5,600 円

本書は，既成の，とりわけ新古典派的経済学が抱える方法的思想的問題点を明快にサーヴェイするとともに，契約・所有権・市場・企業等を制度派的観点から再審再考することによって，人間の存在と行為に対して伝統や慣習を含む社会的制度的諸要因のもつ本質的意味を解明した新経済学宣言。

〔1997〕978-4-8158-0323-0

田中眞晴編著

自由主義経済思想の比較研究

〔品切〕A5 判・352 頁・6,000 円

1970 年代以降，福祉国家と社会主義の行き詰まりを背景に世界的規模で，市場メカニズムへの信頼をベースにした自由主義の復権が著しい。本書は，ヨーロッパ経済思想のメインストリームである自由主義経済思想の種々相を，現代的観点から多角的・比較史的に考察した注目の論集である。

〔1997〕978-4-8158-0331-5

森川英正／由井常彦編

国際比較・国際関係の経営史

A5 判・372 頁・6,000 円

現在の経営史研究は，一方で企業経営史の国際比較へ，他方で国際関係を背景とした企業経営史の研究へとその領域を拡大することによって，貴重な成果をあげつつある。本書は，国際比較・国際関係経営史という新しい方向を一望するべく編まれた待望の論集。

〔1997〕978-4-8158-0334-6

谷本雅之著

日本における在来的経済発展と織物業

—市場形成と家族経済—

A5 判・492 頁・6,500 円

幕末から大正期までの織物業の展開を検討することによって，在地商人と小農家族の活動を結合した問屋制家内工業の発展の論理を捉え，機械制大工場を前提とする従来の工業化論を相対化，「在来的経済発展」の持つ意義を明らかにする。**日経・経済図書文化賞，中小企業研究奨励賞受賞**

〔1998〕978-4-8158-0339-1

デーヴィッド・A. ハウンシェル著　和田一夫／金井光太朗／藤原道夫訳

アメリカン・システムから大量生産へ

—1800～1932—

A5 判・546 頁・6,500 円

大量生産はいかにして生まれたのか？——アメリカン・システムの発生からフォードの大量生産システムにいたる展開を，直線的な発展という神話を覆しつつ，銃器・ミシン・木工から農器具・自転車・自動車まで，相互に関連する技術を綿密に跡づけることによって描き出した技術史の傑作。

〔1998〕978-4-8158-0350-6

御崎加代子著

ワルラスの経済思想

―一般均衡理論の社会ヴィジョン―

A5 判・218 頁・4,800 円

本書は，一般均衡理論の創設によって現代経済理論の基礎を築いたレオン・ワルラスの思想的側面を解明するものである。その経済理論と背後にある理念および社会ヴィジョンを関係づけることによって，思想としてのワルラス経済学の全体像に迫り，純粋理論の研究にも新生面をきりひらく。

〔1998〕978-4-8158-0351-3

塩見治人／堀一郎編

日米関係経営史

―高度成長から現在まで―

A5 判・406 頁・3,600 円

「繁栄の 60 年代」に続く四半世紀は，米国の停滞と日本の急成長，日米逆転，さらに再逆転を含む転換期であり，世界市場を舞台にグローバル寡占と多層ネットワークが成長した。本書は，このようなグローバル競争における日米企業の相互作用を通して産業発展の動態を歴史的に展望する。

〔1998〕978-4-8158-0353-7

和田一夫編

豊田喜一郎文書集成

A5 判・650 頁・8,000 円

本書は，戦中の日本で自動車製造というリスキーな新規事業に取り組み，状況に翻弄されながらも事業の礎を築いた起業家・豊田喜一郎が書き残した文書を初めてまとめたものであり，合理的な判断に基づき事業を展開していった足跡を示すとともに，彼の夢にかける情熱が読みとられよう。

〔1999〕978-4-8158-0358-2

吉岡昭彦著

帝国主義と国際通貨体制

A5 判・280 頁・4,800 円

最初の資本主義国イギリスにおける一国金本位制確立から「大不況」をへて第一次大戦にいたる国際金本位制完成までの曲折に満ちた道程と，主要帝国主義国の再生産＝信用構造およびインド植民地経済の検討を通して，国際通貨体制の全体的編成とその帝国主義的性格を実証的に解明。

〔1999〕978-4-8158-0368-1

西村周三著

保険と年金の経済学

A5 判・240 頁・3,200 円

今ほど保険や年金に対する関心が高まったことはなかった。本書は，リスクについての考え方を中心に，伝統的な教科書とは異なる視点を随所で提起しながら，保険と年金の経済学の基礎を平易に解説した入門書であり，めまぐるしく変わる制度の展開を根本から考えるために必読の一冊である。

〔2000〕978-4-8158-0372-8

S. クレスゲ／L. ウェナー編　嶋津格訳

ハイエク，ハイエクを語る

四六判・316 頁・3,200 円

激動の時代を生きるとともに，市場経済，自由主義，法の支配の意味を考え抜き，20 世紀最大の経済学者＝社会哲学者の一人と見なされるようになったハイエクの，自伝的メモと数多くのインタヴューからなる興味尽きない回想録。ハイエク自身の声が率直かつ明快に読者に語りかける。

〔2000〕978-4-8158-0374-2

籠谷直人著

アジア国際通商秩序と近代日本

A5 判・520 頁・6,500 円

幕末の開港はアジアへの開港でもあった。――本書は，華僑や印僑らが織りなす，非公式的かつ脱領域的なアジア通商網の存在と，それへの日本の対抗と依存を通じて，近代アジアのダイナミズムを析出するとともに，19 世紀後半から戦前期までの日本の近代史を新たに捉え直した労作である。

〔2000〕978-4-8158-0376-6

ロジャー・メイソン著　鈴木信雄／高哲男／橋本努訳

顕示的消費の経済学

A5 判・268 頁・3,600 円

奢侈，見栄，スタイルへの配慮などに示される消費の本質を，自己顕示，社会的承認の獲得，優越性へのあくなき欲望などの「非合理的な」人間本性のなかに見出し，18 世紀から現代にいたる顕示的消費論の丹念な跡付けを通じて，主流派経済学による消費分析の限界を提示した好著。

〔2000〕978-4-8158-0391-9

末廣　昭著

キャッチアップ型工業化論

―アジア経済の軌跡と展望―

A5 判・386 頁・3,500 円

製造業を中心とする経済発展とその危機を，タイの事例を導きの糸に日本との比較も行いながら，工業化の担い手，イデオロギー，制度・組織を焦点として，「まるごと」捉えたアジア経済論。グローバル化が喧伝される中，「モノ作り」と「ひと」の問題を見つめ直す。**アジア・太平洋賞大賞受賞**

〔2000〕978-4-8158-0394-0

塚田弘志著

デリバティブの基礎理論

―金融市場への数学的アプローチ―

A5 判・314 頁・6,000 円

デリバティブ取引の急速な拡大に伴い金融業は変貌を遂げ，数学的訓練を受けた専門家による多様な商品の開発が続いている。本書は，デリバティブの価格決定についての理論を統一的な視点から整理し，複雑に見える理論の基本構造とその経済学的意味を見通しよく記述した本格的解説書。

〔2001〕978-4-8158-0406-0

鍋島直樹著

ケインズとカレツキ

―ポスト・ケインズ派経済学の源泉―

A5 判・320 頁・5,500 円

本書は，ポスト・ケインズ派経済学の現代的展開に照らしてケインズとカレツキの経済学を，理論・思想・政策から総体的に検討し，その統合と発展の方向を探究した力作であり，特に貨幣・金融論に光を当てることによって政治経済学の今日的課題に応える。**経済学史学会研究奨励賞受賞**

〔2001〕978-4-8158-0412-1

ビクター・バルマー＝トーマス著　田中高／榎股一索／鶴田利恵訳

ラテンアメリカ経済史

―独立から現在まで―

A5 判・488 頁・6,500 円

ラテンアメリカ地域はなぜ従属的低成長を余儀なくされたのか？　累積債務，ハイパーインフレ等の経済失政を教訓に，新たな成長戦略を模索するラテンアメリカ諸国の経済史を，1820 年代独立以降のマクロデータの丹念な解析によって描き出し，その全体像を一新した初の本格的通史。

〔2001〕978-4-8158-0415-2

J. A. シュンペーター著　八木紀一郎編訳

資本主義は生きのびるか

―経済社会学論集―

A5 判・404 頁・4,800 円

創造的破壊の時代に，資本主義の本質を透徹したヴィジョンで語り尽くした刺激的論集。企業家，貨幣制度，恐慌，社会主義をめぐる議論，また時々の経済状況を分析した的確な診断は，シュンペーターの理論的探究の方向性を示すとともに，その人と思想をも浮かび上がらせる。

〔2001〕978-4-8158-0416-9

田中敏弘著

アメリカの経済思想

―建国期から現代まで―

A5 判・272 頁・3,500 円

アメリカ経済学はいかにして今日の地位を築き得たのか？　建国期の躍動感あふれる初期経済学から，最新理論までを包括的に叙述，現代世界に圧倒的な影響を与えるアメリカ経済学の源流とその多様な展開を示し，激しい理論的角逐の底に流れるアメリカ独自の世界を一望する好著。

〔2002〕978-4-8158-0424-4

粕谷　誠著

豪商の明治

―三井家の家業再編過程の分析―

A5 判・304 頁・5,500 円

近世商家から近代日本を代表する資本家へ――銀行，物産を事例に，明治初期の資産状況，土地経営や雇用制度など，従来見落とされてきた問題を精査，中上川経営改革への理解を大幅に深化させるとともに，近代的経営組織が創出される過程を鮮やかに描きだした，財閥史研究の画期的成果。

〔2002〕978-4-8158-0429-9

和田一夫／由井常彦著

豊田喜一郎伝

〔品切〕A5 判・420 頁・2,800 円

若き技術者として出発，父・豊田佐吉の事業を継承するとともに，繁栄のなかに潜む危機を察知し，時代の制約の中で苦闘しながらも日本の自動車事業の創出に精魂を傾けた豊田喜一郎――本書は，トヨタ自動車の創業者の実像を，綿密な資料調査にもとづき描き出した伝記の決定版である。

〔2002〕978-4-8158-0430-5

高　哲男編

自由と秩序の経済思想史

A5 判・338 頁・2,800 円

どのような社会秩序がよりよい自由を実現しうるのか？――市場化が進展する中，現代の経済社会を多角的に捉え構想していくために，経済学・経済思想の歴史的＝重層的な理解をめざしたリーダブルなテキスト。ロック・ヒュームからスティグリッツにいたる思想の「断層写真」を大胆に構成。

〔2002〕978-4-8158-0431-2

中兼和津次著　　シリーズ現代中国経済 1

経済発展と体制移行

四六判・264 頁・2,800 円

改革開放以後，低所得経済からより発展した経済へ，また社会主義計画経済から資本主義市場経済へ，二重の構造転換を果たしつつ，めざましい成長をとげる中国経済――その特色と全体像を，社会統計学的手法を用い，徹底した国際比較と五十余年にわたる時系列分析により浮き彫りにする。

〔2002〕978-4-8158-0441-1

厳　善平著　　シリーズ現代中国経済 2

農民国家の課題

四六判・264 頁・2,800 円

農業経営の実態，戸籍制度に象徴される都市との格差，国家―農民関係，郷鎮企業の発展，食糧自給問題，農産物貿易など，人口の 7 割を占める中国の農村・農業・農民が抱える諸問題と過去半世紀の軌跡を，現地調査に基づいて立体的に描き出すとともに，今後の展望と発展戦略を指し示す。

〔2002〕978-4-8158-0442-8

丸川知雄著　　シリーズ現代中国経済 3

労働市場の地殻変動

四六判・262 頁・2,800 円

1990 年代後半から中国の都市部では失業問題が急速に悪化し，農村では余剰労働力が現れつつある。これらはどのような歴史的背景から生まれ，現状はどうか。こうした労働市場の地殻変動は中国経済をどのように変貌させていくのか。経済学，歴史，統計からアプローチ。**大平正芳記念賞受賞**

〔2002〕978-4-8158-0443-5

今井健一／渡邉真理子著　　シリーズ現代中国経済 4

企業の成長と金融制度

四六判・360 頁・2,800 円

工業化の担い手としての企業に焦点を当て，公企業主体の工業化から 90 年代末以降の民営化推進にいたる企業制度発展のダイナミズムを分析するとともに，企業金融（ミクロ）から金融調節手段（マクロ）まで，従来否定されてきた金融機能が再生する過程を見通しよく整理した待望の一冊。

〔2006〕978-4-8158-0444-2

大橋英夫著　　シリーズ現代中国経済５

経済の国際化

四六判・262 頁・2,800 円

対外開放は中国経済に何をもたらしたのか。対外貿易と直接投資は未曾有の経済成長を促し，市場化を推し進めた。本書は，対外開放と貿易体制の改革過程をふり返り，資本輸入国から資本輸出国へと変貌を遂げ，WTO 加盟によりグローバル経済に統合されつつある中国経済の実像を描く。

〔2003〕978-4-8158-0445-9

加藤弘之著　　シリーズ現代中国経済６

地域の発展

四六判・252 頁・2,800 円

中国では経済のグローバル化にともない地域への関心が高まる一方，地域格差の拡大，地域保護主義の台頭など，地域をめぐる問題がますます深刻化している。本書は，複数の地域の集合体として中国を捉える視点から，特に地域開発に焦点をあて，その戦略と発展のダイナミズムを分析する。

〔2003〕978-4-8158-0446-6

佐藤　宏著　　シリーズ現代中国経済７

所得格差と貧困

四六判・264 頁・2,800 円

経済成長の果実は，人々にどのように分配され享受されているのだろうか。本書は，大規模な世帯調査にもとづき，経済活動の帰結であり政治・社会変動にも大きなインパクトを及ぼす世帯所得分配という視角から，現代中国の経済と社会を浮き彫りにする。**発展途上国研究奨励賞受賞**

〔2003〕978-4-8158-0447-3

菱田雅晴／園田茂人著　　シリーズ現代中国経済８

経済発展と社会変動

四六判・244 頁・2,800 円

改革・開放後のめざましい経済成長にともない現代中国社会に起きつつある巨大な変動を，マクロな制度変化や格差・貧困・腐敗などの社会現象，そしてひとびとの経済心理や価値観，職業意識の変化といったミクロな動きの二方向から捉え，中国社会の光と陰，その来し方・行く末を展望する。

〔2005〕978-4-8158-0448-0

田尾雅夫／西村周三／藤田綾子編

超高齢社会と向き合う

A5 判・246 頁・2,800 円

人口の 4 人に 1 人が高齢者という，未曾有の超高齢社会をわが国は迎えようとしている。本書は，高齢者の心理・行動と，その生活を支える制度・政策の二つの視点から，来るべき社会を概観し，そこで実り豊かに生きぬくための具体的な指針を提供する。

〔2003〕978-4-8158-0462-6

吉田博之著

景気循環の理論
—非線型動学アプローチ—

A5 判・236 頁・4,800 円

景気循環はどのようにして起こるのか。カオス理論など動学理論の最新の成果をふまえ，数学的解析とシミュレーションをバランスよく用いることによって，有効需要はもちろんマクロ安定化政策の効果を組み込んだ循環的成長モデルを構築。混迷する経済政策に確かな基礎を提供する。

〔2003〕978-4-8158-0469-5

山本有造著

「満洲国」経済史研究

A5 判・332 頁・5,500 円

膨張する日本帝国のもと，満洲国経済はいかなる位置を占めたのか？　対外経済関係，周辺交易をも視野に，大豆から鉱工業にいたる満洲国生産力をマクロデータを駆使して復元，緻密な数量経済史的分析により，建国から未解明であった 40 年代までの満洲国経済の全体像を初めて示した労作。

〔2003〕978-4-8158-0474-9

高　哲男著

現代アメリカ経済思想の起源

―プラグマティズムと制度経済学―

A5 判・274 頁・5,000 円

今日「世界標準」になったとも言われるアメリカ経済思想の核心を，19 世紀末から 20 世紀初めの進化論，プラグマティズム，制度主義などの知的潮流に探り，自由主義における保守と革新のダイナミズムを軸に，イーリー，ヴェブレン，ミッチェル，コモンズらの制度変革の思想を描き出す。

〔2004〕978-4-8158-0477-0

金井雄一著

ポンドの苦闘

―金本位制とは何だったのか―

A5 判・232 頁・4,800 円

両大戦間期イギリスで，戦争，恐慌などの曲折を経て最終的に放棄された金本位制の実態を，イングランド銀行金融政策の精査により解明，今日のマネタリズムにも及ぶ金本位制の神話的理解を斥けて金融政策の本質に迫るとともに，戦後へと続く戦間期の資本主義史に新たな展望を拓く労作。

〔2004〕978-4-8158-0479-4

橘川武郎著

日本電力業発展のダイナミズム

A5 判・610 頁・5,800 円

際立った活力を誇った日本電力業の発展の核心とは何であったのか。電灯会社の創成から今日まで，日本電力業 120 年の軌跡を描きだし，電力自由化後の新たな競争の時代への指針を示す。膨大な資料に基づき，経営と組織の役割を捉えた電力産業史研究の決定版。**エネルギーフォーラム賞受賞**

〔2004〕978-4-8158-0482-4

ジェフリー・オーウェン著　和田一夫監訳

帝国からヨーロッパへ

―戦後イギリス産業の没落と再生―

A5 判・508 頁・6,500 円

イギリスの「ものづくり」は復活したか――主要産業を徹底分析，なぜある産業は衰退したのに他は健全なのかを歴史的に解明するとともに，イギリス経済が帝国からヨーロッパ域内貿易の重視へと転換することで再生したとして，経済没落という通説に挑戦。日本経済の今後にも示唆に富む。

〔2004〕978-4-8158-0483-1

山口重克編

新版 市場経済

―歴史・思想・現在―

A5 判・348 頁・2,800 円

世界を席捲し，ますます大きな位置を占めつつある市場経済の役割を，私たちはどのように考えればよいのか？　グローバリゼーションの進展，金融革命，アジア経済の台頭など新たな潮流をふまえ，その光と影をバランスよく解説，市場経済のとらえ方を基礎から身につけられる経済学入門。

〔2004〕978-4-8158-0496-1

李　秀澈著

環境補助金の理論と実際

―日韓の制度分析を中心に―

A5 判・266 頁・5,500 円

環境補助金は汚染者負担原則に反するとして十分研究されてこなかった。本書は，その経済効率性や汚染抑制へのインセンティブ機能を分析するとともに，ポリシー・ミックスにおける効果を政治経済学的に把握，理論と制度実態の両面から検討を加え，環境政策手段として積極的に評価する。

〔2004〕978-4-8158-0497-8

竹本　洋著

『国富論』を読む

―ヴィジョンと現実―

A5 判・444 頁・6,600 円

文明の進歩によって誰もが豊かになれる，というスミスのヴィジョン＝経済学の約束は果たして実現されたのか。穀物と民衆，利益と秩序，投機と組織，帝国と現代，という四つの視点で『国富論』を読み直し，スミスの叙述の臨界から，市場原理にもとづく現代社会の困難を浮かび上がらせる。

〔2005〕978-4-8158-0519-7

石井寛治／中西聡編

産業化と商家経営

—米穀肥料商廣海家の近世・近代—

A5 判・528 頁・6,600 円

近世からの商家廣海家に残された膨大な経営史料の分析をもとに，近世商家の近代への移行を新たな水準で解明，日本の産業発展と大阪湾岸の地域経済に与えた影響を示すとともに，近代日本の展開過程における商取引・株式投資の役割を徹底的な実証により浮き彫りにした画期的成果。

〔2006〕978-4-8158-0528-9

田中敏弘著

アメリカ新古典派経済学の成立

—J. B. クラーク研究—

A5 判・426 頁・6,000 円

シュンペーターにより「アメリカ限界主義の父」と呼ばれた，アメリカ近代経済学の創始者 J. B. クラークの経済学の全体像と形成過程を，マーシャルやヴェブレンらとの関係を含め，新資料を踏まえて明らかにし，アメリカ新古典派経済学成立時の知的ドラマを描き出したライフワーク。

〔2006〕978-4-8158-0530-2

池尾愛子著

日本の経済学

—20 世紀における国際化の歴史—

A5 判・366 頁・5,500 円

安井琢磨，青山秀夫，森嶋通夫，赤松要など国際水準の経済学者を多数輩出した日本の経済学の歴史を，一般均衡理論の展開や応用経済学の確立を軸に国際的文脈のなかで描き出す。20 世紀前半の理論・計量経済学の台頭から今日の標準的経済学への発展過程を日本から捉えた成果。

〔2006〕978-4-8158-0537-1

八木紀一郎著

社会経済学

—資本主義を知る—

A5 判・256 頁・2,800 円

絶えざる変化を示す資本主義の中心的メカニズムとは何か。再生産システムとしての資本主義を基本的しくみから解説，現代の社会編成のあり方を考える。経済学に社会的・歴史的視野を回復するとともに，マルクス経済学から社会経済学への大きな展開を示した新しいテキスト。

〔2006〕978-4-8158-0539-5

大田一廣／鈴木信雄／高哲男／八木紀一郎編

新版 経済思想史

—社会認識の諸類型—

A5 判・364 頁・2,800 円

ヒュームからサミュエルソン，ガルブレイス，センまで，25 人の代表的経済学者の経済・社会認識の歩みをその人物・思想・理論から平易に解説した好評テキストの新版。限界革命以前・以後の展開を辿るとともに，経済学における社会認識・思想の規定的役割に迫った最良の経済思想入門。

〔2006〕978-4-8158-0540-1

E. L. ジョーンズ著　天野雅敏／重富公生／小瀬一／北原聡訳

経済成長の世界史

A5 判・246 頁・3,800 円

経済成長の諸起源を，ヨーロッパ，日本，中国などから析出，遍在する成長への性向とともに，その発展を抑制した諸要因の除去こそが決定的であることを示して，産業革命の核心的テーゼに挑戦，諸地域の経済的勃興を新たな世界史的視野で描き出したグローバルヒストリーの先駆的著作。

〔2007〕978-4-8158-0544-9

L. マーフィー／T. ネーゲル著　伊藤恭彦訳

税と正義

A5 判・266 頁・4,500 円

「税は公平であるべきだ」と多くの人が言う。しかし，その意味をきちんと考えることは実は難しい。本書は，現代正義論の観点から，これまでの租税理論を根本的に再検討したうえで，課税ベース，累進性，相続，差別といった具体的論点に説きおよび，アメリカで大きな反響を呼んだ話題作。

〔2006〕978-4-8158-0548-7

末廣　昭著

ファミリービジネス論

―後発工業化の担い手―

A5 判・378 頁・4,600 円

ファミリービジネスは遅れた企業形態なのか？アジアやラテンアメリカの経験をふまえ，タイにおける豊富な事例に基づきながら，「進化するファミリービジネス」の論理を明らかにし，グローバル化時代における淘汰・生き残りの分岐点と，今後の行方を示した画期的論考。**樫山純三賞受賞**

〔2006〕978-4-8158-0553-1

橘川武郎／粕谷誠編

日本不動産業史

―産業形成からポストバブル期まで―

A5 判・410 頁・5,500 円

日本の都市景観を形成し，産業インフラの提供からバブルまで，日本の経済活動に大きな影響を与え続けた重要産業の全体像を，都市・住宅開発から埋立や農地転換，法制度，金融制度も視野に入れ，鮮明に描く。不動産業の軌跡を初めて総合的に捉えた通史。**不動産協会優秀著作奨励賞受賞**

〔2007〕978-4-8158-0568-5

植村博恭／磯谷明徳／海老塚明著

新版 社会経済システムの制度分析

―マルクスとケインズを超えて―

A5 判・468 頁・3,600 円

ポスト・ケインジアン，レギュラシオン理論，進化経済学など，非新古典派経済学の諸理論を統合し，資本主義経済の多様性とダイナミズムを，制度の観点から鋭く分析した好評テキスト。諸理論の最新の成果を幅広く盛り込んだ本書は，新古典派経済学へのオルタナティヴを提起する。

〔2007〕978-4-8158-0569-2

本郷　亮著

ピグーの思想と経済学

―ケンブリッジの知的展開のなかで―

A5 判・350 頁・5,700 円

ケンブリッジ学派の高峰にして厚生経済学の確立者の人物・思想・経済学を，文献の精査により包括的に捉え，その厚生経済学の真の意義を浮き彫りにするとともに，ケインズとの長年にわたる重層的対立を解き明かすことで，新たなピグー像を提示した力作。**経済学史学会研究奨励賞受賞**

〔2007〕978-4-8158-0574-6

須藤　功著

戦後アメリカ通貨金融政策の形成

―ニューディールから「アコード」へ―

菊判・358 頁・5,700 円

今日的な通貨金融政策への飛躍をもたらした連邦準備制度独立（＝アコード）への道程を，ニューディール銀行制度改革とその課題の克服過程をめぐる新史料から捉え直し，現代の金融革新へと帰結するアメリカ固有の銀行制度の歴史的意義を解明した労作。**連合駿台会学術賞受賞**

〔2008〕978-4-8158-0584-5

前田裕子著

水洗トイレの産業史

―20 世紀日本の見えざるイノベーション―

A5 判・338 頁・4,600 円

20 世紀とはトイレ水洗化の世紀でもあった。排泄のための空間から衛生的で快適な空間へ，わたしたちの日常を変えた密やかで偉大なイノベーションを，それに携わった人々の思想や行動とモノづくりの関係のなかで捉え，トイレ工業化の視角から日本近代化の歴史を浮かび上がらせた快作。

〔2008〕978-4-8158-0592-0

塩見治人／橘川武郎編

日米企業のグローバル競争戦略

―ニューエコノミーと「失われた十年」の再検証―

A5 判・418 頁・3,600 円

バブル崩壊後の長期不況に苦しんだ日本と，新興企業の叢生に沸いたアメリカ――日米経済の広く知られた 90 年代像の実態を初めて本格的に再検討，主要産業における日米企業関係を実証的に分析し，日米企業競争の真の焦点がどこにあったのかをグローバル競争の光のもとで浮彫りにする。

〔2008〕978-4-8158-0598-2

宮地英敏著

近代日本の陶磁器業

—産業発展と生産組織の複層性—

A5 判・404 頁・6,600 円

近世以来の伝統をもとに多彩な製品群を生み出し，輸出産業化・機械制大工業の成立を経て飛躍的発展を遂げた近代日本の陶磁器業を，瀬戸・東濃・名古屋・京都・有田など主要産地の構造変化を捉えて実証的に描き出した産業史研究の成果。**政治経済学・経済史学会賞受賞**

〔2008〕978-4-8158-0602-6

安元　稔著

製鉄工業都市の誕生

—ヴィクトリア朝における都市社会の勃興と地域工業化—

A5 判・458 頁・6,000 円

19 世紀，世界有数の製鉄工業都市として突如出現し，英国の未曾有の繁栄を支えた建設都市ミドルズバラの発展と衰退の軌跡を膨大なセンサス個票から復元，産業集積，都市形成，医療福祉，労働問題における先駆的対応とともに，衰退局面の苦難をも捉え今日的な産業都市の原型を描き出す。

〔2009〕978-4-8158-0607-1

堺　憲一著

新版 あなたが歴史と出会うとき

—経済の視点から—

A5 判・316 頁・2,400 円

なぜ経済の歴史を学ぶのか。これまでとはひと味違う切り口で，経済史の基本をおさえつつ，人類史のはじまりから今日のグローバリゼーションや環境問題までをわかりやすく語るロングセラーの新版。あなたに刻まれた「歴史」を照らしだし，「生きていく力」になる経済史入門。

〔2009〕978-4-8158-0610-1

清川雪彦著

近代製糸技術とアジア

—技術導入の比較経済史—

A5 判・626 頁・7,400 円

何が技術への適応化を左右するのか。産業革命を経てアジアに「里帰り」した近代製糸技術が，日・中・印で定着してゆく過程を，文献史料や統計データ，現地調査などに基づき総合的に比較分析。市場や企業家精神など技術への適応化を規定する要因を抽出した労作。**日本産業技術史学会賞受賞**

〔2009〕978-4-8158-0611-8

鈴木恒夫／小早川洋一／和田一夫著

企業家ネットワークの形成と展開

—データベースからみた近代日本の地域経済—

菊判・448 頁・6,600 円

日本の経済発展の担い手とは？　日本各地に存在した，企業家の人的繋がりの実体と機能を，当時の役員録より構築したデータベースに基づき析出。ネットワークの構造分析を初めて全国規模で行うとともに，その具体的活動について愛知県を事例に詳察し，研究の基礎を築く画期的成果。

〔2009〕978-4-8158-0613-2

伊藤正直著

戦後日本の対外金融

—360 円レートの成立と終焉—

A5 判・424 頁・6,600 円

360 円レート成立の起源から，ニクソン・ショックによる固定相場制の崩壊まで，戦後復興・高度成長を可能にした対外金融構造を，日米の一次資料を駆使し実証的に解明，戦後日本経済の国際的連関をこれまでにない水準で示し，ブレトン・ウッズ体制の理解にも新たな光をなげかける。

〔2009〕978-4-8158-0615-6

J. ド・フリース／A. ファン・デァ・ワウデ著　大西吉之／杉浦未樹訳

最初の近代経済

—オランダ経済の成功・失敗と持続力 1500～1815—

A5 判・756 頁・13,000 円

最初の「近代経済」か，「中世経済」の残り火か？繁栄を極めた近世オランダ経済の歴史的実態を，ニュー・エコノミック・ヒストリやアナール学派など，最新の研究方法を駆使して解明する。経済史研究の到達点を象徴する画期的名著。——川北稔。ジョルジ・ラーンキ賞受賞。

〔2009〕978-4-8158-0616-3

和田一夫著

ものづくりの寓話

―フォードからトヨタへ―

A5 判・628 頁・6,200 円

日本で自動車の大量生産はいかにして成し遂げられたのか。誤解に満ちたフォード・システムの実態を明らかにし，その日本への導入について考察。出来合いのイメージの向こうから，トヨタが構築してきた生産方式の実像が浮かび上がる。**日経・経済図書文化賞，日本産業技術史学会賞受賞**

〔2009〕978-4-8158-0621-7

中西　聡著

海の富豪の資本主義

―北前船と日本の産業化―

A5 判・526 頁・7,600 円

近世を代表する遠隔地取引の担い手・北前船商人の経営展開と日本の産業化を，その活動が頂点を迎えた近代を視野に，一次資料の精査により描く力作。北前船商人たちの活躍を広範に捉えて，現代にまで及ぶ，日本および日本海地域の産業発展にもたらした影響を示す。**日本学士院賞受賞**

〔2009〕978-4-8158-0626-2

韓　載香著

「在日企業」の産業経済史

―その社会的基盤とダイナミズム―

A5 判・450 頁・6,000 円

在日韓国・朝鮮人の，製造業・土木業・パチンコ産業などへの集中と，迅速な産業転換によるダイナミックな発展過程を，差別など既存の説明を乗り越えて解明，世界的視野で移民の経済理論に展望を拓く。**中小企業研究奨励賞，企業家研究フォーラム賞，政治経済学・経済史学会賞受賞**

〔2010〕978-4-8158-0631-6

春日　豊著

帝国日本と財閥商社

―恐慌・戦争下の三井物産―

A5 判・796 頁・8,500 円

広汎なネットワークと取引基盤をもとに，「大東亜共栄圏」の運営を実質的に支えた圧倒的な巨大企業，三井物産の戦時期の経営を初めて総合的に解明，その経済的役割と戦争との関係を正当に位置づけ直すとともに，恐慌からアジア太平洋戦争へといたる日本経済の動態をも浮彫りにした労作。

〔2010〕978-4-8158-0633-0

中兼和津次著

体制移行の政治経済学

―なぜ社会主義国は資本主義に向かって脱走するのか―

A5 判・354 頁・3,200 円

歴史的大転換，そして多様なる資本主義へ。――中国やヴェトナム，ロシアや東欧など諸国の比較にもとづき，社会主義の理念と現実，崩壊の理論的根拠，体制移行の戦略と過程，結果と評価，さらには民営化と腐敗の問題や，今後の行方まで，第一人者が幅広い視角から移行 20 年を徹底検証。

〔2010〕978-4-8158-0636-1

中村尚史著

地方からの産業革命

―日本における企業勃興の原動力―

A5 判・400 頁・5,600 円

日本史上でも稀有な「地方の時代」はなぜ実現したか。産業革命の原動力となった，地方からの企業勃興のメカニズムを示すとともに，その後の都市の時代への転換の契機をも摑み出す。斬新な視点で近代日本の工業化過程を描き直した，産業革命研究の到達点。

〔2010〕978-4-8158-0645-3

清水耕一著

労働時間の政治経済学

―フランスにおけるワークシェアリングの試み―

A5 判・414 頁・6,600 円

フランスの先進的な労働時間短縮の試みは，失業問題・ワークシェアリング政策と不可分である。週 35 時間労働制が雇用創出と労使関係に与えた効果について，1980 年代から現在までの制度の追跡と，ルノーやトヨタ・フランスなどの実態調査によって分析する。**社会政策学会学術賞受賞**

〔2010〕978-4-8158-0652-1

菅山真次著

「就社」社会の誕生

―ホワイトカラーからブルーカラーへ―

A5 判・530 頁・7,400 円

新卒就職・終身雇用を常識としてきた「就社」社会・日本。製造業大企業労働者のキャリアと雇用関係の変遷をたどり，新規学卒市場の制度化過程を検討することで，その成り立ちを解明する。日本的雇用慣行が終焉を迎えつつあるかにみえる今，必読の書。**日経・経済図書文化賞，冲永賞受賞**

〔2011〕978-4-8158-0654-5

長岡慎介著

現代イスラーム金融論

A5 判・258 頁・4,800 円

グローバル化するイスラーム金融のダイナミズムを捉えた初の本格的研究。金融システムや金融手法の今日的展開をふまえ，イスラーム金融の実践を世界観ごと外部から理解可能なロジックで分析，近代資本主義との関係でその現代性を把握するとともに，経済史的な普遍性をも明らかにする。

〔2010〕978-4-8158-0658-3

小堀　聡著

日本のエネルギー革命

―資源小国の近現代―

A5 判・432 頁・6,800 円

戦後日本の高度成長への道を拓いたエネルギー革命の歴史的意義を，戦前から 1960 年に至る長期的視野で位置づけ直し，熱管理や臨海開発などの経済政策・企業活動を通じて，資源制約に効率的に対応し得た要因を示す。**日経・経済図書文化賞，政治経済学・経済史学会賞受賞**

〔2010〕978-4-8158-0660-6

城山智子著

大恐慌下の中国

―市場・国家・世界経済―

A5 判・358 頁・5,800 円

未曾有の危機は中国に何をもたらしたのか？　看過されてきた大恐慌の中国への影響を初めて体系的に叙述，銀本位制の特質と市場・政府の役割を捉え直し，中華帝国から現代中国への転換を浮き彫りに。近代の中国経済をグローバル・ヒストリーのなかに位置づける力作。**大平正芳記念賞受賞**

〔2011〕978-4-8158-0662-0

梶谷　懐著

現代中国の財政金融システム

―グローバル化と中央–地方関係の経済学―

A5 判・256 頁・4,800 円

現代中国の経済発展に果たした，積極果敢な楽観主義者としての地方政府の役割を解明，独自の中央–地方関係に基づく財政金融システムが生みだしてきた問題と，それが世界経済に及ぼす影響を描く。グローバル不均衡や人民元改革問題にも新たな光をあてる画期的成果。**大平正芳記念賞受賞**

〔2011〕978-4-8158-0678-1

橘川武郎著

原子力発電をどうするか

―日本のエネルギー政策の再生に向けて―

四六版・192 頁・2,400 円

エネルギー産業史研究の第一人者が，長年の蓄積にもとづいて，もっとも現実的で，かつ総合性に富んだ最適解を示す。歴史的難題をこえて，日本のエネルギー政策に新たな展望をひらくために，いま必要な取り組みを信頼できる叙述で明快に論じた，渾身の提言。

〔2011〕978-4-8158-0679-8

山本有造著

「大東亜共栄圏」経済史研究

A5 判・306 頁・5,500 円

日本帝国 50 年の歴史を通じて形成された植民地経済の構造と特質をふまえ，その最後の姿となった「大東亜共栄圏」の全容を初めて客観的に描き出す。マクロ的数量データをもとに，交易や金融の実証的分析から，アジア各地に大きな影響を及ぼした円域経済の実態を捉えた，必読の成果。

〔2011〕978-4-8158-0680-4

田中　彰著

戦後日本の資源ビジネス

―原料調達システムと総合商社の比較経営史―

A5 判・338 頁・5,700 円

資源メジャーの台頭，新興国向け需要の急拡大のもと，日本の原料資源調達はどのような方向を目指すべきか。総合商社を軸とした資源調達方式を新たな視点で実証しつつ，曲がり角を迎えた日本の資源調達システムの再構築へのヒントを提示。**国際ビジネス研究学会賞，日本流通学会賞受賞**

〔2012〕978-4-8158-0688-0

高槻泰郎著

近世米市場の形成と展開

―幕府司法と堂島米会所の発展―

A5 判・410 頁・6,000 円

日次データによる大坂米相場の復元により，効率的な価格形成と，その地方への波及を解明．幕府の米切手政策を軸に世界的先駆をなす市場の成立を新たな水準で描く。幕府の政策を失敗とのみ位置づけた従来の評価を覆す画期的成果。**日経・経済図書文化賞，政治経済学・経済史学会賞受賞**

〔2012〕978-4-8158-0692-7

橘川武郎著

日本石油産業の競争力構築

A5 判・350 頁・5,700 円

産業の創始から今日までの初の本格的通史により，外国系と国内系石油会社の対抗をダイナミックに叙述，日本の石油会社の挑戦が挫折し続けた原因を正確に摑みだすとともに，歴史的文脈と今日の変化を踏まえ，確かな視点でナショナル・フラッグ・オイル・カンパニー創設への途を指し示す。

〔2012〕978-4-8158-0695-8

福澤直樹著

ドイツ社会保険史

―社会国家の形成と展開―

A5 判・338 頁・6,600 円

19 世紀末，世界最初の導入から東西統一後の今日まで，年金・医療・労災保険において先進的施策を生み出してきたドイツ社会保険の通史を初めて描出。社会保険発祥の国が直面した，制度・市場・国家・社会・財政などの難題を余すところなく捉える。**社会政策学会奨励賞受賞**

〔2012〕978-4-8158-0701-6

アーサー・C. ピグー著　八木紀一郎監訳　本郷亮訳

ピグー 富と厚生

菊判・472 頁・6,800 円

「福祉の経済学」の古典にして，再評価いちじるしいピグー厚生経済学体系の初の邦訳。貧困と失業の存在する現実世界を扱える「実践経済学」たるべく，国民の福利向上の視点から資源配分や分配，景気変動を論じ，それらへの介入政策を検討する。「ケンブリッジ大学教授就任講演」も収録。

〔2012〕978-4-8158-0702-3

川上桃子著

圧縮された産業発展

―台湾ノートパソコン企業の成長メカニズム―

A5 判・244 頁・4,800 円

世界シェア 90％以上という驚異的な発展。低コストの下請企業としてグローバルな産業内分業に組み込まれた後発の台湾メーカーが，先進国企業との相互作用の中から急激な成長をとげたメカニズムを，粘り強いインタビュー調査と明快な分析枠組みによって解きあかす。**大平正芳記念賞受賞**

〔2012〕978-4-8158-0703-0

石井寛治著

帝国主義日本の対外戦略

A5 判・336 頁・5,600 円

日本の経済人はなぜアジア太平洋戦争を阻止できなかったのか――長年の研究にもとづき，近代の植民地帝国の形成から，在華紡路線・満鉄路線の対抗をへて，盧溝橋事件へと至る歴史を丹念に跡づけ，新たな全体像を描く。碩学による日本帝国主義史の決定版。

〔2012〕978-4-8158-0707-8

藤瀬浩司著

20 世紀資本主義の歴史 I

―出　現―

A5 判・220 頁・3,600 円

歴史の転換点から全体像を冷静に捉える。――20 世紀資本主義の生成と展開，成熟と終焉を，企業組織・国家システム・世界システムの三つの視角から整理し，その本質と限界を明快に描きだす通史。この巻では，主として 19 世紀末から第一次世界大戦までの時期，システムの出現を扱う。

〔2012〕978-4-8158-0704-7

久末亮一著

香港　「帝国の時代」のゲートウェイ

A5 判・312 頁・5,700 円

アジア太平洋の百年を集約する――。19 世紀半ば以来，中国から東南アジアやアメリカに広がる空間で，ヒト・モノ・カネ・情報の流れを接続・調節する「場」であった香港。華人による金融活動に焦点をあて，一つの経済圏の歴史と，現在にいたる香港の存在理由を明らかにした力作。

〔2012〕978-4-8158-0709-2

中兼和津次著

開発経済学と現代中国

A5 判・306 頁・3,800 円

中国の経済発展は開発経済学で解けるのか――。未曾有の変貌をとげる現代中国を，社会科学の実験場とみなし，開発経済学のさまざまなモデルや仮説を準拠枠として，その開発経験を検証する。はたして「中国モデル」は存在するのか。第一人者による透徹した現代中国経済論。

〔2012〕978-4-8158-0710-8

粕谷　誠著

ものづくり日本経営史

―江戸時代から現代まで―

A5 判・502 頁・3,800 円

ものづくりの現場の奥深くから見えてくる日本経済発展の真の力とは何か。神話を超えて，歴史的な一貫した視点により，苦闘から隆盛への展開過程を制度やガバナンス，国際環境にも注目して解き明かす。今日の停滞局面への示唆にも富む，新たな標準をなす通史決定版。

〔2012〕978-4-8158-0715-3

中林真幸編

日本経済の長い近代化

―統治と市場，そして組織 1600～1970―

A5 判・400 頁・5,600 円

最先端の経済学の成果にもとづき，日本経済の 400 年にわたる超長期の近代化過程を新たなヴィジョンで描き出す。米など近世期の財市場，江戸から明治にかけての金融市場，そして明治以降の労働市場へ，時間差をもって継起的に進化した市場経済化のプロセスを鮮やかに示す必読の著作。

〔2013〕978-4-8158-0725-2

中西　聡編

日本経済の歴史

―列島経済史入門―

A5 判・364 頁・2,800 円

日本列島でくりひろげられた経済社会の営みを，環境史や生活史などの新たな視点も交えて解説，「国家」の枠組みを超えた多様な経済の展開過程が，いかにして現代社会へとつながるのかをわかりやすく描き出す。古代・中世から 21 世紀までを一望する新しいスタンダード・テキスト。

〔2013〕978-4-8158-0733-7

和田一夫著

ものづくりを超えて

―模倣からトヨタの独自性構築へ―

A5 判・542 頁・5,700 円

よく知られた「かんばん方式」の背後にあるものを徹底的に探ることからはじめ，多様な顧客ニーズへの対応や，遅れた海外展開まで，トヨタの巨大な生産システムを支える，一貫した「情報」への取り組みを明らかにし，企業にとっての独自性とは何かをあらためて問いかけた渾身の力作。

〔2013〕978-4-8158-0742-9

I. ウォーラーステイン著　川北稔訳

近代世界システム Ⅰ

―農業資本主義と「ヨーロッパ世界経済」の成立―

A5 判・484 頁・4,800 円

今日の世界を覆う「資本主義的世界経済」の出発点となった，16 世紀ヨーロッパを中心とする近代世界システムの誕生の軌跡を鮮やかに描き出す。歴史および社会諸科学の記述を大きく塗り替えて，現代の古典となった記念碑的著作の第一巻。ウォーラーステインによる新たな序文を付した新版。

〔2013〕978-4-8158-0743-6

I. ウォーラーステイン著　川北稔訳

近代世界システム Ⅱ

―重商主義と「ヨーロッパ世界経済」の凝集 1600−1750―

A5 判・462 頁・4,800 円

「世界経済」の収縮局面に勃興するオランダと，その覇権に挑戦する英仏の抗争をダイナミックに描出，一つのシステムとしての「資本主義的世界経済」の全貌を捉え，新しい世界史への扉を開く。現代の古典となった記念碑的著作の第二巻。ウォーラーステインによる新たな序文を付した新版。

〔2013〕978-4-8158-0744-3

I. ウォーラーステイン著　川北稔訳

近代世界システム Ⅲ

―「資本主義的世界経済」の再拡大 1730s−1840s―

A5 判・430 頁・4,800 円

フランス革命・産業革命の神話的理解を排して，大きな反響を巻き起こした記念碑的著作の第三巻。「世界経済」の第二の大拡大期におけるイギリスのヘゲモニーの確立と，ロシア，オスマン帝国，インド，西アフリカの組み込みを描きだす。ウォーラーステインによる新たな序文を付した新版。

〔2013〕978-4-8158-0745-0

I. ウォーラーステイン著　川北稔訳

近代世界システム Ⅳ

―中道自由主義の勝利 1789−1914―

A5 判・432 頁・4,800 円

「長い 19 世紀」に確立し，現代世界をも決定づける中道自由主義のインパクトと，それに対抗する反システム運動の勃興を詳述，近代世界システムにおける自由主義国家の成立とその広範な影響を初めてとらえ，19 世紀史を書き換える。著者のライフワークにして最高傑作，待望の新刊。

〔2013〕978-4-8158-0746-7

沢井　実著

マザーマシンの夢

―日本工作機械工業史―

菊判・510 頁・8,000 円

「機械をつくる機械」の 120 年――。一国の技術水準を決定する工作機械工業で，現在わが国は世界の主導的立場にある。戦争をくぐり躍進はいかにして実現されたのか。「饗宴と飢餓」の波に翻弄されつつ，後進性からの脱却のために費やされた努力の軌跡を丹念に追跡したライフワーク。

〔2013〕978-4-8158-0747-4

岡本隆司編

中国経済史

A5 判・354 頁・2,700 円

現在だけを見ていては中国はわからない。世界経済の中核であり続けたダイナミックな経済，しかし経済学の標準理論では歯が立たない。そのしくみを歴史から解き明かし，中国経済が今日抱える矛盾の由来をも示す。先史時代から改革開放までを一望する，わが国初の画期的通史。

〔2013〕978-4-8158-0751-1

柳澤　悠著

現代インド経済

―発展の淵源・軌跡・展望―

A5 判・426 頁・5,500 円

インド経済の歴史的な成長を準備したものは，経済自由化でも IT 産業でもない。植民地期の胎動から輸入代替工業化，緑の革命の再評価も視野に，今日の躍動の真の原動力を摑み出す。下層・インフォーマル部門からの成長プロセスの全貌を捉え，その見方を一新する。**国際開発研究大来賞受賞**

〔2014〕978-4-8158-0757-3

金井雄一著

ポンドの譲位

—ユーロダラーの発展とシティの復活—

A5 判・336 頁・5,500 円

ポンドはなす術もなく凋落したのか。ユーロダラーの発展と国際金融市場シティの隆盛も視野に，戦後ポンドの役割を再評価，基軸通貨交代の知られざる意義を描きだす。福祉国家化による国内均衡優先へと舵をきったイギリスの政策転換をも捉えて，一面的な衰退史像を大きく書き換える。

〔2014〕978-4-8158-0759-7

伊藤正直／浅井良夫編

戦後 IMF 史

—創生と変容—

A5 判・336 頁・5,800 円

「アメリカの道具」「休眠期」といった否定的通説を斥け，ブレトンウッズ期 IMF における自律的な制度・機構・政策体系の成立と，戦後国際金融秩序に及んだ広範な影響を解明，主要資本主義国の対応もふまえた包括的な記述により，毀誉褒貶を超えた一貫した IMF 像を初めて示す。

〔2014〕978-4-8158-0776-4

西川　輝著

IMF 自由主義政策の形成

—ブレトンウッズから金融グローバル化へ—

A5 判・284 頁・5,800 円

アジア通貨危機やリーマンショックなどの金融危機対応に示された IMF の政策体系の起源とは。グローバリゼーション批判や機能不全との通説を超え，戦後世界経済の為替自由化に果たした役割を再評価，ブレトンウッズ体制の核心に迫る気鋭の成果。**政治経済学・経済史学会賞受賞**

〔2014〕978-4-8158-0780-1

前田裕子著

ビジネス・インフラの明治

—白石直治と土木の世界—

A5 判・416 頁・5,800 円

自力でのインフラ建設が不可避であった時代に，鉄道，港湾などの整備に奮闘し，多くの土木技術者を育てた白石直治。彼を中心とする緊密な人的交流や先進的技術も取り入れた大規模工事の実態を通じ，日本の産業化の基盤形成に民間が果たした役割を浮彫りにする。**土木学会出版文化賞受賞**

〔2014〕978-4-8158-0788-7

成生達彦著

チャネル間競争の経済分析

—流通戦略の理論—

A5 判・392 頁・5,800 円

生産と消費の間にある空間，時間，価値，情報の隔たりを架橋し，経済厚生を高める流通チャネル。価格—数量競争による新たな分析枠組みを提示し，フランチャイズ料制，再販制，テリトリー制，専売店制の理解を一新，高需要期の低価格などの未解明の謎を解く。**日本応用経済学会著作賞受賞**

〔2015〕978-4-8158-0797-9

坂本優一郎著

投資社会の勃興

—財政金融革命の波及とイギリス—

A5 判・496 頁・6,400 円

イギリスで，投資はいかにして中流の人びとや労働者層・女性にまでいきわたったのか。政治・社会・文化・経済の幅広い文脈で生じた革新の全体像を，ヨーロッパ・アメリカへの拡大も視野に捉え，投資社会化がもたらした衝撃と，今日まで続くその構造を見事に浮き彫りにした注目の研究。

〔2015〕978-4-8158-0802-0

伊藤亜聖著

現代中国の産業集積

—「世界の工場」とボトムアップ型経済発展—

A5 判・232 頁・5,400 円

中国経済の急成長をもたらした真の強みとは。各地に叢生した産業集積の役割に着目，「百均のふるさと」義烏などを踏査し，その競争力の源泉を摑み出す。安易な中国経済終焉論を斥け，絶え間なく生まれ変わるダイナミックな姿を捉える。**大平正芳記念賞，日本ベンチャー学会清成忠男賞受賞**

〔2015〕978-4-8158-0823-5

安達祐子著

現代ロシア経済

—資源・国家・企業統治—

A5 判・424 頁・5,400 円

ソ連解体からエリツィンを経てプーチン体制へ，未曾有の経済危機から新興国へと成長したロシア経済を，資源のみならず，独自のガバナンスの重要性に着目して包括的に叙述，移行経済におけるインフォーマルな国家・企業間関係の決定的意味を捉え，ロシア型資本主義の特質に迫る。

〔2016〕978-4-8158-0828-0

角谷快彦著

介護市場の経済学

—ヒューマン・サービス市場とは何か—

A5 判・262 頁・5,400 円

競争市場を通じたヒューマン・サービスの供給はいかにあるべきか。日本の介護市場を事例に国際的視野でその政策モデルを検証，ケア品質の向上と効率性の両立を可能にする社会システムを領域横断的に示して，理想の介護市場モデルを包括的に描き出す。**日本公共政策学会著作賞受賞**

〔2016〕978-4-8158-0833-4

加藤弘之著

中国経済学入門

—「曖昧な制度」はいかに機能しているか—

A5 判・248 頁・4,500 円

「論」から「学」へ——。現代中国経済研究からエッセンスをつかみ出し，所有・市場からガバナンスやイノベーション，対外援助，さらには腐敗・格差まで，生動する独自の経済システムを，トータルに，かつ長期的なパースペクティブの中で，明解に説き明かす。**アジア・太平洋賞特別賞受賞**

〔2016〕978-4-8158-0834-1

橘川武郎／黒澤隆文／西村成弘編

グローバル経営史

—国境を越える産業ダイナミズム—

A5 判・362 頁・2,700 円

単純な均質化とは異なるグローバル化の実態を 12 の産業から捉え，競争優位の真の源泉を浮かび上がらせる。産業と地域特性に応じた専門化やクラスター形成がグローバリゼーション下にも進むメカニズムに迫り，東アジア・北米・ヨーロッパなど地域の競争力の決定的重要性を指し示す。

〔2016〕978-4-8158-0836-5

小池和男著

「非正規労働」を考える

—戦後労働史の視角から—

四六判・238 頁・3,200 円

自動車工場や外食チェーン店から米国の保険会社まで，終身雇用崩壊が叫ばれる以前から非正規労働は幅広く存在してきた。合理性があるから存続する，ならばその根拠は何なのか。職場まで下りた貴重な調査資料をもとに，「低賃金・使い捨て」のイメージを超えた実像を描き，改善策を提案。

〔2016〕978-4-8158-0838-9

平野　創著

日本の石油化学産業

—勃興・構造不況から再成長へ—

A5 判・408 頁・5,800 円

世界有数の巨大産業の誕生から今日までを，初めて通史として捉えた産業史の決定版。急速な成長と生産過剰のメカニズムを鋭く分析，政府による産業規制の理解を書き換えるとともに，世界的高シェア企業の叢生など，変容する日本の石油化学産業の新たな潮流も描き出す。

〔2016〕978-4-8158-0842-6

沢井　実著

日本の技能形成

—製造現場の強さを生み出したもの—

A5 判・244 頁・5,400 円

なぜ日本で戦後に，柔軟に課題に対応できる大量の現業労働者たちが育っていたのか？　復興から高度成長への歩みを支えた現場の熟練形成の画期を，戦前以来の学校や工場での技能教育にたどり，徒弟制からの転換をもたらした若年労働者教育の決定的役割を鮮やかに描き出す。

〔2016〕978-4-8158-0852-5

鍋島直樹著

ポスト・ケインズ派経済学

—マクロ経済学の革新を求めて—

A5 判・352 頁・5,400 円

資本主義経済の不安定性を解明したミンスキーなど，近年あらためて注目を集めるポスト・ケインズ派。その核心をなす貨幣・金融理論の着想源や展開過程を解き明かし，最新の動向を踏まえて学派の全体像に迫るとともに，新自由主義に代わる経済政策を展望する挑戦の書。

〔2017〕978-4-8158-0862-4

村井明彦著

グリーンスパンの隠し絵［上］

—中央銀行制の成熟と限界—

A5 判・326 頁・3,600 円

揺れ動く金融政策。何が正しいのか。前人未到の長期安定を実現したアメリカ中央銀行総裁が中央銀行制を嫌っていたのは何故か。神話の陰に隠れたその思想と行動を初めて経済学的に解明，現代経済学の枠組みを再設定した画期的労作。上巻では，若き日の遍歴から「大平準」までをたどる。

〔2017〕978-4-8158-0869-3

村井明彦著

グリーンスパンの隠し絵［下］

—中央銀行制の成熟と限界—

A5 判・290 頁・3,600 円

未曾有の長期安定の後，IT バブルとサブプライム・ローン危機により，非難の的となったグリーンスパン。その成功と失敗から何を学び取れるのか。下巻では，大恐慌の再解釈に踏み込みつつ，予言的な講演から現在までをたどる。現代経済学と中央銀行制を根底から問い直す渾身作の完結編。

〔2017〕978-4-8158-0870-9

沢井　実著

見えない産業

—酸素が支えた日本の工業化—

A5 判・342 頁・5,800 円

ボンベにつめられ，日本中の町工場へと運ばれ続けた見えない商品，酸素——。鉄鋼，化学，電機から農業，バイオ，医療へと用途を広げ，競争力の新たな焦点となった産業ガスの軌跡を，国際関係史も視野に明治の黎明期から今日までたどり，その特徴的な産業の姿をクリアに描き出す。

〔2017〕978-4-8158-0878-5

宝剣久俊著

産業化する中国農業

—食料問題からアグリビジネスへ—

A5 判・276 頁・5,800 円

飢饉の経験を乗り越えて，厖大な人口への食料供給を実現し，製造業など工業の高度成長を支えた農業の姿を，龍頭企業の台頭など，アグリビジネスでも世界的地位を築きつつある中国農業の現状を新たな視座で描き出す。**大平正芳記念賞，日本農業経済学会学術賞受賞**

〔2017〕978-4-8158-0886-0

高島正憲著

経済成長の日本史

—古代から近世の超長期 GDP 推計 730–1874—

A5 判・348 頁・5,400 円

奈良時代～近代初頭にいたる列島経済の展開を一望，最貧国水準を抜け出し，一人あたり GDP が着実な上昇に転じていく過程を，多様な文献の活用により，災害・飢饉・環境・都市化なども視野に解明する。はじめて日本の超長期 GDP 推計を実現し，日本史の新たな扉を開く。**日経・経済図書文化賞受賞**

〔2017〕978-4-8158-0890-7

中西　聡編

経済社会の歴史

—生活からの経済史入門—

A5 判・348 頁・2,700 円

家族，災害，健康，教育や娯楽，さらに森林やエネルギーなど，身近な生活環境を手がかりにして，経済社会の成り立ちをやさしく解説，消費や自然環境などの新たなテーマから，私たちの生活と経済の歴史の深いつながりを実感とともに学べる入門テキスト。

〔2017〕978-4-8158-0893-8

R. C. アレン著　眞嶋史叙／中野忠／安元稔／湯沢威訳

世界史のなかの産業革命

—資源・人的資本・グローバル経済—

A5 判・380 頁・3,400 円

中国やインド，大陸ヨーロッパではなく，イギリスで産業革命が起こり得たのはなぜか？　食事，健康などの生活水準をもとに，世界史的な視野でその起源を捉えなおし，エネルギーなどの自然環境が果たした役割も視野に，産業革命の新たな全体像を示した決定版。

〔2017〕978-4-8158-0894-5

韓　載香著

パチンコ産業史

—周縁経済から巨大市場へ—

A5 判・436 頁・5,400 円

戦前以来の縁日娯楽はなぜ，30 兆円産業となりえたのか。看過されてきた周縁経済の躍動を，ホール，メーカー，規制の動向から捉え，「地下経済」論を超えた等身大の姿を浮彫りにする。産業が存続可能となる条件を新たな視点で照射し，日本経済論の盲点に迫った通史。**サントリー学芸賞受賞**

〔2018〕978-4-8158-0898-3

多和田眞／柳瀬明彦著

国際貿易

—モデル構築から応用へ—

A5 判・356 頁・2,700 円

国際貿易の経済的仕組みをスタンダードかつ最新の体系にもとづいて丁寧に解説。リカードに端を発し，国際経済の発展にともないアップデートされてきた理論モデルを学び，保護貿易政策や自由貿易協定の影響，環境や公共財の問題まで，世界経済の重要課題を読み解く力を身につける。

〔2018〕978-4-8158-0924-9

田中　光著

もう一つの金融システム

—近代日本とマイクロクレジット—

A5 判・360 頁・6,300 円

日本の発展を導いた，大衆資金ネットワークの挑戦とは。現代の郵便貯金や農協に連なる個人少額貯蓄のインフラが地方経済の安定と成長に果たした役割を，資金供給の実例などから解明，日銀中心の銀行システムの影で見過ごされてきた半身に光を当て，経済成長の条件を問い直す意欲作。

〔2018〕978-4-8158-0932-4

中島裕喜著

日本の電子部品産業

—国際競争優位を生み出したもの—

A5 判・388 頁・5,400 円

大手家電メーカーの落日やモジュール化の波に直面してなお，圧倒的な国際競争力を獲得できたのはなぜか。戦後復興期の組立ラジオから今日まで，多様な顧客への志向と，部品の汎用性をめぐる戦略の決定的役割を捉え，グローバルサプライヤーへの軌跡を示す。**中小企業研究奨励賞受賞**

〔2019〕978-4-8158-0942-3

ジョエル・モキイア著　長尾伸一監訳　伊藤庄一訳

知識経済の形成

—産業革命から情報化社会まで—

A5 判・410 頁・5,400 円

経済成長やイノベーションを持続させるものは何か——。「有用な知識」を軸に科学・技術と経済の歴史を架橋することで，ビッグ・クエスチョンに鮮やかな解を提示し，西欧近代の再定位を図ると同時に，現代社会の行く末をも展望する注目の書，待望の邦訳。

〔2019〕978-4-8158-0957-7

ティルタンカル・ロイ著　水島司訳

インド経済史

—古代から現代まで—

A5 判・340 頁・4,200 円

古代以来，有数の巨大経済でありながら看過されてきた，独自の発展のダイナミズムとは何か。地理・気候から商品・技術・知識まで，南アジアの固有性と世界経済との接続の効果を縦横に論じた，地域史からのグローバル・ヒストリー。現代の興隆への道筋をも示した初の通史。

〔2019〕978-4-8158-0964-5

岩橋　勝著

近世貨幣と経済発展

「三貨制」史観を塗り替える画期的労作――。小額貨幣の流通は，庶民の生活水準の上昇を示す指標である。銭貨や藩札などの需要面に注目し，多様性とダイナミズムを内包する日本各地の実態を分析，東アジアにおける徳川経済の先進性を実証する。**徳川賞受賞**

A5 判・456 頁・6,300 円

〔2019〕978-4-8158-0965-2

伊藤真利子著

郵政民営化の政治経済学

―小泉改革の歴史的前提―

戦後日本の発展と軌を一にし，隠れた福祉・再分配機能をはたした郵便貯金が，その巨大化の過程で抱え込んだ問題の核心とは。金融財政史の展開から民営化論の虚実を捉え直し，熱狂と混迷を生み出した小泉改革の歴史的位置を，政治手法やイデオロギーをめぐる議論をこえて初めて描き出す。

A5 判・358 頁・5,400 円

〔2019〕978-4-8158-0968-3

アーサー・C. ピグー著　本郷亮訳

ピグー 財政学

公平原則から説き起こし，課税の原理，各種租税の比較，公債，雇用政策など，財政学の核心を明晰に論じた古典。実際的有用性の観点から今なお評価が高い，ピグー厚生経済学体系の三部作の一つを，重要論文とともに，第一人者が初めて邦訳し，現代に問いかける。

A5 判・338 頁・6,300 円

〔2019〕978-4-8158-0969-0

金井雄一／中西聡／福澤直樹編

世界経済の歴史［第 2 版］

―グローバル経済史入門―

世界の経済はどのような軌跡をたどってきたのか。グローバル・ヒストリーなどの最新の成果と経済史研究の蓄積をもとに，欧米・アジアや世界各地域の発展プロセスをバランスよく解説，通史編とテーマ編の二部構成で学ぶ好評の経済史入門，大幅改訂による決定版。

A5 判・400 頁・2,700 円

〔2020〕978-4-8158-0997-3

粕谷　誠著

戦前日本のユニバーサルバンク

―財閥系銀行と金融市場―

証券市場が高度に発達した戦前日本において，三井・三菱・住友など財閥系銀行はいかにしてその隔絶した地位を築きえたのか。見過ごされてきた証券・国際業務を軸に，近世来の両替商がユニバーサルバンクへと発展する姿を鮮やかに示し，巨大銀行と金融市場の関係に新たな光を投げかける。

A5 判・390 頁・6,300 円

〔2020〕978-4-8158-1004-7

木村雄一著

カルドア 技術革新と分配の経済学

―一般均衡から経験科学へ―

シュンペーターとケインズの融合や格差問題など，現代的領域の先駆者として理論に革新をもたらす一方，国連職員・開発経済学者・英労働党顧問などのさまざまな顔を通じて社会に深くかかわり，現実に即した経済学の必要を訴え続けた稀代のエコノミストの全体像を提示する。

A5 判・256 頁・5,400 円

〔2020〕978-4-8158-1006-1

橘川武郎著

災後日本の電力業

―歴史的転換点をこえて―

東日本大震災と原発事故は，日本電力業のすがたを根底から変えてしまった。福島への補償から電源エネルギー構成の再編，10 電力体制の終焉まで，政策と経営戦略の包括的検討により原発事故前後 25 年の実態を解明，真の課題のありかを特定し，電力業の歴史的再生へむけた道筋を示す。

A5 判・244 頁・4,500 円

〔2021〕978-4-8158-1015-3

中兼和津次編

毛沢東時代の経済
—改革開放の源流をさぐる—

A5 判・312 頁・5,400 円

現代中国のブラックボックスを開く——。破壊的だったとされる毛沢東時代。ではなぜその後，急速な発展をなしえたのか。人民公社，重化学工業優先，三線建設など，当時の制度・政策の効果をはかり，現在への「遺産」を問う。歴史的視野のもと，冷静な経済学的分析をくわえた画期的著作。

〔2021〕978-4-8158-1031-3

堀内義隆著

緑の工業化
—台湾経済の歴史的起源—

A5 判・286 頁・6,300 円

植民地下の台湾は，たんに帝国の食糧供給基地にとどまったのではない。見過ごされてきた工業化の契機を農産品の加工・商品化に見出し，農村からの工業化の経路を実証，戦後台湾経済の原型をとらえた注目の成果。**アジア経済研究所発展途上国研究奨励賞，中小企業研究奨励賞受賞**

〔2021〕978-4-8158-1032-0

沢井　実著

技能形成の戦後史
—工場と学校をむすぶもの—

A5 判・258 頁・5,400 円

高度成長期の高校進学率上昇が日本の職業教育・職業訓練に与えたインパクトとは？　企業内養成施設，公共職業訓練所，工業高校，各種学校などで起こった劇的な変遷を分析。「役に立つ」「即戦力」を歴史的に問い直し，実践に根ざした教養教育のあり方を考える。

〔2021〕978-4-8158-1038-2

前田廉孝著

塩と帝国
—近代日本の市場・専売・植民地—

A5 判・484 頁・8,000 円

帝国日本の経済と生命を支えた一次産品，塩の生産・流通・消費の動態をトータルに解明，植民地塩の内地への浸透プロセスを専売や瀬戸内塩業も視野にとらえて，忘れられた塩の経済圏の全体像を示すとともに，戦後へとつながる食料，資源の対外依存構造のルーツを描き出す。

〔2022〕978-4-8158-1055-9

阿部武司著

日本綿業史
—徳川期から日中開戦まで—

A5 判・690 頁・7,200 円

明治の産業革命をリードし瞬く間に世界市場を制覇した日本綿紡績・織物業の競争力の源泉とは。近代的大紡績企業と，近世から続く農村織物産地や流通を担う問屋・商社などの連携による成長過程を初めて解明，衰退に向かう戦後も視野に，巨大産業の興隆を圧倒的な密度とスケールで描く。

〔2022〕978-4-8158-1059-7

井上正夫著

東アジア国際通貨と中世日本
—宋銭と為替からみた経済史—

A5 判・584 頁・8,000 円

新たな貨幣・金融史——。宋・遼・金・元・明・日本・朝鮮など，東アジア各地に流通した宋銭は，それぞれの政権の思惑を超え，為替や紙幣を誘発しつつ，経済・社会・政治を動かしていった。考古学的知見を踏まえた丹念な検証により，従来の見方を一新する。**アジア・太平洋賞特別賞受賞**

〔2022〕978-4-8158-1061-0

ロバート・スキデルスキー著　鍋島直樹訳

経済学のどこが問題なのか

A5 判・288 頁・3,600 円

モヤモヤしている人のために——。「科学」の地位を得るために，経済学は様々な数学やモデルを使ってきた。しかし，それらは本当に有効なのか。現実から離れた想定によって視野を狭めているのではないか。スタンダードな経済学の考え方を再検討し，今後に向けての処方箋を提示する。

〔2022〕978-4-8158-1088-7

中屋信彦著

中国国有企業の政治経済学

—改革と持続—

A5 判・366 頁・6,300 円

非効率なはずの企業群はなぜ存続し，成長できたのか。グローバル企業ランキングを席捲し，存在感を示し続ける国有企業が，市場経済への適応と共産党支配を両立すべく実施した改革の成果を，腐敗などの副作用も含め解明，「普通の」資本主義体制に抗いつつ発展する中国経済の実像に迫る。

〔2022〕978-4-8158-1095-5

藤田菜々子著

社会をつくった経済学者たち

—スウェーデン・モデルの構想から展開へ—

A5 判・438 頁・6,300 円

不況・戦争など直面する危機を乗り越え，福祉先進国の礎を築いた経済学者たち。ケンブリッジ学派と双璧をなしたスウェーデン経済学の全体像を，政治・世論との深いかかわりとともに初めて解明，福祉国家への合意を導いた決定的役割と，現代におけるその変容までを鮮やかに描き出す。

〔2022〕978-4-8158-1097-9

沢井　実著

輸出立国の時代

—日本の軽機械工業とアメリカ市場—

A5 判・296 頁・5,800 円

戦後日本の復興を支え，高度成長を生み出した対米輸出への道は，いかにして切り拓かれていったのか。自動車・家電に先駆けてアメリカを席捲したカメラ，ミシンなど軽機械の動向を初めて包括的に解明，労働集約型産業の変貌を現場からとらえて，今日に及ぶ発展を鮮やかに描く。

〔2022〕978-4-8158-1099-3

森　宜人著

失業を埋めもどす

—ドイツ社会都市・社会国家の模索—

A5 判・396 頁・6,800 円

失業はいかにして発見され，社会政策の中心課題になったのか。繰り返し大量失業に悩まされたドイツにおいて，都市が国家に先駆けてセーフティネット構築をはかる姿を解明，慈善団体や国家との対抗／連携の過程も鮮やかに捉え，労働をめぐるモダニティの大転換を，現代も視野に描き出す。

〔2022〕978-4-8158-1103-7

松本俊郎編

「満洲国」以後

—中国工業化の源流を考える—

A5 判・364 頁・5,800 円

戦後の混乱と破壊を乗りこえ，社会主義化の最前線かつ最大の生産拠点へと成長した中国東北。鞍山や瀋陽といった巨大都市の内外で，帝国支配の「遺産」が時代をこえて幾重にも再編されるプロセスを初めて実証。改革開放後の変容も視野に，歴史を貫く流れを比類なき密度で描く。

〔2023〕978-4-8158-1114-3

法律・政治

松坂佐一著

民法解釈の基本問題

民法解釈の基礎理論を，科学としての法学と解釈・法学的ヘルメノイティク，類型論，トピーク，自由法学，法的経験の現象学的解明などの諸問題を通して究明する。民法とともに 40 年を歩んだ著者の学識と思考の結晶である。

〔品切〕A5 判・466 頁・6,800 円

〔1985〕978-4-930689-41-2

皆川修吾著　南山大学学術叢書

Supreme Soviet Organs

Functions and Institutional Development of Federal and Republican Presidia and Standing Commissions. 本書は，連邦および共和国最高会議の歴史的背景，その理想像と現実，制度的発展過程を，とくに幹部会と常任委員会の運営について実証的に分析し，ソ連政治の多元化を示唆。

菊判・366 頁・5,000 円

〔1985〕978-4-930689-30-6

友岡敏明著　南山大学学術叢書

ジョン・ロックの政治思想

―“伝統”と“革新”の一断面―

プロテスタント的キリスト教思想家としてのジョン・ロックを，彼の思索者としての成長過程を追いながら浮き彫りにし，同時に政治思想家としてのロックの歴史的位置を彼以前の三大思想家との対質を通して明らかにする。新資料も駆使した，ロック研究最先端の書。

〔品切〕A5 判・442 頁・4,500 円

〔1986〕978-4-930689-47-4

佐々木雄太著

三〇年代イギリス外交戦略

―帝国防衛と宥和の論理―

30 年代イギリス外交史の実証研究は，1967 年の公文書法改正により新しい段階を迎えた。本書は，欧米におけるこの新動向に対応して，イギリスの閣議議事録，覚書，外務省外交文書等一次資料を駆使して，第二次大戦に至るイギリス外交の政策決定過程を精緻に分析する。

【RA 叢書】A5 判・414 頁・6,800 円

〔2022（1987）〕978-4-8158-1079-5

松坂佐一著

プラトンと法律

―ギリシア法思想への案内―

社会契約・自然法・三審制度など，後世法思想の萌芽を多数含む哲学者プラトンの諸著作を中心に，難解なギリシア法思想を平易に解説する恰好の案内。〔目次〕1 章「初期ギリシアの法思想（テミス／ディケー／社会契約…）」，2 章「プラトンの法理論（刑法／司法制度／契約及び財産…）」

〔品切〕A5 判・214 頁・3,600 円

〔1987〕978-4-930689-77-1

平松義郎博士追悼論文集編集委員会編

法と刑罰の歴史的考察

―平松義郎博士追悼論文集―

近代大阪で困窮者を西国に斡旋したおこし奉公人制度・入り組み支配地の追放刑の意外な実態・火刑の執行方法・放火罪における「燃え上り説」の歴史的考察など，法制史・刑法等の一線研究者が 18 編の論文で綴る法と刑罰の社会史。

〔品切〕A5 判・566 頁・10,000 円

〔1987〕978-4-930689-79-5

松井芳郎／木棚照一／加藤雅信編

国際取引と法

本書は国際貿易法制，国際投資法制，国際化時代における法の適用と国際私法，国際化時代の紛争解決手続，国際化時代の刑事法と国際法の五部構成により，国際化時代を迎えて新しい課題に直面する国際取引法を体系的具体的に考察して実務上の指針を提示する。

〔品切〕A5 判・400 頁・4,500 円

〔1988〕978-4-930689-91-7

服部育生著

企業結合と独禁法

―比較法的考察―

近時，対米貿易摩擦および EC 統合への対応策として海外進出の必要に迫られた日本企業による外国企業の買収が急増しつつある。本書は，このような企業結合に対する独禁法上の規制を，アメリカ法・西ドイツ法を中心に比較法的視点から包括的に考察して，日本法への展望をも拓く。

〔品切〕A5 判・312 頁・5,500 円

〔1990〕978-4-8158-0144-1

草間秀三郎著

ウィルソンの国際社会政策構想

―多角的国際協力の礎石―

環境問題，途上国援助，地域紛争等，地球規模のグローバルな問題解決のために，近年国際連合の新機能としてその重要性が増している多角的国際協力を，ウィルソンの国際社会政策構想の発展として実証的に跡づける。ウィルソンの理想を現代的観点から捉え直す。

A5 判・336 頁・5,500 円

〔1990〕978-4-8158-0145-8

ステアー・ソサエティ編　戒能通厚／平松紘／角田猛之編訳

スコットランド法史

本書は，イングランド法と並んでイギリス法を形成する大きな柱でありながら我国で不当に無視されてきたスコットランド法の最も信頼出来る概説である。膨大な事項解説等訳者苦心の付録は法研究者のみならず社会思想史，歴史研究者にスコットランド啓蒙の奥行きを伝えるだろう。

〔品切〕A5 判・244 頁・3,500 円

〔1990〕978-4-8158-0146-5

山田公平著

近代日本の国民国家と地方自治

―比較史研究―

19 世紀後半の国際条件の中でわが国の国民国家の構築は天皇制国家として実現された。本書は，その政治的基礎構造たる明治地方自治を同時代のヨーロッパ・アジアの制度状況との比較において検討し，制度継受関係，日独比較，植民地地方制度の形成等未開拓の領域に新生面を拓く。

〔品切〕A5 判・620 頁・5,500 円

〔1991〕978-4-8158-0149-6

青竹正一／浜田道代／山本忠弘／黒沼悦郎編

現代企業と法

―企業組織・取引・有価証券―

経済社会の環境変化に伴い，現代企業は組織の面でも取引方法の面でも，さまざまな新しい法的諸問題に直面している。本書は，このような観点から現代企業法の課題となっている企業組織と活動にかんする法規制等の諸問題を，判例・学説の推移を踏まえて検討する最新の論考集成。

A5 判・498 頁・8,000 円

〔1991〕978-4-8158-0165-6

田口富久治著

政治学講義

本書は，社会科学方法論そして／もしくは社会科学の理論的枠組として，イギリスの哲学者バスカーの社会活動の変形モデルや，同じくイギリスの社会学者ギデンズの構造化の理論を用い，近・現代の政治の意味，その構造と実践のからみ合いを，体系的に展開している。

〔品切〕A5 判・336 頁・2,800 円

〔1992〕978-4-8158-0196-0

福田茂夫／義井博／草間秀三郎著

増補 二〇世紀国際政治史

四六判・316 頁・2,200 円

第二次世界大戦を視点の中心に置いて，第一次世界大戦から 90 年代に至る国際政治の流れを明快に跡づける通史。その時々の国際政治状況の中で，各国の政治家と民衆はどんな選択をどのような基準で行なったのか。ソ連崩壊，湾岸戦争からクリントンの登場までを増補する。

〔1993〕978-4-8158-0202-8

石川一三夫著

日本的自治の探求

―名望家自治論の系譜―

四六判・300 頁・3,000 円

福沢諭吉，陸羯南，徳富蘇峰，植木枝盛等，近代黎明期の知識人は，日本の地方自治問題をどのように考えたのか――西欧的市民思想をバックにした日本的自治の探求，官治と自治の問題点，日本的官僚制の弊害克服の努力等――を明らかにして，日本的地方自治思想の原点と系譜を確認する。

〔1995〕978-4-8158-0262-2

佐々木雄太著

イギリス帝国とスエズ戦争

―植民地主義・ナショナリズム・冷戦―

A5 判・324 頁・5,800 円

1956 年のスエズ侵略戦争を中心テーマに，第二次大戦後のイギリスの中東政策の展開過程とアラブ・ナショナリズムとの関係，イギリスとエジプトとの対立の深化とスエズ戦争への政治過程，中東政策ならびにスエズ戦争をめぐる英米関係の展開とイギリスの凋落過程を歴史的に考察する。

〔1997〕978-4-8158-0313-1

M. ウェーバー著　雀部幸隆／小島定訳　古典翻訳叢書

ロシア革命論 I

A5 判・354 頁・6,000 円

ウェーバーは 1905 年革命の報に接するや，数カ月でロシア語をマスターして二つの長大な論文をものした。本書はその第一論文と第二次革命後執筆の短い第三論文を収載。迸る学問的情熱をもって書かれた中期の傑作論文であり，ソ連崩壊後のロシア再考のために逸することのできない古典。

〔1997〕978-4-8158-0317-9

M. ウェーバー著　肥前栄一／鈴木健夫／小島修一／佐藤芳行訳　古典翻訳叢書

ロシア革命論 II

A5 判・464 頁・8,000 円

ロシア専制政府の立法活動の特徴を暴いた，全く新しいロシア革命論。法対行政規則という法社会学的視点に立脚し，豊富な資料に基づいた，ロシア政府の「二重帳簿」政策についての鋭利で重厚な叙述は，優れた歴史研究であるとともに，開発独裁成立論とも言うべき論点を提出している。

〔1998〕978-4-8158-0345-2

石井三記著

18 世紀フランスの法と正義

A5 判・380 頁・5,600 円

法の専門家主義と素人主義の対抗。――ヴォルテールの関与した冤罪事件，ベッカリーアの『犯罪と刑罰』の運命，陪審裁判や死刑廃止の議論など，啓蒙から革命期までの刑法改革の潮流を，制度・事件・思想・法曹等の多様な視角から描き，底流をなす法観念の転換を明らかにした新しい法制史。

〔1999〕978-4-8158-0359-9

下川　潔著

ジョン・ロックの自由主義政治哲学

A5 判・392 頁・6,000 円

分析的テクスト解釈と厳密な思想史的手法によって，プロパティ概念，寛容概念などの通説的理解を改め，古典的自由主義の基本原理の把握に新たな道を拓くとともに，ロック自由主義理論の核心をなす「政教分離」「所有権」などの価値を明確に示し，その批判的継承を試みる。

〔2000〕978-4-8158-0377-3

高橋一彦著

帝政ロシア司法制度史研究

—司法改革とその時代—

A5 判・424 頁・9,000 円

ロシアに近代的な司法制度を導入した試みと言われる 1864 年の司法改革を軸として，帝政ロシアの司法制度の展開課程を一次史料に基づき分析——これによって制度史研究の欠落を埋め，従来の「非法社会」というイメージには収まりきらない帝政末期のロシア法の動態的な姿を提示する。

〔2001〕978-4-8158-0399-5

ロバート・D. エルドリッヂ著

沖縄問題の起源

—戦後日米関係における沖縄 1945−1952—

A5 判・378 頁・6,800 円

戦後日米外交の焦点となり，今日なお日米関係の棘となっている沖縄問題の原点を政治・外交史的に解明した最新の成果。日米の関係者へのインタビューや膨大な新資料に基づき，戦後沖縄の地位を決定づけた講和条約第 3 条の形成過程を詳述。**アジア・太平洋賞特別賞，サントリー学芸賞受賞**

〔2003〕978-4-8158-0459-6

安田信之著

開発法学

—アジア・ポスト開発国家の法システム—

A5 判・384 頁・4,800 円

開発国家体制の後退により，転機を迎えたアジア諸国の法制度をめぐる開発協力のあり方を，基礎的な方法論から，良い統治，コミュニティ・ジャスティス，法整備支援などの今日的課題までを含めて体系的に叙述，初学者から専門家までの幅広い要請に応える決定版。

〔2005〕978-4-8158-0503-6

梅田百合香著

ホッブズ 政治と宗教

—『リヴァイアサン』再考—

A5 判・348 頁・5,700 円

宗教抗争から近代国家へ——。近代政治学を生み出した『リヴァイアサン』の宗教論を徹底的に解読，歴史的コンテクストに即した解釈で，国家論の理解に新たな光をなげかける。内面の「自由」を確保しつつ，宗教問題の解決を導こうとするホッブズ国家論の真の課題に迫った画期的労作。

〔2005〕978-4-8158-0523-4

小杉　泰著

現代イスラーム世界論

A5 判・928 頁・6,000 円

わが国の現代イスラーム研究をリードする著者が，中東をはじめとする現代イスラーム世界の成立と展開，激動の現在と今後の展望を，国際社会との関係の中，思想と政治・社会・経済の動態的連関を軸に捉え，イスラーム復興が今日の世界にもたらした巨大な運動の全体像を描ききった労作。

〔2006〕978-4-8158-0535-7

眞壁　仁著

徳川後期の学問と政治

—昌平坂学問所儒者と幕末外交変容—

A5 判・664 頁・6,600 円

忘却された儒者，古賀家三代の知的・政治的所産を徹底した史料調査により解明。学問所儒学の停滞したイメージを覆すとともに，日本近代外交黎明期の姿を鮮明に描き出し，江戸後期思想史・政治史・外交史の大幅な書き換えを迫る画期的成果。**角川源義賞，徳川賞受賞**

〔2007〕978-4-8158-0559-3

川島真／服部龍二編

東アジア国際政治史

A5 判・398 頁・2,600 円

前近代の「伝統的」国際秩序の変容から，今日の東アジア国際政治までを一望，最新の研究成果を踏まえた確かな叙述で，東アジア国際政治の主旋律を描き出すとともに，多彩な論点から東アジア地域のダイナミックな変動過程を内容豊かにとらえた，画期的な通史テキスト。

〔2007〕978-4-8158-0561-6

曽我謙悟／待鳥聡史著

日本の地方政治

—二元代表制政府の政策選択—

A5 判・382 頁・4,800 円

比較政治制度論からのアプローチにより，戦後の議会と首長の個別公選制下における地方政府の政策選択の大きな変化を実証，大規模なデータ分析と事例分析をもとに，地方政府の政治的ダイナミクスを描出。地方政治論に新たなフロンティアを拓く画期的論考。**日本公共政策学会著作賞受賞**

〔2007〕978-4-8158-0571-5

木村　幹著

民主化の韓国政治

—朴正熙と野党政治家たち 1961～1979—

A5 判・394 頁・5,700 円

野党政治家の挑戦と挫折，そして金泳三・金大中ら新しい世代の登場——歴史的成功事例といわれる韓国の民主化過程の苦難を，朴正熙政権期の徹底的見直しにより描出，民主化の成否を分けた前提条件を指し示し，脱植民地化過程の政治的困難をも捉えた刮目の政治分析。

〔2008〕978-4-8158-0572-2

遠藤　乾編

ヨーロッパ統合史［増補版］

A5 判・402 頁・3,200 円

政治・経済から軍事・安全保障，規範・社会イメージにまたがる複合的な国際体制の成立と変容を，近年公開の進んだ膨大な史料に基づいて描き出し，今日にいたる統合の新たな全体像を提示。ユーロ危機など，ヨーロッパ統合の行方を左右する，最近の動きも加えた，待望の増補版。

〔2014〕978-4-8158-0767-2

遠藤　乾編

原典 ヨーロッパ統合史

—史料と解説—

A5 判・804 頁・9,500 円

ヨーロッパの統合という困難なプロセスはいかにして進められてきたのか。政治・経済，軍事・安全保障，規範・社会イメージにわたる複合的な国際体制の形成過程を軸に，今日にいたる統合の全容を，多角的な原典史料に語らせる待望の史料解説集。ヨーロッパ統合の生きた姿が浮かび上がる。

〔2008〕978-4-8158-0601-9

浅野豊美著

帝国日本の植民地法制

—法域統合と帝国秩序—

A5 判・808 頁・9,500 円

忘れられた植民地での居留地・治外法権廃止問題を手がかりに，帝国規模での法制度の創出過程とその全体像を初めて解明，国際秩序，地域主義，帝国主義の相克を法秩序の展開から捉えて，帝国の勃興と解体，さらに戦後日本の誕生に至る過程をも描き出す。**吉田茂賞**，**大平正芳記念賞受賞**

〔2008〕978-4-8158-0585-2

田所昌幸著

国際政治経済学

A5 判・326 頁・2,800 円

国際政治と国際経済にまたがる広大な領域に挑み，しかもそれを一つの一般理論で切るのではなく，社会科学の古典や歴史的知見に学びながら，多角的記述とポイントをおさえた資料によって複雑なリアリティを捉えていく傑作テキスト。**政治研究櫻田會奨励賞受賞**

〔2008〕978-4-8158-0587-6

小川浩之著

イギリス帝国からヨーロッパ統合へ

—戦後イギリス対外政策の転換と EEC 加盟申請—

A5 判・412 頁・6,200 円

EU の今日の発展を決定づけた戦後イギリス最大の外交転換を，帝国＝コモンウェルス，英米特殊関係，対ヨーロッパ関係の困難に満ちた再編過程を軸に，徹底的な資料の博捜により解明，EFTA 設立など経済的要因も踏まえ，現在に続くイギリスとヨーロッパ関係の特質を浮彫りにする。

〔2008〕978-4-8158-0595-1

牧野雅彦著

国家学の再建

—イェリネクとウェーバー—

A5 判・360 頁・6,600 円

政治指導における責任とは何か。イェリネクによって集大成されたドイツ国家学が先駆的に取り組んだ諸問題を引き受け，あらためてその再構成を試みたウェーバー。主権国家の枠組みが問い直される現在，ドイツ国家学の今日的意義を明らかにするとともに，二人の知的営為の核心に迫る。

〔2008〕978-4-8158-0603-3

松森奈津子著

野蛮から秩序へ

—インディアス問題とサラマンカ学派—

A5 判・402 頁・5,000 円

大航海時代を拓いたスペインにおいて，非ヨーロッパ地域の「野蛮」な人々との関係をめぐり支配の正当性などを問いかけ，新たな政治秩序を模索したサラマンカ学派。ラス・カサスにいたるその思想の展開を丹念に跡づけ，主権国家論に連なる近代の政治思想を見直す。**サントリー学芸賞受賞**

〔2009〕978-4-8158-0612-5

今野　元著

多民族国家プロイセンの夢

—「青の国際派」とヨーロッパ秩序—

A5 判・364 頁・7,400 円

激動の中東欧情勢下に活躍した親独派ポーランド人貴族の生涯を通じ，ナショナリズムの超克，多民族共生を志向した知られざるプロイセン王国の姿を描き出す。ドイツ帝国＝プロイセンの図式的理解を超え，ヨーロッパ史に新たな領野を切り拓く注目の成果。

〔2009〕978-4-8158-0617-0

鮎京正訓編

アジア法ガイドブック

A5 判・442 頁・3,800 円

法整備支援プロジェクトで注目を浴び，社会主義法・イスラーム法・伝統法なども取り込みながら，多様な発展を示すアジア各国の法状況を，各国地域の法専門家が最新の情報にもとづき詳細に解説，アジア地域の法制度の展開をダイナミックに捉えた，わが国初の本格的ガイドブック。

〔2009〕978-4-8158-0622-4

倉田　徹著

中国返還後の香港

—「小さな冷戦」と一国二制度の展開—

A5 判・408 頁・5,700 円

香港は本当に中国に呑み込まれたのか？　返還以前の多くの悲観的予測を裏切り，安定した中国—香港関係が生み出されたメカニズムを，一国二制度下の政治・経済・社会情勢の推移から明快に分析，「高度な自治」と中港融合の実像を鋭く描き出す。**サントリー学芸賞受賞**

〔2009〕978-4-8158-0624-8

松浦正孝著

「大東亜戦争」はなぜ起きたのか

—汎アジア主義の政治経済史—

A5 判・1092 頁・10,000 円

なぜ日本は「アジア解放の聖戦」という理念を掲げながら，アジア諸国を植民地とし侵略したのか。これまで誰も正視してこなかった松井石根と大亜細亜協会を中心とする汎アジア主義の視角から，「大東亜戦争」への道をトータルに読み解く。新たな歴史像を提示した渾身の力作。

〔2010〕978-4-8158-0952-2

O. A. ウェスタッド著　佐々木雄太監訳　小川浩之／益田実／三須拓也／三宅康之／山本健訳

グローバル冷戦史

—第三世界への介入と現代世界の形成—

A5 判・510 頁・6,600 円

脱植民地化による第三世界の台頭は，超大国の命運をどのようにかえていったのか？　冷戦の主要舞台であった第三世界諸国の苦闘と戦略的対応を縦横に叙述，超大国の蹉跌の真の原因を描き出す。第三世界から見た冷戦史の新たな全貌を示し，現代世界の諸問題の起源をも捉えた注目作。

〔2010〕978-4-8158-0643-9

井上正也著

日中国交正常化の政治史

A5 判・702 頁・8,400 円

「不同意の同意」へと至る 20 年の交渉を，台湾問題の決定的重要性や国内政治との相互連関を再評価して解明。友好史観，外的衝撃論，「二つの中国」政策論などの通説を正すとともに，激しい外交闘争と和解の模索の両面からその政策過程を捉え直す。**サントリー学芸賞，吉田茂賞受賞**

〔2010〕978-4-8158-0653-8

鮎京正訓著

法整備支援とは何か

A5 判・364 頁・5,600 円

日本の法整備支援の 15 年にわたる経験と，アジア諸国法研究や比較法学の成果をもとに，被援助国の人々により役立つ制度・人づくりのシステム構築をめざす法整備支援学の挑戦を描く。日本の法整備支援をリードしてきた著者による，新たな知的国際支援の創造に向けた希望のメッセージ。

〔2011〕978-4-8158-0668-2

佐々木雄太著

国際政治史

―世界戦争の時代から 21 世紀へ―

A5 判・336 頁・2,800 円

20 世紀とはいかなる時代であったのか？　帝国主義，二つの大戦，冷戦，地域紛争の惨禍を経験した激動の世紀の実像を手際よく描き出し，多元主義的な国際社会実現の可能性を考える。豊富な図版・資料とともに，現代の国際政治の流れを新たな叙述で描き切った信頼のテキスト。

〔2011〕978-4-8158-0671-2

藤波伸嘉著

オスマン帝国と立憲政

―青年トルコ革命における政治，宗教，共同体―

A5 判・460 頁・6,600 円

近代的な立憲主義のもとで，多民族多宗教の統合をいかにして果たすのか――。個人に基礎をおく憲法体制と民族的宗教的少数集団の権利主張とが鋭く対立する中での国民統合という，今なお解きがたい問題に果敢に挑戦したオスマン立憲政の試みを跡づけ，近現代の世界史像に修正を迫る力作。

〔2011〕978-4-8158-0683-5

等松春夫著

日本帝国と委任統治

―南洋群島をめぐる国際政治 1914-1947―

A5 判・338 頁・6,000 円

「文明の神聖なる使命」とは――。帝国主義と新外交の狭間で生み出された，国際連盟による委任統治制度は，列強がせめぎあう太平洋に何をもたらしたのか。「仮装された植民地」として日本が支配した「南洋群島」を軸に，20 世紀前半の国際政治と日本の対外政策の展開を描き出す。

〔2011〕978-4-8158-0686-6

中田瑞穂著

農民と労働者の民主主義

―戦間期チェコスロヴァキア政治史―

A5 判・468 頁・7,600 円

多数のネイションを抱える大衆社会で「民主制」はいかに維持されたのか――。中欧の新興国として出発し議会制民主主義体制を安定化させた共和国が，経済危機と権威主義体制による競合という困難な時代を迎え，「実効力」ある独自の民主制を構想していく過程を，はじめて実証的に分析。

〔2012〕978-4-8158-0693-4

井口治夫著

鮎川義介と経済的国際主義

―満洲問題から戦後日米関係へ―

A5 判・460 頁・6,000 円

日産自動車を創業し，日産財閥を満洲に移駐してその経済開発を担った男の，経済的自由主義のヴィジョンとは何か。統制経済と闘い，米国資本導入による日満の開発によって日米開戦回避のために死力を尽くした希代の経営者の活動を描く。**サントリー学芸賞，企業家研究フォーラム賞受賞**

〔2012〕978-4-8158-0696-5

アダム・スミスの会監修　水田洋／篠原久／
只腰親和／前田俊文訳

アダム・スミス 法学講義 1762 〜 1763

A5 判・450 頁・6,600 円

1762–63 年にグラスゴー大学で行われたアダム・スミスの法学講義を手稿から再現。司法＝正義と統治の歴史を描き出し，自由で公正な社会を展望した壮大な文明史論にして，『道徳感情論』から『国富論』にいたるスミス思想を体系的に把握するために欠かせない文献。本邦初訳。

〔2012〕978-4-8158-0699-6

毛里和子著

現代中国政治［第 3 版］

—グローバル・パワーの肖像—

A5 判・404 頁・2,800 円

建国 60 年，改革開放 30 年の激動をへて世界有数の大国へと変貌した中国。毛沢東から胡錦濤へと至る政治の変容を，長年の研究により包括的に叙述，かつてない繁栄を迎えたかに見える大国の新たな肖像を描きだす。大幅改訂による最新版。**アジア・太平洋賞大賞，櫻田會特別功労賞受賞**

〔2012〕978-4-8158-0700-9

水島朋則著

主権免除の国際法

A5 判・352 頁・7,600 円

主権平等原則の下，国家が他の国家の裁判権に属することはないとする主権免除の国際法は，国連条約の採択，国内法の整備により変動期を迎えている。基地問題や戦後補償問題にも影響を及ぼす重要問題を，私人の請求処理など看過されてきた論点を踏まえて分析する。**安達峰一郎記念賞受賞**

〔2012〕978-4-8158-0716-0

吉田真吾著

日米同盟の制度化

—発展と深化の歴史過程—

A5 判・432 頁・6,600 円

世界最高水準の高度な制度化を実現した二国間同盟は，いかにして生まれたのか？　日米初の安全保障協議の設置からガイドラインの策定へと至る軌跡を，新たな水準の実証分析と最新の同盟理論をもとに解明，自主防衛路線と日米同盟路線の相克として描いてきた通説を書きかえる注目の成果。

〔2013〕978-4-8158-0717-7

飯山雅史著

アメリカ福音派の変容と政治

—1960 年代からの政党再編成—

菊判・456 頁・6,600 円

宗教右派が呼び起こした政治的うねりは，はたして米国でどれほどの力をもってきたのか。エピソードで語られがちな政治と宗教の関係を，保守的教派と政党対立構造の変化のダイナミズムを焦点に，長期にわたる統計分析によって客観的に把握し，米国の今後を展望した画期的労作。

〔2013〕978-4-8158-0734-4

将基面貴巳著

ヨーロッパ政治思想の誕生

A5 判・324 頁・5,500 円

権力と相互依存，暴政と同意など，「ヨーロッパ文化」の形成とともに聖俗の間から立ち上がった，「政治」をめぐる知の営みは，いかなる特質をもち，どのように展開したのか。現実の政治状況に応答するなか，諸伝統から発展を遂げた思想の形を，明快に描き出す。**サントリー学芸賞受賞**

〔2013〕978-4-8158-0738-2

末近浩太著

イスラーム主義と中東政治

—レバノン・ヒズブッラーの抵抗と革命—

A5 判・480 頁・6,600 円

暴力と平和，過激と穏健——真実はどこにあるのか。「自爆テロ」から民主政治まで多様な貌をもつイスラーム主義組織「ヒズボラ」の，知られざる実像を初めて明らかにし，激動するレバノン政治・中東政治・国際政治のダイナミクスを深部から描き出す。**地域研究コンソーシアム賞受賞**

〔2013〕978-4-8158-0750-4

山岸敬和著　南山大学学術叢書

アメリカ医療制度の政治史
—20 世紀の経験とオバマケア—

A5 判・376 頁・4,500 円

オバマケアの挑戦——。豊かなはずのアメリカでなぜ国民皆保険の実現が難しいのか。国のあり方と切り結ぶ医療制度の展開を歴史的にたどるとともに，現在のオバマ改革をめぐる動きと葛藤を，現地の多様な「声」からヴィヴィッドに捉え，アメリカ政治と医療の行方を展望する力作。

〔2014〕978-4-8158-0769-6

三牧聖子著

戦争違法化運動の時代
—「危機の 20 年」のアメリカ国際関係思想—

A5 判・358 頁・5,800 円

国際関係を権力闘争に還元する見方も，「悪」の侵略国に対する「善」なる制裁という見方も説得力を失った。合衆国における戦争違法化思想をトータルに跡づけ，忘却された戦間期のラディカルな展開を再考することで，国際秩序の新たな可能性を探る。**アメリカ学会清水博賞受賞**

〔2014〕978-4-8158-0782-5

林　載桓著

人民解放軍と中国政治
—文化大革命から鄧小平へ—

A5 判・254 頁・5,500 円

文化大革命への解放軍の介入はいかにして起こり，その後の中国政治に何をもたらしたのか。毛沢東の役割，林彪事件，中越戦争の理解を一新，改革開放に向けた大転換の知られざる道筋を示した，気鋭の著者による画期的論考。**アジア・太平洋賞特別賞，発展途上国研究奨励賞受賞**

〔2014〕978-4-8158-0786-3

稲吉　晃著

海港の政治史
—明治から戦後へ—

A5 判・400 頁・5,800 円

横浜・神戸に代表される国際貿易港から全国の中小港湾まで，帝国日本を世界と結んだ海港はいかにして形成されたのか。開港から戦後に至る史的展開を示しつつ，港湾整備の知られざる難題を剔出，日本の交通インフラ整備が抱える政治的課題をも浮き彫りにした近代海港史。**藤田賞受賞**

〔2014〕978-4-8158-0789-4

福田真希著

赦すことと罰すること
—恩赦のフランス法制史—

A5 判・384 頁・6,400 円

古代・中世から絶対王政・フランス革命を経て共和制期に至るまで，政体の如何を問わず実質的に存続した恩赦。「主権の証」とも見なされるその権利は，各時代の諸勢力とどのような関係を結んだのか。法制・思想・実態の視点から恩赦の歴史を跡づけ，刑罰中心の権力観を刷新する意欲作。

〔2014〕978-4-8158-0790-0

川島正樹著

アファーマティヴ・アクションの行方
—過去と未来に向き合うアメリカ—

A5 判・240 頁・3,200 円

差別なき公正な社会の実現は可能なのか。奴隷制が横行した植民期から，「黒人初の大統領」であるオバマの就任まで，「人種」問題を軸に 400 年にわたる米国史をコンパクトに一望し，数々の困難を抱えた積極的差別是正措置の現実と将来を描き出す。

〔2014〕978-4-8158-0791-7

ロバート・D. エルドリッヂ著　吉田真吾／中島琢磨訳

尖閣問題の起源
—沖縄返還とアメリカの中立政策—

A5 判・378 頁・5,500 円

東アジアを揺るがす危機の核心とは何か。日本，米国，国府，中国，そして民間アクターの複雑な動きを詳細に叙述，沖縄返還と米国の中立政策の影響を軸に，尖閣が妥協の困難な領土問題として浮上する過程を鮮明に描き出す。**大平正芳記念賞，国基研日本研究賞奨励賞受賞**

〔2015〕978-4-8158-0793-1

近藤則夫著

現代インド政治

—多様性の中の民主主義—

A5 判・608 頁・7,200 円

12 億の人口を抱え，民族・宗教的にも経済的にも多様なインドはどのように動いているのか？　インドの政治は，実は経済成長以上の驚異である。独立から現在までの民主主義体制の構造変化を軸に，巨大で複雑な全体像を，叙述的分析と統計的分析によって描いた待望の著作。**樫山純三賞受賞**

〔2015〕978-4-8158-0794-8

塩出浩之著

越境者の政治史

—アジア太平洋における日本人の移民と植民—

A5 判・524 頁・6,300 円

北海道・樺太へ，ハワイ・満洲・南北アメリカへ——。日本人移民の政治統合は，日本およびアジア太平洋地域の秩序にどのようなインパクトをもたらしたのか。移民史・政治史の盲点を克服し，新たな全体像を描いた労作。**毎日出版文化賞，サントリー学芸賞，角川源義賞受賞**

〔2015〕978-4-8158-0820-4

渡辺将人著

現代アメリカ選挙の変貌

—アウトリーチ・政党・デモクラシー—

A5 判・340 頁・4,500 円

米国政治は選挙で動く。コンサルタント主導のメディア戦略では手の届かなかった多様な人々をいかにして摑んでいくか。オンライン技術とともに新たな潮流が展開する選挙民対策の現場から，デモクラシーの進展と分裂の可能性をともに孕んだ米国選挙の現在を浮彫りに。**大平正芳記念賞受賞**

〔2016〕978-4-8158-0824-2

毛里和子／毛里興三郎訳

ニクソン訪中機密会談録［増補決定版］

四六判・354 頁・3,600 円

機密文書公開，そして検閲解除——。日本は，アジアは，世界は？　今日の米中関係の始まりとなった，毛沢東，周恩来，ニクソン，キッシンジャーによる世紀の外交交渉の全貌！　黒塗りだった箇所を初めて邦訳し，新たに公開された資料を増補するとともに，詳細な解説を加えた決定版。

〔2016〕978-4-8158-0843-3

岡田　勇著

資源国家と民主主義

—ラテンアメリカの挑戦—

A5 判・396 頁・6,800 円

民主体制下で繰り返される紛争と抗議運動をのりこえ，発展への合意を導くカギとは？　資源ブームが引き起こした人々の政治参加の核心を，歴史的・構造的に解明，「資源の呪い」などをめぐる通説を斥け，根源的に考察。**発展途上国研究奨励賞，ラテン・アメリカ政経学会研究奨励賞受賞**

〔2016〕978-4-8158-0848-8

六鹿茂夫編

黒海地域の国際関係

A5 判・422 頁・6,300 円

西欧・ロシア・中東の狭間に位置し，歴史上つねに国際政治の焦点だった黒海。冷戦後の EU／NATO とロシアの綱引きの中，紛争や跨境性を伴いつつトルコ，ウクライナ，ジョージア，バルカン諸国等が織りなす地域の動態を，外交・経済から宗教まで多面的に分析，その全体像を描き出す。

〔2017〕978-4-8158-0863-1

真崎　翔著

核密約から沖縄問題へ

—小笠原返還の政治史—

A5 判・268 頁・4,500 円

小笠原返還は戦後日米関係の小さなエピソードではない。沖縄の基地問題に影を落としたその実像をアメリカの核戦略の変容を手がかりに解明，二つの返還と核密約の連関をトータルに捉え，日米の非対称な交渉過程がもたらした沖縄問題の知られざる起源を照射。**日本島嶼学会研究奨励賞受賞**

〔2017〕978-4-8158-0871-6

ハンナ・ピトキン著　早川誠訳

代表の概念

A5 判・426 頁・5,400 円

政治における代表とは何か。選挙で選ばれたことか，権威を有することか，それとも国民の構成を反映していることか。「代表（representation）」の語義に立ち戻り，ホッブズの議論から自由主義まで，思想の土台より政治的代表の意味を検討し，代表論の古典となった名著，待望の翻訳。

〔2017〕978-4-8158-0892-1

井口治夫著

誤解された大統領

―フーヴァーと総合安全保障構想―

A5 判・422 頁・5,800 円

大恐慌への対応を批判され，無能とされた大統領。しかし人道支援・環境保護などの先駆的政策は，今日狭く理解されがちな「人間の安全保障」の源流でもある。共和党右派，マッカーサー，アイゼンハワーなどの米国政治の群像を鮮やかに捉え，日本の占領政策にも新たな光を投げかける。

〔2018〕978-4-8158-0904-1

宮崎洋子著

「テロとの闘い」と日本

―連立政権の対外政策への影響―

A5 判・382 頁・5,400 円

湾岸戦争の教訓を胸に，補給支援などの協力に乗り出した日本が，米国の圧力を受けながらも，主要同盟国にくらべ抑制的な関与にとどまりえた理由とは何か。連立小政党の機能からそのメカニズムを解明，国際／国内政治の連動をとらえ，「テロとの闘い」の十年を初めて包括的に描き出す。

〔2018〕978-4-8158-0917-1

大久保明著

大陸関与と離脱の狭間で

―イギリス外交と第一次世界大戦後の西欧安全保障―

A5 判・532 頁・6,800 円

平和を維持する仕組みはどのように構想され，なぜ脆弱化したのか？　国際連盟を含む複数の安全保障観やヨーロッパ派と帝国派のせめぎ合い等のなか，西欧への関与の揺らぐイギリスの外交姿勢と諸国との交渉過程を，膨大な史料から精緻に描き出し，現在への示唆に富む気鋭による力作。

〔2018〕978-4-8158-0918-8

西　平等著

法と力

―戦間期国際秩序思想の系譜―

A5 判・398 頁・6,400 円

「国際法 vs 現実政治」を超えて――。第一次世界大戦後の国際法学の中から「国際政治学」的思考は誕生した。〈国際紛争は裁判可能なのか〉という国際連盟期の最重要課題を軸に，法と力の関係を捉える諸学説の系譜をたどることで，モーゲンソーや E. H. カーらの思想を位置づけ直す。

〔2018〕978-4-8158-0919-5

今野　元著

吉野作造と上杉慎吉

―日独戦争から大正デモクラシーへ―

A5 判・484 頁・6,300 円

「民本主義」対「国家主義」の単純な枠組みに収まりきらない，近代社会科学最大のライバルの共通基盤と真の分水嶺はどこにあったのか。ドイツ経験などの見過ごされた契機も手掛かりに，近代日本政治の現実の焦点を捉え，デモクラシーと帝国をめぐる議論に新たな地平を拓く。

〔2018〕978-4-8158-0926-3

鶴田　綾著

ジェノサイド再考

―歴史のなかのルワンダ―

A5 判・360 頁・6,300 円

1994 年の悲劇を導いた力学は，「多数派部族による少数派の虐殺」という標準的な解釈では捉えきれない。脱植民地化から体制の転換を経て内戦へと向かう複雑な過程を，国際的な文脈に置きなおして丹念にたどり，その深奥から理解を一新する意欲作。**日本アフリカ学会研究奨励賞**

〔2018〕978-4-8158-0931-7

清水　麗著

台湾外交の形成
—日華断交と中華民国からの転換—

A5 判・344 頁・5,400 円

「一つの中国」の原則と，国際社会での地位存続との板挟みの中で，台湾は何を選択してきたのか。安全保障をめぐる米国との交渉，国連の中国代表権問題，日中国交回復とその裏での対日断交などを，台湾側の動向を軸にたどり，今日の台湾外交の真の根源を探る。**アジア・太平洋賞特別賞受賞**

〔2019〕978-4-8158-0935-5

森際康友編

法曹の倫理［第 3 版］

A5 判・466 頁・3,800 円

考え方の「なぜ」を体系的に学べる法曹倫理の決定版テキスト，好評第 3 版。グローバル化とともに拡大・多様化する法務の実態を反映して記述を一新し，諸外国の法制にも目を配りつつ，良き法曹のあり方を原理に遡って考える。法科大学院「法曹倫理コアカリキュラム」完全準拠。

〔2019〕978-4-8158-0958-4

西山真司著

信頼の政治理論

A5 判・726 頁・8,800 円

市民社会と国家を媒介する概念と見なされる「信頼」——。良好な政治のミクロな指標として注目を集める一方，従来の信頼論が前提とする認識論やアプローチは深刻な問題を抱えている。ソーシャル・キャピタル論へ至る学説を乗り越えた先に，革新的な政治理論を導き出す気鋭の力作。

〔2019〕978-4-8158-0960-7

佐藤　創著　　南山大学学術叢書

試される正義の秤
—南アジアの開発と司法—

A5 判・298 頁・5,400 円

文字も読めない社会的弱者の権利を守り，裁判所みずから正義を届けるべく始まった公益訴訟。インド経済の急速な発展のもと，司法の恣意的利用をも惹起したその両義的性格を捉え，南アジア法の最大の特徴に迫りつつ，政治の司法化をめぐる世界的潮流をも示す。**発展途上国研究奨励賞受賞**

〔2020〕978-4-8158-0976-8

代田清嗣著

徳川日本の刑法と秩序

A5 判・386 頁・6,300 円

江戸の裁きにおいて，罰せられるべき者はいかにして決まったのか。具体的な判例から江戸期固有の法理を探り出し，西洋法を規範とする刑法観を塗り替えるとともに，幕政を基礎づけた統治原則をも浮き彫りにする。今日に及ぶ日本人の法観念への新たな理解を開く力作。

〔2020〕978-4-8158-0980-5

谷口美代子著

平和構築を支援する
—ミンダナオ紛争と和平への道—

A5 判・392 頁・6,300 円

15 万人に及ぶ犠牲者を出し，日本も関わるアジアの代表的地域紛争の和平をいかに実現すべきか。分離独立紛争とその影に隠れた実態を解明，外部主導の支援の限界を示して，現地社会の視点をふまえた平和構築のあり方を考える。**アジア・太平洋賞特別賞，国際開発研究大来賞，国際開発学会奨励賞受賞**

〔2020〕978-4-8158-0985-0

本部勝大著

租税回避と法
—GAAR の限界と解釈統制—

A5 判・336 頁・7,200 円

スターバックスやアップル，グーグル等，名だたるグローバル企業が行い，世界的に問題化した租税回避行為をいかに抑止すべきか。各国で導入が進む GAAR の効果と限界を浮彫りにし，岐路に立つわが国がとるべき道を，GAAR にかわる第三のアプローチとともに提示。**租税法学会賞受賞**

〔2020〕978-4-8158-0999-7

中兼和津次著

毛沢東論

—真理は天から降ってくる—

四六判・438 頁・3,600 円

その男は中国に何をもたらしたのか——。大躍進政策や文化大革命によって大量の犠牲者を出しながら，現在なお大陸で英雄視される稀代の指導者。「秦の始皇帝＋マルクス」とも言われる，その思想と行動を冷静かつ大胆に分析。中国経済研究をリードしてきた碩学が，現代中国の核心に迫る。

〔2021〕978-4-8158-1023-8

五十嵐隆幸著

大陸反攻と台湾

—中華民国による統一の構想と挫折—

A5 判・400 頁・5,400 円

大陸奪還と中国統一を目標に展開された軍事・外交政策の実像とその変容を初めて解明。今日の東アジア国際政治の最大の焦点となっている台湾海峡危機の全体像を歴史的視野で描き出す。**大平正芳記念賞，地域研究コンソーシアム賞，猪木正道賞，国際安全保障学会最優秀出版奨励賞受賞**

〔2021〕978-4-8158-1034-4

毛里和子著

現代中国 内政と外交

A5 判・240 頁・3,600 円

世界政治の焦点——。強勢外交と権威主義政治は切り離せない。グローバル大国化した中国の内政と外交を同時にとらえ，国家資本主義から「周縁」問題まで，両者のネクサスに照準を合わせつつ，革命後の 70 年をふまえて現在の姿を浮き彫りにした，第一人者によるエッセンシャルな一冊。

〔2021〕978-4-8158-1035-1

庄司智孝著

南シナ海問題の構図

—中越紛争から多国間対立へ—

A5 判・344 頁・5,400 円

中国の急速な台頭により国際政治の焦点となった危機の構造を，主要な当事者であるベトナム・フィリピンや ASEAN の動向をふまえて解明，非対称な大国と向きあう安全保障戦略をとらえ，米中対立の枠組みにはおさまらない紛争の力学を浮かび上がらせる。**大平正芳記念賞受賞**

〔2022〕978-4-8158-1054-2

西　平等著

グローバル・ヘルス法

—理念と歴史—

A5 判・350 頁・5,400 円

国際的な保健協力が目指す「健康」とはなにか。その実現のために，どのような法や制度が創出されてきたのか。従来の国際法学を超えて，「社会医学」と「生物医学」の対抗関係を軸に，現在の WHO にいたるグローバルな「健康」体制のあり方を問い直す。パンデミックの時代に必読の書。

〔2022〕978-4-8158-1056-6

サラ・ロレンツィーニ著　三須拓也／山本健訳

グローバル開発史

—もう一つの冷戦—

A5 判・384 頁・3,400 円

開発はなぜ，いかにしてなされたのか。米・ソ・欧・中の対抗関係を軸にした実践と，国際機関や私的アクターの国境をこえた活動を描き出し，旧植民地・途上国との相克も視野に，20 世紀初頭の「開発」の誕生から冷戦後までの，無数の思惑が交錯する複雑な歴史をトータルに把握する。

〔2022〕978-4-8158-1090-0

榎本　修著

ローヤリングの考え方

—法律相談・受任から交渉・ADR まで—

A5 判・332 頁・3,200 円

ネットに法情報があふれるこの時代，弁護士に求められる能力とは何か。依頼者の「納得」に欠かせない弁護士実務の基礎的技能を，その「考え方」からとらえなおした決定版。全場面で役立つ実践的スキルとともに，経験則をこえて成長のための道標を体系的に示す。

〔2022〕978-4-8158-1093-1

王　学士著

モラル・リスクと保険

―詐欺請求をめぐる失権法理の展開―

A5 判・454 頁・8,800 円

不実申告・過大請求から保険金殺人まで，急増するモラル・リスクをいかに抑止すべきか。日本での 2008 年保険法制定による変化を踏まえ，詐欺請求時に給付免責が可能とする法理と，その場合の判断基準について，同様の問題を抱えた英米豪での判例・学説も精査し，初めて明確に提示。

〔2022〕978-4-8158-1098-6

高橋力也著

国際法を編む

―国際連盟の法典化事業と日本―

A5 判・546 頁・9,000 円

大国中心の法創造プロセスに風穴をあけ，初めて幅広い主体に国際法を開いた国際連盟の法典化事業。特に積極的な貢献をみせた日本を軸に，失敗とされたハーグ会議の意義を再評価，国益の追求にとどまらない法律家の実像を活写し，国際法の歴史を外交史的アプローチもふまえて描き直す。

〔2023〕978-4-8158-1111-2

医　学

富永祐民／青木国雄編

The UICC Smoking Control Workshop

〔品切〕B5 判・118 頁・2,500 円

1981 年 8 月に名古屋で開かれた UICC（国際対ガン連合）の中の喫煙対策研究会議の報告集。参加各国，特に今まで実体があまり明確でなかったアジア・アフリカ圏についての現状と，喫煙の実態から禁煙の法律についてまで貴重な報告がなされている。

〔1981〕978-4-930689-00-9

ローベルト・コッホ著　永坂三夫訳

結核病因論

B5 判・164 頁・3,000 円

本書は，コッホが 1882 年に結核菌の発見を発表した第一論文と，2 年後にその研究を補足し批判への反論とした第二論文の翻訳。何回もの動物実験や，病人からの結核菌の摘出などの症例をつみ重ねながら結核菌の存在を証明していく医師の執念は鬼気せまり，読者を感動させる。

〔1982〕978-4-930689-01-6

宮川正澄著

無菌空間

―ある医学部教授の半生の記録―

〔品切〕A5 判・394 頁・2,500 円

本書は，第二次世界大戦後の廃虚の中で，無菌空間に無菌生物を創出し，純粋な生体反応の研究の道を切り開き，モルモットの長期無菌飼育達成，ラットの無菌繁殖に成功するなど多くの業績により，日本学士院賞を受賞した日本無菌生物研究所長の波乱に満ちた半生の記録。

〔1983〕978-4-930689-11-5

青木国雄／富永祐民／平山雄／広田豊編

Cancer Prevention in Developing Countries

B5 判・656 頁・12,000 円

Proceedings of the First UICC Conference on Cancer Prevention in Developing Countries. 1981 年の UICC（国際対ガン連合）本会議の報告集。1971 年から 80 年の 10 年間にわたり，48 カ国の発展途上国におけるガンの発生状況を，食物，環境，喫煙などの原因別に調査。

〔1983〕978-4-930689-02-3

市川宏／大頭仁／
鳥居修晃／和気典二編著

日本生命財団出版助成図書

視覚障害とその代行技術

〔品切〕A5 判・310 頁・3,800 円

本書は，わが国の視覚代行技術研究の最近 10 年の歴史から，代行機器の研究過程と，技術開発に当たり解決を要する心理学的・生理学的諸問題を紹介する。〔目次〕医学的側面からみた視覚障害／心理学的側面からみた視覚障害／視覚代行のための生理工学／知的活動の補助／歩行補助

〔1984〕978-4-930689-13-9

祖父江逸郎著

臨床随想

―診る・考える―

〔品切〕四六判・288 頁・1,800 円

臨床では患者は神様である。疾病には各々に特徴的な症候があり，患者は，動作や言語的訴えを通じて疾病が示す特異的な症候を医師に知らせるからである。本書は，神経内科医である著者の豊富な臨床例のなかから，日常臨床で，疾病の病態や診断に役立つことを綴った。

〔1984〕978-4-930689-12-2

栗原登／青木国雄／富永祐民編

Cancer Mortality Statistics in the World

〔品切〕B5 判・120 頁・2,800 円

世界のがん死亡統計の編集出版を通じ，がん研究の推進に貢献した故瀬木三雄教授の業績をたたえ出版された統計集。瀬木先生の統計資料に，さらに 1968 年から 1979 年までの資料を加え，過去 30 年間のがんによる死亡統計を 39 カ国にまたがって調査。臨床家にも必携の書。

〔1984〕978-4-930689-22-1

栗原登／青木国雄／久道茂編

Cancer Mortality Statistics in the World 1950−1985

B5 判・106 頁・3,883 円

前掲 Cancer Mortality Statistics in the World は世界 39 カ国の 1950 年から 1979 年までのがん死亡統計集であるが，本書はその後の調査研究を踏まえて 1950 年から 1985 年までを対象に一層の充実を計り，がん死亡に関する最新の統計情報を提供する。

〔1989〕978-4-8158-0121-2

伊藤文雄著

筋感覚の科学
—運動のたくみさをさぐる—

〔品切〕B5 判・424 頁・8,500 円

ヒトの運動が合目的になされるためには，様々な筋感覚器から伝えられる空間像が一致するとともに，運動による物質界の変化をフィードバックして像を補正しなければならない。本書は，筋感覚の正しい理解により臨床医学における治療やリハビリ，更にはスポーツ科学の発展に寄与。

〔1985〕978-4-930689-33-7

伊藤文雄著　　日本生命財団出版助成図書

筋感覚からみた運動制御

〔品切〕B5 判・420 頁・9,000 円

筋感覚は運動の制御に不可欠な情報でありながら，従来生理学の教科書の中でも余り触れられない分野であった。本書は，運動制御における筋感覚の意義に始まりその機能と構造を詳細に解説。スポーツ科学や老人医学，リハビリ，ロボット工学などの関係者必携の解説書と言えよう。

〔1989〕978-4-8158-0122-9

伊藤文雄著

筋感覚
—骨格筋からのメッセージ—

〔品切〕B5 判・264 頁・8,000 円

無重力空間での宇宙酔いなどで近年注目されている感覚情報，すなわち骨格筋内の感覚情報の起源と，中枢神経系への関与を詳述した。この感覚情報は，姿勢制御や運動疾患にも深く関わり，運動異常の因子になっている。前著『筋感覚の科学』『筋感覚からみた運動制御』の大幅な改訂版。

〔1994〕978-4-8158-0220-2

近藤達平監修　伊藤要／七里元亮編

人工膵臓の基礎と臨床

B5 判・208 頁・8,000 円

糖尿病の治療法として期待される人工膵臓について，その歴史からシステム・種類と構造，将来までをまとめた。〔目次〕1「歴史と概要」／2「Closed-loop 式人工膵臓」／3「Open-loop 式人工膵臓」／4「Bioartificial Pancreas（Hybrid 型）」／5「人工膵臓の将来」。

〔1985〕978-4-930689-26-9

小林寛道著

メキシコの子どもの体力と生活環境
—国際比較へのフィールドワーク—

〔品切〕A5 判・290 頁・3,800 円

インディオと白人の混血であるメキシコ人の体力を，白人や日本人の結果と比較すれば，人種や民族がもつ体力の遺伝的要因を知ることが出来ないか。本書は，こうした問題意識からメキシコの子どもたちの体力を，厳しい貧富の差をも考慮しつつ精査した資料集かつ民族研究書。

〔1985〕978-4-930689-25-2

石塚直隆著

もう一つの軌跡

四六判・364 頁・2,000 円

絨毛性腫瘍の研究などで知られる著者は，名古屋大学学長や大阪府立母子保健総合医療センターの初代総長をも務め，昭和 60 年春に叙勲された。常に人間の誕生にかかわってきた著者が自らの歩みをたどりながら生い立ち，座右銘，教育問題，男と女，外国旅行などについて語る。

〔1985〕978-4-930689-40-5

小川鼎三監訳　酒井恒訳編　　日本生命財団出版助成図書

ターヘル・アナトミアと解体新書

〔品切〕A4 判・780 頁・30,000 円

「解体新書」はオランダ語版「ターヘル・アナトミア」の本文のみの漢訳である。本書は，膨大な註釈を含む現代語の完訳で，わが国に 4 冊しかない「ターヘル…」と「解体新書」全頁を復元，現代語訳と漢文読下し，註解を見開きで対応させた画期的構成である。**日本翻訳出版文化賞受賞**

〔1986〕978-4-930689-46-7

大橋　勝編

アミロイドーシス

―皮膚と全身―

〔品切〕B5 判・270 頁・9,800 円

アミロイドーシスとは，アミロイド線維を主成分とするアミロイド蛋白が組織間隙に沈着する原因不明の代謝疾患である。本書は，「皮膚と全身」に焦点をあてて，基本概念から研究の最前線までを平易に解説する。アミロイドーシスの全体像をつかむ上で必携の書。文献リストも充実。

〔1987〕978-4-930689-54-2

景山直樹編

Proceedings of the First International Symposium on Pediatric Neurooncology

菊判・304 頁・8,000 円

1985 年鳥羽市で開かれた第 1 回国際小児脳腫瘍学会の報告集。Intracranial Tumor of Infancy and Childhood（スイス Karger 社）の姉妹篇で，脳神経外科，神経病理，神経放射線，神経眼科，神経内分泌学等々の世界的研究者による白熱の討論が，78 項目に亘って紹介されている。

〔1987〕978-4-930689-65-8

藪内百治／渡辺一功／岡田伸太郎編　　日本生命財団出版助成図書

Neonatal Brain and Behavior

B5 判・230 頁・8,000 円

脳虚血と頭蓋内出血は新生児の脳性まひの最も重要な原因である。本書は脳性まひに関する最新の研究，つまり脳の損傷についての形態学的，生理学的，代謝・生化学的知見，ポリグラフィや超音波モニターによる診断手技や脳性まひの小児のその後の発達や行動に及ぼす影響について解説。

〔1987〕978-4-930689-70-2

ノエル・S. ワイス著　青木國雄監訳　浜島信之／佐々木隆一郎訳

医療の疫学

―病気の転帰に関する研究―

〔品切〕A5 判・200 頁・4,000 円

実際の具体的症例に即して，検査の意義，治療の効果の評価，薬剤の副作用の測定方法等，臨床家や医療行政担当者にとって必要な事項を平易に解説。費用と恩恵を数量的に測定し，医療の採否に理論的な判断を下す方法を解説した箇所は，わが国の出版物には類をみない。

〔1987〕978-4-930689-81-8

和田武雄／青木国雄／谷内昭編

Current Status of Cancer Research in Asia, the Middle East and Other Countries

B5 判・292 頁・7,000 円

1986 年札幌で行われた UICC（国際対がん連合）と日本がん学会共催の「がんの地域特性についての会議」の報告集。これまで余り明らかにされなかったアジア，中東ならびに他の諸国におけるがんの実態，発生原因，第一次予防とその成果を詳報する。

〔1987〕978-4-930689-76-4

Hearse/Braimbridge/Jynge 著　阿部稔雄監訳

心筋保護法
―基礎と臨床―

〔品切〕B5 判・436 頁・12,000 円

最近の心臓手術は安全なものになった。それは低温と薬剤による心停止下に手術する方法，心筋保護法の開発によるところが大きい。本書はその理論と実際をわかりやすく，かつくわしく述べたもので，欧米諸国で高い評価をうけているものの翻訳である。

〔1988〕978-4-930689-97-9

木村禧代二監修　田嶋基男／柴田偉雄編集　日本生命財団出版助成図書

鑑別を主体とした細胞診断学
―がんの早期発見のために―

〔品切〕B5 判・480 頁・15,000 円

細胞診に関する書物は多いが，これらは大抵典型例について教訓的に記述され，直接役立たず隔靴掻痒の感はまぬかれなかった。本書は，執筆者の多くが実際の細胞検査に携わり，その思惟過程が書かれているので，適確な指針と手法を与えてくれる。カラー症例 120 頁，119 症例所収。

〔1989〕978-4-8158-0104-5

H. デュピィ／G. ツェレット著　松本忠雄／岡田晃他訳

全身振動の生体反応

〔品切〕A5 判・224 頁・4,500 円

輸送交通機関関係者とその利用者，建設現場の作業者や付近の住民等，機械振動にさらされる人々は，身体的・精神的にその影響を様々な形で受けている。本書は，このような全身振動の影響を産業医学の今日の水準から究明し，関連する病気の補償と予防対策に指針を与える。

〔1989〕978-4-8158-0112-0

田嶋基男／社本幹博／山岸紀美江編

細胞診の基礎と応用
―臨床検査技師・細胞検査士になるために―

〔品切〕B5 判・230 頁＋カラー 38 頁・8,000 円

初めて細胞診を学ぶ学生に分り易く系統立てて理解させるためにはどのような教科書が必要か？このような視点にたち永年現場の第一線で教え，かつ，各種試験の出題委員なども務めた筆者たちが，経験から割り出し充分に検討して作られた細胞診のための最新の教科書。カラー図版 300 枚。

〔1990〕978-4-8158-0138-0

塩野谷恵彦著

Buerger's Disease
―Pathology, Diagnosis and Treatment―

B5 判・266 頁・8,000 円

厚生省特定疾患（難病）にも指定されている Buerger 病はその研究の歴史が百余年にもなるが，今なおその本態については結論をみていない。本書は，70 年にわたる名古屋大学第一外科の研究成果をもとに，現時点における本疾患の研究の現状と問題点を整理し，まとめられた。

〔1990〕978-4-8158-0150-2

長与健夫著

History of Japanese Medicine in the Edo Era
―Its social and cultural backgrounds―

〔品切〕四六判・224 頁・3,500 円

江戸時代に活躍した杉田玄白，前野良沢，シーボルトなど多くの医師の業績を辿りながら，業績をあげるに至った動機，時代背景，また蘭学が漢方との相剋を色濃くしながらも自然科学の他の領域にも拡がり，現在の医学教育のヒナ型が江戸時代にあったことを平易に描く。

〔1991〕978-4-8158-0162-5

R. ドル／R. ピート著　青木国雄／大野良之訳

ガンはどれだけ避けられるか
―今日のアメリカの研究成果から―

〔品切〕A5 判・312 頁・4,369 円

がんを避ける（発生を防ぐ）にはどうしたら良いかという視点に立って過去の文献や資料を再解析し，がんの原因と発生機序を人間のみのデータをもとに疫学的に調査，研究した。その結果，人間のがんの大部分は避けることが出来るという結論に達した画期的な書である。

〔1991〕978-4-8158-0164-9

祖父江逸郎著

臨床の視点

四六判・272 頁・2,000 円

臨床は医師と患者の触れ合いの場である。患者はいつも新しい問題の提供者であり，医師はいつも真剣勝負の構えが必要である。好評の『臨床随想』の続篇である本書は，このような日常臨床から得られたヒントをもとに，新たに高齢医療にも焦点をあてて綴られた待望のエッセイ集である。

〔1992〕978-4-8158-0192-2

阿部稔雄編

大動脈解離

―病理・診断・治療―

B5 判・224 頁・9,000 円

1 週間以内の死亡 62%，2 週間以内 80%，3 カ月以内 89%といわれるこの疾患は近年増加の傾向にある。迅速な診断と適確な治療方針の必要な怖るべき疾患に如何に対処すべきか。病理，病型，自然予後，治療方針のたて方，外科治療にわたって最新の治療体系をまとめた本邦初の成書。

〔1992〕978-4-8158-0194-6

田嶋基男／松田実／社本幹博／山岸紀美江編

臨床細胞学

―textbook of clinical cytology―

B5 判・352 頁・9,515 円

1990 年に刊行し好評を得た『細胞診の基礎と応用』をもとに，新しく老人保健法，癌遺伝子などの項目を加え大幅に改訂。カラー写真の細胞標本も本文に対応する箇所に入れ，よりビジュアルで読み易くした，臨床検査技師を目指す人と指導医のための教科書。

〔1993〕978-4-8158-0198-4

栗田宗次／須知泰山／小川一誠／中村栄男著

悪性リンパ腫細胞診アトラス

―診断と治療の選択―

〔品切〕B5 判・112 頁・8,000 円

本文を解説編とアトラス編にわけ，解説編では，必要な手技や構成細胞について述べ，アトラス編では，代表的な症例をメイ・ギムザ染色と Pap. 染色による細胞像を HE 染色による組織像とともにカラー写真で示した。特に従来解説が不十分だった T・B 細胞系列について詳述した。

〔1994〕978-4-8158-0238-7

岩田久／見松健太郎／佐藤啓二／長谷川幸治編

整形外科医のノウハウ・ポイント

B5 判・288 頁・4,500 円

インフォームドコンセントが重視される中，患者との対応の仕方など医療の基本的な所で問題が多い。そのために，テキストに記載されることは少ないが医療の現場で重視されだした医師としての人間性や基礎的な所見の取り方，研究の方法などを整形外科の新人医師のために纏めた。

〔1995〕978-4-8158-0253-0

堀場希次／澤田勤也／田嶋基男編

病態生理と看護学

B5 判・302 頁・3,800 円

看護学校の 4 年制導入を踏まえ，ハイブローな医療者としての看護師を養成すべく，病の各種症状とその発生のメカニズムを分かりやすく説明し，対応する看護法を詳述したテキスト。類書には記述の少ない「無菌室看護」や「訪問看護」，「在宅看護」にも多くの頁を割いた。

〔1996〕978-4-8158-0284-4

伊藤文雄編

クローズアップ生理学

―理学療法士・作業療法士のための生理学―

B5 判・252 頁・4,000 円

理学療法士や作業療法士のために書かれた生理学のテキスト。生理学のテキストは多いが，ほとんどが古い知識によっており，実際に役立つものが少ない。本書は，最新の知識に基づき，かつ理解しやすいように図を多用した。医学部学生や体育生理学の専門家にも役立つように配慮されている。

〔1996〕978-4-8158-0296-7

加藤延夫／石垣武男／林博史／鈴木善男編

インドへの医療協力

—名古屋大学とサンジャイ・ガンジー医科学研究所の交流—

〔品切〕B5 判・258 頁・5,000 円

90 年 8 月から 95 年 7 月までの 5 年間，インドのサンジャイ・ガンジー医科学研究所への名古屋大学医学部挙げての医療協力を，事前調査の段階から計画・実践・成果・問題点まで専門分野ごとに事業に携わった医師達とインド側からの研修医達が記録した，国際協力を考える上で示唆に富む書。

〔1997〕978-4-8158-0308-7

飯島宗一／加藤延夫監修　堀田知光／太田美智男編

人間性の医学

四六判・388 頁・2,400 円

現在医学が直面している問題と最新の研究を医学者と評論家，哲学者が多角的に考察する。柳田邦男「尊厳死・安楽死」，山口昌男「文化人類学からみた“医”の構造」，伊藤正男「意識の脳科学」等。1995 年に名古屋で開催された第 24 回日本医学会総会を記念して刊行された。

〔1997〕978-4-8158-0316-2

太田美智男編

テキスト医学生物学

B5 判・350 頁・6,000 円

多くの大学で教養部が廃止され医学部は 6 年一貫教育となった。本書は専門教育へのステップとして，より理解し易いテキストを目指して，気鋭の研究者，臨床医が医学の基礎となるヒトの生物学を，遺伝，細胞，発生と分化等，各分野ごとに熱意を込めて執筆した新しい入門書である。

〔1997〕978-4-8158-0322-3

浅井淳平著

井底蛙談

—或る研究者の心象風景—

四六判・320 頁・2,500 円

大学人・病理学研究者として 38 年間，母校に場を与えられた著者が，井の底の蛙のように限られた視角の中で思念したことどもを束ねたエッセイ集。医学的に人の死生を冷徹に受けとめる立場にあった著者の，真理を求めつづけたロマンと生命への深い畏敬の念が全編に溢れ出ている。

〔1997〕978-4-8158-0324-7

原一夫／大橋勝著

メラノサイト病変

—病理組織の見方と鑑別診断—

B5 判・144 頁・8,000 円

メラノーマ（ほくろの癌）の病理診断は，早期では救命となり，進行期では時に死の宣告となる。本書では，近年増加の傾向にある皮膚のメラノサイト病変全般にわたって，皮膚科医や病理医が知っておくべき病理診断のポイントを，簡潔な記述と多くの症例写真を用いて分かり易く示した。

〔1997〕978-4-8158-0335-3

小林達也編

ガンマナイフ治療

—症例を中心として—

B5 判・210 頁・12,000 円

ガンマナイフとはガンマ線を使い脳の中の動静脈奇形や腫瘍を治療する無侵襲の手術技術である。本書では 1991 年全国に先駆けて治療を開始し，1,500 人以上の患者を手掛けた小牧市民病院の医師たちがガンマナイフ治療の歴史と実際を簡潔にまとめ，104 例の症例について詳しく解説した。

〔1998〕978-4-8158-0336-0

伊藤文雄編

クローズアップ臨床栄養学

B5 判・164 頁・4,000 円

従来の栄養学は，体外の物質から補給する飲食物を中心に考えられていたが，本書は飲食物を摂取する体の側に視軸を置き，医学的な基礎知識を中心に据えたテキストである。現代医学の最前線である遺伝子解析やホルモンの働き，細胞膜にある受容体の変化なども図を多用して平易に解説した。

〔1998〕978-4-8158-0341-4

岩田久監修　長谷川幸治／横江清司著

よくわかる膝関節の病気・ケガ

A5 判・142 頁・1,800 円

膝の関節は，病気やケガでもっとも影響を受けやすい。特にスポーツによる外傷や障害は，膝が一番多い。また高齢化にともない，変形性膝関節症の患者が飛躍的に増加している。こういった現状をふまえ，膝関節の病態やその予防方法をイラストでわかりやすく解説。

〔1998〕978-4-8158-0348-3

坂行雄監修　佐竹立成編

急性死の症例 100

―臨床と病理―

B5 判・278 頁・10,000 円

名古屋掖済会病院で剖検された 100 症例を選び，その臨床経過と剖検所見を対比させ検討を加えた。特に各分野の専門医が症例ごとに，コメントなどを担当。視覚的にも読者に理解しやすいように，2 頁で一症例を紹介。救命救急医療に関わる医療従事者に必携の書。

〔1998〕978-4-8158-0349-0

玉木正男／林文子／林邦昭著

新版 臨床医学概論

―放射線診療学を学ぶ人のために―

B5 判・166 頁・3,800 円

最新の鮮明な X 線 CT，MRI などの画像を満載した臨床医学入門書。放射線領域のみならず，臨床医学全般にわたって知っておくべき知識を厳選・整理して提示する。遺伝子治療，臓器移植，介護保険など現代の医療問題や医療倫理の記述も盛り込んだ放射線技師養成に最適のテキスト。

〔1999〕978-4-8158-0363-6

上田　実編

ティッシュ・エンジニアリング

―組織工学の基礎と応用―

B5 判・302 頁・9,000 円

近年の組織工学研究の発展は目覚ましく，この技術を応用した製品開発が世界中で急速に進んでいる。本書は，基礎生物学的情報，培養臓器研究等，最新の知見を提示した本邦初の成書であり，臨床医には基礎的背景の理解のための手引き，基礎研究者には臨床現場を理解する手助けとなろう。

〔1999〕978-4-8158-0370-4

齋藤英彦／吉田純編

遺伝子医療

―基礎から応用へ―

B5 判・292 頁・6,500 円

本書は，遺伝子治療を中心に，遺伝子の基礎から遺伝子診断，生殖医療などの臨床応用の最先端までを系統的に解説。特に名古屋大学医学部での国産独自技術による遺伝子治療や北大，東大，岡山大などでの臨床研究を盛り込んだ。国内外での遺伝子医療の現状をトータルに知る上で必携。

〔2000〕978-4-8158-0385-8

浜島信之著

多変量解析による臨床研究［第3版］

〔品切〕A5 判・248 頁・4,800 円

治療効果などの判定に用いられる多変量解析の中心的手法，比例ハザードモデルとロジスティックモデルに焦点をあてて解説。この第 3 版では臨床研究に使用され始めた「landmark 法」「メタアナリシス」等，最新の知見と解析手法を盛り込み，臨床家・疫学者にも必要十分の一冊に仕上げた。

〔2000〕978-4-8158-0386-5

渡邊一功／森島恒雄／小島勢二監修　堀部敬三／梶田光春編

小児科診療マニュアル

四六判・648 頁・7,500 円

本書は，小児科医，内科医，研修医などを対象に第一線の現場ですぐ役に立つよう編集された「診断と治療」のハンドブックである。とくに小児科一般臨床で 3 年に一例は経験するであろう疾患を対象として，最新の治療法を具体的に詳述。名古屋大学小児科学教室の総力を結集した一冊。

〔2002〕978-4-8158-0427-5

鈴森薫／吉村泰典／堤治編

新しい産科学
—生殖医療から周産期医療まで—

B5 判・286 頁・4,800 円

本書は，妊娠，分娩の生理など周産期医療に重点をおきつつ，生殖医療についても最先端から生命倫理まで丁寧に解説したテキストである。医師国家試験のガイドラインに基づき重要項目を網羅するとともに，産科学を総括的に吸収できるように編集した医学生，看護学生，助産師必携の書。

〔2002〕978-4-8158-0434-3

高柳哲也編

介助犬を知る
—肢体不自由者の自立のために—

A5 判・354 頁・2,800 円

障害者の日常動作を援助する介助犬は，2002 年成立の身体障害者補助犬法で初めて法的に位置づけがなされた。本書はこの「生きた自助具」について，有効性や日本での現状と課題などトータルに紹介しており，医療・福祉関係者のみならず，介助犬に関心を持つ全ての人が対象の書である。

〔2002〕978-4-8158-0452-7

堀田饒監修　糖尿病と血管障害に関する研究会編

糖尿病
—予防と治療のストラテジー—

B5 判・336 頁・5,000 円

糖尿病人口は著増しており，今後も増加の一途をたどるであろう。本書は，日常診療において十分な対応ができるよう，最新の知見にもとづき，合併症に重点をおきつつ糖尿病の予防と治療の実際，医療経済と治療の最前線まで丁寧に解説，糖尿病に関わる医療関係者に必要十分な一冊とした。

〔2003〕978-4-8158-0454-1

中辻憲夫編

再生医学の基礎
—幹細胞と臓器形成—

B5 判・212 頁・6,500 円

将来の臨床応用に向けて，再生医学への期待が高まっている。本書は，肝臓・脳神経・骨など全身の臓器・組織について，発生生物学的な基礎的知見を丹念に整理すると同時に，ES 細胞・組織幹細胞などを用いた最先端の研究の状況，今後の展望まで系統的にバランスよく記述した。

〔2003〕978-4-8158-0466-4

後藤節子／森田せつ子／鈴木和代／大村いづみ編

新版 テキスト母性看護 I

B5 判・222 頁＋別冊 32 頁・3,700 円

母性看護学の概論や保健分野を中心に扱いつつ，性差医学・生殖補助医療など最新の話題も解説。母子をめぐる日本社会の大きな変化や医学の発展を踏まえ，新たな知見を大幅に取り入れ全面的に改訂を加えた本書は，看護学生のみならず看護師のリフレッシュ教育としても最適のテキスト。

〔2005〕978-4-8158-0512-8

後藤節子／森田せつ子／久納智子／濱松加寸子編

新版 テキスト母性看護 II

B5 判・310 頁・4,300 円

妊・産・褥婦と新生児の生理学的特性，周産期の正常・異常経過とその看護を，看護教官・助産師・医師らが詳細に解説。改訂にあたり記述を全面的に改めるとともに，カンガルーケアや母乳育児の確立のためのポイント，周産期のメンタルヘルスなど最新の医療・ケアの情報も収録した。

〔2005〕978-4-8158-0513-5

高柳泰世／愛知視覚障害者援護促進協議会編

視覚代行リハビリテーション
—視覚障害者と高齢者のために—

A5 判・190 頁・2,600 円

中途視覚障害者や，高齢者を含むローヴィジョン者は，他の感覚で視覚機能を代行することで，視覚が正常であったときに近い質の高い生活を送れるようになる。本書は，訓練法や補助具，工夫について，医師をはじめさまざまな専門分野の著者が，永年の経験に基づきわかりやすく解説した。

〔2005〕978-4-8158-0524-1

中島　泉編

免疫実験法ハンドブック

B5 判・376 頁・7,600 円

免疫学の歴史と主要概念を総覧するとともに，実験に必要な基礎的技法から，発展と生命科学への応用，臨床までの手技を，現場で実地に活用できるよう具体的に詳述。基礎医学研究に携わる全ての学生・研究者，臨床現場で免疫学的知見を必要とする医師・臨床検査技師などに必携の書。

〔2006〕978-4-8158-0536-4

見松健太郎／河村守雄著

やさしい肩こり･腰痛･シビレの話［第 2 版］

A5 判・198 頁・2,200 円

多くの人が抱え，症状も様々な肩こり・腰痛・手足のシビレ。本書は，短い診察時間では話せない，病気の原因や治療の方法，手術の内容を，専門医がイラストや写真を多用して分かりやすく解説する。治療の最新情報や診察現場での新発見を増補し，より詳しくなった，患者のための一冊。

〔2008〕978-4-8158-0578-4

井口昭久編

これからの老年学［第 2 版］

―サイエンスから介護まで―

B5 判・354 頁・3,800 円

老化のメカニズムに始まり，疾病，医療，看護，介護，福祉まで，高齢者に関わる問題をトータルに，きめ細かく解説する。介護保険等，近年の制度変更の詳しい内容も盛り込み，医学生・看護学生だけでなく，ケアマネジャーなどの介護福祉関連の職業を志す人も対象とする最良の入門書。

〔2008〕978-4-8158-0579-1

菅沼信彦著

最新 生殖医療

―治療の実際から倫理まで―

A5 判・242 頁・3,600 円

生殖補助医療は身近になった一方で，進歩ゆえに生じた複雑な社会的・倫理的問題に直面している。本書は，最新の不妊治療法を詳述するとともに，ES 細胞・iPS 細胞等の先端科学技術の応用や，代理母・配偶子提供などが抱える現代的課題も取り上げ，その光と影をトータルに解説する。

〔2008〕978-4-8158-0582-1

長屋昌宏著

新生児 ECMO

―臨床の手引き―

A5 判・200 頁・4,600 円

高度な呼吸循環障害に陥った新生児の肺や心機能を補助する ECMO（エクモ）について，第一人者が豊富な臨床経験に基づきわかりやすく解説。ECMO の開始から離脱までの実技，維持管理の実際はもちろん，基礎知識や今後の課題をも網羅した，医師・臨床工学技士・看護従事者必携の書。

〔2008〕978-4-8158-0593-7

H. ヨアンソン他編　間野忠明監訳　岩瀬敏／中田実訳

ストレスと筋疼痛障害

―慢性作業関連性筋痛症―

A4 判・310 頁・8,400 円

職場環境や心理社会的要因から生じる筋肉・骨・関節等の慢性的な痛みや不快感について，病態メカニズムを明らかにしつつ，疫学・生理学・病理学など各分野の研究成果に基づき，臨床・治療に不可欠な知見を集約。医師やリハビリテーション医学・東洋医学・ストレス治療関係者のために。

〔2010〕978-4-8158-0632-3

古池保雄監修　野田明子／中田誠一／尾崎紀夫編

基礎からの睡眠医学

B5 判・460 頁・5,800 円

もはや現代の“国民病”といわれ，24 時間型・高齢社会のなかで増加する睡眠障害。その臨床に必須の睡眠医学について，基礎知識から各検査法および症状・診断・治療まで，最新の知見を踏まえつつ，わかりやすく解説する。医師，コ・メディカル，保健学系・医学系学生必携の書。

〔2010〕978-4-8158-0638-5

フランク・B. フー著　小林身哉／八谷寛／小林邦彦監訳

肥満の疫学

B5 判・492 頁・9,500 円

世界的に肥満が蔓延する中，わが国でも肥満やメタボリックシンドロームの急増に警鐘が鳴らされている。肥満の疫学研究について解説するとともに，肥満が社会に及ぼす影響や肥満の原因，肥満が関わる疾患について現在の知見を集約した待望の書。肥満の研究・予防・治療に携わる人に。

〔2010〕978-4-8158-0644-6

ジェニー・ストロング他編　熊澤孝朗監訳

痛み学

―臨床のためのテキスト―

B5 判変型・578 頁・6,600 円

痛みに取り組むための国際的テキストの邦訳新版。医療の現場では避けて通れない痛みのメカニズム・評価・マネジメント，痛みと心理・生活スタイル等を包括的に解説し，エビデンスに基づいた効果的な介入・治療を促す。作業療法士・理学療法士ほか，痛みの治療・研究に携わる人に。

〔2010〕978-4-8158-0646-0

下野恵子／大津廣子著

看護師の熟練形成

―看護技術の向上を阻むものは何か―

A5 判・262 頁・4,200 円

日本の病院と教育の現状から考える――。看護師の熟練形成がうまくいっていないのはなぜか。看護師は本当に不足しているのか。医療と看護の現在を各種調査にもとづく国際比較や内在分析から冷静に捉え，真の“医療崩壊”を防ぐために看護師の仕事とスキルアップを支援する制度を提言。

〔2010〕978-4-8158-0647-7

鈴木富雄／阿部恵子編

よくわかる医療面接と模擬患者

A5 判・192 頁・1,800 円

医療面接の基本知識と，医療面接の実習の場で患者役を演じる“模擬患者”になるための方法や具体的な実習の進め方を，第一線の執筆陣が最新の情報を盛り込みながら，やさしく解説する。医学・歯学・薬学・助産・看護分野のシナリオ集も掲載した，今日から練習に使える一冊！

〔2011〕978-4-8158-0659-0

市原　周著

新版 乳腺病理学

―細胞・組織・画像―

A4 判・124 頁・5,400 円

最新の WHO 分類（ブルーブック）第 4 版に準拠し，乳腺疾患の概念，針生検を含む病理診断のポイント，臨床画像などを簡潔・明快にまとめた，待望の改訂版。組織像や細胞像のカラー写真も大幅に更新・増補し，見やすい形で掲載。医師・臨床検査技師・診療放射線技師必携の書。

〔2013〕978-4-8158-0722-1

イボンヌ・ダーシィ著　波多野敬／熊谷幸治郎監訳　山口佳子訳

高齢者の痛みケア

A5 判・220 頁・2,700 円

高齢者の痛みをどうケアするか。痛みのとらえ方や鎮痛薬の用い方，痛みを緩和するための補完的方法等について述べた，医療や介護の場で使える実践的な一冊。医師や看護従事者，リハビリスタッフ，介護・福祉関係者，患者家族，医療系学生など，高齢者の痛みにかかわるすべての人に。

〔2013〕978-4-8158-0732-0

島本佳寿広編

新版 基礎からの臨床医学

―放射線診療に携わる人のために―

B5 判・284 頁・3,700 円

臨床現場で必要な事項について，初歩から最先端の話題まで取り上げ，わかりやすく述べた好評テキストの最新版。最新の臨床画像を多数掲載し，医療被曝の章や復習問題を加えるなど，さらなる充実を図った。診療放射線技師はじめコ・メディカルの基礎教育はもちろん，国家試験対策に最適。

〔2013〕978-4-8158-0739-9

長谷川幸治著

最新 よくわかる股関節の病気
―手術をすすめられた人のために―

A5 判・188 頁・2,200 円

手術をしなければいけないのか？　骨切りと人工関節の選択は？　いつ復帰できるのか？　手術前や退院後にすべきことは？　など――股関節が悪いと言われた患者さんや家族が知りたい疑問に答え，よりよい治療を選べるよう，専門医がやさしく解説する。ロングセラーの最新改訂版。

〔2013〕978-4-8158-0741-2

日吉泰雄著

血糖コントロールの実践
―臨床に根ざした糖尿病治療―

A5 判・198 頁・3,600 円

糖尿病の本態を捉えるためには，血糖値の「平均」だけではなく，変動する血糖値自体に目を向けることが必須である。本書は，糖質制限食やカーボカウントなど近年注目の話題に考察を加えつつ，薬物療法に偏らない総合的な糖尿病治療を目指す確かな一冊。医師・看護師・栄養士必読。

〔2014〕978-4-8158-0764-1

勝又義直著

最新 DNA 鑑定
―その能力と限界―

A5 判・326 頁・6,000 円

DNA 鑑定はどこまでが信頼でき，どこからが疑わしくなるのか。本書は鑑定の二本柱である個人識別と親子鑑定の現状について，生物学の基礎から，倫理的問題，最新のトピックまで，第一人者が分かりやすく解説した決定版。鑑定従事者や法曹関係者はもとより，警察官や裁判員も必読。

〔2014〕978-4-8158-0777-1

上田裕一／碓氷章彦編

最新 人工心肺［第 5 版］
―理論と実際―

B5 判・292 頁・6,000 円

人工心肺・体外循環について，病態生理学的な基礎事項から具体的操作手順などの臨床面までもれなく解説した，定評あるテキストの最新版。周辺知識をまとめた付録の増補や，視覚に訴える読みやすいデザインなど，初学者へのさらなる配慮を加えた。医師・臨床工学技士・看護従事者必携。

〔2017〕978-4-8158-0864-8

社本幹博／越川卓監修　長坂徹郎／横井豊治編

細胞診断学入門［第 3 版］
―臨床検査技師・細胞検査士をめざす人のために―

B5 判・318 頁・6,300 円

細胞の見方や，検体処理・染色法などの手技，各種疾患の特徴などを丁寧に解説。分子生物学の応用や LBC など，これからの細胞診に必須の知識も盛り込み，一冊で細胞診のすべてが把握できるよう編まれた好評テキストの最新版。信頼のカラー画像と見やすい構成で学習効果の向上を図る。

〔2018〕978-4-8158-0895-2

マーガレット・ロック著　坂川雅子訳

アルツハイマー病の謎
―認知症と老化の絡まり合い―

A5 判・462 頁・4,500 円

専門家たちとの対話を重ねて見えてきた，AD という存在の曖昧さと，単一の病因を求めるモデルの限界。では，研究はどう進められるべきか。臨床診断の結果や遺伝的リスクはいかに理解されるべきか。患者や家族になされるべきことは何か。21 世紀のエピデミックと向き合う視座を与える。

〔2018〕978-4-8158-0897-6

入山茂美／春名めぐみ／大林陽子編

現代の母性看護 概論

B5 判・224 頁・2,700 円

現代社会で女性の生き方が多様化する中で，いかに母子の健康を支援するか。リプロダクティブ・ヘルスや母子統計などの基礎的事項だけでなく，生殖医療やシングルマザーなどの現代的な課題も取り上げ，保健分野を含め最新かつ必要な事項を盛り込んだ本書は，看護学生のテキストに最適。

〔2018〕978-4-8158-0899-0

入山茂美／春名めぐみ／大林陽子編

現代の母性看護 各論

若年や高年の妊産婦，ハイリスク新生児など，多様なニーズを抱える周産期医療の現場で，適切なケアを実践するために，最新かつ必要な知識を提供。妊娠期・分娩期・新生児期・産褥期と段階を踏みながら学べ，看護学生のテキストとしてだけでなく，看護師の学び直しの書としても最適。

B5 判・292 頁・3,600 円

〔2019〕978-4-8158-0974-4

一杉正仁／西山慶編

交通外傷

―メカニズムから診療まで―

わが国の交通事故での死者数は過去最低を更新しているが，負傷者数は年間 50 万人前後と，相当数にのぼる。本書は，受傷のメカニズムと医学，事故の統計や法規，安全対策などを系統的に解説。医師・看護師，保険調査員，法曹や警察官，自動車技術者など，交通事故に関わるすべての人に。

B5 判・268 頁・6,800 円

〔2020〕978-4-8158-0992-8

西澤邦秀編

詳解テキスト 医療放射線法令［第 4 版］

医療放射線法令の全体像を理解するために，医療法施行規則第 4 章の内容を，関連通知を含めて体系的に整理。図表や写真を豊富に用いて視覚的・直感的に把握できる。診療放射線技師をめざす学生だけでなく，医療放射線実務のための参考書としても必携。直近の施行規則改正を踏まえた最新版。

B5 判・222 頁・4,500 円

〔2022〕978-4-8158-1085-6

自然科学

島津康男編

国土学への道

—資源・環境・災害の地域科学—

〔品切〕B6 判・252 頁・1,400 円

“国土学”——それは，住んでいる所を，自然と人のかかわりにおいて，“どうするか”を自身で考えるための学問である。〔目次〕「一人学際」の出発／ぬいめなしの自然／環境の現場監督—環境を作る／システム・パニック—災害に備える／私たちのデータ・ベースと教育／国土学へ

〔1983〕978-4-930689-07-8

東海三県地盤沈下調査会編

濃尾平野の地盤沈下と地下水

〔品切〕B5 判・260 頁・4,800 円

濃尾平野は，約 77％の地域において地盤沈下がおこり，海面下の面積ではわが国最大である。本書は，この地盤沈下とその被害の実態，沈下現象のしくみと予測のためのシミュレーション，そして沈静化を成功させた地盤沈下対策等を論じて，濃尾平野における居住環境を考える。

〔1985〕978-4-930689-27-6

高村秀一著

プラズマ加熱基礎論

〔品切〕A5 判・312 頁・4,500 円

本書は最新の研究成果をもり込んで，磁場中プラズマ加熱を，粒子の衝突緩和過程と波動の基礎過程との両面より体系的に整理した優れた入門書。平易な記述につとめ，加熱技術および実験の具体例を豊富に紹介して，大学院生，関連分野の研究者にとって恰好の書である。

〔1986〕978-4-930689-42-9

松尾幹之／鵜高重三編

バイオテクノロジーと食料革命

四六判・216 頁・1,800 円

飽食と飢餓の同居する現代，農業におけるバイオテクノロジーは，発展途上国に対しては食糧増産，先進国に対しては食料の個性化・質的向上に資するという使命を帯びている。「バイオの時代」ともいわれる 21 世紀を目前に，バイテクの現状と展望を第一線の研究者が語る。

〔1986〕978-4-930689-50-4

名古屋大学情報処理教育センター教育広報専門委員会編

FORTRAN 入門［第 2 版］

〔品切〕B5 判・90 頁・500 円

本 FORTRAN 入門は，初めて計算機言語を学習する学生を対象にして，FORTRAN のきわめて簡単な基礎的説明を試みるものである。〔目次〕1「計算機の構成と FORTRAN の利用形態」／2「FORTRAN プログラミングの基礎知識」／3「例題プログラム」／4「文法」

〔1987〕978-4-930689-58-0

峯村吉泰著

図学

—コンピューターグラフィックス入門—

〔品切〕B5 判・224 頁・2,000 円

空間概念を正しく広い角度から理解できるよう，図法幾何学の領域のみならず空間図形に関する解析的記述を含めた，自然科学専攻学生必携の図学入門テキスト。図形に関する基礎的知識を明快に解説するとともに電子計算機の発達に伴う図形処理にも対応できるように配慮。

〔1987〕978-4-930689-63-4

竹内利雄著　　日本生命財団出版助成図書

雷放電現象

〔品切〕B5 判・208 頁・5,000 円

近年，社会のコンピュータ化の進展にともない，様々な分野で雷災害が問題になりつつある。本書は，雷研究の最新の成果をもり込んで，雷放電発生原理，防止対策，観測装置など，雷の基礎から応用までを系統的に記述。エレクトロニクス時代の環境問題を考える技術者，研究者必携の文献。

〔1987〕978-4-930689-69-6

益田義賀著

超低温物理

〔品切〕A5 判・304 頁・4,500 円

超低温物理学は量子の世界の顕現を目的とするきわめて新しい研究分野であって，そのめざすところは，超低温度という極限状態を実現することによって，自然の姿を明らかにすることである。本書は，この超低温物理学の生成から今日の成果までを概説した入門書。

〔1987〕978-4-930689-80-1

土木学会中部支部編

国造りの歴史

―中部の土木史―

〔品切〕B5 判・290 頁・3,700 円

中部地方の土木関係者の全面的協力のもとに，古代から近代までの中部の土木事業史を概観する物語篇は，各地域各時代の代表的国造りが読物風に書かれ，資料編には，代表的土木事業に関する全データがコンパクトに収録されている。カラー写真・図版も多用。ビジュアルな国造りの歴史。

〔1988〕978-4-930689-84-9

早川幸男／佐藤文隆／松本敏雄編

現代の宇宙論

〔品切〕A5 判・340 頁・3,800 円

近年における宇宙観測技術の高度化と素粒子物理学の進展は，宇宙論研究を爆発的に押し進めることになった。本書は宇宙科学の世界的権威である早川幸男を中心に，世界の学界の第一線で活躍する執筆陣が，宇宙論の最前線を学部学生にも理解できるよう解説した入門書。

〔1988〕978-4-930689-92-4

㈱プラズマ・核融合学会編

プラズマ診断の基礎

〔品切〕A5 判・312 頁・3,500 円

プラズマ診断は，プラズマの性質を解明し，そこに潜む物理を解き明かしていくうえでも最も基本的な実験手段である。本書では，現代プラズマ実験において活用されている多くの計測手段をその原理に遡って解説するとともに，その応用例についても触れる。

〔1990〕978-4-8158-0123-6

名古屋大学情報処理教育センター教育広報専門委員会編

情報処理教育センター利用の手引[第5版]

〔品切〕B5 判・180 頁・777 円

この手引は，名古屋大学情報処理教育センターの利用方法，および TSS 利用のための基本的事項について述べ，学生による実際の計算機使用のために役立てようとするものである。〔目次〕第 1 部「TSS の利用法」／第 2 部「センター利用案内」

〔1990〕978-4-8158-0147-2

田中正明著　　日本生命財団出版助成図書

日本湖沼誌

―プランクトンから見た富栄養化の現状―

B5 判・548 頁・15,000 円

従来のわが国の湖沼研究は，大型湖沼に限られ，小湖沼や地理的に不便な所では，現在でもほとんど知見がないのが実情である。本書は，その欠を埋めるべく，全国湖沼の動植物プランクトン相と水質の現状を調査した記録であり，今後の環境保全や有効利用を考える上で不可欠の一冊となろう。

〔1992〕978-4-8158-0171-7

名古屋大学公開講座委員会編

環境を考える

〔品切〕A5 判・248 頁・1,942 円

本書は，「自然」と「社会」の接点において発生する環境問題のさまざまな側面を，身近な問題から地球規模の問題まで，また自然科学的メカニズムから社会科学的問題まで，多面的に検討し，環境問題に対する広く深い認識を得ることを目的として編まれた。

〔1992〕978-4-8158-0185-4

西條八束／坂本充編　　日本生命財団出版助成図書

メソコスム 湖沼生態系の解析

〔品切〕A5 判・362 頁・6,500 円

海洋や湖沼における生態系を解明するために，水域の一部をシートで仕切った隔離水界（メソコスム）を用い，その中の各種生物の相互作用を解析する方法が急速に発達している。本書は，この手法を用いた諏訪湖での実験の成果を，各実験の発想，具体的な実験操作等を含めて明らかにする。

〔1993〕978-4-8158-0214-1

早川幸男著

素粒子から宇宙へ
—自然の深さを求めて—

四六判・352 頁・2,200 円

人間性と科学技術への深い理解に基づいて，科学研究の意義とその進むべき道を論じた評論，研究生活の多彩な思い出を綴った随筆，著者が直接かかわってきた戦後物理学を回顧した談論など，幅広い視野を持ち，新しい分野を拓いてきた独創的な物理学者の足跡を示す科学エッセイ集。

〔1994〕978-4-8158-0222-6

野村浩康／川泉文男／香田忍著

液体および溶液の音波物性

A5 判・306 頁・4,800 円

音波の伝播の基本理論から説き起こし，電解質や高分子物質，さらには最近のソノケミストリーの分野にまでわたる液体と溶液の音波物性を豊富な実験結果をまじえて述べた。超音波に関連した研究者や今後液体および溶液物性の研究に進もうとする学徒にとって有益な他に類を見ない専門書。

〔1994〕978-4-8158-0224-0

大和田道雄著

伊勢湾岸の大気環境

A5 判・228 頁・2,200 円

半球規模のスケールから伊勢湾岸地域を位置づけ，他の湾岸地域と対比させながら，局地気流や循環，局地不連続線とこれに伴う大気汚染，居住気候環境と気象災害などの伊勢湾岸地域特有の現象を，局地気候学的立場から明らかにしている。今後の地域開発や都市計画の基礎資料となろう。

〔1994〕978-4-8158-0230-1

野澤　謙著

動物集団の遺伝学

A5 判・336 頁・6,500 円

最近とみに社会の関心を集めている自然保護への取り組みのなかで，集団遺伝学の観点から判断や評価を求められる場面も多くなってきた。本書では，従来あまり知られていない高等動物集団の遺伝構造や進化過程について，人類，家畜，いくつかの野生動物種を材料にして理解を深める。

〔1994〕978-4-8158-0231-8

岡田稔／岩田晃／松本哲也／池田幹男著
名古屋大学情報処理教育センター教育広報専門委員会監修

情報処理教育センターハンドブック

〔品切〕A5 判・82 頁・500 円

名古屋大学情報処理教育センターの教育用コンピュータシステムは，Unix ワークステーションからなる大規模分散型システムである。本システムは多くのアプリケーションが利用でき，また豊富な機能を持つ。本書は特に名古屋大学のシステムに固有の利用方法について解説する。

〔1994〕978-4-8158-0236-3

池上英雄他編

核融合研究Ⅰ（核融合プラズマ）

B5 判・886 頁・30,000 円

人類の究極のエネルギー源と考えられる核融合エネルギーの実用化を視野に入れて「核融合特別研究」が実施された。この成果を取りまとめ，本巻では核融合概論，慣性核融合，磁場閉じ込め，加熱と電流駆動，プラズマ診断，コンピュータシミュレーション，プラズマ理論を扱う。

〔1996〕978-4-8158-0281-3

池上英雄他編

核融合研究Ⅱ（核融合炉工学）

B5 判・1000 頁・30,000 円

1980 年から 10 年にわたり「核融合特別研究」が実施され，研究は飛躍的に進展し，今日の大型プロジェクトの基礎を築き上げた。本書はこの成果をとりまとめ，現状と今後の課題を明らかにする。Ⅱでは核融合炉材料，ブランケット工学，トリチウム，実験装置の超伝導工学を扱う。

〔1995〕978-4-8158-0248-6

春田尚德著

日本の都市化と社会変動

A5 判・286 頁・6,000 円

20 世紀を通じて都市が発展した結果，今日では国土の 3％の都市地域に 60％の人々が居住するに至り，社会・経済及び国際問題の多くが都市問題として統合される方向にある。このような中で本書は，様々な問題点の解決に向けて，国土計画の策定作業を通じて培われた経験を基に考察する。

〔1995〕978-4-8158-0254-7

岩田晃／岡田稔／松本哲也／池田幹男著

Fortran 77 入門

A5 判・118 頁・800 円

本書は，はじめてプログラミング言語に触れる初心者を対象にした入門用演習書である。前半では Fortran の基礎知識を実例によって解説し，後半は簡単なアルゴリズムと数値計算の基礎を学習できる応用編となる。また節末に演習問題を付け，学習者の理解を確かなものにする。

〔1995〕978-4-8158-0259-2

大西英爾／園部治之／高橋進編

昆虫の生化学・分子生物学

A5 判・508 頁・4,800 円

昆虫は，その生活史のなかに脱皮，変態，休眠など昆虫特有の生理現象を含んでいることから，古くから関心を集めてきた。本書では，生命科学の発展に貢献している昆虫を材料とする研究の，最新のトピックス（内分泌系，発生の制御，遺伝子の発現，生体防御，進化）を解説する。

〔1995〕978-4-8158-0266-0

半田暢彦編　　日本生命財団出版助成図書

大気水圏科学からみた地球温暖化

〔品切〕B5 判・394 頁・8,000 円

地球温暖化問題は，大気，海洋，陸域を一つの系としてとらえ，そこで起こる現象を総合的に解明することが必要である。本書では温室効果ガスを中心とする物質循環に力点を置き，大気圏，水圏，雪氷圏，生物圏にまたがる現在の研究の現状を解説し，将来の研究の方向を示唆する。

〔1996〕978-4-8158-0283-7

東海図学研究会編

第三角法による図学演習リーフレット

〔品切〕A4 判・52 頁・700 円

図学は工学の言語の一つであり，工学的センスを身につけるためにも重要である。図学を理解するためには，いくつかの基本的な作図題を実際に描いて練習することが必要とされる。本書は基本的な作図題から透視投影の作図題までをリーフレット形式にした演習帳である。

〔1996〕978-4-8158-0288-2

東海図学研究会編

空間構成・表現のための図学
—製図法の基礎—

B5 判・172 頁・2,000 円

図形を取り扱うための強力な道具としてコンピュータを使用できるようになった現状を踏まえ，自らのなかに具象的なイメージをはっきり描くことのできる能力，またその手順を理論的に組み立てコンピュータと対話できる能力を，系統的に習得できるよう工夫したテキスト。

〔1996〕978-4-8158-0292-9

西條八束／奥田節夫編

河川感潮域
—その自然と変貌—

A5 判・256 頁・4,300 円

海の潮汐の影響を受ける河川下流域を感潮域という。この流域では河川水と海水とが混合して複雑な流れや物質の分布を作りだし，それに応じて独特の生態系が維持されている。本書は河口堰建設で揺れた長良川を中心に，堰の運用前後の変化も含めた感潮域研究の初の成書。

〔1996〕978-4-8158-0293-6

中原信生編

空調システムの最適設計

B5 判・416 頁・10,000 円

快適な環境に対する人々の要求が高まる一方，省エネルギーの要請に応えるために，多大な研究実績と実際の空調システムの設計実績を踏まえて，最適設計や管理制御の方法を解説する。現状の様々な問題を解決する視点と実際の設計手法をわかりやすく示すなど，実用面に配慮している。

〔1997〕978-4-8158-0312-4

木村眞人編

土壌圏と地球環境問題

A5 判・288 頁・5,000 円

土壌生態系は，陸域における地球環境汚染物質の最大の浄化の場である。しかし近年世界各地で土壌荒廃に伴い，土壌の有する地球環境浄化機能が急速に低下している。本書では土壌圏の現状と地球環境問題における役割を訴え，その機能保全と増進策を提言するための基礎的なデータを提供。

〔1997〕978-4-8158-0314-8

花里孝幸著

ミジンコ
—その生態と湖沼環境問題—

A5 判・238 頁・4,300 円

湖の食物連鎖の中で重要な役割を担うミジンコとその他の生物達は，複雑な生物間相互作用を保ちながら湖沼生態系を維持している。本書は，人為的な環境改変の影響が，微細なミジンコを介して生態系全体に及ぶ過程を解説。さらに人間と湖沼との付き合い方について貴重な示唆を与える。

〔1998〕978-4-8158-0343-8

岩坂泰信編

北極圏の大気科学
—エアロゾルの挙動と地球環境—

B5 判・238 頁・6,500 円

1985 年，南極にオゾンホールが発見されると，北極でも本格的な大気観測が開始された。本書は，独自のライダーや気球を使った北極での約 10 年間にわたる観測成果に基づき，極地大気のオゾンの現状や，エアロゾルの動態と役割を明らかにし，地球環境問題への今後の取り組みを展望する。

〔2000〕978-4-8158-0375-9

久馬一剛編

熱帯土壌学

A5 判・454 頁・5,800 円

熱帯は，豊饒な生態系をもつ熱帯雨林から砂嵐が吹き荒れる砂漠まで，多様な環境をその内に含んでいる。本書は，そのように変異に富む環境中の土壌の特性について，わが国第一線の研究者らが初めて包括的に論じたものであり，熱帯での農業開発と環境保全の調和のための道すじを探る。

〔2001〕978-4-8158-0413-8

広木詔三編

里山の生態学

—その成り立ちと保全のあり方—

A5 判・354 頁・3,800 円

東海地方の里山は，地域特異的な種が多数生息する湿地や，人間の干渉により成立した二次林などの多様な環境が混在して成り立っている。本書は，地史的考察や植生の研究，環境指標生物群の調査等を通じ多角的にその全体像に迫り，広く里山保全に向けた提言を行う。

〔2002〕978-4-8158-0421-3

野依良治著

研究はみずみずしく

—ノーベル化学賞の言葉—

四六判・218 頁・2,200 円

世界有数の有機化学者であり，「不斉水素化触媒反応に関する研究」に対し 2001 年度のノーベル化学賞を受賞した著者が，科学から社会・教育のあり方，若者へのメッセージまで縦横に語る。研究成果を分かりやすく紹介したノーベル賞受賞記念講演も豊富な解説をつけて収録した。

〔2002〕978-4-8158-0449-7

土井正男／滝本淳一編

物理仮想実験室

—3D シミュレーションで見る，試す，発見する—

A5 判・300 頁＋CD-ROM・4,200 円

付属のソフト（Windows, Linux 対応）を使って，力学，波動，統計力学などさまざまな物理の問題がコンピュータの中で「実験」できる。条件を変えての実験もさることながら，自分でプログラムを書けばオリジナルな実験も可能となる，全く新しいタイプの教科書。

〔2004〕978-4-8158-0481-7

田中正明著

日本湖沼誌Ⅱ

—プランクトンから見た富栄養化の現状—

B5 判・402 頁・15,000 円

好評を博した『日本湖沼誌』に未収録のわが国の湖沼のうち，陸水学的・陸水生物学的に注目されるもの，および従来の知見の乏しいものについて，水質・プランクトン相などを著者自らの手で調査した記録。全国の湖沼形態一覧表についても，新たな情報を元に全面的に改訂を加え収録した。

〔2004〕978-4-8158-0492-3

伊澤康司著

やさしい有機光化学

A5 判・170 頁・2,800 円

植物の光合成を例に挙げるまでもなく，光で起こる有機化学反応は非常に重要である。本書は物質が光を吸収することで開始する光化学の基礎から，ベンゼン類などの有機化合物が光特有の反応を起こす仕組みまでを丁寧に解説しており，有機光化学の入門として最適の書である。

〔2004〕978-4-8158-0495-4

木村眞人／波多野隆介編

土壌圏と地球温暖化

A5 判・260 頁・5,000 円

陸域最大の炭素貯蔵庫である土壌が，大気中の温室効果ガス濃度を制御する様子について，全地球規模で捉えると同時に，水田・畑など土地利用形態の変化による炭素循環の違いを実例に基づき記述。地球温暖化問題において土壌が果たす重要な役割を解説し，その管理の必要性を訴える。

〔2005〕978-4-8158-0509-8

坂本充／熊谷道夫編

東アジアモンスーン域の湖沼と流域

—水源環境保全のために—

A5 判・374 頁・4,800 円

東アジアモンスーン気候帯に位置する琵琶湖と中国雲南省の高原湖沼との比較研究を軸に，地球温暖化による気候変動や人間活動が，湖沼・流域環境に与える影響について，地理学，生態学，陸水学，水文学などの幅広い視野から分析し，保全策を探る。

〔2006〕978-4-8158-0525-8

石崎宏矩著

サナギから蛾へ

—カイコの脳ホルモンを究める—

四六判・254 頁・3,200 円

昆虫が変態する謎を追って，延べ三千万個の蛾の頭をすり潰し，数々の苦難の末に，カイコの変態を司るホルモンの本体をついに突き止めた一人の科学者と，彼とともに研究に携わった多くの人々——その解明に至る道筋を，昆虫内分泌学の知見とともに記す波瀾万丈の科学ドキュメント。

〔2006〕978-4-8158-0545-6

渡邊誠一郎／檜山哲哉／安成哲三編

新しい地球学

—太陽–地球–生命圏相互作用系の変動学—

B5 判・356 頁・4,800 円

地球は太陽からのエネルギーで生命圏を維持するが，一方生命圏は地球に能動的影響を与える。サブシステム間の相互作用・フィードバックの理解が，新しい地球像の構築には必須である。本書はこのシームレスなシステムの過去と現在を，観測・モデルの両面から把握する先駆的テキスト。

〔2008〕978-4-8158-0590-6

富岡秀雄著

最新のカルベン化学

B5 判・356 頁・6,600 円

有機分子でありながら，一重項と三重項の二つの電子状態をとり得る，ユニークな化学種カルベンは，触媒配位子への利用や磁性材料への期待など，近年新たな展開を見せている。その化学の最前線を，研究手法，電子状態と構造の関係，多様な反応，今後の発展まで，系統的に解説した初の成書。

〔2009〕978-4-8158-0606-4

在来家畜研究会編

アジアの在来家畜

—家畜の起源と系統史—

B5 判・494 頁・9,500 円

野生動物と近代品種とをつなぐ在来家畜は，家畜化の過程で動物と人に何が起こるかを考える上で重要であり，また品種造成の遺伝資源としても有用である。本書は，永年の実地調査を軸に，農学以外にも人類学・考古学等の知見を盛込み，12 家畜種の系譜の全体像に迫る。**日本農学賞受賞**

〔2009〕978-4-8158-0620-0

福井康雄監修　飯嶋徹／杉山直／平島大／伊藤繁編

宇宙史を物理学で読み解く

—素粒子から物質・生命まで—

A5 判・262 頁・3,500 円

すべての始まりビッグバン，ダークエネルギーにより膨張する宇宙，星や銀河の形成，そして私たち生命の誕生……。137 億年の宇宙史を，最新の研究成果に基づき，わかりやすく語る。天体物理や物性物理といった枠を越え，理論と実験とが連携して宇宙と物質の起源を探る旅。

〔2010〕978-4-8158-0639-2

谷田一三／村上哲生編　　日本生命財団出版助成図書

ダム湖・ダム河川の生態系と管理

—日本における特性・動態・評価—

A5 判・340 頁・5,600 円

陸水学・生態学・土木工学・環境科学などを総合した視点から，下流河川や周辺植生を含めた環境にダムが与える影響をトータルに把握し，その緩和策を探る初の成書。新規ダム建設の可否の議論のためにも，また既存ダムの運用やダム河川の管理のためにも，有用な知見を与えよう。

〔2010〕978-4-8158-0640-8

G. C. デイリー／K. エリソン著　藤岡伸子／谷口義則／宗宮弘明訳

生態系サービスという挑戦

—市場を使って自然を守る—

四六判・392 頁・3,400 円

善意に頼った運動だけでは行きづまりつつある環境保全・自然再生にとって，切り札といえる「生態系サービス」。本書は，従来の枠を大きく越えたスタイルで，世界各地で自然保全に取り組む人々を，ピューリッツァー賞作家らが鮮やかな筆致で描き出す。自然を経済に組み込む新しい試み。

〔2010〕978-4-8158-0649-1

國分　征著

太陽地球系物理学
—変動するジオスペース—

A5 判・292 頁・6,200 円

太陽からは可視光以外にも，プラズマ流や惑星間空間磁場などが地球へと吹きつけている。本書は，太陽と地球を取り巻く環境を一つのシステムと捉え，その構造とダイナミクスを第一人者が系統的に解説。宇宙天気の予報も見据え，オーロラや磁気嵐の発達過程に迫る。

〔2010〕978-4-8158-0656-9

篠原久典／齋藤弥八著

フラーレンとナノチューブの科学

A5 判・374 頁・4,800 円

わが国で最初期よりナノカーボン研究をリードしてきた著者らが，フラーレン発見に至る背景から，ナノスケールの炭素が生み出す多彩な構造・物性，そしてピーポッドやグラフェンなどの最新の話題まで，平易に解説する。基礎的事項を系統的に理解する上でも最適の書。

〔2011〕978-4-8158-0669-9

大沢文夫著

大沢流 手づくり統計力学

A5 判・164 頁・2,400 円

分子の気持ちを自分の手で体験しよう！——本書は，サイコロとチップのゲームを楽しみながら，統計力学の真髄を直感的に納得することを目指す。高校生でも研究者でも面白い，今までにない入門書。生体内の現象に統計力学を応用した，最新の生物物理の話題も解説する。

〔2011〕978-4-8158-0674-3

清水裕之／檜山哲哉／河村則行編

水の環境学
—人との関わりから考える—

菊判・332 頁・4,500 円

人にとって不可欠であるとともに，時にはその猛威に脅かされることもある水は，新たな形で様々な課題を生み出している。本書は，地球水循環などの自然科学的領域から，上下水道などの技術的領域，そして水利権運用などの社会的領域へと，三領域を貫く視点より，水を体系的に把握する。

〔2011〕978-4-8158-0675-0

水野幸治著

自動車の衝突安全

〔品切〕B5 判・320 頁・5,800 円

自動車の衝突時に乗員や歩行者の安全を確保する衝突安全について，関連法規や傷害バイオメカニクスなども含め，多角的かつ系統的に解説した初の成書。自動車工学の研究者・技術者だけでなく，事故捜査・鑑定従事者，交通外傷を治療する医師など，自動車・交通事故に関わる全ての人に。

〔2012〕978-4-8158-0691-0

黒田光太郎／戸田山和久／伊勢田哲治編

誇り高い技術者になろう［第 2 版］
—工学倫理ノススメ—

A5 判・284 頁・2,800 円

プロとして責任ある仕事をするために，何に配慮し，日々の仕事の中でどう行動すべきか，明快な指針を提示。ミクロからマクロまで具体的事例をもとに倫理的判断力を働かせるスキルを高める。公益通報者保護法や福島第一原発事故など最新の話題も取り上げた待望の新版。

〔2012〕978-4-8158-0706-1

大島隆義著

自然は方程式で語る 力学読本

A5 判・560 頁・3,800 円

これまでの教科書では力学を理解しきれなかった人や，さらに深く学び直したい人に向け，数式の「行間」をしっかりと解説。大学初年次で修めるべき内容をほぼ網羅し，日常事例を通じて納得しながら系統的に独習できる。本書読破のあかつきには，自然が語りかけるのが聴こえるだろう。

〔2012〕978-4-8158-0708-5

佐藤憲昭／三宅和正著

磁性と超伝導の物理

―重い電子系の理解のために―

A5 判・400 頁・5,700 円

超伝導状態は磁性不純物で容易に壊されることから，磁性と超伝導は一見相容れないが，ある種の物質では両者が共存し，相関すらしている。本書は，このメカニズムを理解するために，磁性と超伝導を統一的に把握。レアアースをはじめとする f 電子系物質に，実験・理論双方から迫る。

〔2013〕978-4-8158-0726-9

西澤邦秀／飯田孝夫編

放射線安全取扱の基礎［第 3 版増訂版］

―アイソトープから X 線・放射光まで―

B5 判・212 頁・2,400 円

人体への影響や放射線計測手法，諸法令や緊急時の対応など，放射線を扱う上で必要な知識を幅広く解説した好評テキスト。福島第一原発事故による被曝と環境汚染について増補した本書は，放射線を扱う学生や，資格取得を目指す人はもちろん，広く一般市民にとっても有用である。

〔2013〕978-4-8158-0731-3

大西　晃他編

宇宙機の熱設計

B5 判・332 頁・18,000 円

過酷な宇宙環境において，人工衛星や惑星探査機は温度制御が必須である。本書は，宇宙の熱環境や伝熱過程などの基礎的事項から，熱真空試験，熱制御材料の評価，そして実際の設計例まで，最新情報を含め宇宙機の熱設計の全てをまとめた初の成書。宇宙開発に関わる研究者・技術者必携。

〔2014〕978-4-8158-1042-9

杉山直監修　野尻伸一／伊藤好孝／藤博之／門田健司著

物理学ミニマ

A5 判・276 頁・2,700 円

物理系学科の大学生がマスターすべき必須知識を，力学，電磁気学から実験物理まで全分野にわたりコンパクトに凝縮！　事項の単なる羅列ではなく，それらをつなぐ論理も平易に解説しており，物理学体系を一望できる。大学院生の学び直しにも，大学院入試のための参考書にも最適。

〔2014〕978-4-8158-0774-0

渡邊誠一郎／中塚武／王智弘編

臨床環境学

菊判・328 頁・3,600 円

環境の病いとどう向き合うべきか。環境問題発生のダイナミズムを見据え，従来の学問分野を超えた新しいアプローチが，現場で診断から治療までを一貫して行う臨床環境学であり，それを支える基礎環境学である。個別性に配慮したこれら先進的な試みを，理論と実践の両面から初めて解説。

〔2014〕978-4-8158-0781-8

ヘリガ・カーオ著　岡本拓司監訳　有賀暢迪／稲葉肇他訳

20世紀物理学史［上］

―理論・実験・社会―

菊判・308 頁・3,600 円

栄光と失敗，論理と閃きのダイナミクスとしての「物理学の世紀」。量子力学と相対論という二大革命に始まり，社会と関わりながら大展開を遂げる 100 年を一望する，待望の書。上巻では世紀前半に主張された数々の知られざる異説を紹介しつつ，変革の前史と進展を扱う。

〔2015〕978-4-8158-0809-9

ヘリガ・カーオ著　岡本拓司監訳　有賀暢迪／稲葉肇他訳

20世紀物理学史［下］

―理論・実験・社会―

菊判・338 頁・3,600 円

わずか 1 世紀の間に，物理学は現代の科学技術にとって不可欠となるまでに発展した。華々しくも苦難に満ちた展開を，確かな筆致で全領域にわたりバランスよく記述。下巻では，第二次大戦を経て，軍事や産業への応用を深めながら，ビッグ・サイエンスに至るまでを扱う。

〔2015〕978-4-8158-0810-5

川邊岩夫著

希土類の化学
—量子論・熱力学・地球科学—

B5 判・448 頁・9,800 円

希土類系列が関係する様々な領域で共通して見られる四組効果。本書はこの四組効果が生じるシステムを，微視的分光学と巨視的熱力学をつなぐ化学の根底原理と捉え，初めて体系的・定量的に記述。基礎事項も含めた丁寧な解説により，希土類を統一的に把握する。**日本地球化学会学会賞受賞**

〔2015〕978-4-8158-0814-3

佐藤憲昭著

物性論ノート

A5 判・208 頁・2,700 円

今度こそ納得！　振動・波動の基礎から，磁性や超伝導などの多体効果に至るまでを，大胆な構成と，類書にはない記述で解説。物理系や電気・電子系，物質・材料系学生など，初学者のつまずきに対する絶妙なフォローで，物性論の精髄をマスターする一冊。

〔2016〕978-4-8158-0825-9

大島隆義著

電磁気学読本［上］
—「力」と「場」の物語—

A5 判・254 頁・3,200 円

数式の行間を懇切ていねいに解説。電磁気学に登場する，からみ合った 4 つの「場」の相互関係を，独自の工夫によりクリアに解きほぐす。上巻では，まず物語のあらすじを紹介し，クーロンの法則から始まる静電場体系，そして静磁場のうちアンペールの法則までを読み解く。

〔2016〕978-4-8158-0849-5

大島隆義著

電磁気学読本［下］
—「力」と「場」の物語—

A5 判・230 頁・3,200 円

大学初年次の内容を網羅した本書は，これまでのテキストでは理解しきれなかった人にも，さらに深く学び直したい人にも最適。下巻では，静磁場体系の後半から，電磁誘導の解説を経て，電磁場を表現するマクスウェルの方程式に至る。4 つの「場」がふたたび交わり合うさまをご覧あれ。

〔2016〕978-4-8158-0850-1

西澤邦秀／柴田理尋編

放射線と安全につきあう
—利用の基礎と実際—

B5 判・248 頁・2,700 円

RI から X 線・放射光まで，利用にあたり必要な知識を体系的に整理。人体への影響や放射線計測法，緊急時の対応などについて，図表を多用して視覚的に解説した本書は，大学や企業などで実際に放射線を取扱う人はもちろん，中学高校で放射線教育に携わる教員にも最適のテキストである。

〔2017〕978-4-8158-0875-4

遠藤徳孝／小西哲郎／西森拓／水口毅／柳田達雄編

地形現象のモデリング
—海底から地球外天体まで—

A5 判・288 頁・5,400 円

河川・砂丘・柱状節理・クレーターなど，複雑な自然についてその本質を捉えモデル化するアプローチは，地球上はもとより他の惑星の地形に対してもたいへん有力である。本書はシミュレーションや縮小実験などの手法を通じて，地形の共通原理を探究する。

〔2017〕978-4-8158-0887-7

高木秀夫著

量子論に基づく無機化学［増補改訂版］
—群論からのアプローチ—

A5 判・346 頁・4,500 円

分子の構造はいかにして決まるのか？　化学反応が自発的に進むかどうかを，どう判定するのか？現代化学の理解に不可欠の群論を，基礎から効率よく身につけながら，無機化学を論理的かつ系統だって学びなおす。改訂によりさらなる解説が加わり，有機系を含む化学反応例も充実。

〔2018〕978-4-8158-0907-2

堀田典裕著

〈モータウン〉のデザイン

A5 判・424 頁・4,800 円

クルマと交通システムによって創り出された環境――現代の〈モータウン〉はどのようなカタチをしているのか。自動車工場や住宅から，高速道路，レジャーセンター，ショッピングモールまで，生産・居住・移動・消費の観点で車社会を捉え直し，環境デザインの可能性を問う力作。

〔2018〕978-4-8158-0910-2

近森　順編

自動車工学の基礎

A5 判・260 頁・2,700 円

現代社会に不可欠な自動車には，様々な技術が凝縮されている。本書は基礎科目である機械力学や熱力学などの発展として自動車工学を一貫した形で捉え直し，変わりゆく技術を根底から支える不変のロジックを身につける。工学部生・高専生のみならず，現場の技術者の学び直しにも最適。

〔2018〕978-4-8158-0911-9

水野幸治著

自動車の衝突安全 基礎論

菊判・312 頁・3,800 円

自動車衝突時に人の安全をいかに確保するか。バイオメカニクスから，前面衝突，高齢者の傷害やむちうち損傷まで，多角的かつ系統的に解説。自動車工学の研究者・技術者だけではなく，保険調査員や警察官，法曹や事故鑑定従事者など，自動車・交通事故に関わるすべての人に役立つ一冊。

〔2018〕978-4-8158-0922-5

高倉耕一／西田隆義編

繁殖干渉

―理論と実態―

A5 判・380 頁・5,400 円

近縁異種との間の性的相互作用である繁殖干渉は，シンプルな枠組みでありながら，すみ分けや資源分割など生態学・進化学での数多くの難問を，統一的に説明できる。この普遍的かつ強力なメカニズムの全容を，タンポポやマメゾウムシなどの実証例を示しながら，初めて体系的に記述。

〔2018〕978-4-8158-0925-6

G. D. ラクストン／N. コルグレイヴ著　麻生一枝／南條郁子訳

生命科学の実験デザイン［第 4 版］

A5 判・318 頁・3,600 円

バイオ・生態学・農学・医薬系など，生命を研究対象とするすべての実験分野に共通の考え方と方法を，具体的な事例とともにわかりやすく解説。初心者からエキスパートまで全実験家必読。「できる科学者の論文は，実験のデザインが美しい。本書はその秘訣集」――福岡伸一氏大推薦！

〔2019〕978-4-8158-0950-8

北島健／佐藤ちひろ／門松健治／加藤晃一編

糖鎖生物学

―生命現象と糖鎖情報―

A5 判・306 頁・5,400 円

生体内で多様な情報を担う糖鎖は，DNA 鎖，ポリペプチド鎖に続く「第 3 の生命鎖」として注目を集めている。受精・神経・免疫・癌・感染などの生命現象における糖鎖の役割を中心に，基礎から最先端のトピックまで解説した本書は，理学・農学・医薬系などの大学院生・研究者必読。

〔2020〕978-4-8158-0981-2

広木詔三著

森林の系統生態学

―ブナ科を中心に―

A5 判・388 頁・5,400 円

従来の生態学が偏重しがちであった個体群ではなく，歴史性を担う種に注目し，遷移現象やすみ分けなど，樹木の種間関係を通じて森林群集を空間的・時間的に捉え直す。日本の多くの森林で優占種となっているブナ科を通して，系統分類学と生態学の統合を試みた，エコロジーの新地平。

〔2020〕978-4-8158-0987-4

高橋嘉夫編

分子地球化学

A5 判・444 頁・5,800 円

物質循環などマクロな現象の統一的把握は，「元素の個性」に基づくミクロからのアプローチにより，初めて可能となり，その理解は地球史解読や将来の環境予測にも適用できる。本書は，XAFS 法などの研究手法の基礎と，海底鉱物資源から地球外天体までの最新の成果を，系統的に解説。

〔2021〕978-4-8158-1018-4

田仲由喜夫著

超伝導接合の物理

A5 判・356 頁・5,800 円

ジョセフソン効果をはじめとした，超伝導界面に現れ得るさまざまな現象は，アンドレーエフ束縛状態という視点から統一的に説明できる。超伝導のもつ対称性や接合先によって界面での挙動が変わる様子を，見通しよく整理。トポロジカル超伝導の背景を深く理解する上でも必読の書。

〔2021〕978-4-8158-1028-3

稲葉　肇著

統計力学の形成

A5 判・378 頁・6,300 円

アナロジーから基礎づけへ――。時間的に可逆なミクロと，不可逆なマクロとを関係づける，統計力学。マクスウェルやボルツマンによる気体運動論との差異を踏まえつつ，その歴史と意義を丹念に追跡。アンサンブル概念はいかに誕生・発展し，フォン・ノイマンによる量子統計に到ったか？

〔2021〕978-4-8158-1036-8

谷村省吾著

量子力学 10 講

A5 判・200 頁・2,700 円

肝心な筋道だけをコンパクトにまとめた，待望の教科書。古典力学との対応にこだわることなく，量子力学をそれ自身で完結したものとして捉え，確率振幅からエンタングルメントや調和振動子まで，明快に記述。線形代数がわかれば，量子力学もわかる！

〔2021〕978-4-8158-1049-8

大場裕一著

世界の発光生物

―分類・生態・発光メカニズム―

A5 判・456 頁・5,400 円

発光バクテリアからツキヨタケ，ホタル，そしてチョウチンアンコウなどの脊椎動物まで――。現在知られているすべての発光生物について，第一人者が分子生物学的知見を含めて紹介。光る生き物たちを通して見える世界と，そこに至る進化の道筋を描き出す。

〔2022〕978-4-8158-1057-3

松本敏郎／野老山貴行著

みんなの Fortran

―基礎から発展まで―

A5 判・244 頁・3,200 円

プログラミング言語 Fortran は，現代的な進歩を遂げながら，過去の膨大なライブラリも利用できるという利点を持つ。本書はコンピュータ操作の初歩から始め，並列計算・C 言語との連携など，最新の規格も含めて解説する。初心者から第一線の科学者・エンジニアまで役立つ一冊。

〔2022〕978-4-8158-1087-0

田中正明著

日本淡水産動植物プランクトン図鑑［第 2 版］

A5 判・772 頁・10,000 円

淡水産プランクトンは，環境指標生物としてその重要性をますます増している。図や写真を多用することで，分類同定作業に必携の定評ある図鑑を，最新の分類体系に基づき，全面的にアップデート。収録種も大幅に増補し 2,500 以上となり，説明もよりわかりやすくなった決定版。

〔2022〕978-4-8158-1109-9

リ・アーカイヴ叢書

フランス啓蒙思想の展開（安藤隆穂著，5,800 円）……3
昭和ナショナリズムの諸相（橋川文三著　筒井清忠編・解説，5,000 円）……5
知識という環境（森際康友編，4,500 円）……5
モナドロジーの美学（米山優著，5,800 円）……6
定期市の研究（石原潤著，6,500 円）……39
日韓交流の民族考古学（渡辺誠著，6,700 円）……43
捨児たちのルネッサンス（高橋友子著，5,400 円）……45
デューイの探究教育哲学（早川操著，5,500 円）……76
韓国近代大学の成立と展開（馬越徹著，6,300 円）……76
オーストリア経済思想史研究（八木紀一郎著，5,400 円）……85
イングランド銀行金融政策の形成（金井雄一著，5,400 円）……85
経済の原理―第 3･第 4･第 5 編―（J. ステュアート著　小林昇監訳　竹本洋他訳，15,000 円）……88
日本電力業の発展と松永安左ヱ門（橘川武郎著，6,500 円）……90
中世後期フィレンツェ毛織物工業史（星野秀利著　齊藤寛海訳，10,000 円）……90
三〇年代イギリス外交戦略（佐々木雄太著，6,800 円）……112

▶書名索引

ア　行

IMF 自由主義政策の形成（西川） 112
愛国とボイコット（吉澤） 71
アインシュタインの時計 ポアンカレの地図（ギャリソン，松浦訳） 13
赤字財政の経済学（水野編） 91
悪性リンパ腫細胞診アトラス（栗田／須知／小川／中村） 137
アジア型開発の課題と展望（嘉数／吉田編） 97
アジア経済史研究入門（水島／加藤／久保／島田編） 61
アジア国際通商秩序と近代日本（籠谷） 99
アジアの在来家畜（在来家畜研究会編） 151
アジアの日系企業と技術移転（小川／牧戸編） 89
アジア法ガイドブック（鮎京編） 124
アダム・スミス 修辞学・文学講義（アダム・スミスの会監修，水田／松原訳） 27
アダム・スミス 哲学論文集（スミス，アダム・スミスの会監修，水田ほか訳） 94
アダム・スミスの知識＝社会哲学（鈴木） 94
アダム・スミス 法学講義 1762 ～ 1763（アダム・スミスの会監修，水田／篠原／只腰／前田訳） 126
「新しい女」の到来（佐々木） 22
新しい教育の原理（今津／馬越／早川編） 83
新しい産科学（鈴森／吉村／堤編） 140
新しい地球学（渡邊／檜山／安成編） 151
圧縮された産業発展（川上） 109
アトランティック・ヒストリー（ベイリン，和田／森訳） 54
アニメ・マシーン（ラマール，藤木監訳，大崎訳） 31
アファーマティヴ・アクションの行方（川島） 127
アミロイドーシス（大橋編） 135
アメリカ医療制度の政治史（山岸） 127
アメリカ合衆国と中国人移民（貴堂） 57
アメリカ教育の文化的構造（田浦編） 82
アメリカ巨大企業体制の成立と銀行（須藤） 97
アメリカ啓蒙の群像（田中） 11
アメリカ研究大学の大学院（阿曽沼） 85
アメリカ市民権運動の歴史（川島） 55
アメリカ新古典派経済学の成立（田中） 104
アメリカ先住民の現代史（内田） 55
アメリカ帝国主義成立史の研究（高橋） 47
アメリカニズムと「人種」（川島編） 53
アメリカの経済思想（田中） 100
アメリカの人種主義（竹沢） 79
アメリカ福音派の変容と政治（飯山） 126
アメリカを創る男たち（南） 61
アメリカン・システムから大量生産へ（ハウンシェル，和田／金井／藤原訳） 98
綾足と秋成と（佐藤） 22
鮎川義介と経済的国際主義（井口） 125
アリオスト 狂えるオルランド［上］（アリオスト，脇訳） 25
アリオスト 狂えるオルランド［下］（アリオスト，脇訳） 25
アルツハイマー病の謎（ロック，坂川訳） 143
アレクサンドロス変相（山中） 29
暗黒への旅立ち（荻野） 20
アンチモダン（コンパニョン，松澤監訳） 30
イエズス会士と普遍の帝国（新居） 64
家のイングランド（大石） 35
医外な物語（青木） 1
イギリス現代史 1900–2000（クラーク，西沢／市橋／椿／長谷川他訳） 51
イギリス国民の誕生（コリー，川北監訳） 48
イギリス思想家書簡集 アダム・スミス（篠原／只腰／野原訳） 18
イギリス帝国からヨーロッパ統合へ（小川） 123
イギリス帝国とアジア国際秩序（秋田） 50
イギリス帝国とスエズ戦争（佐々木） 121
イギリス歴史人口学研究（安元） 67
イギリス・ロマン主義に向けて（川崎編） 20
生きること・かかわること（村上監修，池田／赤塚／細野／後藤編） 80
移住民の秩序（山田） 45
イスラーム・ガラス（真道，桝屋監修） 35
イスラーム主義と中東政治（末近） 126
イスラーム 書物の歴史（小杉／林編） 59
イスラーム世界研究マニュアル（小杉／林／東長編） 76
イスラームとスーフィズム（東長） 12
イスラームの写本絵画（桝屋） 32
イスラームのロシア（長縄） 64
伊勢湾岸の大気環境（大和田） 147
痛み学（ストロング他編，熊澤監訳） 142
イタリア 20 世紀史（コラリーツィ，村上監訳，橋本訳） 56
イタリアの中世大学（児玉） 84
イタリア・ファシズム経済（トニオロ，浅井／モルテーニ訳） 94
一般社会学提要（パレート，姫岡訳，板倉校訂） 74
イデアと制度（多賀） 10
遺伝子医療（齋藤／吉田編） 139
イノベーション概念の現代史（ゴダン，松浦訳，隠岐解説） 78
胃袋の近代（湯澤） 65
異文化への視線（佐々木編） 23
異文化理解の倫理にむけて（稲賀編） 24
イブン・バットゥータと境域への旅（家島） 63
移民受入の国際社会学（小井土編） 77
移民と徳（佐々木） 78
イメージの地層（水野） 30
医療の疫学（ワイス，青木監訳，浜島／佐々木訳） 135
イングランド銀行金融政策の形成（金井） 91
飲食朝鮮（林） 66
〈インディアン〉と〈市民〉のはざまで（水野） 54
インド経済史（ロイ，水島訳） 115
インドネシア 展開するイスラーム（小林） 76
インドへの医療協力（加藤／石垣／林／鈴木編） 138
ヴィーコ入門（バーク，岩倉／岩倉訳） 5
ウィルソンの国際社会政策構想（草間） 120
ウェーバー 近代への診断（ポイカー

ト，雀部／小野訳） 6
ヴェーバーとナチズムの間（佐野） 5
嘘と貪欲（大黒） 53
宇宙開発をみんなで議論しよう（呉羽／伊勢田編） 17
宇宙機の熱設計（大西他編） 153
宇宙史を物理学で読み解く（福井監修，飯嶋／杉山／平島／伊藤編） 151
訴える人びと（中谷） 62
移り棲む美術（三浦） 36
海の近代中国（村上） 57
海の富豪の資本主義（中西） 107
海のロシア史（左近） 69
漆紙文書と漆工房（古尾谷） 59
映画観客とは何者か（藤木） 34
栄花物語語句索引（松村／進藤／田島編） 19
英語化するアジア（吉野） 77
英詩再入門（川崎） 21
英文学植物考（加藤） 19
液体および溶液の音波物性（野村／川泉／香田） 147
エコロジーの世紀と植民地科学者（水野） 68
エスニシティの政治社会学（関根） 74
絵図の史学（杉本） 71
越境者の政治史（塩出） 128
ME 化の現状と雇用問題（水野／真継／ダムス編） 88
大沢流 手づくり統計力学（大沢） 152
沖縄問題の起源（エルドリッヂ） 122
贈り物の心理学（成田） 83
遅れてきた国民（ブレスナー，土屋訳） 5
オーストリア経済思想史研究（八木） 91
オスマン帝国と立憲政（藤波） 125
オスマン帝国の世界秩序と外交（鈴木） 72
小津映画の日常（朱） 36
男同士の絆（セジウィック，上原／亀澤訳） 24
踊る身体の詩学（山口） 28
御雇外国人ローレツと医学教育（田中） 82
尾張藩漫筆（林） 43

カ　行

海域から見た歴史（家島） 54
絵画の黄昏（稲賀） 23
絵画の東方（稲賀） 24
絵画の臨界（稲賀） 32
海軍技術者の戦後史（沢井） 66
外交官の誕生（箱田） 56
外交と移民（上） 67
海港の政治史（稲吉） 127
介護市場の経済学（角谷） 113
介助犬を知る（高柳編） 140
〈概念工学〉宣言！（戸田山／唐沢編） 15
概念と生（多賀） 17
開発経済学と現代中国（中兼） 110
開発法学（安田） 122
怪を志す（佐野） 35
顔の見えない定住化（梶田／丹野／樋口） 76
科学アカデミーと「有用な科学」（隠岐） 11
科学技術をよく考える（伊勢田／戸田山／調／村上編） 12
科学的実在論を擁護する（戸田山） 12
科学と証拠（ソーバー，松王訳） 11
科学と表象（田中） 12
科学と文化（井口／藤澤／村上／飯島） 2
科学とモデル（ワイスバーグ，松王訳） 14
学窓雑記Ⅰ（飯島） 1
学窓雑記Ⅱ（飯島） 1
核密約から沖縄問題へ（真崎） 128
核融合研究Ⅰ（池上他編） 148
核融合研究Ⅱ（池上他編） 148
影の美学（宮尾，笹川／溝渕訳） 35
カーシャーニー　オルジェイトゥ史（大塚／赤坂／髙木／水上／渡部訳註） 72
カースト再考（杉江） 79
河川感潮域（西條／奥田編） 149
家族の命運（ダヴィドフ／ホール，山口／梅垣／長谷川訳） 67
形の心理学（横瀬） 81
学校教育の心理学（梶田編） 83
彼女たちの文学（飯田） 33
カミュ 歴史の裁きに抗して（千々岩） 32
カラヴァッジョ（宮下） 27
カルデロン演劇集（カルデロン，佐竹訳） 29
カルドア 技術革新と分配の経済学（木村） 116
彼らの物語（飯田） 23
川辺の環境民俗学（出口） 75
関羽と霊異伝説（太田） 67
感覚の近代（坪井） 27
眼球運動の実験心理学（苧阪／中溝／古賀編） 82
環境と消費の社会心理学（広瀬） 82
環境補助金の理論と実際（李） 103
環境を考える（名古屋大学公開講座委員会編） 147
韓国近代大学の成立と展開（馬越） 82
韓国仏像史（水野） 33
看護師の熟練形成（下野／大津） 142
環太平洋経済の発展と構造調整（木下編） 89
カント 第三の思考（石川） 7
カント批判哲学の研究（黒積） 5
観念の歴史（ラヴジョイ，鈴木／内田／佐々木／秋吉訳） 9
ガンはどれだけ避けられるか（ドル／ピート，青木／大野訳） 136
漢文脈の近代（齋藤） 27
鑑別を主体とした細胞診断学（木村監修，田嶋／柴田編） 136
ガンマナイフ治療（小林編） 138
寛容の文化（メノカル，足立訳） 53
消え去る立法者（王寺） 18
飢餓の革命（梶川） 47
飢饉・疫病・植民地統治（脇村） 49
企業会計論（齊藤編） 91
企業家ネットワークの形成と展開（鈴木／小早川／和田） 106
企業結合と独禁法（服部） 120
企業の成長と金融制度（今井／渡邉） 101
聞くこととしての歴史（大橋） 9
疑似科学と科学の哲学（伊勢田） 8
基礎からの睡眠医学（古池監修，野田／中田／尾崎編） 141
希土類の化学（川邊） 154
記念碑の語るアメリカ（フット，和田／森脇／久田／小澤／内田／森訳） 50
技能形成の戦後史（沢井） 117
客観性（ダストン／ギャリソン，瀬戸口／岡澤／坂本／有賀訳） 17
キャッチアップ型工業化論（末廣） 100
急性死の症例 100（坂監修，佐竹編） 139
キュビスム芸術史（松井） 34
教育近代化の諸相（江藤監修，篠田／鈴木編） 81
教育言説の歴史社会学（広田） 83
教育原理を組みなおす（松下／伊藤／服部編） 87
教育哲学の諸問題（堀内編） 80
教育と学びの原理（早川／伊藤編） 85
教育と学びの心理学（速水編） 84
教育の原理（田浦編） 80
教育の心理（久世編） 81
〈驚異〉の文化史（山中編） 33
京都帝國大學の挑戦（潮木） 80
教養市民層からナチズムへ（野田） 43
共和国の美術（藤原） 37
共和主義の思想空間（田中／山脇編） 9
極北の迷宮（谷田） 24
巨視的経済理論の軌跡（岡田） 97
ギリシア悲劇と「美しい死」（吉武） 34
記録と記憶のアメリカ（和田） 61
記録と記憶の比較文化史（若尾／羽賀編） 52
岐路に立つ韓国企業経営（牧戸編） 89
筋感覚（伊藤） 134
筋感覚からみた運動制御（伊藤） 134
筋感覚の科学（伊藤） 134
近世仮名遣い論の研究（釘貫） 41
近世貨幣と経済発展（岩橋） 116

近世米市場の形成と展開（高槻） 109
近世東南アジア世界の変容（太田） 59
近世名古屋商人の研究（林） 45
近世俳諧史の基層（鈴木） 22
近世東地中海の形成（堀井） 71
近代アジア市場と朝鮮（石川） 62
近代イタリア農業の史的展開（堺） 90
近代科学のリロケーション（ラジ，水谷／水井／大澤訳） 62
近代革命とアジア（河野編） 42
近代書史（石川） 29
近代製糸技術とアジア（清川） 106
近代世界システムⅠ（ウォーラーステイン，川北訳） 111
近代世界システムⅡ（ウォーラーステイン，川北訳） 111
近代世界システムⅢ（ウォーラーステイン，川北訳） 111
近代世界システムⅣ（ウォーラーステイン，川北訳） 111
近代世界の誕生［上］（ベイリ，平田／吉田／細川訳） 65
近代世界の誕生［下］（ベイリ，平田／吉田／細川訳） 65
近代中国と海関（岡本） 47
近代中国の在外領事とアジア（青山） 59
近代ドイツ＝「資格社会」の制度と機能（望田編） 45
近代ドイツ＝資格社会の展開（望田編） 50
近代ドイツの結婚と家族（若尾） 46
近代ドイツの辿った道（テイラー，井口訳） 44
近代日本の科学論（岡本） 16
近代日本の研究開発体制（沢井） 57
近代日本の公民教育（松野） 83
近代日本の国民国家と地方自治（山田） 120
近代日本の陶磁器業（宮地） 106
金融と帝国（井上） 96
空間構成・表現のための図学（東海図学研究会編） 149
空調システムの最適設計（中原編） 149
鯨と捕鯨の文化史（森田） 22
クジラ捕りが津波に遭ったとき（森田） 78
国造りの歴史（土木学会中部支部編） 146
クリティカル・モーメント（高田） 30
グリルパルツァ自伝（グリルパルツァ，佐藤訳） 21
グリーンスパンの隠し絵［上］（村井） 114
グリーンスパンの隠し絵［下］（村井） 114
クローズアップ生理学（伊藤編） 137
クローズアップ臨床栄養学（伊藤編） 138
グローバル開発史（ロレンツィーニ，三須／山本訳） 131
グローバル経営史（橘川／黒澤／西村編） 113
グローバル・ヘルス法（西） 131
グローバル冷戦史（ウェスタッド，佐々木監訳，小川／益田／三須／三宅／山本訳） 124
黒船来航と琉球王国（上原） 69
景気循環の理論（吉田） 102
経済学体系の創成（竹本） 96
経済学のどこが問題なのか（スキデルスキー，鍋島訳） 117
経済・経営の構造変化と対応策（水野／ダムス編） 89
経済社会の歴史（中西編） 114
経済成長の世界史（ジョーンズ，天野／重富／小瀬／北原訳） 104
経済成長の日本史（高島） 114
経済認識の歩み（ディーン，中矢／家本／橋本訳） 96
経済の原理 第1・第2編（ステュアート，小林監訳，竹本他訳） 94
経済の原理 第3・第4・第5編（ステュアート，小林監訳，竹本他訳） 94
経済の国際化（大橋） 102
経済発展と社会変動（菱田／園田） 102
経済発展と体制移行（中兼） 101
啓蒙と改革（田中） 7
啓蒙の運命（富永編） 11
『渓嵐拾葉集』の世界（田中） 26
ケインズ経済学の再生(デビッドソン，永井訳） 95
ケインズとカレツキ（鍋島） 100
結核の文化史（福田） 22
結核病因論（コッホ，永坂訳） 133
血糖コントロールの実践（日吉） 143
ケネーからスラッファへ（菱山） 92
権威と服従（村上） 43
研究はみずみずしく（野依） 150
顕示的消費の経済学（メイソン，鈴木／高／橋本訳） 100
源氏物語の詩学（高橋） 28
原子力発電をどうするか（橘川） 108
建設労働と移民（惠羅） 78
現代アジア移民（重松編） 42
現代アート入門（コッティントン，松井訳） 36
現代アメリカ経済思想の起源（高） 103
現代アメリカ選挙の変貌（渡辺） 128
現代イスラーム金融論（長岡） 108
現代イスラーム世界論（小杉） 122
現代インド経済（柳澤） 111
現代インド政治（近藤） 128
現代貨幣信用論（西村／深町／小林／坂本） 93
現代企業と法（青竹／浜田／山本／黒沼編） 120
現代技術を考える（飯島他） 1
現代教育の原理（田浦／潮木／日比編） 81
現代協同組合論（野原） 97
現代経済学史 1870 ～ 1970（松嶋） 97
現代経済学の生誕（根井） 93
現代人の心の健康（田畑／蔭山／小嶋編） 81
現代制度派経済学宣言（ホジソン，八木／橋本／家本／中矢訳） 98
現代中国政治（毛里） 126
現代中国　内政と外交（毛里） 131
現代中国の財政金融システム（梶谷） 108
現代中国の産業集積（伊藤） 112
現代に生きる（北川他） 1
現代日本語コース中級Ⅰ（名古屋大学日本語教育研究グループ編） 39
現代日本語コース中級Ⅱ（　〃　） 39
現代日本語コース中級Ⅰ［聴解ワークシート］（名古屋大学言語文化部日本語学科編） 40
現代日本語コース中級Ⅱ［聴解ワークシート］（　〃　） 40
現代日本語コース中級Ⅰ[録音テープ]（名古屋大学日本語教育研究グループ編） 40
現代日本語コース中級Ⅱ[録音テープ]（　〃　） 40
現代日本の少年院教育（広田／古賀／伊藤編） 84
現代の宇宙論（早川／佐藤／松本編） 146
現代のコミュニケーション（若林他） 1
現代の思想と人間（久保田／稲垣編） 6
現代の母性看護 概論（入山／春名／大林編） 143
現代の母性看護 各論（入山／春名／大林編） 144
現代ロシア経済（安達） 113
原典 イタリア･ルネサンス芸術論［上］（池上監修） 36
原典 イタリア･ルネサンス芸術論［下］（池上監修） 37
原典 イタリア・ルネサンス人文主義（池上監修） 10
原典 中世ヨーロッパ東方記(高田編訳) 66
原典 ヨーロッパ統合史（遠藤編） 123
原典 ルネサンス自然学［上］（池上監修） 14
原典 ルネサンス自然学［下］（池上監修） 14
権力・知・日常（長谷川編） 42
言論と経営（中村） 78
工業化・組織化・官僚制（コッカ，加来編訳） 44

公共善の彼方に（池上） 58
豪商の明治（粕谷） 101
交通外傷（一杉／西山編） 144
江南デルタ市鎮研究（森編） 44
公立大学の誕生（吉川） 84
交隣と東アジア（岡本編） 71
高齢者の痛みケア（ダーシィ，波多野／熊谷監訳，山口訳） 142
声の祝祭（坪井） 23
誤解された大統領（井口） 129
後漢時代の政治と社会（東） 46
国語国文学論集（名古屋大学国語国文学会編） 19
国際移動の歴史社会学（重松） 75
国際移民の時代（カースルズ／ミラー，関根／関根監訳） 76
国際化と地域経済（真継／牧戸／奥野編） 92
国際技術協力の哲学を求めて（川喜田編） 92
国際金本位制と中央銀行政策（藤瀬／吉岡編） 90
国際経済における日独の役割（真継／ダムス編） 89
国際社会学（梶田編） 74
国際政治経済学（田所） 123
国際政治史（佐々木） 125
国際取引と法（松井／木棚／加藤編） 120
国際比較・近代中等教育の構造と機能（望田編） 43
国際比較・国際関係の経営史（森川／由井編） 98
国際貿易（多和田／柳瀬） 115
国際貿易と経済摩擦（小川／藤瀬／真継／ダムス編） 88
国際法を編む（高橋） 132
国土学への道（島津編） 145
『国富論』を読む（竹本） 103
国分寺瓦の研究（梶原） 55
五山僧がつなぐ列島史（斎藤） 64
ゴシック新論（木俣） 37
ゴシックの視覚宇宙（木俣） 31
瞽女と瞽女唄の研究（グローマー） 28
子育ての変貌と次世代育成支援（原田） 83
古代ローマの自由と隷属（長谷川） 49
古代ローマの政治と社会（長谷川） 49
黒海地域の国際関係（六鹿編） 128
国家学の再建（牧野） 124
「国家総動員」の時代（森） 68
国家と移民（田中） 75
古典古代とパトロネジ（長谷川編） 44
個と宇宙（カッシーラー，薗田訳） 4
子どもの絵の心理学（ワロン他，加藤／日下訳） 82
ゴルドーニ喜劇集（ゴルドーニ，齊藤訳） 28
これからの老年学（井口編） 141
昆虫の生化学・分子生物学（大西／園部／高橋編） 148
今夜ヴァンパイアになる前に（ポール，奥田／薄井訳） 14

サ 行

災後日本の電力業（橘川） 116
最初の近代経済（ド・フリース／ファン・デァ・ワウデ，大西／杉浦訳） 106
最初の経済学体系（小林） 96
最新 人工心肺（上田／碓氷編） 143
最新 生殖医療（菅沼） 141
最新 DNA 鑑定（勝又） 143
最新のカルベン化学（富岡） 151
最新 よくわかる股関節の病気（長谷川） 143
再生医学の基礎（中辻編） 140
財政＝軍事国家の衝撃（ブリュア，大久保訳） 50
財政再建と税制改革（水野） 91
「在日企業」の産業経済史（韓） 107
細胞診断学入門（社本／越川監修，長坂／横井編） 143
細胞診の基礎と応用（田嶋／社本／山岸編） 136
〈叫び〉の中世（後藤） 71
里山の生態学（広木編） 150
ササギから蛾へ（石崎） 151
サロンの思想史（赤木／赤木） 9
産業化する中国農業（宝劍） 114
産業化と商家経営（石井／中西編） 104
産業組織論の新展開（小西編） 92
三〇年代イギリス外交戦略（佐々木） 119
シェイクスピア時代の読者と観客（山田） 31
シェイクスピアの人類学（ベリー，岩崎／山田／滝川訳） 21
シェイクスピアの文化史（岩崎） 25
ジェノサイド再考（鶴田） 129
紫煙と帝国（和田） 48
ジェントルマン資本主義の帝国Ⅰ（ケイン／ホプキンズ，竹内／秋田訳） 98
ジェントルマン資本主義の帝国Ⅱ（ケイン／ホプキンズ，木畑／旦訳） 98
塩とインド（神田） 63
塩と帝国（前田） 117
視覚障害とその代行技術（市川／大頭／鳥居／和気編） 133
視覚代行リハビリテーション（高柳／愛知視覚障害者援護促進協議会編） 140
視覚と近代（大林／山中編） 7
自我の源泉（テイラー，下川／桜井／田中訳） 11
資源国家と民主主義（岡田） 128
自己犠牲とは何か（田村） 15
自国史の行方（近藤） 48
資産格差の経済分析（下野） 93
磁性と超伝導の物理（佐藤／三宅） 153
史蹟論（羽賀） 47
自然は方程式で語る 力学読本（大島） 152
思想の国際転位（水田） 8
士族の歴史社会学的研究（園田／濱名／廣田） 74
失業を埋めもどす（森） 118
質的研究の考え方（大谷） 77
自動車工学の基礎（近森編） 155
自動車の衝突安全（水野） 152
自動車の衝突安全 基礎論（水野） 155
詩文と経世（山本） 37
資本主義世界経済Ⅰ（ウォーラーステイン，藤瀬／麻沼／金井訳） 90
資本主義世界経済Ⅱ（ウォーラーステイン，日南田監訳） 90
資本主義は生きのびるか（シュンペーター，八木編訳） 100
島々の発見（ポーコック，犬塚監訳） 58
社会科学の考え方（野村） 77
社会経済学（八木） 104
社会思想の歴史（坂本） 12
社会資本と経済発展（奥野／焼田／八木編） 95
社会をつくった経済学者たち（藤田） 118
写真集 名古屋大学の歴史（名古屋大学史編集委員会編） 2
宗教文化は誰のものか（永岡） 16
十字軍国家の研究（櫻井） 68
「就社」社会の誕生（菅山） 108
自由主義経済思想の比較研究（田中編） 98
絨毯が結ぶ世界（鎌田） 34
修道院と農民（佐藤） 46
自由と秩序の経済思想史（高） 101
自由の余地（デネット，戸田山訳） 16
18 世紀フランスの法と正義（石井） 121
儒教文化圏の秩序と経済（金） 88
主権免除の国際法（水島） 126
出使日記の時代（岡本／箱田／青山） 59
狩猟と権力（中澤） 72
殉教の日本（小俣） 73
詳解テキスト 医療放射線法令（西澤編） 144
商業試論（カンティロン，アダム・スミスの会監修，津田訳） 93
小説の考古学へ（藤井） 25
肖像画の時代（伊藤） 30
小児科診療マニュアル（渡邊／森島／小島監修，堀部／梶田編） 139
情報処理教育センターハンドブック（岡田／岩田／松本／池田，名古屋大

学情報処理教育センター教育広報専門委員会監修） 147
情報処理教育センター利用の手引（名古屋大学情報処理教育センター教育広報専門委員会編） 146
昭和天皇と立憲君主制の崩壊（伊藤） 52
昭和ナショナリズムの諸相（橋川，筒井編・解説） 6
所得格差と貧困（佐藤） 102
所有と経営の経済理論（松尾） 90
ジョン・ダン全詩集（ダン，湯浅訳） 23
ジョン・ロックの自由主義政治哲学（下川） 121
ジョン・ロックの政治思想（友岡） 119
進化倫理学入門（ジェイムズ，児玉訳） 14
心筋保護法(Hearse/Braimbridge/Jynge, 阿部監訳) 136
神経症者のいる文学（吉田） 23
人工膵臓の基礎と臨床（近藤監修，伊藤／七里編） 134
新・国際社会学（梶田編） 76
新資本主義論（馬場） 97
新宗教と総力戦（永岡） 13
人種主義 その批判的考察（ベネディクト，筒井／寺岡／筒井訳） 75
人種戦争という寓話（廣部） 62
新生児 ECMO（長屋） 141
新制大学の時代（天野） 86
新制大学の誕生［上］（天野） 85
新制大学の誕生［下］（天野） 85
清代の市場構造と経済政策（山本） 50
清帝国とチベット問題（平野） 51
新版 あなたが歴史と出会うとき（堺） 106
新版 基礎からの臨床医学（島本編） 142
新版 経済思想史（大田／鈴木／高／八木編） 104
新版 子どもの教育の歴史（江藤監修，篠田／鈴木／加藤／吉川編） 84
新版 市場経済（山口編） 103
新版 社会経済システムの制度分析（植村／磯谷／海老塚） 105
新版 テキスト母性看護Ⅰ（後藤／森田／鈴木／大村編） 140
新版 テキスト母性看護Ⅱ（後藤／森田／久納／濱松編） 140
新版 乳腺病理学（市原） 142
新版 変動社会の教師教育（今津） 85
新版 臨床医学概論（玉木／林／林） 139
神仏融合の東アジア史（吉田編） 70
人民解放軍と中国政治（林） 127
信頼の政治理論（西山） 130
心理学の窓から（内山） 81
心理テストの確率モデル（ラッシュ，内田監訳） 80
森林の系統生態学（広木） 155
水洗トイレの産業史（前田） 105
図学（峯村） 145
スコットランド啓蒙思想史研究（田中） 4
スコットランド法史（ステアー・ソサエティ編，戒能／平松／角田編訳） 120
スタンダール 近代ロマネスクの生成（栗須） 28
捨児たちのルネッサンス（高橋） 48
ストレスと筋疼痛障害（ヨアンソン他編，間野監訳，岩瀬／中田訳） 141
スペイン黄金世紀演劇集（牛島編訳） 26
スペイン古典文学史（牛島） 23
スポーツとルールの社会学（守能） 74
スミスの倫理（竹本） 15
性が語る（坪井） 31
世紀のはざまにて（加藤） 2
整形外科医のノウハウ・ポイント（岩田／見松／佐藤／長谷川編） 137
政治学講義（田口） 120
政治教育の模索（近藤） 86
政治的暴力の共和国（原田） 70
政治的ロマン主義の運命（有田） 26
聖者の推参（阿部） 25
星条旗 1777 ～ 1924（グインター，和田／山澄／久田／小野沢訳） 47
精神医学の科学哲学（クーパー，伊勢田／村井監訳） 13
生成論の探究（松澤） 26
生態系サービスという挑戦（デイリー／エリソン，藤岡／谷口／宗宮訳） 151
井底蛙談（浅井） 138
製鉄工業都市の誕生（安元） 106
生と死の文化史（川崎／木谷編） 21
税と正義（マーフィー／ネーゲル，伊藤訳） 104
生命科学の実験デザイン（ラクストン／コルグレイヴ，麻生／南條訳） 155
西洋近現代史研究入門（望田／野村／藤本／川北／若尾／阿河編） 54
西洋中世史研究入門（佐藤／池上／高山編） 53
性を装う（オーゲル，岩崎／橋本訳） 24
世界経済の歴史（金井／中西／福澤編） 116
世界史のなかの産業革命（アレン，眞嶋／中野／安元／湯沢訳） 115
世界史のなかの東南アジア［上］（リード，太田／長田監訳） 71
世界史のなかの東南アジア［下］（リード，太田／長田監訳） 71
世界史のなかの東アジアの奇跡（杉原） 69
世界大不況と国際連盟（藤瀬編） 95
世界の発光生物（大場） 156
世界の複数性について（ルイス，出口監訳，佐金／小山／海田／山口訳) 13
世俗の時代［上］(テイラー, 千葉監訳，木部／山岡／遠藤訳) 16
世俗の時代［下］(テイラー, 千葉監訳，石川／梅川／高田／坪光訳) 16
絶海の碩学（池内） 63
接触造形論（稲賀） 33
接続された歴史（スブラフマニヤム，三田／太田訳） 55
セレブの誕生（リルティ，松村／井上／齋藤訳） 66
尖閣問題の起源（エルドリッヂ，吉田／中島訳） 127
宣教と適応（齋藤編） 68
戦後 IMF 史（伊藤／浅井編） 112
戦後アメリカ通貨金融政策の形成（須藤） 105
戦後日本の資源ビジネス（田中） 109
戦後日本の対外金融（伊藤） 106
戦後表現（坪井） 38
戦後ヒロシマの記録と記憶［上］(若尾／小倉編) 65
戦後ヒロシマの記録と記憶［下］(若尾／小倉編) 65
戦時期日本の私立大学（伊藤） 86
全身振動の生体反応（デュピィ／ツェレット，松本／岡田他訳） 136
戦前日本のユニバーサルバンク（粕谷） 116
戦争違法化運動の時代（三牧） 127
戦争国家イギリス（エジャトン，坂出監訳，松浦他訳） 63
戦争障害者の社会史（北村） 70
専門知を再考する（コリンズ／エヴァンズ，奥田監訳，和田／清水訳) 78
宗主権の世界史（岡本編） 59
増殖するペルソナ（藤木） 29
漱石漢詩研究資料集（高木） 20
漱石先生の暗示（佐々木） 30
組織された資本主義(ヴィンクラー編，保住／近藤／丸山／後藤／河野訳) 92
租税回避と法（本部） 130
属国と自主のあいだ（岡本） 52
ソフィストと哲学者の間（納富） 8
祖父母であること（安藤） 77
素粒子から宇宙へ（早川） 147

タ　行

大学論を組み替える（広田） 86
対華二十一ヵ条要求とは何だったのか（奈良岡） 60
大気水圏科学からみた地球温暖化（半田編） 148

大恐慌下の中国（城山） 108
大君外交と「武威」（池内） 53
第三角法による図学演習リーフレット（東海図学研究会編） 148
第三世界の地域開発（長峯） 90
第三帝国の音楽（リーヴィー，望田監訳，田野／中岡訳） 48
大清帝国の形成と八旗制（杉山） 60
体制移行の政治経済学（中兼） 107
対中借款の政治経済史（久保田） 62
ダイチン・グルンとその時代（承） 55
「大東亜共栄圏」経済史研究（山本） 108
「大東亜戦争」はなぜ起きたのか（松浦） 124
大動脈解離（阿部編） 137
第二次世界大戦の勃発（栗原） 45
対日協力者の政治構想（関） 67
代表の概念（ピトキン，早川訳） 129
大分岐（ポメランツ，川北監訳） 60
太陽地球系物理学（國分） 152
大陸関与と離脱の狭間で（大久保） 129
大陸反攻と台湾（五十嵐） 131
台湾外交の形成（清水） 130
ダーウィン前夜の進化論争（松永） 9
ダーウィンの時代（松永） 7
竹島問題とは何か（池内） 57
多国籍企業の租税戦略（皆川） 94
闘う村落（蒲） 69
ターヘル・アナトミアと解体新書（小川監訳，酒井訳編） 135
多変量解析による臨床研究（浜島） 139
多民族国家プロイセンの夢（今野） 124
ダム湖・ダム河川の生態系と管理（谷田／村上編） 151
試される正義の秤（佐藤） 130
誰が科学技術について考えるのか（小林） 75
地域の発展（加藤） 102
地形現象のモデリング（遠藤／小西／西森／水口／柳田編） 154
知識経済の形成（モキイア，長尾監訳，伊藤訳） 115
知識という環境（森際編） 6
知の歴史社会学（リンガー，筒井他訳） 6
チベットの仏教美術とマンダラ（森） 30
地方からの産業革命（中村） 107
チャネル間競争の経済分析（成生） 112
チャールズ・テイラーの思想（アビィ，梅川訳） 15
中華帝国の構造と世界経済（黒田） 95
中国近世の罪と罰（太田） 61
中国近世の福建人（中砂） 57
中国近代外交の形成（川島） 51
中国経済学入門（加藤） 113
中国経済史（岡本編） 111
中国芸術というユートピア（範） 34
中国国有企業の政治経済学（中屋） 118
中国出版文化史（井上） 49
中国の経済改革と企業管理（任） 88
中国の経済発展と市場化（加藤） 97
中国の誕生（岡本） 63
中国返還後の香港（倉田） 124
中国歴史研究入門（礪波／岸本／杉山編） 53
中世後期フィレンツェ毛織物工業史（星野，齊藤訳） 96
中世日本の王権神話（阿部） 35
中世日本の宗教テクスト体系（阿部） 31
中世日本の世界像（阿部） 34
中世の夢（ルゴフ，池上訳） 44
中東鉄道経営史（麻田） 57
朝貢・海禁・互市（岩井） 68
超高齢社会と向き合う（田尾／西村／藤田編） 102
鳥獣戯画を読む（伊藤） 36
朝鮮燕行使と朝鮮通信使（夫馬） 60
朝鮮外交の近代（森） 64
朝鮮史研究入門（朝鮮史研究会編） 56
超低温物理（益田） 146
超伝導接合の物理（田仲） 156
ツベルクリン騒動（月澤） 72
定期市の研究（石原） 42
帝国から開発援助へ（秋田） 63
帝国からヨーロッパへ（オーウェン，和田監訳） 103
帝国後のインド（小川） 66
帝国主義と国際通貨体制（吉岡） 99
帝国主義日本の対外戦略（石井） 109
帝国日本と財閥商社（春日） 107
帝国日本の植民地法制（浅野） 123
帝国の銀幕（ハーイ） 22
帝国の研究（山本編） 51
帝国のはざまで（シュミット，糟谷／並木／月脚／林訳） 54
帝国のフロンティアをもとめて（東，飯島／今野／佐原／佃訳） 72
帝国・身分・学校（橋本） 84
帝政ロシア司法制度史研究（高橋） 122
ティッシュ・エンジニアリング（上田編） 139
テキスト医学生物学（太田編） 138
デジタル時代の日本映画（ワダ・マルシアーノ） 30
哲学者たちの天球（タカハシ） 17
デューイの探究教育哲学（早川） 82
デリバティブの基礎理論（塚田） 100
テレビ成長期の日本映画（北浦） 34
「テロとの闘い」と日本（宮崎） 129
電磁気学読本［上］（大島） 154
電磁気学読本［下］（大島） 154
天正大地震誌（飯田） 42
天津の近代（吉澤） 49
転生するイコン（松原） 36
伝統中国商業秩序の崩壊（本野） 51
天ハ自ラ助クルモノヲ助ク（平川） 27
ドイツ家政学・生活経営学（今井） 95
ドイツ現代史と国際教科書改善（近藤） 45
ドイツ国民とナショナリズム（ダン，末川／姫岡／高橋訳） 47
ドイツ社会文化史（フライターク，井口訳） 46
ドイツ社会保険史（福澤） 109
東海地方の情報と社会（近藤／林編） 2
道教経典の形成と仏教（神塚） 14
統計学を哲学する（大塚） 16
陶芸のジャポニスム（今井） 33
統計力学の形成（稲葉） 156
桃源の水脈（芳賀） 35
統語意味論（上山） 41
統合ヨーロッパの市民性教育（近藤編） 84
東西ウイグルと中央ユーラシア（森安） 60
糖鎖生物学（北島／佐藤／門松／加藤編） 155
投資社会の勃興（坂本） 112
道徳の社会学（バイエ，久保田訳） 74
糖尿病（堀田監修，糖尿病と血管障害に関する研究会編） 140
動物からの倫理学入門（伊勢田） 10
動物集団の遺伝学（野澤） 147
東北アジアの歴史と社会（畑中／原山編） 44
徳川後期の学問と政治（眞壁） 122
徳川日本の刑法と秩序（代田） 130
読書人の没落（リンガー，西村訳） 5
土壌圏と地球温暖化（木村／波多野編） 150
土壌圏と地球環境問題（木村編） 149
土地と権力（田中） 46
トマス・リード（長尾） 9
豊田喜一郎伝（和田／由井） 101
豊田喜一郎文書集成（和田編） 99
奴隷貿易をこえて（小林） 70

ナ　行

ナイル世界のヘレニズム（周藤） 59
名古屋大学五十年史［通史一・二］（名古屋大学史編集委員会編） 2
名古屋大学五十年史［部局史一・二］（名古屋大学史編集委員会編） 2
名古屋大学の歴史 1871 ～ 2019［上］（名古屋大学編） 3
名古屋大学の歴史 1871 ～ 2019［下］（名古屋大学編） 3
ナチズムと歴史家たち（シェットラー

編，木谷／小野／芝訳） 49
ナチ党の思想と運動（中村） 43
涙の詩学（クリステワ） 25
南米キリスト教美術とコロニアリズム（岡田／齋藤） 28
ニクソン訪中機密会談録（毛里／毛里訳） 128
「二重国籍」詩人 野口米次郎（堀） 31
20 世紀アメリカ国民秩序の形成（中野） 60
20 世紀環境史（マクニール，海津／溝口監訳） 56
二〇世紀国際政治史（福田／義井／草間） 121
20 世紀資本主義の歴史Ⅰ（藤瀬） 110
20 世紀物理学史［上］（カーオ，岡本監訳，有賀／稲葉他訳） 153
20 世紀物理学史［下］（カーオ，岡本監訳，有賀／稲葉他訳） 153
20 世紀ヨーロッパ社会経済史（アムブロジウス／ハバード，肥前／金子／馬場訳） 93
日米関係経営史（塩見／堀編） 99
日米企業のグローバル競争戦略（塩見／橘川編） 105
日米同盟の制度化（吉田） 126
日韓交流の民族考古学（渡辺） 46
日清戦争における日本外交（古結） 62
日中国交正常化の政治史（井上） 125
ニッポン・モダン（ワダ・マルシアーノ） 29
日本型排外主義（樋口） 76
日本企業の国際化（小川／木下／岸田編） 88
日本近世・近代の畑作地域史研究（溝口） 50
日本経済 観測と分析（馬場） 91
日本経済の長い近代化（中林編） 110
日本経済の歴史（中西編） 110
日本語活字印刷史（鈴木） 41
日本語研究と日本語教育（カッケンブッシュ／尾崎／鹿島／藤原／籾山編） 40
日本湖沼誌（田中） 146
日本湖沼誌Ⅱ（田中） 150
日本古代奴婢の研究（神野） 45
日本植民地経済史研究（山本） 93
日本植民地建築論（西澤） 55
日本書史（石川） 25
日本石油産業の競争力構築（橘川） 109
日本淡水産動植物プランクトン図鑑（田中） 156
日本中世市場論（安野） 66
日本中世社会の形成と王権（上島） 56
日本帝国と委任統治（等松） 125
日本的自治の探求（石川） 121
日本電力業の発展と松永安左ヱ門（橘川） 96
日本電力業発展のダイナミズム（橘川） 103
日本における在来的経済発展と織物業（谷本） 98
日本のエネルギー革命（小堀） 108
日本の技術進歩と産業組織（西田） 90
日本の技能形成（沢井） 113
日本の経済学（池尾） 104
日本の産業教育（三好） 85
日本の石油化学産業（平野） 113
日本の対外金融と金融政策（伊藤） 92
日本の地方政治（曽我／待鳥） 123
日本の電子部品産業（中島） 115
日本の都市化と社会変動（春田） 148
日本不動産業史（橘川／粕谷編） 105
日本綿業史（阿部） 117
乳幼児の心身発達と環境（服部／原田） 81
ニュースピークからサイバースピークへ（ゲローヴィチ，大黒訳，金山校閲・解説） 18
ニュートン主義とスコットランド啓蒙（長尾） 8
庭のイングランド（川崎） 19
人間進化の科学哲学（中尾） 13
人間性の医学（飯島／加藤監修，堀田／太田編） 138
人間の探究（久保田／稲垣編） 4
人間本性考（ラヴジョイ，鈴木／市岡／佐々木訳） 7
認識論を社会化する（伊勢田） 9
ネイションとエスニシティ（スミス，巣山／高城他訳） 75
熱帯土壌学（久馬編） 149
農の科学史（並松） 62
濃尾平野の地盤沈下と地下水（東海三県地盤沈下調査会編） 145
農民国家の課題（厳） 101
農民と労働者の民主主義（中田） 125
NO NUKES（ワダ・マルシアーノ） 36

ハ　行

ハイエク，ハイエクを語る（クレスゲ／ウェナー編，嶋津訳） 99
バイオテクノロジーと食料革命（松尾／鵜高編） 145
敗戦とハリウッド（北村） 33
ハイデガーとナチズム（ファリアス，山本訳） 4
ハイデッガー＝ヤスパース往復書簡（ビーメル／ザーナー編，渡邊訳） 5
博士号のとり方（フィリップス／ピュー，角谷訳） 86
バシュラールの世界（松岡） 4
パスカル 直観から断定まで（小柳） 5
バタイユ 聖なるものから現在へ（吉田） 12
パチンコ産業史（韓） 115
「腹の虫」の研究（長谷川／辻本／クネヒト／美濃部） 31
薔薇をして語らしめよ（川崎） 21
繁殖干渉（高倉／西田編） 155
阪神・淡路大震災と子どもの心身（服部／山田編） 83
反転する環境国家（佐藤） 78
ピアノの日本史（田中） 70
美学イデオロギー（大河内） 35
東アジア国際政治史（川島／服部編） 122
東アジア国際通貨と中世日本（井上） 117
東アジアの社会大変動（末廣／大泉編） 77
東アジアのなかの満鉄（林） 69
東アジアモンスーン域の湖沼と流域（坂本／熊谷編） 150
引揚・追放・残留（蘭／川喜田／松浦編） 67
「ひきこもり」と「ごみ屋敷」（古橋） 79
ピグー 財政学（ピグー，本郷訳） 116
ピグー 富と厚生（ピグー，八木監訳，本郷訳） 109
ピグーの思想と経済学（本郷） 105
ビジネス・インフラの明治（前田） 112
美食家の誕生（橋本） 32
「非正規労働」を考える（小池） 113
肥満の疫学（フー，小林／八谷／小林監訳） 142
ヒューム 道徳・政治・文学論集［完訳版］（ヒューム，田中訳） 11
病原菌と国家（小川） 61
病態生理と看護学（堀場／澤田／田嶋編） 137
平生釟三郎自伝（平生，安西校訂） 2
ヒロシマ（ツヴァイゲンバーグ，若尾／西井／高橋／竹本訳） 69
ファミリービジネス論（末廣） 105
フィクションとは何か（ウォルトン，田村訳） 13
フィルム・アート（ボードウェル／トンプソン，藤木監訳，飯岡／板倉／北野／北村／笹川訳） 28
FORTRAN 入門（名古屋大学情報処理教育センター教育広報専門委員会編） 145
Fortran 77 入門（岩田／岡田／松本／池田） 148
福澤諭吉 国家理性と文明の道徳（西村） 10
福沢諭吉と西欧思想（安西） 6
福祉のアジア（上村） 77
複数世界の思想史（長尾） 12
藤田嗣治 作品をひらく（林） 29
物性論ノート（佐藤） 154
物理学ミニマ（杉山監修，野尻／伊藤／藤／門田） 153

物理仮想実験室（土井／滝本編） 150
不定性からみた科学（吉澤） 17
普遍史の変貌（大塚） 64
プラズマ加熱基礎論（高村） 145
プラズマ診断の基礎（プラズマ・核融合学会編） 146
プラトンと法律（松坂） 119
ブラメルド教育哲学の研究（甲斐） 80
フラーレンとナノチューブの科学（篠原／齋藤） 152
フランク史Ⅰ　クローヴィス以前(佐藤) 70
フランク史Ⅱ　メロヴィング朝の模索（佐藤） 70
フランス革命と公共性（安藤編） 50
フランス啓蒙思想の展開（安藤） 4
フランス自由主義の成立（安藤） 10
プルースト 芸術と土地（小黒） 29
プルーストと創造の時間（中野） 32
ブレイク全著作（ブレイク，梅津訳） 20
文学熱の時代（木村） 33
文化と経済発展（水野／飯田／藤瀬編） 88
文化と精読（富山） 26
文化ナショナリズムの社会学（吉野） 75
分子地球化学（高橋編） 156
平安時代彫刻史の研究（伊東） 24
平家物語の成立（山下） 22
平和構築を支援する（谷口） 130
ベッカリーアとイタリア啓蒙（堀田） 7
ペトラルカ 凱旋（ペトラルカ，池田訳） 26
ペトラルカ カンツォニエーレ（ペトラルカ，池田訳） 21
変革する文体（木村） 37
辺境の生成（足立） 67
変動為替相場制の理論（奥村） 91
放射線安全取扱の基礎（西澤／飯田編） 153
放射線と安全につきあう（西澤／柴田編） 154
法整備支援とは何か（鮎京） 125
法曹の倫理（森際編） 130
法と刑罰の歴史的考察（平松義郎博士追悼論文集編集委員会編） 119
法と力（西） 129
保険と年金の経済学（西村） 99
保護主義か自由貿易か（真継／ダムス編） 89
誇り高い技術者になろう（黒田／戸田山／伊勢田編） 152
保守革命とナチズム（小野） 51
ポスト・ケインズ派経済学（鍋島） 114
北極圏の大気科学（岩坂編） 149
ホッブズ 政治と宗教（梅田） 122
不如帰の時代（藤井） 21
ホメロスの逆襲（小川） 37
「ボランティア」の誕生と終焉（仁平） 76
ポーランド「脱社会主義」への道（家本） 95
香港「帝国の時代」のゲートウェイ（久末） 110
ポンドの苦闘（金井） 103
ポンドの譲位（金井） 112

マ　行

マキァヴェリアン・モーメント（ポーコック，田中／奥田／森岡訳） 10
マクロ経済政策の研究（稲毛） 93
マザーマシンの夢（沢井） 111
マーシャルからケインズへ（根井） 92
幻の同盟［上］（小野沢） 61
幻の同盟［下］（小野沢） 61
マルコ・ポーロ／ルスティケッロ・ダ・ピーサ 世界の記（高田訳） 58
丸山眞男の教養思想（西村） 15
「満洲国」以後（松本編） 118
「満洲国」から新中国へ（松本） 48
「満洲国」経済史研究（山本） 102
「満洲」の成立（安冨／深尾編） 55
満鉄経営史（平山） 66
見えない産業（沢井） 114
ミジンコ（花里） 149
水上勉（藤井） 37
水の環境学（清水／檜山／河村編） 152
三つの新体制（シヴェルブシュ，小野／原田訳） 60
三つの世界の狭間で（黛） 57
緑の工業化（堀内） 117
南シナ海問題の構図（庄司） 131
魅惑する帝国（田野） 54
民衆バロックと郷土（クレッツェンバッハー，河野訳） 43
民主化の韓国政治（木村） 123
明代とは何か（岡本） 72
みんなの Fortran（松本／野老山） 156
民法解釈の基本問題（松坂） 119
無意識という物語（一柳） 32
無菌空間（宮川） 133
村の公証人（ルメートル，佐藤／持田訳） 72
メキシコの子どもの体力と生活環境（小林） 134
メソコスム 湖沼生態系の解析（西條／坂本編） 147
メラノサイト病変（原／大橋） 138
免疫実験法ハンドブック（中島編） 141
もう一つの軌跡（石塚） 135
もう一つの金融システム（田中） 115
毛沢東時代の経済（中兼編） 117
毛沢東論（中兼） 131
〈モータウン〉のデザイン（堀田） 155
モナドロジーの美学（米山） 7
物語文芸の表現史（高橋） 20
ものづくり日本経営史（粕谷） 110
ものづくりの寓話（和田） 107
ものづくりを超えて（和田） 110
モムゼン ローマの歴史Ⅰ（モムゼン，長谷川訳） 52
モムゼン ローマの歴史Ⅱ（モムゼン，長谷川訳） 52
モムゼン ローマの歴史Ⅲ（モムゼン，長谷川訳） 52
モムゼン ローマの歴史Ⅳ（モムゼン，長谷川訳） 52
モラル・サイエンスの形成（神野） 6
モラル・リスクと保険（王） 132
モンゴル時代の出版文化（宮） 53
モンゴル時代の「知」の東西［上］(宮) 64
モンゴル時代の「知」の東西［下］(宮) 64
モンゴル覇権下の高麗（森平） 58
文書行政の漢帝国（冨谷） 56

ヤ　行

やさしい肩こり・腰痛・シビレの話（見松／河村） 141
やさしい有機光化学（伊澤） 150
柳田國男 経世済民の学（藤井） 96
野蛮から秩序へ（松森） 124
野蛮と宗教Ⅰ（ポーコック，田中訳） 17
野蛮と宗教Ⅱ（ポーコック，田中訳） 17
山下清と昭和の美術（服部／藤原） 32
唯美主義とジャパニズム（谷田） 26
郵政民営化の政治経済学（伊藤） 116
輸出立国の時代（沢井） 118
湯屋の皇后（阿部） 24
ユーラシアの交通・交易と唐帝国（荒川） 56
赦すことと罰すること（福田） 127
養護教諭の社会学（すぎむら） 85
よくわかる医療面接と模擬患者（鈴木／阿部編） 142
よくわかる膝関節の病気・ケガ（岩田監修，長谷川／横江） 139
吉野作造と上杉慎吉（今野） 129
ヨーロッパ（長谷川編） 42
ヨーロッパ家族社会史（ミッテラウアー／ジーダー，若尾／若尾訳） 45
ヨーロッパ政治思想の誕生（将基面） 126
ヨーロッパ中世の宗教運動（池上） 54
ヨーロッパ中世の想像界（池上） 68
ヨーロッパ統合史（遠藤編） 123
ヨーロッパの奇跡（ジョーンズ，安元／脇村訳） 48

ラ　行

雷放電現象（竹内）　146
ラテンアメリカ経済史（バルマー＝トーマス，田中／榎股／鶴田訳）100
ラテン文學史（田中）　20
リヴァイアサンと空気ポンプ（シェイピン／シャッファー，吉本監訳，柴田／坂本訳）　13
力学の誕生（有賀）　15
流通の経済理論（成生）　95
量子力学 10 講（谷村）　156
量子論に基づく無機化学（高木）　154
良心論（石川）　8
臨床環境学（渡邊／中塚／王編）　153
臨床細胞学（田嶋／松田／杜本／山岸編）　137
臨床随想（祖父江）　133
臨床の視点（祖父江）　137
ルイ 14 世（パーク，石井訳）　51
ルソーとジュネーヴ共和国（川合）　10
ルソーの啓蒙哲学（川合）　8
ルネサンスの数学思想（東）　16
レオパルディ カンティ（レオパルディ，脇／杜本訳）　27
歴史家たち（トムスン／デイヴィス／ギンズブルグ他，近藤／野村編訳）　43
歴史家と少女殺人事件（ジャブロンカ，真野訳）　68
歴史教育の比較史（近藤編）　69
歴史人名学序説（芝）　65
歴史としての日教組［上］（広田編）　86
歴史としての日教組［下］（広田編）　86
歴史は現代文学である（ジャブロンカ，真野訳）　65
恋愛結婚の成立（前野）　27
労働時間の政治経済学（清水）　107
労働市場の地殻変動（丸川）　101
老年と正義（瀬口）　11
ロシア革命論Ⅰ（ウェーバー，雀部／小島訳）　121
ロシア革命論Ⅱ（ウェーバー，肥前／鈴木／小島／佐藤訳）　121
ロシア原初年代記（國本／山口／中条他訳）　20
ロシア語読本（丹辺／狩野／中条／木村／林田）　40
ロシア語読本［録音テープ］（　〃　）　41
ロシア史を読む（ラエフ，石井訳）　49
ロシア中世文法史（山口）　41
ロボットからの倫理学入門（久木田／神崎／佐々木）　14
ロボットに倫理を教える（ウォラック／アレン，岡本／久木田訳）　15
ローマ政治家伝Ⅰ　カエサル（ゲルツァー，長谷川訳）　58
ローマ政治家伝Ⅱ　ポンペイウス（ゲルツァー，長谷川訳）　58
ローマ政治家伝Ⅲ　キケロ（ゲルツァー，長谷川訳）　58
ロマネスク世界論（池上）　47
ローヤリングの考え方（榎本）　131
論理学をつくる（戸田山）　8

ワ　行

ワイマル共和国（ボイカート，小野／田村／原田訳）　44
若き教養市民層とナチズム（田村）　46
私にはいなかった祖父母の歴史（ジャブロンカ，田所訳）　63
ワルラスの経済思想（御崎）　99

A–Z

The American Neighborhood Novel（Mayer）　19
Buerger's Disease（塩野谷）　136
Cancer Mortality Statistics in the World（栗原／青木／富永編）　134
Cancer Mortality Statistics in the World 1950–1985（栗原／青木／久道編）　134
Cancer Prevention in Developing Countries（青木／富永／平山／広田編）　133
A Course in Modern Japanese［Revised ed.］Vol. 1（名古屋大学日本語教育研究グループ編）　39
A Course in Modern Japanese［Revised ed.］Vol. 2（　〃　）　39
A Course in Modern Japanese［Revised ed.］Vol. 1《CD》（　〃　）　39
A Course in Modern Japanese［Revised ed.］Vol. 2《CD》（　〃　）　39
Current Status of Cancer Research in Asia, the Middle East and Other Countries（和田／青木／谷内編）　135
History of Japanese Medicine in the Edo Era（長与）　136
L'Image de l'Allemagne dans le roman français de 1945 à nos jours（Morita-Clément）　19
Industrialisation, Urbanisation and Demographic Change in England（安元）　94
An Introduction to Japanese Kanbun（駒井／ローリック）　40
Neonatal Brain and Behavior（藪内／渡辺／岡田編）　135
Problems of Small-Scale and Cottage Industries in Bangladesh（Kamal）89
Proceedings of the First International Symposium on Pediatric Neurooncology（景山編）　135
Supreme Soviet Organs（皆川）　119
The UICC Smoking Control Workshop（富永／青木編）　133

▶著訳編者名索引

ア　行

鮎京正訓 124, 125
愛知視覚障害者援護促進協議会 140
青木國雄 1, 133, 134, 135, 136
青竹正一 120
青山治世 59
阿河雄二郎 54
赤木昭三 9
赤木富美子 9
赤坂恒明 72
赤塚大樹 80
秋田　茂 50, 63, 98
秋吉輝雄 9
浅井淳平 138
浅井良夫 94, 112
麻田雅文 57
麻沼賢彦 90
浅野豊美 123
東栄一郎 72
麻生一枝 155
阿曽沼明裕 85
足立　孝 53, 67
安達祐子 113
アダム・スミスの会 27, 93, 94, 126
アビィ, ルース 15
阿部恵子 142
阿部武司 117
阿部稔雄 136, 137
阿部泰郎 24, 25, 31, 34, 35
天野郁夫 85, 86
天野雅敏 104
アムブロジウス, G. 93
荒川正晴 56
蘭　信三 67
アリオスト, ルドヴィコ 25
有賀暢迪 15, 17, 153
有田英也 26
アレン, C. 15
アレン, R. C. 115
安西敏三 2, 6
安藤　究 77
安藤隆穂 4, 10, 50
安野眞幸 66
李　秀澈（Lee, Soo Cheol） 103
飯岡詩朗 28
飯島宗一 1, 2, 138
飯嶋　徹 151
飯島真里子 72
飯田汲事 42
飯田孝夫 153
飯田経夫 88
飯田祐子 23, 33
飯山雅史 126
家本博一 95, 96, 98
五十嵐隆幸 131
井口昭久 141
井口　潔 2
井口治夫 125, 129
池内　敏 53, 57, 63
池尾愛子 104
池上俊一 10, 14, 36, 37, 44, 47, 53, 54, 58, 68
池上英雄 148
池田　廉 21, 26
池田豊應 80
池田幹男 147, 148
伊澤康司 150
石井寛治 104, 109
石井規衛 49
石井三記 51, 121
石垣武男 138
石川九楊 25, 29
石川一三夫 121
石川文康 7, 8
石川涼子 16
石川亮太 62
石崎宏矩 151
石塚直隆 135
石原　潤 42
伊勢田哲治 8, 9, 10, 12, 13, 17, 152
磯谷明徳 105
板倉達文 74
板倉史明 28
市岡義章 7
市川　宏 133
市橋秀夫 51
市原　周 142
一柳廣孝 32
伊藤彰浩 85, 86, 87
伊藤亜聖 112
伊藤　要 134
伊藤茂樹 84
伊藤　繁 151
伊藤庄一 115
伊東史朗 24
伊藤大輔 30, 36
伊藤文雄 134, 137, 138
伊藤正直 92, 106, 112
伊藤真利子 116
伊藤恭彦 104
伊藤之雄 52
伊藤好孝 153
稲賀繁美 23, 24, 32, 33
稲垣良典 4, 6
稲毛満春 93
稲葉　肇 153, 156
稲吉　晃 127
犬塚　元 58
井上櫻子 66
井上　進 49
井上　巽 96
井上正夫 117
井上正也 125
井口省吾 44, 46
今井健一 101
今井光映 95
今井祐子 33
今津孝次郎 83, 85
林　載桓（Lim, Jaehwan） 127
林　采成（Lim, Chaisung） 66, 69
入山茂美 143, 144
岩井茂樹 68
岩倉翔子 5
岩倉具忠 5
岩坂泰信 149
岩崎宗治 21, 24, 25
岩瀬　敏 141
岩田　晃 147, 148
岩田　久 137, 139
岩橋　勝 116
ヴィンクラー, H. A. 92
上島　享 56
ウェスタッド, O. A. 124
上田　実 139
上田裕一 143
ウェナー, L. 99
ウェーバー, M. 121
上原兼善 69
上原早苗 24
植村博恭 105
上山あゆみ 41
ウォーラーステイン, I. 90, 111
ウォラック, W. 15
ウォルトン, ケンダル 13
潮木守一 80, 81
牛島信明 23, 26
碓氷章彦 143
薄井尚樹 14
鵜高重三 145
内田綾子 50, 55
内田成子 9
内田良男 80
内山道明 81
馬越　徹 82, 83
海津正倫 56
梅垣千尋 67
梅川佳子 15, 16
梅田百合香 122
梅津濟美 20
エヴァンズ, R. 78
エジャトン, デービッド 63
江藤恭二 81, 84
榎股一索 100
榎本　修 131
海老塚明 105
恵羅さとみ 78
エリソン, K. 151
エルドリッヂ, ロバート・D. 122, 127
遠藤　乾 123
遠藤知子 16
遠藤徳孝 154
王　学士 132
王　智弘 153
オーウェン, ジェフリー 103
王寺賢太 18
大石和欣 35
大泉啓一郎 77
大久保明 129
大久保桂子 50
大黒俊二 53
大河内昌 35
大﨑晴美 31
大澤広晃 62
大沢文夫 152
大島隆義 152, 154
大頭　仁 133
太田　淳 59, 71
太田　出 61, 67
大田一廣 104
太田信宏 55
太田美智男 138
大谷　尚 77
大津廣子 142
大塚　修 64, 72
大塚　淳 16
大西　晃 153
大西英爾 148
大西吉之 106
大野良之 136
大場裕一 156
大橋英夫 102
大橋　勝 135, 138
大橋良介 9

大林信治 7
大林陽子 143, 144
大村いづみ 140
大和田道雄 147
岡澤康浩 17
岡田　晃 136
岡田　勇 128
岡田伸太郎 135
岡田裕成 28
岡田　稔 147, 148
岡田元浩 97
岡本慎平 15
岡本隆司 47, 52, 59, 63, 71, 72, 111
岡本拓司 16, 153
小川英次 88, 89
小川鼎三 135
小川浩之 123, 124
小川一誠 137
小川正廣 37
小川眞里子 61
小川道大 66
隠岐さや香 11, 78
荻野昌利 20
奥田節夫 149
奥田　敬 10
奥田太郎 14, 78
奥野信宏 92, 95
奥村隆平 92
小倉桂子 65
小黒昌文 29
オーゲル, S. 24
苧阪良二 82
尾崎明人 40
尾崎紀夫 141
長田紀之 71
小澤卓也 50
小野清美 6, 44, 49, 51, 60
小野沢透 47, 61
小俣ラポー日登美 73

カ　行

甲斐進一 80
海田大輔 13
戒能通厚 120
カーオ, ヘリガ 153
嘉数　啓 97
加来祥男 44
景山直樹 135
蔭山英順 81
籠谷直人 99
梶川伸一 47
梶田孝道 74, 76
梶田正巳 83
梶田光春 139
梶谷　懐 108
鹿島　央 40
梶原義実 55
春日　豊 107
糟谷憲一 54
粕谷　誠 101, 105, 108, 116
カースルズ, S. 76
カッケンブッシュ寛子 40
カッシーラー, エルンスト 4
勝又義直 143
加藤晃一 155
加藤さだ 19
加藤詔士 84
加藤延夫 2, 138
加藤　博 61
加藤弘之 97, 102, 113
加藤雅信 120
加藤義信 82
門田健司 153
門松健治 155
角谷快彦 86, 113
金井光太朗 98
金井雄一 90, 91, 103, 112, 116
金山浩司 18
金子邦子 93
狩野昊子 40, 41
蒲　豊彦 69
鎌田由美子 34
上　英明 67
神塚淑子 14
神野慧一郎 6
上村泰裕 77
亀澤美由紀 24
唐沢かおり 15
カルデロン・デ・ラ・バルカ, ペドロ 29
川合清隆 8, 10
川泉文男 147
川上桃子 109
川喜田敦子 67
川喜田二郎 92
川北　稔 48, 54, 60, 111
川崎寿彦 19, 20, 21
川島　真 51, 122
川島正樹 53, 55, 127
河野健二 42
河野裕康 92
川邊岩夫 154
河村則行 152
河村守雄 141
神崎宣次 14
神田さやこ 63
カンティロン, R. 93
岸田民樹 88
岸本美緒 53
北浦寛之 34
北川隆吉 1
北島　健 155
木棚照一 120
木谷　勤 21, 49
北野圭介 28
北原　聡 104
北村　洋 28, 33
北村陽子 70
橘川武郎 96, 103, 105, 108, 109, 113, 116
貴堂嘉之 57
木下宗七 88, 89
木畑洋一 98
木部尚志 16
木俣元一 31, 37
金　日坤（Kin, Il-gon） 88
木村　幹 123
木村禧代二 136
木村　崇 40, 41
木村　洋 33, 37
木村眞人 149, 150
木村雄一 116
ギャリソン, ピーター 13, 17
久馬一剛 149
清川雪彦 106
ギンズブルグ, カルロ 43
グインター, S. M. 47
久木田水生 14, 15
釘貫　亨 41
日下正一 82
草間秀三郎 120, 121
久世敏雄 81
國本哲男 19
クネヒト, ペトロ 31
久納智子 140
クーパー, レイチェル 13
久保　亨 61
久保田勉 4, 6, 74
久保田裕次 62
熊谷幸治郎 142
熊谷道夫 150
熊澤孝朗 142
クラーク, ピーター 51
倉田　徹 124
栗須公正 28
クリステワ, ツベタナ 25
栗田宗次 137
栗原　優 45
栗原　登 134
グリルパルツァ, フランツ 21
クレスゲ, S. 99
クレッツェンバッハー, L. 43
呉羽　真 17
黒澤隆文 113
黒田明伸 95
黒田光太郎 152
黒積俊夫 5
黒沼悦郎 120
グローマー, ジェラルド 28
ケイン, P. J. 98
ゲルツァー, マティアス 58
ゲローヴィチ, スラーヴァ 18
小池和男 113
古池保雄 141
小井土彰宏 77
香田　忍 147
河野　眞 43
古賀一男 82
古賀正義 84
國分　征 152
古結諒子 62
越川　卓 143
小島　定 121
小島修一 121
小島勢二 139
小嶋秀夫 81
小杉　泰 59, 76, 122
小瀬　一 104
児玉　聡 14
児玉善仁 84
ゴダン, ブノワ 78
コッカ, ユルゲン 44
コッティントン, デイヴィッド 36
コッホ, ローベルト 133
後藤秀爾 80
後藤節子 140
後藤俊明 92
後藤里菜 71
小西唯雄 92
小西哲郎 154
小早川洋一 106
小林和夫 70
小林寛道 134
小林邦彦 142
小林襄治 93
小林傳司 75
小林達也 138
小林　昇 94, 96
小林身哉 142
小林寧子 76
小堀　聡 108
駒井　明 40
小柳公代 5
小山　虎 13
コラリーツィ, シモーナ 56
コリー, リンダ 48
コリンズ, H. 78
コルグレイヴ, N. 155
ゴルドーニ, C. 28
近藤和彦 43
近藤潤三 92
近藤孝弘 45, 48, 69, 84, 86
近藤達平 134
近藤哲生 2
近藤則夫 128
今野　元 124, 129
今野裕子 72
コンパニョン, アントワー

ヌ 30

サ 行

西條八束 147, 149
齋藤 晃 28, 68
齊藤隆夫 91
斎藤夏来 64
齋藤英彦 139
齊藤寛海 96
齋藤希史 27
齊藤泰弘 28
齋藤弥八 152
齋藤山人 66
在来家畜研究会 151
坂 行雄 139
堺 憲一 90, 106
酒井 恒 135
坂川雅子 143
坂出 健 63
坂本邦暢 13, 17
坂本 正 93
坂本達哉 12, 18
坂本 充 147, 150
坂本優一郎 112
桜井 徹 11
櫻井康人 68
佐金 武 13
左近幸村 69
笹川慶子 28, 35
佐々木剛二 78
佐々木拓 14
佐々木英昭 22, 23, 30
佐々木光俊 7, 9
佐々木雄太 119, 121, 124, 125
佐々木隆一郎 135
雀部幸隆 6, 121
佐竹謙一 29
佐竹立成 139
佐藤啓二 137
佐藤彰一 46, 53, 70, 72
佐藤自郎 21
佐藤 仁 78
佐藤ちひろ 155
佐藤憲昭 153, 154
佐藤 創 130
佐藤 宏 102
佐藤文隆 146
佐藤深雪 22
佐藤芳行 121
ザーナー, H. 5
佐野誠子 35
佐野 誠 5
佐原彩子 72
沢井 実 57, 66, 111, 113, 114, 117, 118
澤田勤也 137
シヴェルブシュ, W. 60
シェイピン, S. 13
ジェイムズ, スコット 14
シェットラー, P. 49
塩出浩之 128
塩野谷恵彦 136
塩見治人 99, 105
重富公生 104
重松伸司 42, 75
ジーダー, R. 45
七里元亮 134
篠田 弘 81, 84
篠原 久 18, 126
篠原久典 152
芝 健介 49
芝 紘子 65
柴田和宏 13
柴田偉雄 136
柴田理尋 154
島田竜登 61
嶋津 格 99
島津康男 145
島本佳寿広 142
清水右郷 78
清水 麗 130
清水耕一 107
清水裕之 152
下川 潔 11, 121
下野恵子 93, 142
シャッファー, S. 13
ジャブロンカ, イヴァン 63, 65, 68
社本幹博 136, 137, 143
朱 宇正（Joo Woojeong） 36
シュミット, アンドレ 54
シュンペーター, J. A. 100
承 志（Kicengge） 55
将基面貴巳 126
庄司智孝 131
ジョーンズ, E. L. 48, 104
調麻佐志 12
代田清嗣 130
城山智子 108
真道洋子 35
進藤義治 19
神野清一 45
末川 清 47
末近浩太 126
末廣 昭 77, 100, 105
菅沼信彦 141
菅山真次 108
杉浦未樹 106
杉江あい 79
スキデルスキー, ロバート 117
杉原 薫 69
すぎむらなおみ 85
杉本史子 71
杉山清彦 60
杉山 直 151, 153
杉山正明 53
鈴木和代 140
鈴木勝忠 22
鈴木健夫 121
鈴木 董 72
鈴木恒夫 106
鈴木富雄 142
鈴木信雄 7, 9, 94, 100, 104
鈴木広光 41
鈴木正幸 81, 84
鈴木善男 138
鈴森 薫 140
須知泰山 137
ステアー・ソサエティ 120
ステュアート, J. 94
須藤 功 97, 105
周藤芳幸 59
ストロング, ジェニー 142
スブラフマニヤム, S. 55
スミス, A. D. 75
スミス, アダム 18, 27, 94, 126
巣山靖司 75
関 智英 67
関根 薫 76
関根政美 74, 76
瀬口昌久 11
セジウィック, イヴ・K. 24
瀬戸口明久 17
宗宮弘明 151
曽我謙悟 123
園田茂人 102
薗田 坦 4
園田英弘 74
園部治之 148
ソーバー, エリオット 11
祖父江逸郎 133, 137

タ 行

大黒岳彦 18
ダヴィドフ, L. 67
田浦武雄 80, 81, 82
田尾雅夫 102
多賀 茂 10, 17
高 哲男 100, 101, 103, 104
高城和義 75
髙木小苗 72
高木秀夫 154
高木文雄 20
高倉耕一 155
高島正憲 114
高田英樹 58, 66
高田宏史 16
高田康成 30
高槻泰郎 109
高橋 章 47
タカハシ, アダム 17
高橋一彦 122
高橋 進 148
高橋 亨 20, 28
高橋友子 48
高橋秀寿 47
高橋優子 69
高橋嘉夫 156
高橋力也 132
高村秀一 145
髙柳哲也 140
高柳泰世 140
高山 博 53
滝川 睦 21
滝本淳一 150
田口富久治 120
竹内利雄 146
竹内幸雄 98
竹沢泰子 79
竹本 洋 15, 94, 96, 103
竹本真希子 69
ダーシィ, イボンヌ 142
田島毓堂 19
田嶋基男 136, 137
ダストン, ロレイン 17
只腰親和 18, 126
田所昌幸 123
田所光男 63
田中 彰 109
田中恭子 46, 75
田中貴子 26
田中 高 100
田中敏弘 11, 100, 104
田中智晃 70
田中智彦 11
田中 光 115
田中秀夫 4, 7, 9, 10, 11, 17, 18
田中秀央 20
田中英夫 82
田中正明 146, 150, 156
田中眞晴 98
田仲由喜夫 156
田中祐理子 12
谷口美代子 130
谷口義則 151
谷田一三 151
谷田博幸 24, 26
谷村省吾 156
谷本雅之 98
田野大輔 48, 54
田畑 治 81
玉木正男 139
ダムス, Th. 88, 89
田村栄子 44, 46
田村 均 13, 15
多和田眞 115
ダン, オットー 47
ダン, ジョン 23
旦 祐介 98
丹野清人 76
近森 順 155
千々岩靖子 32
千葉 眞 16

中条直樹 20, 40, 41
朝鮮史研究会 56
ツヴァイゲンバーグ, ラン 69
ツェレット, G. 136
塚田弘志 100
月脚達彦 54
月澤美代子 72
佃　陽子 72
辻本裕成 31
津田内匠 93
土屋洋二 5
筒井清忠 6, 75
筒井清輝 75
堤　治 140
角田猛之 120
椿　建也 51
坪井秀人 23, 27, 31, 38
坪光生雄 16
鶴田　綾 129
鶴田利惠 100
デイヴィス, ナタリ・Z. 43
テイラー, A. J. P. 44
テイラー, チャールズ 11, 16
デイリー, G. C. 151
ディーン, Ph. 96
出口晶子 75
出口康夫 13
デネット, ダニエル・C. 16
デビッドソン, P. 95
デュピィ, H. 136
寺岡伸悟 75
土井正男 150
東海三県地盤沈下調査会 145
東海図学研究会 148, 149
東長　靖 12, 76
糖尿病と血管障害に関する研究会 140
等松春夫 125
野老山貴行 156
戸田山和久 8, 12, 15, 16, 152
礪波　護 53
トニオロ, G. 94
ド・フリース, J. 106
土木学会中部支部 146
富岡秀雄 151
富永茂樹 11
富永祐民 133, 134
冨谷　至 56
富山太佳夫 26
トムスン, エドワード・P. 43
友岡敏明 119
鳥居修晃 133
ドル, R. 136
トンプソン, K. 28

ナ　行

永井　進 95
長尾伸一 8, 9, 12, 115
中尾　央 13
中岡俊介 48
長岡慎介 108
永岡　崇 13, 16
中兼和津次 101, 107, 110, 117, 131
長坂徹郎 143
永坂三夫 133
中澤克昭 72
中島　泉 141
中島琢磨 127
中島裕喜 115
中砂明徳 57
中田誠一 141
中田瑞穂 125
中田　実 141
中塚　武 153
中辻憲夫 140
長縄宣博 64
中西　聡 104, 107, 110, 114, 116
中野耕太郎 60
中野　忠 115
中野知律 32
中林真幸 110
中原信生 149
中溝幸夫 82
長峯晴夫 90
中村栄男 137
中村　督 78
中村尚史 107
中村幹雄 43
中谷　惣 62
中矢俊博 96, 98
中屋信彦 118
長屋昌宏 141
長与健夫 136
名古屋大学 3
名古屋大学言語文化部日本語学科 40
名古屋大学公開講座委員会 147
名古屋大学国語国文学会 19
名古屋大学史編集委員会 2
名古屋大学情報処理教育センター教育広報専門委員会 145, 146, 147
名古屋大学日本語教育研究グループ 39, 40
鍋島直樹 100, 114, 117
並木真人 54
並松信久 62
奈良岡聰智 60
成生達彦 95, 112
成田善弘 83
南條郁子 155
新居洋子 64
西　平等 129, 131
西井麻里奈 69
西川　輝 112
西澤邦秀 144, 153, 154
西沢　保 51
西澤泰彦 55
西田隆義 155
西田　稔 90
西村成弘 113
西村閑也 93
西村周三 99, 102
西村　稔 5, 10, 15
西森　拓 154
西山　慶 144
西山真司 130
丹辺文彦 40, 41
仁平典宏 76
根井雅弘 92, 93
ネーゲル, T. 104
納富信留 8
野澤　謙 147
野尻伸一 153
野田明子 141
野田宣雄 43
野原慎司 18
野原敏雄 97
野村　康 77
野村達朗 43, 54
野村浩康 147
野依良治 150

ハ　行

ハーイ, ピーター B. 22
バイエ, アルベール 74
ハウンシェル, デーヴィッド・A. 98
羽賀祥二 47, 52
芳賀　徹 35
バーク, ピーター 5, 51
箱田恵子 53, 59
橋川文三 6
橋本勝雄 56
橋本昭一 96, 98
橋本周子 32
橋本　努 100
橋本伸也 84
橋本　惠 24
柱本元彦 27
長谷川淳一 51
長谷川貴彦 67
長谷川博隆 42, 44, 49, 52, 58
長谷川雅雄 31
長谷川幸治 137, 139, 143
畑中幸子 44
波多野　敬 142
波多野隆介 150
服部育生 120
服部祥子 81, 83
服部　正 32
服部美奈 87
服部龍二 122
花里孝幸 149
馬場　哲 93
馬場宏二 97
馬場正雄 91
ハバード, H. 93
浜島信之 135, 139
浜田道代 120
濱名　篤 74
濱松加寸子 140
早川幸男 146, 147
早川　誠 129
早川　操 82, 83, 85
林　佳世子 59, 76
林　邦昭 139
林　董一 43, 45
林　上 2
林　博史 138
林　文子 139
林　雄介 54
林　洋子 29
林田理恵 40, 41
速水敏彦 84
原　一夫 138
原田一美 44, 60
原田昌博 70
原田正文 81, 83
原山　煌 44
春田尚懇 148
春名めぐみ 143, 144
バルマー＝トーマス, ピクター 100
パレート, V. 74
韓　載香（Han, Jaehyang） 107, 115
範　麗雅（Fan Liya） 34
半田暢彦 148
東　慎一郎 16
東　晋次 46
ピグー, アーサー・C. 109, 116
樋口直人 76
久末亮一 110
久田由佳子 47, 50
久道　茂 134
菱田雅晴 102
菱山　泉 92
肥前栄一 93, 121
ピート, R. 136
ピトキン, ハンナ 129
一杉正仁 144
日南田靜眞 90
日比　裕 81
姫岡　勤 74

姫岡とし子 47
ビーメル, W. 5
檜山哲哉 151, 152
ピュー, D. S. 86
ヒューム, デイヴィッド 11
日吉泰雄 143
平生釰三郎 2
平川祐弘 27
平島　大 151
平田雅博 65
平野　聡 51
平野　創 113
平松　紘 120
平松義郎博士追悼論文集編集委員会 119
平山　雄 133
平山　勉 66
広木詔三 150, 155
広瀬幸雄 82
広田照幸 74, 83, 84, 86
広田　豊 133
廣部　泉 62
フー, フランク・B. 142
ファリアス, ヴィクトル 4
ファン・デァ・ワウデ, A. 106
フィリップス, E. M. 86
深尾葉子 55
深町郁彌 93
福井康雄 151
福澤直樹 109, 116
福田茂夫 121
福田真希 127
福田眞人 22
藤　博之 153
藤井隆至 96
藤井淑禎 21, 25, 37
藤岡伸子 151
藤本秀朗 28, 29, 31, 34
藤澤令夫 2
藤瀬浩司 88, 90, 95, 110
藤田綾子 102
藤田菜々子 118
藤波伸嘉 125
藤原貞朗 32, 37
藤本和貴夫 54
藤原雅憲 40
藤原道夫 98
フット, ケネス・E. 50
夫馬　進 60
フライターク, G. 46
プラズマ・核融合学会 146
ブリュア, ジョン 50
古尾谷知浩 59
古橋忠晃 79
ブレイク, ウィリアム 20
プレスナー, ヘルムート 5
ベイリ, C. A. 65
ベイリン, バーナード 54
ペトラルカ, フランチェスコ 21, 26
ベネディクト, R. 75
ベリー, エドワード 21
ポイカート, D. 6, 44
宝剣久俊 114
ボーコック, J. G. A. 10, 17, 58
ホジソン, G. M. 98
星野秀利 96
保住敏彦 92
細川道久 65
細野純子 80
堀田誠三 7
堀田知光 138
堀田　饒 140
堀田典裕 155
ボードウェル, D. 28
ホプキンズ, A. G. 98
ボメランツ, K. 60
堀　一郎 99
堀　まどか 31
堀井　優 71
堀内　守 80
堀内義隆 117
堀場希次 137
堀部敬三 139
ホール, C. 67
ポール, L. A. 14
ボーロ, マルコ 58
本郷　亮 105, 109, 116
本部勝大 130

マ　行

前田廉孝 117
前田俊文 126
前田裕子 105, 112
前野みち子 27
眞壁　仁 122
牧戸孝郎 89, 92
牧野雅彦 124
マクニール, J. R. 56
真崎　翔 128
眞嶋史叙 115
益田　実 124
益田義賀 146
桝屋友子 32, 35
待鳥聡史 123
松井裕美 34, 36
松井芳郎 120
松浦俊輔 13, 63, 78
松浦正孝 124
松浦雄介 67
松尾秀雄 90
松尾幹之 145
松王政浩 11, 14
松岡達也 4
真継　隆 88, 89, 92
松坂佐一 119
松澤和宏 26, 30
松下晴彦 87
松嶋敦茂 97
松田　実 137
松永俊男 7, 9
松野　修 83
松原慶子 27
松原知生 36
松村博史 66
松村博司 19
松本忠雄 136
松本哲也 147, 148
松本敏雄 146
松本俊郎 48, 118
松本敏郎 156
松森奈津子 124
間野忠明 141
真野倫平 65, 68
マーフィー, L. 104
黛　秋津 57
丸川知雄 101
丸山敬一 92
三浦　篤 36
御崎加代子 99
三須拓也 124, 131
水井万里子 62
水上　遼 72
水口　毅 154
水島　司 61, 115
水島朋則 126
水田　洋 8, 27, 94, 126
水谷　智 62
水野幸治 152, 155
水野さや 33
水野祥子 68
水野千依 30
水野正一 88, 89, 91
水野由美子 54
溝口常俊 50, 56
溝渕久美子 35
三田昌彦 55
ミッテラウアー, M. 45
皆川修吾 119
皆川芳輝 94
南　修平 61
峯村吉泰 145
美濃部重克 31
三牧聖子 127
見松健太郎 137, 141
宮　紀子 53, 64
宮尾大輔 35
宮川正澄 133
三宅和正 153
三宅康之 124
宮崎洋子 129
宮下規久朗 27
宮地英敏 106
三好信浩 85
ミラー, M. J. 76
六鹿茂夫 128
村井明彦 114
村井俊哉 13
村上　衛 57
村上英治 80
村上信一郎 43, 56
村上哲生 151
村上祐子 12
村上陽一郎 2
メイソン, ロジャー 100
メノカル, マリア・ロサ 53
毛里和子 126, 128, 131
毛里興三郎 128
モキイア, ジョエル 115
持田智子 72
望田幸男 43, 45, 48, 50, 54
本野英一 51
籾山洋介 40
モムゼン, テオドール 52
森　宜人 118
森　丈夫 50, 54
森　正夫 44
森　雅秀 30
森　万佑子 64
森　靖夫 68
森岡邦泰 10
森川英正 98
森際康友 6, 130
森島恒雄 139
森田勝昭 22, 78
森田せつ子 140
守能信次 74
森平雅彦 58
森安孝夫 60
森脇由美子 50
モルテーニ, C. 93

ヤ　行

八木紀一郎 91, 98, 100, 104, 109
八木　匡 95
焼田　党 95
家島彦一 54, 63
安田信之 122
安冨　歩 55
安成哲三 151
安元　稔 48, 67, 94, 106, 115
谷内　昭 135
八谷　寛 142
柳澤　悠 111
柳田達雄 154
柳瀬明彦 115
藪内百治 135
山岡龍一 16
山岸紀美江 136, 137
山岸敬和 127
山口　巌 20, 41

山口重克 103
山口　尚 13
山口みどり 67
山口庸子 28
山口佳子 142
山下宏明 22
山澄　亨 47
山田昭廣 31
山田耕士 21
山田公平 120
山田冨美雄 83
山田　賢 45
山中浩司 7
山中由里子 29, 33
山本　進 50
山本　健 124, 131
山本忠弘 120
山本　尤 4
山本有造 51, 93, 102, 108
山本嘉孝 37
山脇直司 9
厳　善平（Yan, Shanping） 101
湯浅信之 23
由井常彦 98, 101
湯沢　威 115
湯澤規子 65
ヨアンソン, H. 141
横井豊治 143
横江清司 139
横瀬善正 81
義井　博 121
吉岡昭彦 90, 99
吉川卓治 84
吉澤　剛 17
吉澤誠一郎 49, 71
吉田一彦 70
吉田　純 139
吉田　城 23
吉田真吾 126, 127
吉田恒昭 97
吉田　裕 12
吉田博之 102
吉田正広 65
吉武純夫 34
吉野耕作 75, 77
吉村泰典 140
吉本秀之 13
米山　優 7

ラ　行

ラヴジョイ, A. O. 7, 9
ラエフ, マルク 49
ラクストン, G. D. 155
ラジ, カピル 62
ラッシュ, G. 80
ラマール, トーマス 31
リーヴィー, エリック 48
リード, アンソニー 71
リルティ, アントワーヌ 66
リンガー, フリッツ・K. 5, 6
ルイス, D. 13
ルゴフ, ジャック 44
ルスティケッロ・ダ・ピーサ 58
ルメートル, ニコル 72
レオパルディ, ジャコモ 27
任　文俠（Ren, Wen-xia） 88
ロイ, ティルタンカル 115
ロック, マーガレット 143
ローリック, T. H. 40
ロレンツィーニ, サラ 131

ワ　行

ワイス, ノエル・S. 135
ワイスバーグ, マイケル 14
若尾典子 45
若尾祐司 45, 46, 52, 54, 65, 69
若林慎一郎 1
脇　　功 25, 27
脇村孝平 48, 49
和気典二 133
和田一夫 98, 99, 101, 103, 106, 107, 110
和田武雄 135
ワダ・マルシアーノ, ミツヨ 29, 30, 36
和田光弘 47, 48, 50, 54, 61
和田　慈 78
渡辺一功 135, 139
渡邊二郎 5
渡邊誠一郎 151, 153
渡辺　誠 46
渡辺将人 128
渡邉真理子 101
渡部良子 72
ワロン, フィリップ 82

A–Z

Braimbridge, David J. 136
Hearse, Mark V. 136
Jynge, Per 136
Kamal, Muhammad Rowshon 89
Mayer, David R. 19
Morita-Clément, Marie-Agnès 19

▶ 得意先書店・取次店一覧

小会の出版物は下記の書店のほか，全国の書店，大学生協，ネット書店で取り扱っております。
また，お求めの書籍が店頭にない場合でも，ご注文下されば取り寄せられます。

書　店

【北海道】

札幌市	紀伊國屋書店札幌本店	011－231－2131
	コーチャンフォー新川通り店	011－769－4000
	コーチャンフォーミュンヘン大橋店	011－817－4000
	MARUZEN &ジュンク堂書店札幌店	011－223－1911
	北星学園生協大学店	011－891－2313
	北海道大学生協書籍部クラーク店	011－736－0916
	北海道大学生協書籍部北部店	011－747－2182
旭川市	ジュンク堂書店旭川店	0166－26－1120
小樽市	喜久屋書店小樽店	0134－31－7077
函館市	函館蔦屋書店	0138－47－3771
北見市	北見工業大学生協書籍店	0157－24－6968

【青森県】

弘前市	ジュンク堂書店弘前中三店	0172－34－3131

【岩手県】

盛岡市	ジュンク堂書店盛岡店	019－601－6161

【宮城県】

仙台市	丸善仙台アエル店	022－264－0151
	東北大学生協川内購買・書籍店	022－261－4190
	東北大学生協文系書籍店	022－262－7463

【秋田県】

秋田市	ジュンク堂書店秋田店	018－884－1370
	宮脇書店秋田本店	018－825－5515

【山形県】

山形市	山形大学生協小白川店	023－641－4365

【福島県】

福島市	紀伊國屋書店福島県立医科大学 BC	024－548－2533

【茨城県】

つくば市	ACADEMIA イーアスつくば店	029－868－7407

【栃木県】

大田原市	国際医療福祉大学購買部	0287－22－2553

【群馬県】

前橋市	Bookman's Academy 前橋店	027－280－3322
太田市	Bookman's Academy 太田店	0276－40－1900
高崎市	Bookman's Academy 高崎店	027－370－6166

【埼玉県】

さいたま市	ジュンク堂書店大宮高島屋店	048－640－3111
	埼玉大学生協書籍購買部	048－854－9342
久喜市	ACADEMIA 菖蒲店	0480－87－1781
飯能市	丸善丸広百貨店飯能店	042－973－1653

【千葉県】

千葉市	志学書店	043－224－7111
	千葉大学生協ブックセンター	043－254－1825
柏市	ジュンク堂書店柏モディ店	04－7168－0215
習志野市	くまざわ書店津田沼店	047－475－8311
	丸善津田沼店	047－470－8311
成田市	志学書店国際医療福祉大学成田Ｃ医学部売店	043－224－7111
船橋市	ジュンク堂書店南船橋店	047－401－0330
松戸市	くまざわ書店松戸店	047－360－0501

【東京都】

大田区	くまざわ書店グランデュオ蒲田店	03－3737－5351
新宿区	紀伊國屋書店新宿本店	03－3354－0131
	成文堂早稲田正門店	03－3203－4806
	ブックファースト新宿店	03－5339－7611
	早稲田大学生協ブックセンター	03－3202－4010
	早稲田大学生協戸山店	03－3202－4204
墨田区	くまざわ書店錦糸町店	03－5610－3034
世田谷区	桜門書房日本大学商学部購買部	03－3417－2278
	東京農業大学生協書籍部	03－3427－5713
中央区	タロー書房	03－3241－2701
	丸善日本橋店	03－6214－2001
千代田区	三省堂書店神保町本店	03－3233－3312
	三省堂書店明治大学駿河台売店	03－5282－3480
	東京堂神田神保町店	03－3291－5181
	丸善丸の内本店	03－5288－8881
豊島区	ジュンク堂書店池袋本店	03－5956－6111
中野区	ブックファースト中野店	03－3319－5161
文京区	東京大学生協本郷書籍部	03－3811－5481
港区	慶應義塾生協三田書籍部	03－3455－6631
	明治学院生協白金店	03－3447－1631
目黒区	東京工業大学生協大岡山店	03－3727－7357
	東京大学生協駒場書籍部	03－3469－7145
稲城市	コーチャンフォー若葉台店	042－350－2800
国立市	一橋大学生協西 SB	042－575－4184
小金井市	東京学芸大学生協	042－324－6228
国分寺市	東京経済大学生協	042－324－4319
小平市	津田塾大学生協購買書籍部	042－343－7073
立川市	オリオン書房ノルテ店	042－522－1231

	ジュンク堂書店立川高島屋店	042－512－9910
多摩市	丸善多摩センター店	042－355－3220
町田市	法政大学生協書籍部多摩店	042－783－2236
八王子市	くまざわ書店八王子店	042－625－1201
	中央大学生協八王子店	042－674－3032
	東京都立大学生協南大沢購買書籍部	042－677－1413
府中市	東京外国語大学生協ハッチポッチ	0423－54－3062
武蔵野市	亜細亜大学購買部	0422－55－5837
	ジュンク堂書店吉祥寺店	0422－28－5333
【神奈川県】		
横浜市	ACADEMIA 港北店	045－914－3320
	関東学院大学釜利谷購買部	045－784－8852
	ブックファースト青葉台店	045－989－1781
	丸善横浜みなとみらい店	045－323－9660
	有隣堂横浜駅西口店医学書センター	045－311－6265
	慶應義塾生協日吉書籍部	045－563－8487
	横浜国立大学生協書籍部大学会館店	045－335－1126
厚木市	くまざわ書店本厚木店	046－230－7077
川崎市	丸善ラゾーナ川崎店	044－520－1869
相模原市	ACADEMIA くまざわ書店橋本店	042－700－7020
藤沢市	ジュンク堂書店藤沢店	0466－52－1211
横須賀市	くまざわ書店横須賀店	046－821－2403
【長野県】		
松本市	丸善松本店	0263－31－8171
	信州大学生協松本購買書籍部	0263－37－2983
【新潟県】		
新潟市	ジュンク堂書店新潟店	025－374－4411
	新潟大学生協書籍部	025－262－6095
【富山県】		
富山市	紀伊國屋書店富山店	076－491－7031
	TSUTAYA BOOKSTORE 藤の木店	076－422－0155
	BOOKS なかだ掛尾本店	076－492－1197
	BOOKS なかだ富山大学杉谷C 売店	076－434－0929
	文苑堂書店富山豊田店	076－433－8150
	明文堂書店新庄経堂店	076－494－3530
	富山大学生協書籍部五福店	076－433－3080
高岡市	文苑堂書店福田本店	0766－27－7800
【石川県】		
金沢市	金沢ビーンズ	076－239－4400
野々市市	うつのみや金沢工大前店	076－227－0999
【福井県】		
福井市	Super KaBoS 新二の宮店	0776－27－4678
	福井大学生協ブックカフェ明日輪	0776－21－3688
【岐阜県】		
岐阜市	丸善岐阜店	058－297－7008
【静岡県】		
静岡市	カリヨン書店	054－294－7814
	MARUZEN &ジュンク堂書店新静岡店	054－275－2777
掛川市	明屋書店掛川西郷店	0537－25－7330
【愛知県】		
熱田区	丸善名古屋学院大学白鳥売店	052－671－2228
昭和区	中京大学生協名古屋書籍店	052－831－1911
	名古屋大学生協医学部店	052－731－6815
千種区	ウニタ書店	052－731－1380
	ちくさ正文館本店	052－741－1137
	文進堂書店	052－782－8933
	名古屋大学生協南部生協プラザ	052－781－5031
	名古屋大学生協 Books フロンテ	052－781－9819
天白区	ちくさ正文館名城大学店	052－833－8215
中区	大竹書店	052－262－3828
	ジュンク堂書店名古屋栄店	052－212－5360
	丸善名古屋本店	052－238－0320
中村区	三省堂書店名古屋本店	052－566－6801
	ジュンク堂書店名古屋店	052－589－6321
春日井市	丸善中部大学売店	0568－51－1204
豊橋市	精文館書店豊橋本店	0532－54－2345
長久手市	丸善愛知医科大学売店	0561－62－3311
日進市	成文堂日進店	0561－73－3833
【三重県】		
津市	別所書店修成店	059－246－8822
	ワニコ書店	059－231－3000
	三重大学生協翠陵店	059－232－5007
四日市市	丸善四日市店	059－359－2340
	宮脇書店四日市本店	059－359－5910
【滋賀県】		
大津市	龍谷大学瀬田丸善書籍購買部	077－543－5135
【京都府】		
京都市	大垣書店イオンモール KYOTO 店	075－692－3331
	大垣書店烏丸三条店	075－212－5050
	紀伊國屋書店京都産業大学 BC	075－708－1356
	朋友書店	075－761－1285
	丸善京都本店	075－253－1599
	京都大学生協ショップルネ	075－771－7336
	同志社生協良心館ブック&ショップ	075－251－4427
	立命館生協ブックセンターふらっと	075－465－8288
【大阪府】		
大阪市	喜久屋書店阿倍野店	06－6634－8606
	紀伊國屋書店梅田本店	06－6372－5821
	ジュンク堂書店大阪本店	06－4799－1090
	ジュンク堂書店近鉄あべのハルカス店	06－6626－2151
	ジュンク堂書店天満橋店	06－6920－3730

ジュンク堂書店難波店 06－4396－4771
MARUZEN &ジュンク堂書店梅田店 06－6292－7383
大阪公立大学生協書籍部杉本店 06－6605－3014
茨木市 立命館生協 OIC shop 072－645－4103
吹田市 関西大学生協書籍店 06－6368－7548
高槻市 ジュンク堂書店松坂屋高槻店 072－686－5300
豊中市 大阪大学生協書籍部豊中店 06－6841－4949
枚方市 ワニコ書店 072－841－5444
【兵庫県】
神戸市 ジュンク堂書店三宮駅前店 078－252－0777
ジュンク堂書店三宮店 078－392－1001
甲南大学生協学友会館 Book & Support 078－441－7901
神戸大学生協 LANS BOX 店 078－881－8484
神戸大学生協 BEL BOX ショップ 078－882－3831
西宮市 ジュンク堂書店西宮店 0798－68－6300
関西学院大学生協フォーラム店書籍 0798－53－5233
姫路市 ジュンク堂書店姫路店 079－221－8280
【奈良県】
橿原市 奈良栗田書店 0744－22－8657
【和歌山県】
和歌山市 TSUTAYA WAY ガーデンパーク和歌山店 073－480－5900
【鳥取県】
鳥取市 鳥取大学生協 SHOP 0857－28－2333
【島根県】
松江市 今井書店グループセンター店 0852－20－8811
島根大学生協松江ショップ 0852－32－6242
【岡山県】
岡山市 丸善岡山シンフォニービル店 086－233－4640
岡山大学生協ブックストア 086－256－4100
倉敷市 喜久屋書店倉敷店 086－430－5450
【広島県】
広島市 ジュンク堂書店広島駅前店 082－568－3000
フタバ図書アルティアルパーク北棟店 082－270－5730
フタバ図書 TSUTAYA MEGA 中筋店 082－830－0601
丸善広島店 082－504－6210
東広島市 広島大学生協北 1 コープショップ 082－423－8285
安芸郡 フタバ図書 TSUTAYA TERA 広島府中店 082－561－0770
【山口県】
山口市 山口大学生協中央店 083－933－0611
下関市 くまざわ書店下関店 0832－28－0401
【徳島県】
徳島市 久米書店 088－623－1334
久米書店医大前店 088－632－2663
徳島大学生協常三島ショップ 088－652－3248
【香川県】
高松市 ジュンク堂書店高松店 087－832－0170
宮脇書店総本店 087－823－3152
宮脇書店本店 087－851－3733
香川大学生協学館ショップ書籍部 087－833－5755
【愛媛県】
松山市 ジュンク堂書店松山三越店 089－915－0075
愛媛大学生協城北ショップ 089－925－5801
松山大学生協ショップ 089－924－9262
東温市 新丸三書店愛媛大学医学部店 089－964－1652
【高知県】
高知市 高知大学生協朝倉イクスショップ 088－840－1661
【福岡県】
福岡市 紀伊國屋書店福岡本店 092－434－3100
ジュンク堂書店福岡店 092－738－3322
丸善博多店 092－413－5401
九州大学生協伊都皎皎舎 092－805－7700
九州大学生協中央図書館店 092－707－6532
西南学院大学生協購買部 092－841－2400
北九州市 白石書店産業医科大学店 093－693－8300
ブックセンタークエスト小倉本店 093－522－3912
【佐賀県】
佐賀市 佐賀大学生協大学会館店 0952－25－4451
【長崎県】
長崎市 長崎大学生協医学部店 095－849－7159
長崎大学生協文教店 095－845－5887
【熊本県】
熊本市 丸善熊本学園大学売店 096－364－1026
熊本大学生協学館ショップ 096－343－6321
【大分県】
大分市 ジュンク堂書店大分店 097－536－8181
明林堂書店大分本店 097－573－3400
大分大学生協ショップ 097－569－0016
別府市 立命館アジア太平洋大学生協 APUCO-OP ショップ 0977－78－1171
【宮崎県】
宮崎市 蔦屋書店宮崎高千穂通り 0985－61－6711
宮崎大学生協書籍購買店 0985－58－0612
【鹿児島県】
鹿児島市 ジュンク堂書店鹿児島店 099－216－8838
【沖縄県】
那覇市 ジュンク堂書店那覇店 098－860－7175
豊見城市 琉球光和考文堂メディカル BC 098－863－1255
中頭郡 琉球大学生協中央店 098－895－6085

取次店

トーハン 桶川在庫センター	048－787－8915	**西村書店** 商品管理課	03－5879－7693
日　　販 在庫センター	03－3927－7592	**鍬谷書店** 本社	03－5390－2211
楽天 BN 関西流通センター	072－755－3881	**八木書店** 店売部	03－3291－2968
地方・小 出版流通センター	03－3260－0355		

一般財団法人
名古屋大学出版会

〒464-0814
名古屋市千種区不老町1　名古屋大学構内

編集 052-781-5027　営業 052-781-5353　名大内線 5172
FAX 052-781-0697
Eメール info@unp.nagoya-u.ac.jp